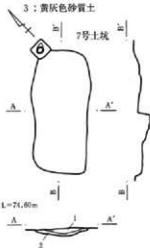


10号土坑

- (972号ピット覆土)  
 1: 褐灰色粘質土; 橙色粘質土と黄灰色砂質土入る  
 (969号ピット覆土)  
 2: As-Bに酸化鉄混濁灰色粘質土と橙色粘質土入る  
 3: 橙色・褐灰色粘質土の混土; 灰黄色粘質土混入  
 (9号土坑覆土)  
 4: 褐灰色砂質土と橙色粘質土の混土  
 5: 褐灰色・橙色粘質土とAs-B混灰色砂質土の混土  
 6: 灰黄色・褐灰色粘質土の混土  
 6': 6層土に灰色砂質土入る  
 7: 暗灰色砂質土に6層土混入  
 8: 灰黄褐色砂質土に暗灰色砂質土混入

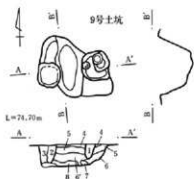
(10号土坑覆土)

- 1: As-B混濁灰色砂質土;  
 明黄褐色粘質土若干混入  
 2: 黒褐色土; 明黄褐色粘  
 質土含む  
 3: 黄灰色砂質土

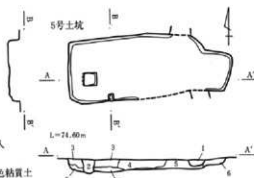


(7号土坑覆土)

- 1: 褐灰色砂質土; 多量のAs-Bと層上位に橙色  
 土。層中・下位に酸化鉄・灰らしきもの入る  
 2: 酸化鉄混濁灰色粘質土; 地山と1層土の混土



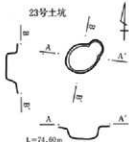
9号土坑



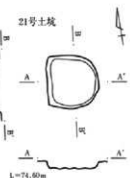
5号土坑

(16号溝覆土)

- 1: 灰白色砂質土; 5層土混入しAs-A含む  
 (564号ピット覆土)  
 2: 黄灰色砂質土; 軽石と3・4層土混入  
 (5号土坑覆土)  
 3: 暗灰色砂質土; 暗灰色・橙色粘質土等混入  
 4: 褐灰色砂質土と明褐色砂質土の混土  
 5: 黄灰色砂質土; にぶい黄橙色・明褐色粘質土  
 と若干の炭化物混入  
 6: 灰色砂質土; 5層土と明褐色砂質土混入  
 7: 組成は3層に似るが暗灰色砂質土主体



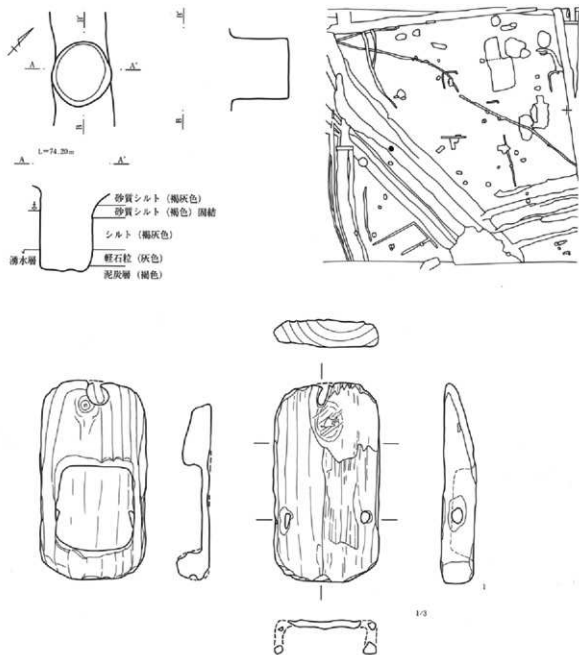
23号土坑



21号土坑

第169図 3区1面屋敷遺構中南部の土坑群

第3章 発見された遺構と遺物



第170図 3-1-1号井戸及び出土遺物

④ 3-1-1号井戸 (第170図、図版71・94)

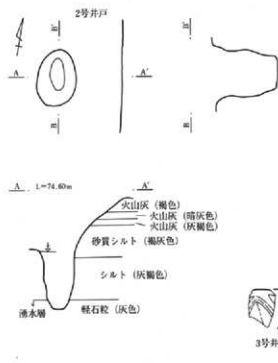
**概要** 本井戸は3区西部中程に在って3-1-1号溝の調査に伴って発見、調査された。

本井戸からは下駄(1)が出土している。覆土の記録も残せなかったので時期は特定できなかったが、古く中世～近世の所産として把握している。

本井戸にはアグリは見られず、にじみ出る程度の湧水が確認された。貯水量は約600ℓである。

**規模** 径102×94cm 深さ(残存深さ)130cm

**構造** 本井戸は上位を1号溝に切られて全体の状態はつまびらかではないが、概ね円形のプランを呈している。掘削形態はきれいな筒形を呈している。



第171図 3-1-2・3号井戸及び出土遺物

(15) 3-1-2号井戸 (第171図, 図版71)

**概要** 南北に向いて掘ったと判断される本井戸は、3-1-4号溝の調査中に同溝東壁に調査された。

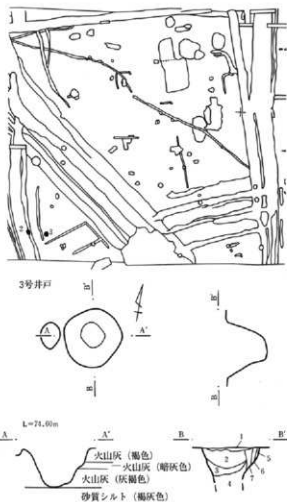
本井戸からの出土遺物は無く、4号溝との新旧も確認できず時期特定はできなかったが、覆土から中世以降の所産と判断している。

アグリはなく、にじみ出る程度の湧水で貯水したようで、貯水量は300ℓ程になる。

**規模** 径90×60cm 深さ104cm

**構造** 本井戸は上位西半が失われているが、全体の状況はつまびらかでないが、全体の形状は朝顔形になるものと判断される。

プランは概ね南北を主軸とする楕円形を呈する。壁面下位でやや膨らみを持つが、底面は平底である。



(16) 3-1-3号井戸 (第171図, 図版71・94)

- 1: A+B含む暗灰色砂質土・2層土の小ブロック混入
- 2: 黄灰色粘質土・灰白色・黒褐色砂質土、褐灰色・明黄褐色土ブロックの混土
- 3: 黄灰色粘質土: 酸化鉄混入黒褐色土若干混入。崩れやすい
- 4: 暗灰色粘質土: 酸化鉄及び褐灰色土入る
- 5: 黒褐色砂質土: 褐灰色土入る。やや締まりに欠ける
- 6: 2層土に似るがブロックの径小さい
- 7: 3層土と4層土の混土

(16) 3-1-3号井戸 (第171図, 図版71・94)

**概要** 本井戸は3区西南部、3-1-9号溝の東側に調査された浅い井戸であるが、底面が湧水層に達しておらず土坑の可能性も残される。

本井戸からは龍泉窯系の青磁碗片(1)が出土し、覆土の状況と併せて中世の所産と判断される。

**規模** 径92×90cm 深さ64cm

**構造** 本井戸は隅丸方形プランを呈し、丸底の掘削形態を呈する。

第3章 発見された遺構と遺物

00) 3-1-4号井戸 (第172図、図版71・94)

**概要** 本井戸は3区西部中程、3-1-3・4号溝交点南近くに位置する。

本井戸からはヒノキを木地とする漆碗(1)が出土しているが、覆土の状況等から概ね中世の所産と判断している。

確認面下1.2~1.5mにアグリを有し、1.5~1.8mの軽石層(As-YP)が湧水層である。湧水量はにじみ出す程度だったが、貯水量は約1tにもなる。

**規模** 径202×188cm 深さ195cm

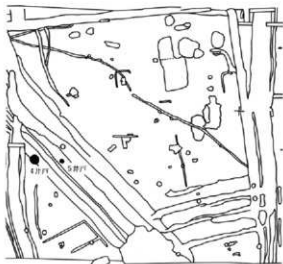
**構造** 本井戸は円形に近いプランを有する。

**掘削形態**は緩やかな朝顔形を呈するが、壁面下位はアグリで窪み、底面は平底である。

**規模** 径86×84cm 深さ30cm

**構造** 本井戸は円形プランを呈する。

上位を失っていたので全体の状況は不明であるが、筒状の掘削形態を見せ、底面は平底である。



04) 3-1-5号井戸 (第172図、図版71)

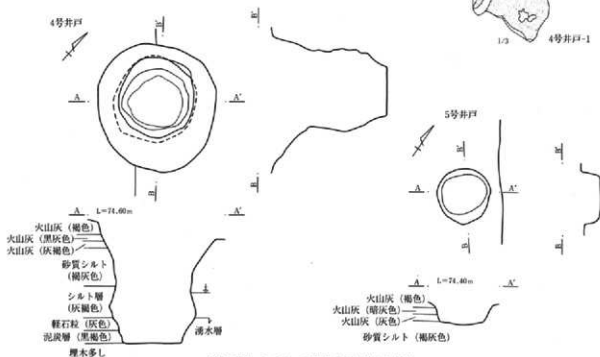
**概要** 本井戸は3区西部中程、3-1-3号溝の調査に伴って確認、調査された。

出土遺物は無く時期特定には至らなかったが、概ね中世以降の所産と判断している。

また、本井戸は3-1-3号井戸同様浅く、土坑であった可能性を有する。



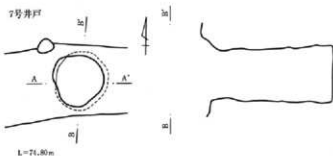
1/3 4号井戸-1



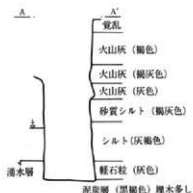
第172図 3-1-4・5号井戸及び出土遺物



第3節 3区の遺構と遺物



L=71.80m



④ 3-1-7号井戸 (第173図、図版72)

**概要** 本井戸は3区南東部に在り、3-1-14号溝の調査に伴って発見、調査された。

出土遺物はなく14号溝との新旧も特定できなかったが、覆土及び以降確認の状況等から概ね中世の所産と判断されるものである。

本井戸の底面近くは自然堆積土で覆われていたが、上位は人為的に埋め戻されている。確認面下1.7~2.0mに湧水層がある。湧水はにじみ出る程度の水量であったが、貯水量は450~500ℓ程になる。  
規模 径80×80cm 深さ210cm

**構造** 本井戸は上位を失っているので全体の形状はつまびらかでないが、概ね円形のプランを呈する。  
掘削形態は筒形で、ややフラスコ状を呈している。

⑤ 3-1-8号井戸 (第173図、図版72)

**概要** 本井戸は3区北西部に所在し、17・18号土坑と重複するが新旧は特定できなかった。

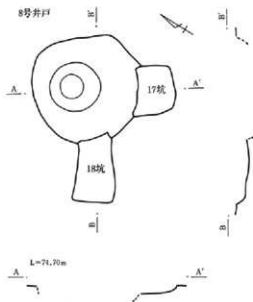
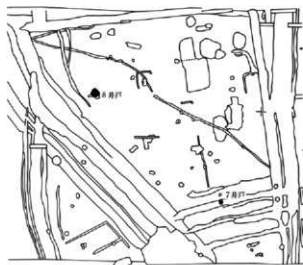
出土遺物はなく時期特定には至らなかったが、覆土の状況等から概ね中世の所産と判断している。

湧水層の所見については記録できていない。

規模 径172×165cm 深さ165cm

構造 本井戸は概ね円形のプランを呈している。

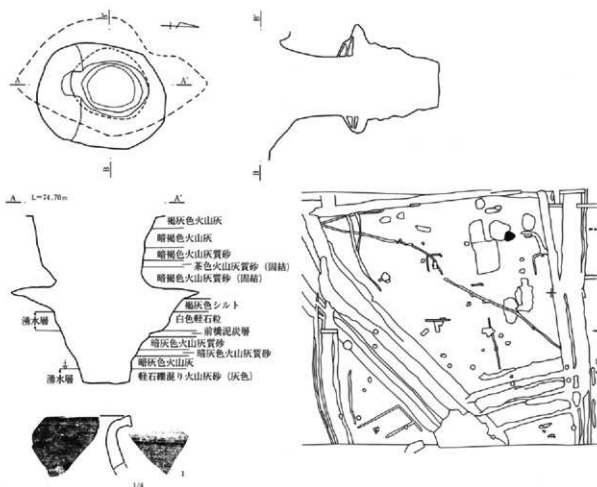
比較的大きな形態を有する井戸であったが、掘削形態は全体として朝顔形を呈している。下位は径78×77cmの桶状のもので、掘削位置は上場に対し北西に偏っている。



L=71.70m

第173図 3-1-7・8号井戸

第3章 発見された遺構と遺物



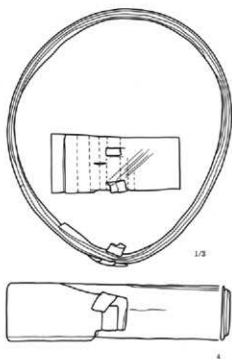
第174図 3-1-9号井戸及び出土遺物

20 3-1-9号井戸（第174図。図版72・94・95）

概要 本井戸は屋敷遺構北東部に位置する。

下位層から遺物の出土があり、産地不明の焼締陶器甕片(1)や龍泉窯系青磁碗片(2,3)、曲物の側(4)が見られた。また南側で馬の頭蓋骨が出土したが、北頭位西向で横倒しの状態にあること、1体分の頭蓋骨のみの出土であることから意図的に置かれたものと思慮される。また底部付近では藁を編んだ土留め椀のもの出土も見られた。これらと覆土の状況から本井戸は中世の所産と判断される。

本井戸は中位にアグリを有し、アグリの上端では



タナ落ちもあって大きく抉れている。また確認面下1.5～1.8mの軽石層(As-YP)と2.4m以下の軽石混じりの火山灰砂層が湧水層となっている。調査時点での湧水量はさして多くなかったが、アグリの形成から貯水量はかなりあったことが窺われる。

また、本井戸は後述する掘削形態からハネツルベを伴う構造であった可能性が考慮されるが、該当する枕の打設等の痕跡は確認できなかった。

尚、確認面下2m以下は自然堆積層であったが、それより上は人為的に埋め戻されている。

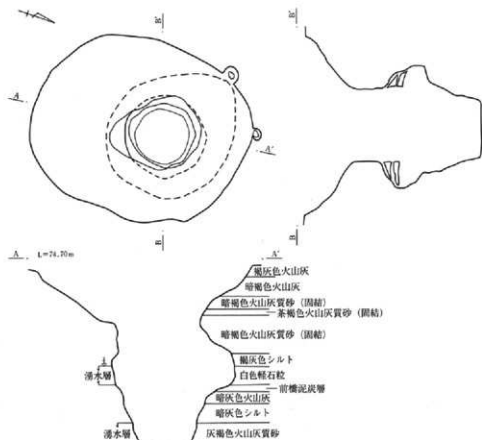
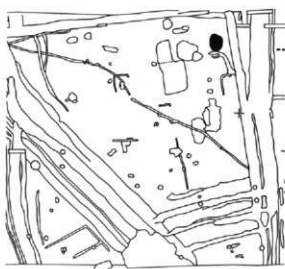
規模 径203×160cm 深さ270cm

構造 本井戸は南北に主軸を持つ楕円形のプランを呈する。

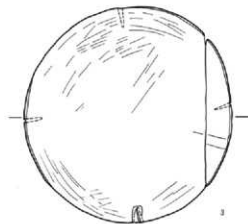
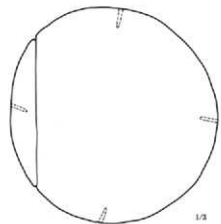
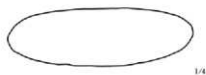
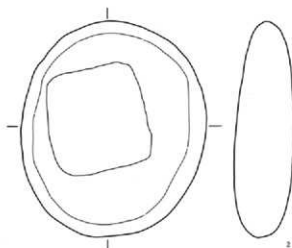
掘削形態は基本的には筒形だが、上位は開き、中位はアグリとタナ落ちで大きく広がる箇所があり、下位はその影響で楕円の形状を見せている。

また南側壁

面には幅40cm奥行き33cm高さ100cm程を測る人為的に施された抉れが見られる。



第175図 3-1-10号井戸



2) 3-1-10号井戸

(第175～177図、図版72・94～96)

概要 本井戸は屋敷遺構北東隅部に所在する。

北側の肩には新旧関係は不特定の3-1-3068・3069号ピットが接し、後述する南南東壁に見られる抉れの状況と併せてハネツルベ設置の可能性が考慮される。また南側の肩に接して本井戸に伴う排水溝と考えられる3-1-25号溝が掘削されている。

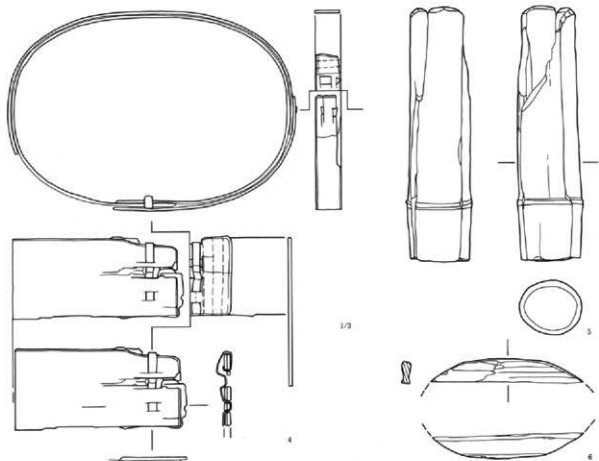
本井戸からは渥美産の焼締陶器壺片(1)や柱の当たり痕のある扁平な礎石(2)、曲物(3,4,6)の出土が見られた他、廃棄に伴う祭祀に使用された可能性を持つ節の抜かれた竹材(5)も見られた。また、確認面下2m付近と2.7m付近から土器片や50個程の人頭以上の大きさの礫の出土があった。こうした出土遺物と覆土から本井戸は中世の所産として把握されるものである。尚、25号溝が本井戸に伴うものとすれば、本井戸は東側の堀が3-1-27号溝であった時期の遺構として解釈される。

本井戸にはアグリとタナ落ちが見られた。また底面から40cm程は自然堆積層があるが、全体的には

人為的に埋め戻されている。

湧水層は確認面から1.6～1.9mの軽石層(As-YP)と2.5m以下に在る細砂層の2層で、何れにもじみ出る程度の湧水量であったが、アグリのあることから水量はある程度確保されていたことが窺われる。尚、貯留水量は1.8t程にもなる。

第176図 3-1-10号井戸出土遺物(その1)



第177図 3-1-10号井戸出土遺物（その2）

規模 径340×280cm 深さ265cm

構造 本井戸は南北を主軸とする楕円形プランを呈するが、下位では径122×110cm程の円形プランを呈する。

掘削形態は上位は朝顔形、下位は筒形を呈する地山井筒朝顔型の井戸と推定される。中位やや下寄りにアグリとタナ落ちがあり厚み1m、奥行き60cm程に大きく抉れている。また南南東の壁面には、3-1-9号井戸程ではないが、幅75cm、奥行き24cm程の抉れが見られる。

#### ④ 3-1-11号井戸（第178図、図版73・95）

概要 本井戸は屋敷遺構東側である3-1-26号溝掘削時に確認、調査された。

出土遺物も無く時期特定には至らなかったが、覆土の状況と、時期は異なるが後述する3-1-12・13

号井戸と併せて屋敷遺構東側の堀・溝のラインに沿うことから屋敷遺構に伴う時期の所産と判断している。尚、井戸の掘削所見から、本井戸は26号溝灰絶後暫く経ってから掘削されたものと判断される。

埋土は底面より80cm程は自然堆積であるが、その上は人為的に埋め戻されている。

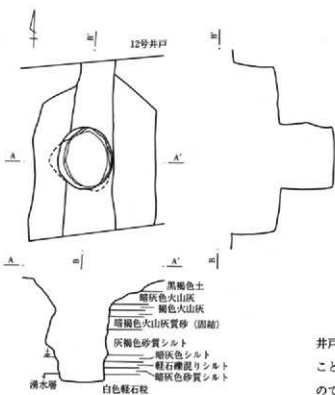
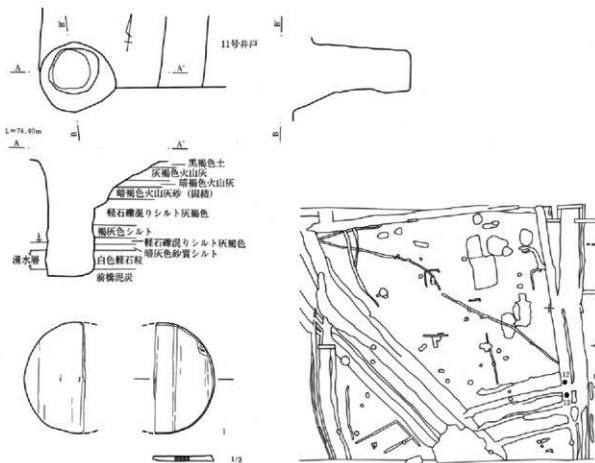
確認面下1.4～1.7mの軽石層（As-YP）湧水層である。水量はにじみ出す程度だったが、貯水量は約250ℓである。

規模 径120×110cm 深さ180cm

構造 本井戸は横断面形としては隅丸方形を呈するが、確認面付近に対し下位は45°傾斜き軸の違いがある。

掘削形態は上位で開き、中位以下は下位で若干影らみを有するが、全体としては筒状を呈する地山井筒朝顔形である。

第3章 発見された遺構と遺物



第178図 3-1-11・12号井戸及び出土遺物

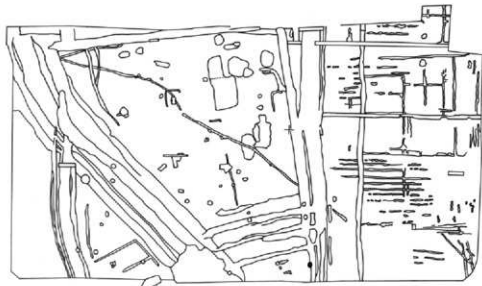
24 3-1-12号井戸

(第178図、図版73)

概要 本井戸も3-1-11号井戸同様3-1-26号溝掘削時に確認されている。

出土遺物も無く時期特定には至らなかったが、井戸の掘削所見によると埋土のうち確認面下1.1~1.3mに在った腐食した根を多く含む灰緑色泥質土が堀底の自然堆積層の沈下したものと判断されるため、本井戸の方が26号堀より古いものと判断している。尚、時期は異なるものもあるが、3-1-11・13号井戸と共に東側を画する溝に沿って掘削されていることから屋敷遺構に伴う時期の所産と判断されるものである。

埋土は底面より30cm程は本井戸の自然堆積層、



その上20cmは上述の26号溝の自然堆積層で、その上は人為的に埋め戻されている。

確認面下1.5の軽石層 (As-YP) が湧水層である。やはり水量はにじみ出す程度だったが、アグリが見られることから安定した水量はあったものと思慮される。貯水量は200ℓ程であった。

規模 径120×110cm 深さ180cm

構造 本井戸は上位が壊されていて全体の形状はつまびらかでないが、残存する下部についてみるとプランは南北に主軸を取る楕円形を呈する。

掘削形態は筒形を呈するが、残存部中位で奥行き12cm程のアグリがある。

#### (2) 3-1-13号井戸 (第179図、図版73)

概要 本井戸は屋敷遺構南東、南側郭内に位置する。

3-1-29号溝の西側に重複する。掘削所見から埋土は底面より20cm程は自然堆積層、その上に1m程の人為的埋土があり、20cmの自然埋土が乗ることを確認しているが、中者が29号溝の覆土と解釈されるため、本井戸の方が29号溝より古いものと判断される。

出土遺物も無く時期特定には至らなかったが、上述の所見と掘削位置から屋敷遺構に伴う時期の所産と判断される。

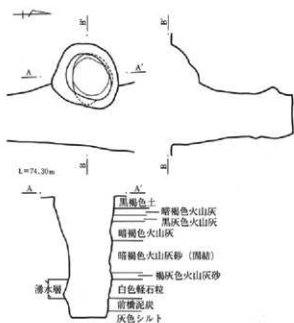
確認面下1.3~1.6mの軽石層 (As-YP) が湧水層である。湧水量はにじみ出す程度だったが、アグリ

が見られることからある程度の水量はあったものと思慮される。貯水量は170ℓ程であった。

規模 径100×97cm 深さ190cm

構造 本井戸は北東-南西方向に主軸を取る楕円形プランを呈する。

掘削形態は上位が開き・下位が筒状を呈する井筒朝顔型である。湧水層部分で奥行き10cm程のアグリが見られる。



第179図 3-1-13号井戸

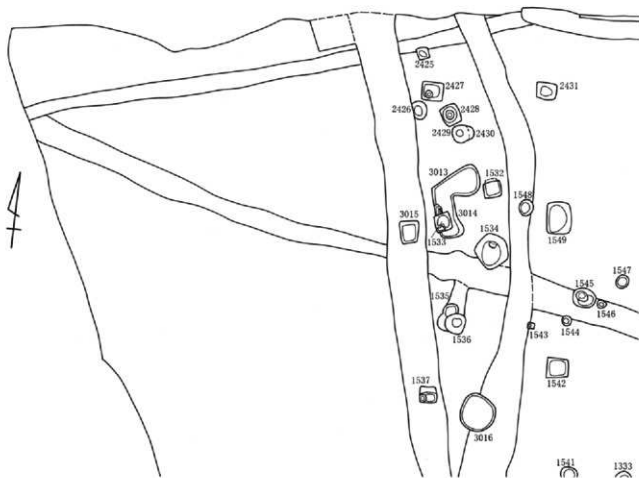
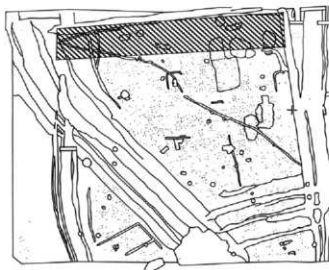
### 第3章 発見された遺構と遺物

#### 6. 屋敷遺構内部の柱穴群

(第180～192図、図版74～76・95～99)

概要 屋敷遺構の内部、凡そ40m四方の範囲には集中的に分布する2,726基のピットを確認した。これらのピットにはその規模から推して小型土坑や枕の打設痕も含まれるものと判断されるが、大半は柱穴として把握しうるものであった。ピット群に対しては詳細な調査を行いたかったのではあるが、調査期間等との関連から殆どのピットは丸掘りせざるを得ず、今日的水準に照らせば充分な記録化を行うことができていない。

また当然行うべきピット群からの建物の抽出作業

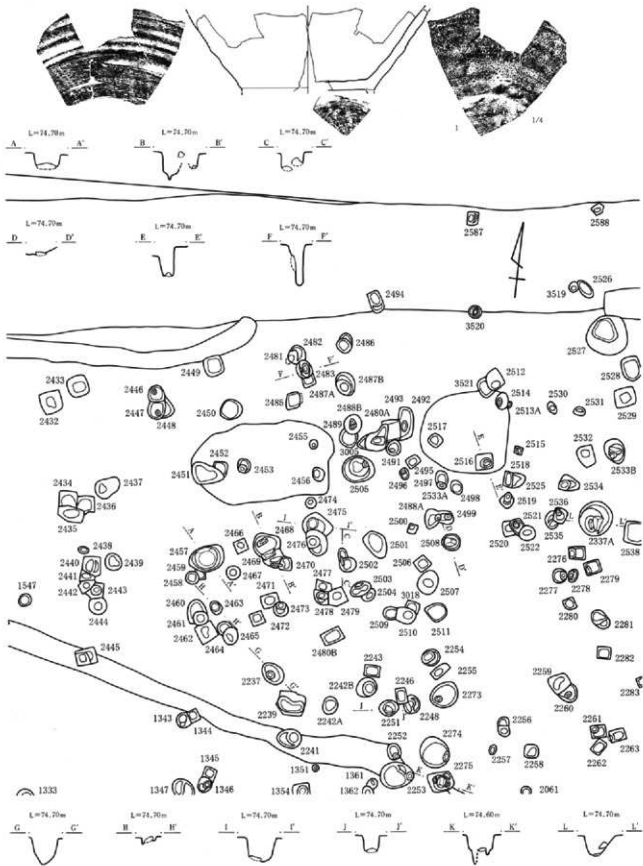


第180図の(1) 3区1面屋敷遺構北部北側の柱穴群

についても、若干の作業を試みてはみたものの最高12基のピットが重複するなど切り合い関係がかなり

複雑な状態であった上に、筆者の能力不足と時間的制約もあり、想定した建物の正確さに確信が持たな





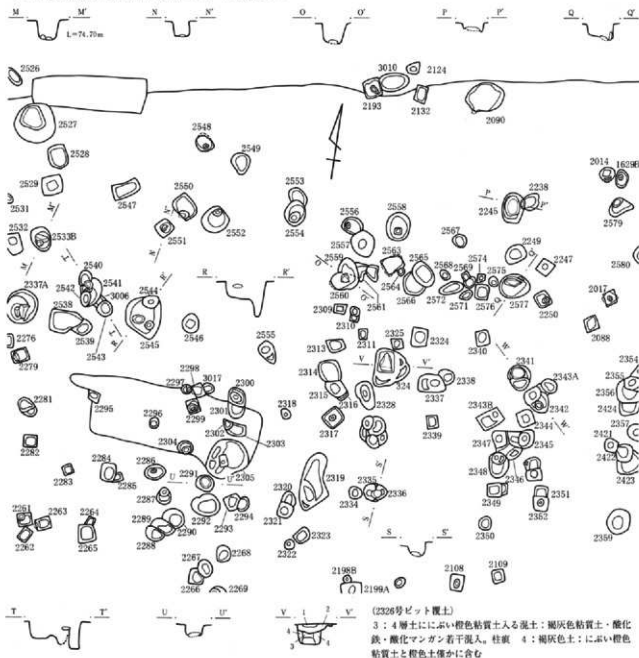
第180図の(2) 3区1面屋敷遺構北部北側の柱穴群及び出土遺物

### 第3章 発見された遺構と遺物

かったため、現場での抽出作業を断念したのである。尚、ピットからの建物抽出については、後日、宮本長二郎先生のお手を煩わせて72棟の建物及び15の柱穴列を取り出して載くことができた。取り出して載いたこれらの建物等については第5章(319頁)に述べることにするが、本項ではピットそのものの状況についてのみ記載することとした。

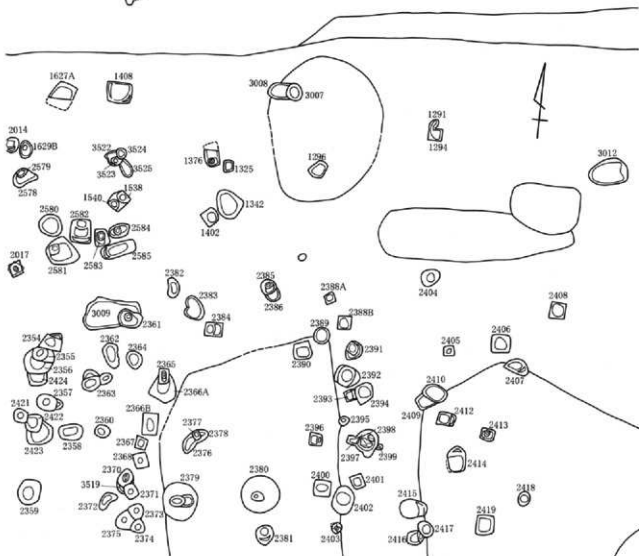
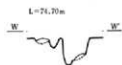
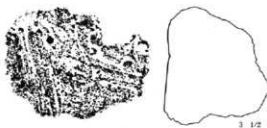
尚、遺構確認段階で確認することのできたピットの新旧関係及び重複箇所に於けるピットの形状につ

いては、破線等を以って平面図に書き加えている。また方形プランのピットについては円形プランのピットとの識別をしやすいするため、平面図上若干その形状を強調して記載している。この他、現在一部資料の所在確認できなくなっているため、Y軸300~310ライン付近の柱穴の調査時点での番号が特定できなくなっており、調査段階で登録漏れとなっていたピットの番号と併せて3000番代の番号で付け



第180図の(3) 3区1面屋敷遺構北部北側の柱穴群

第3節 3区の遺構と遺物



(2327号ピット覆土)

1 : 褐色土と2層の混土 2 : A+B混濁灰色砂質土 :  
 におい・褐色・褐色粘質土と褐色土含む

第180図の(4) 3区1面屋敷遺構北部北側の柱穴群及び出土遺物

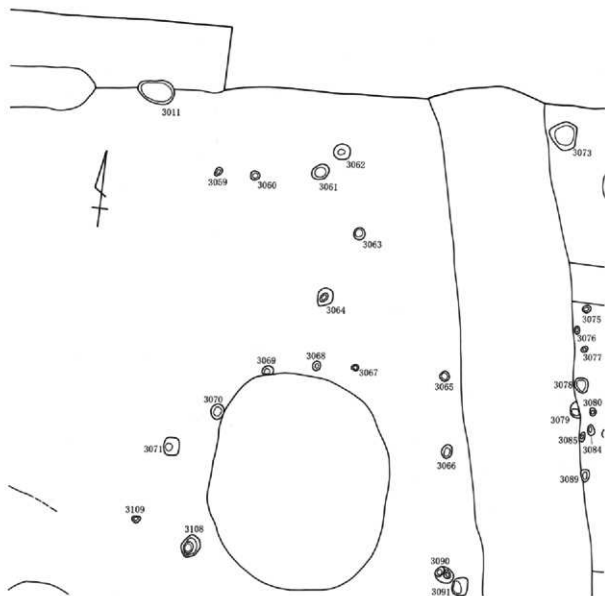
直したため、一部出土遺物の出土ピットの特定がで  
 きなくなっている。

### 第3章 発見された遺構と遺物

ピットの形状及び規模 個々のピットの規模等については403～418頁の第53～68表に記した。以下には全体的な傾向について述べることにする。

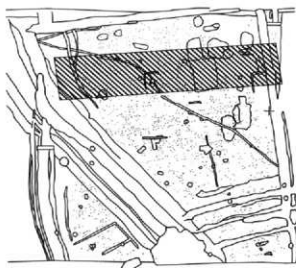
屋敷遺構内に発見されたピットのうち、そのプランを確認することのできたものは2,675基を数えた。これらのピットのプランを観察すると、大きくは円形のものと同方形のものに大別でき、このうち1,415基が円形、1,260基が方形を呈するものとして認識することができた。パーセンテージでみると前者が52.9%、後者が47.1%で、若干円形のものが多いがその数量はほぼ均衡している。

また、その径は77cm以下を測り、平均で25.64cm、深さは124cm以下を測り、平均で25.29cmであった。このうち径について、概ね東西方向に向く軸の長さと同南北方向に向く軸の長さとは比較すると、前者は平均で25.30cm、後者は平均で26.42cmを測り、南北方向に向く軸の方が東西方向に向く軸の長さより若干長いことが分かる。一方、主軸とこれに直交する軸の長さを共に測定できたピットの径は平均で25.64cmを測ったが、このうち円形プランのピットの径は平均25.56cm、方形プランのピットの径は平均で25.76cmであり、その規模に於いて円形及び(◻)

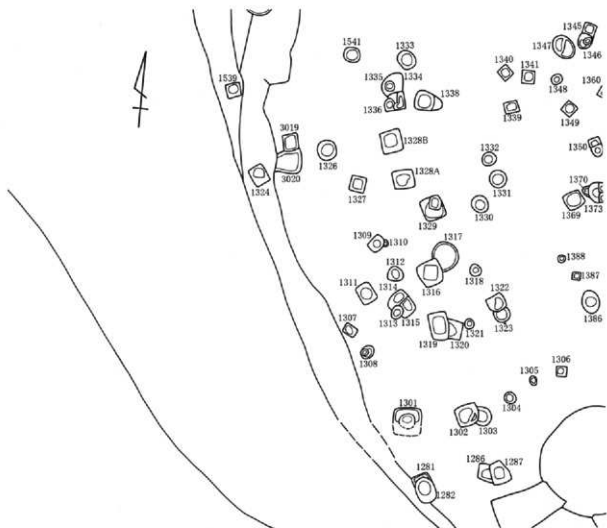


第180図の(5) 3区1面屋敷遺構北部北側の柱穴群

### 第3節 3区の遺構と遺物



さて、主軸とこれに直交する軸の長さを共に測定することのできたピット2,002基について、これらのピットの軸の長さの平均を寸に換算(端数切捨て)すると1寸から21寸までのものがあり、その平均は7.97寸であった。ピットの数量は7寸径の316基をピークに5~9寸径で200基以上、4~12寸径で100基以上を数え、15寸径以下のピット数量はほぼA状の分布状況を示し、16寸径以上は2~16基という数量で不規則な分布を見せている。尚、径の小さいものは杭の打設痕或いはピット底面のみ確認されたものと認識され、板に径5寸(約15cm)以下のものがこうしたピットであると定義すると、柱穴と認識さ



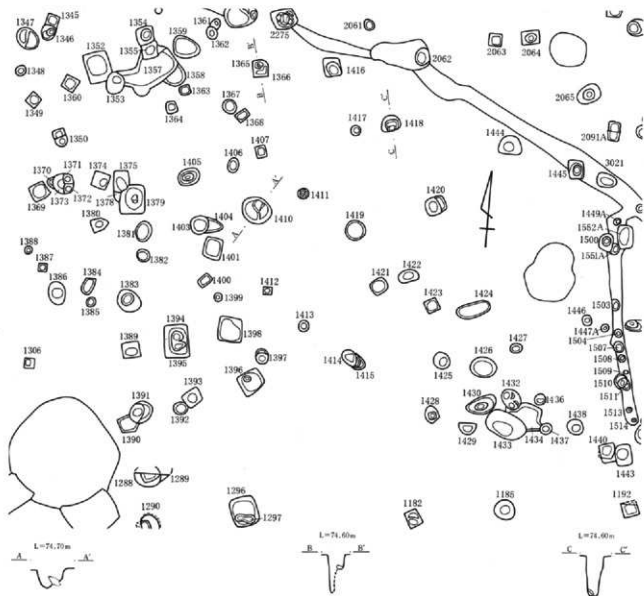
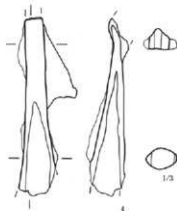
第181図の(1) 3区1面屋敷遺構北部南側の柱穴群

方形プランのピットの平面規模に於ける差異は殆ど認められなかった。

れるものは1,595基(79.7%)を数え、径の平均は8.9寸(約27cm)となる。

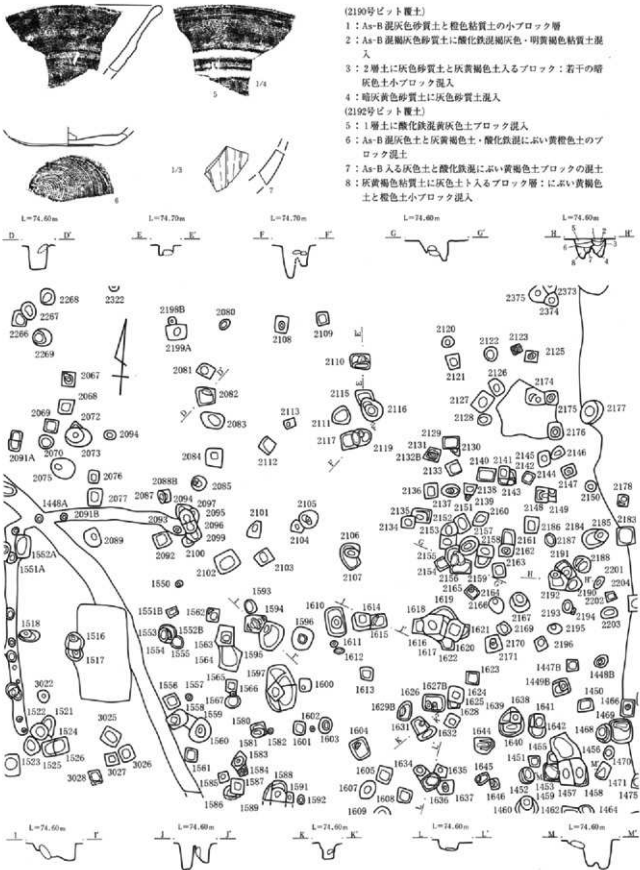
### 第3章 発見された遺構と遺物

主軸とこれに直交する軸の長さが共に測定できたピットのうち、平面形が円形のは1,074基、方形のは928基であった。径の平均は前者が7.97寸、後者は8.00寸で大きな違いはなかったが、径の大きさに対するピット量の分布を見ると、円形のもの7寸の156基をピークに4寸と12寸を変換点とする釣鐘状の分布を示し、方形のものは6寸の157基、7寸の160基をピークに4寸と11寸を変換点とする富士山様の分布状況を示していた。尚、円形プランのものでは5-9寸径ものが、後者では6-9寸径のもので100基以上の数量を数えた。



第181図の(2) 3区1面屋敷遺構北部南側の柱穴群及び出土遺物

第3節 3区の遺構と遺物

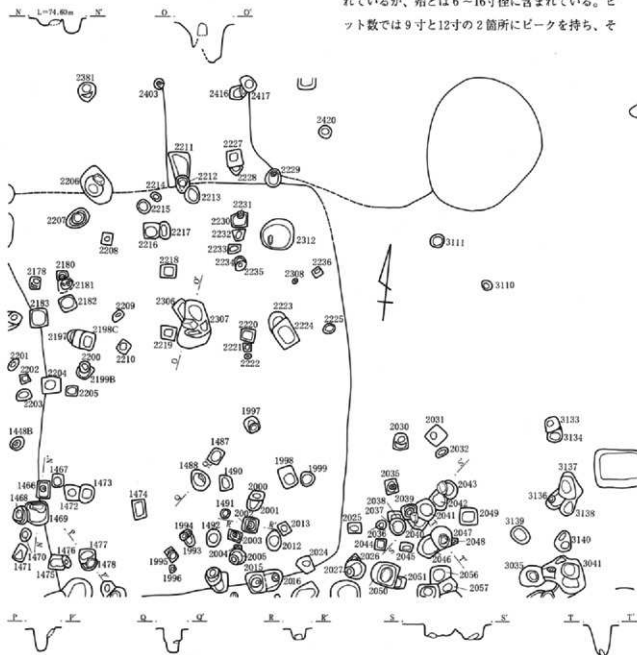


第181図の(3) 3区1面屋敷遺構北部南側の柱穴群及び出土遺物

### 第3章 発見された遺構と遺物

**礎石** 本項に報告している屋敷遺構内所在ピットの中には、礎石が掘えられていたものが幾つか認められた。その数は193基を数えたが、ピット全体に対する比率は7.3%と全体としては決して多く見られるものではなかった。しかしながら、溝に投棄されたものの中にも礎石と認識されるものがあったことから推して、1割程度のピットには礎石が掘えられていたのではないかと推定される。

礎石の掘えられているピットの中で径のはっきりしているものは129基で、このうち円形プランのピットは66基、方形プランのピットは63基を数えたのであるが、礎石の有無と平面形態との間に相関関係は認められなかった。その径は16~64cmと間きがあったが、平均で34.01cmを測った。その規模の平均は円形プランのピットが34.98cm、後者が32.99cmと円形プランピットの方が若干大きい。これを寸単位で見ると、5~21寸径のピットに礎石が確認されているが、殆どは6~16寸径に含まれている。ピット数では9寸と12寸の2箇所にピークを持ち、そ



第181図の(4) 3区1面屋敷遺構北部南側の柱穴群及び出土遺物



それぞれ17基、18基を数えたが、8・9寸及び11～13寸径のものはそれぞれ10基以上を数えた。礎石の掘えられているピットは、ピット全体に対してやや径の大きなものが多かった。

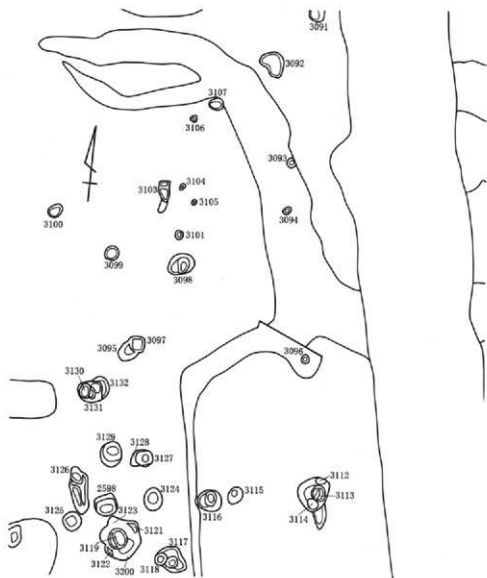
ピットに掘えられた礎石は殆ど扁平な川床礫で、径は10～26cm程で、厚みは15～16cm程のものを中心としている。また、これらの礎石には柱材の当たり痕（摩擦痕）が残るものも認められたが、残された摩擦痕の形状は方形のものが殆どで、径7cmから9cm（2.5～3寸）程度のものを多く測ることができている。

柱痕 先に述べたように柱穴の調査では殆どのピットを丸堀りしてしまっているため、平面図以外の記録を残せたピットは極めて少なかったのであるが、このうち僅か3基ではあるが土層断面の観察に於いて柱痕を確認している。確認された柱痕の径は10～15cm程であった。これは礎石に残る柱の当たり痕に比べ1.5倍程の太さとなるが、その境となる3寸という柱材の太さが礎石使用の目安となっていた可能性が考えられる。

また、調査した柱穴群のうち350基のピットからは、底面に柱の荷重によるものと判断される塑性変

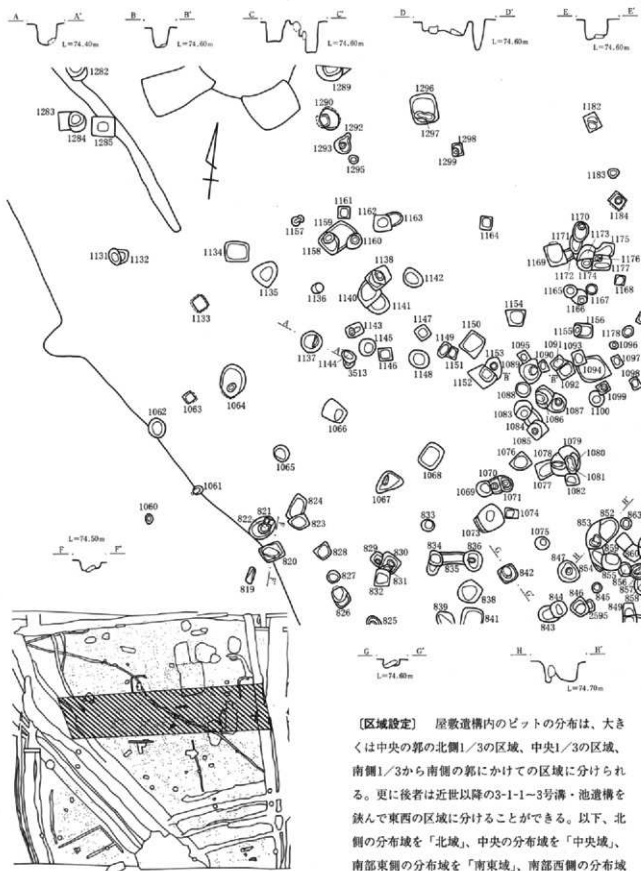
形らしい窪みが確認されている。その平面形態には柱穴と同様円形のものと同方形のものがあり、前者では177基、後者では172基を数えた。その規模は円形のもので平均16.77cm、方形のもので平均12.78cmの径を測り、断面観察に見られた柱痕の径に近似した値を示している。

柱穴底面の窪み部分の面積は平均で192.0cm<sup>2</sup>を測った。このうち円形プランのピットの径では平均220.9cm<sup>2</sup>、方形プランのピットの径では平均で163.4cm<sup>2</sup>を測った。鳥羽遺跡での貫入試験成果（石守 1986）を援用するならば、1本の柱の支えた荷重は円形プランのもので平均146kg程度、方形プランのもので平均108kg程度であったと推定される。



第181図の(5) 3区1面屋敷遺構北部南側の柱穴群

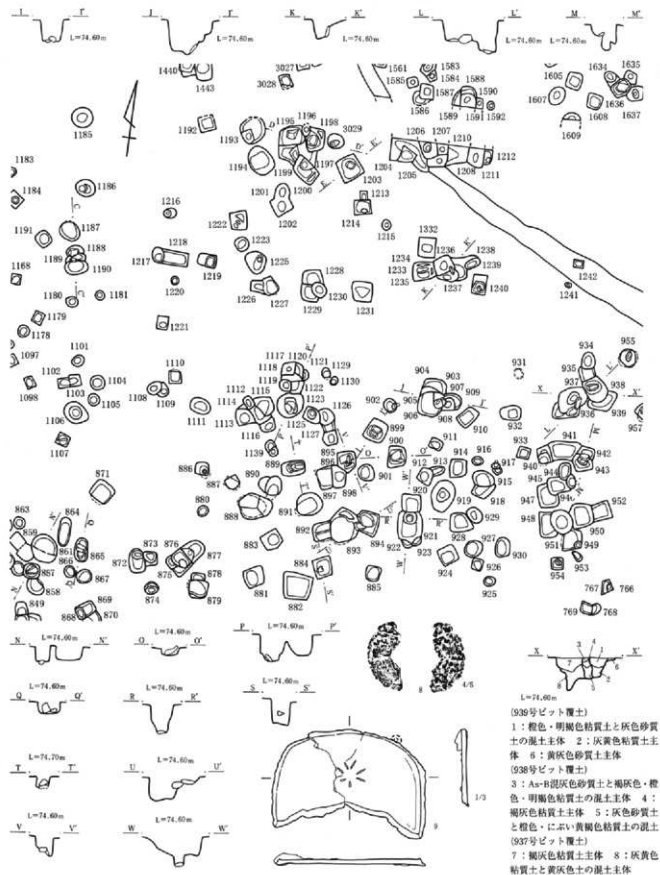
第3章 発見された遺構と遺物



第182図の(1) 3区1面屋敷遺構中部北側の柱穴群

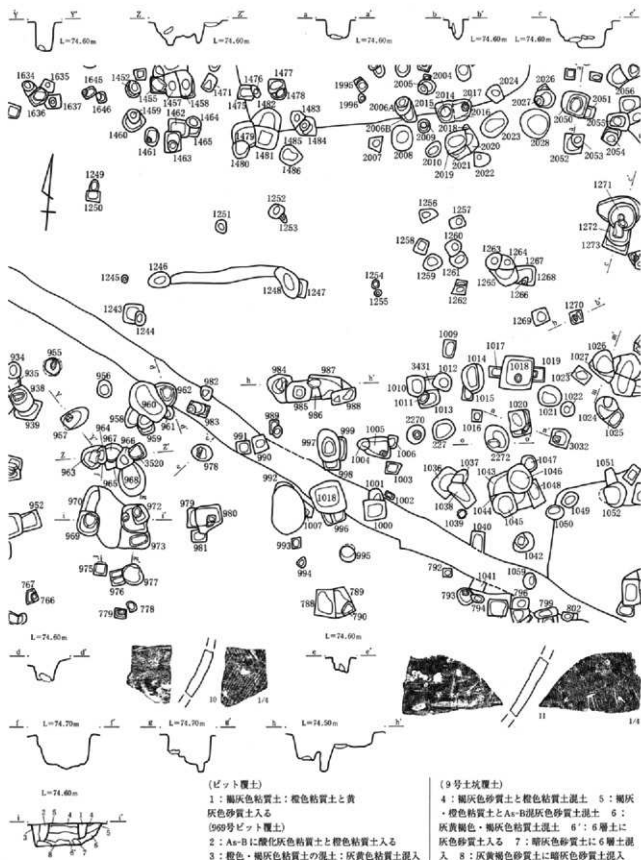
【区域設定】 屋敷遺構内のピットの分布は、大きくは中央の郭の北側1/3の区域、中央1/3の区域、南側1/3から南側の郭にかけての区域に分けられる。更に後者は近世以降の3-1-1~3号溝・池遺構を挟んで東西の区域に分けることができる。以下、北側の分布域を「北域」、中央の分布域を「中央域」、南部東側の分布域を「南東域」、南部西側の分布域を「南西域」と呼称することとする。

第3節 3区の遺構と遺物

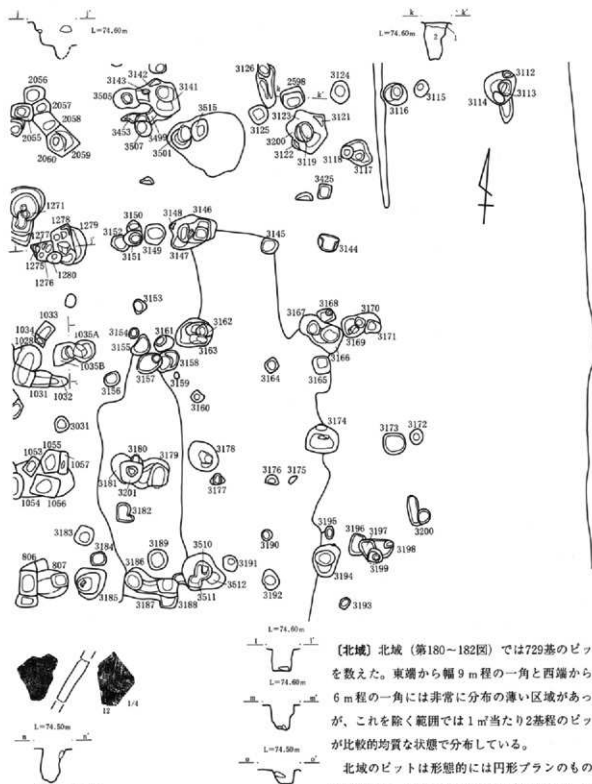


第182図の(2) 3区1面屋敷遺構中部北側の柱穴群及び出土遺物

第3章 発見された遺構と遺物



第182図の(3) 3区1面屋敷遺構中部北側の柱穴群及び出土遺物



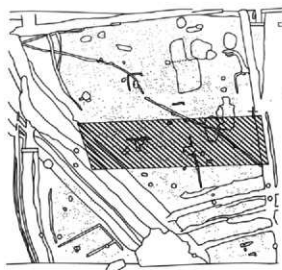
第182図の(4)

3区1面屋敷遺構中部北側の柱穴群及び出土遺物

ピットの分布と特徴 次に上記区域毎の特徴等述べることにする。

【北域】北域(第180~182図)では729基のピットを数えた。東端から幅9m程の一角と西端から幅6m程の一角には非常に分布の薄い区域があったが、これを除く範囲では1㎡当たり2基程のピットが比較的均質な状態で分布している。

北域のピットは形態的には円形プランのものが56%を占め、やや方形プランのものより多い。その径は平均26.35cmと全体の平均値より僅かに大きい。円形プランのものでは平均26.51cmと全体の平均値より大きいもの、方形プランのものは25.38cmと全体の平均値よりは小さい。また、ピットの寸単



位（端数切捨て）に換算した径毎の大きさとそれぞれの大きさのピット数量との関係は、屋敷遺構全体のピットに見られたのと似たような傾向を示していたが、そのピークは6～7寸径にあった。

さて、北城で礎石を据えているピットは34基であったが、これは北城のピットの4.7%に当たり、屋敷遺構全体のピットに占める礎石使用ピットの割合に対し低い値を示している。

尚、北城では7×4 m程の規模のものを中心とする建物が9棟抽出されている。しかし、中央部では一時期奥殿となるような規模を持つ建物も建てられていた。

〔中央城〕中央城（第183図）では1,199基のピットを数えている。このうち中央城西部では259基のピットがあり、この区域では北城中部と似たようなピットの分布状況を見せていた。一方、中・東部では郭東側の堀沿いに3 m幅程のやや分布の薄い区域が見られたが、これを除く箇所では東西に延びる帯状の集中的なピットの分布が3筋（南から「第1集中城」「第2集中城」「第3集中城」と呼称）確認されている。第1・2集中城は幅2 m程、第3集中城は幅1.5 m程にピットの集中的な分布が見られ、それぞれの集中城は中心ラインで約5.5 m程の間隔を以って並列している。各集中城の中間地域の分布状況は疎であるが、各集中城の中間地域に所在するピット



(3041号ピット覆土)

1：As-B 混雑灰色砂質土と橙色土の混土

2：1層と灰黄褐色・褐色粘質土の混土

(3040号ピット覆土)

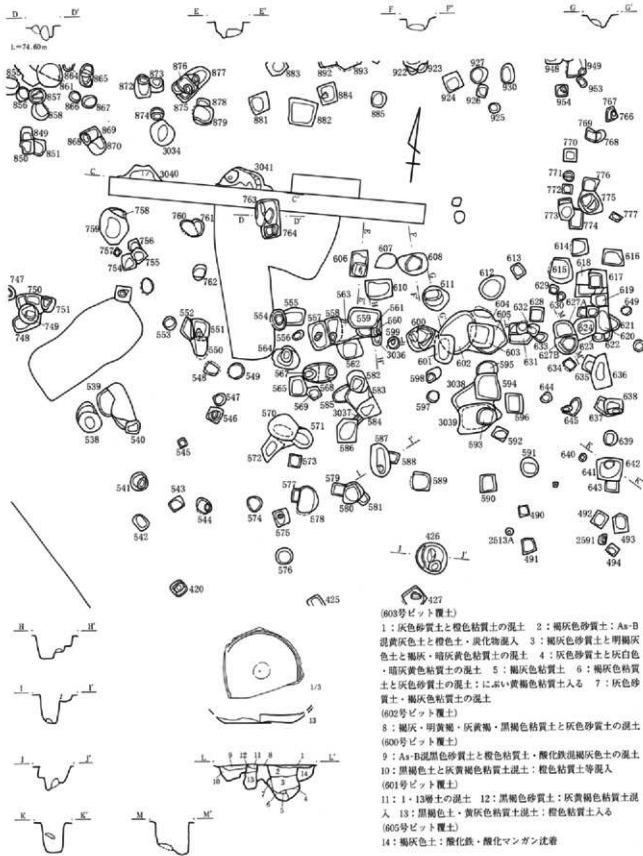
3：橙色土・黄灰色粘質土・黒褐色土・小礫等の混土

(植物根等)

4：にぶい黄褐色土；灰色・橙色土・小礫混入

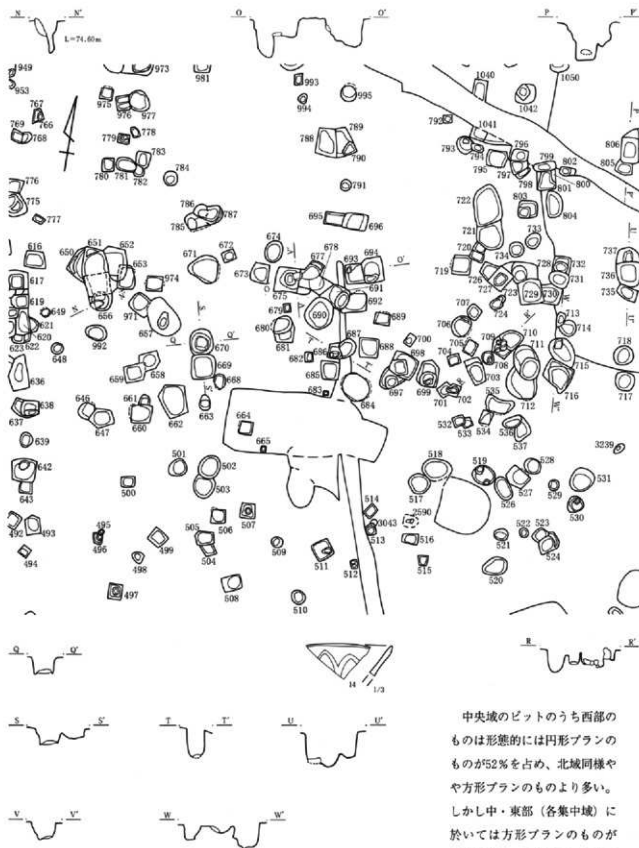
第183図の(1) 3区1面屋敷遺構中部南側の柱穴群

トは南北に連なるようにかたまって分布する傾向が見られるものが多かった。また、第1集中城付近で307基、第2集中城付近で317基、第3集中城付近で316基のピットを確認したのであるが、第1集中城中部西寄りの617号ピット等12基のピットの重複、第2集中城中部の948号ピット等5基の重複、第3集中城では東部で2034号ピットなど8基のピットの重複があったように、多くのピットが重複する箇所が多数見られた。



第183図の(2) 3区1面屋敷遺構中部南側の柱穴群及び出土遺物

第3章 発見された遺構と遺物

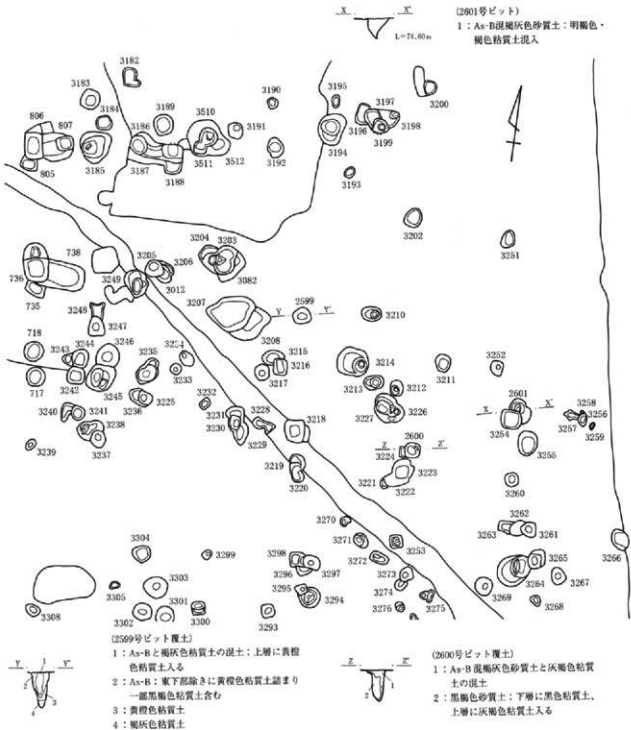


第183図の(3) 3区1面屋敷遺構中部南側の柱穴群及び出土遺物

中央域のピットのうち西部のものは形態的には円形プランのものが52%を占め、北域同様やや方形プランのものより多い。しかし中・東部(各集中域)に於いては方形プランのものが52%を占め、方形プランの方が若干多い。その径は西部



第3節 3区の遺構と遺物

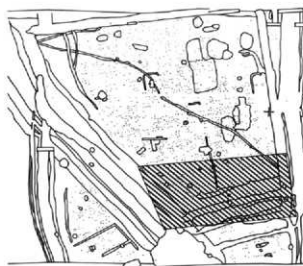


第183図の(4) 3区1面屋敷遺構中部南側の柱穴群

では平均25.37cmと全体の平均値を僅かに下回るが、中・東部に於いては27.10cmと全体の平均値を1.5cm上回っている。中・東部の中でも第3集中域は平均23.37cmと全体の平均を2.3cmも下回っているが、第1集中域では28.28cm、第2集中域では27.21cmと全

体の平均を上回っている。こうした傾向は円形・方形何れのプランのピットにあっても同様で、円形プランでは西部では平均25.44cm、中東部では平均25.51cm(第1集中域: 27.71cm、第2集中域: 26.50cm、第3集中域: 22.36cm)を測り、方形形ブ

第3章 発見された遺構と遺物



L=74.60m



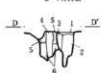
L=74.60m



L=74.60m



L=74.60m



(438ピット覆土)19

1: 灰色砂質土: As-C 多く混入

(437ピット覆土)

2: 灰黄褐色土と3層土のブロック混土:  
橙色砂質土ブロック混入

3: 暗灰色砂質土: As-B・As-C・酸化鉄入  
り、酸化マンガンを混濁灰色粘質土と灰  
色粘質土混入

4: 黒褐色・暗灰色・灰色・橙色砂質土入  
る暗灰色土のブロック混土

(447ピット覆土)

1: 灰色砂質土: 橙色粘質土小ブロックと  
As-B 混入

2: 灰色砂質土: 若干の橙色粘質土入る  
3: 暗灰色粘質土に暗灰色粘質土・暗灰  
色土入るブロックの混土

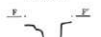
(446号ピット覆土)

4: 灰色砂質土: 橙色粘質土・黒褐色土若  
干混入

5: にぶい黄褐色粘質土に4層土と橙色粘  
質土入るブロック層

6: 暗灰黄色粘質土: 灰色砂質土ブロック  
入る

L=74.60m



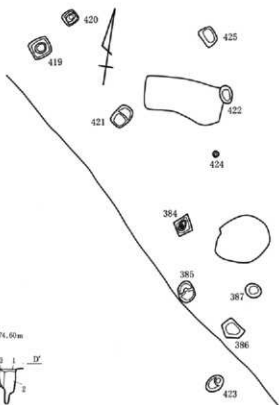
L=74.40m



L=74.60m



ランでは西部では平均25.29cm、中東部では平均  
27.09cm（第1集中域: 29.02cm、第2集中域:  
27.93cm、第3集中域: 24.32cm）であった。特に第  
1・2集中域に於ける方形プランピットの径の平均  
値は全体の平均値をそれぞれ3.3cm、2.2cm上回るも  
のであった。尚、中央域のピットの径と数量との関  
係は屋敷遺構全体のものと同様の傾向を見せていた  
が、中・東部にあっては円形のものでは第1集中区



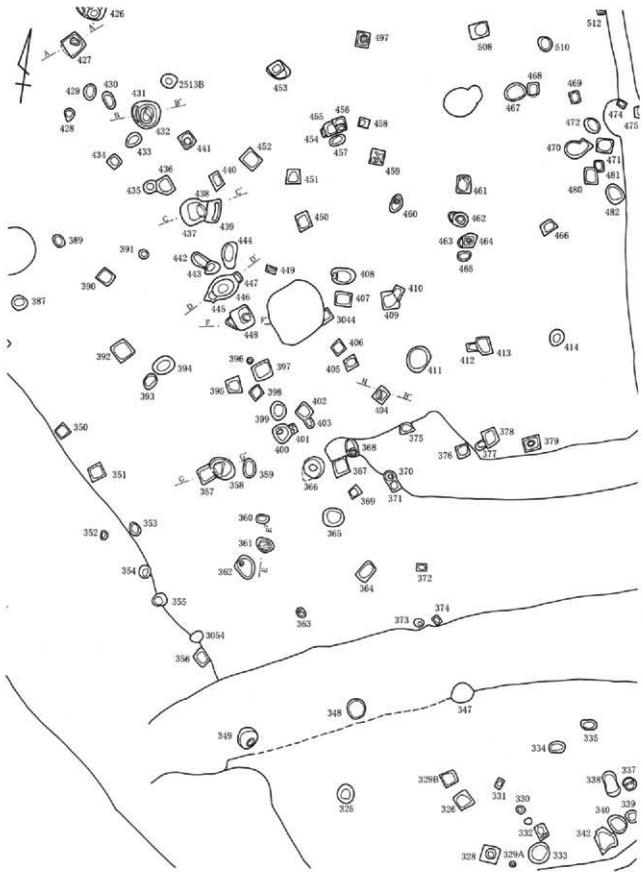
L=74.60m



第184図の(1)

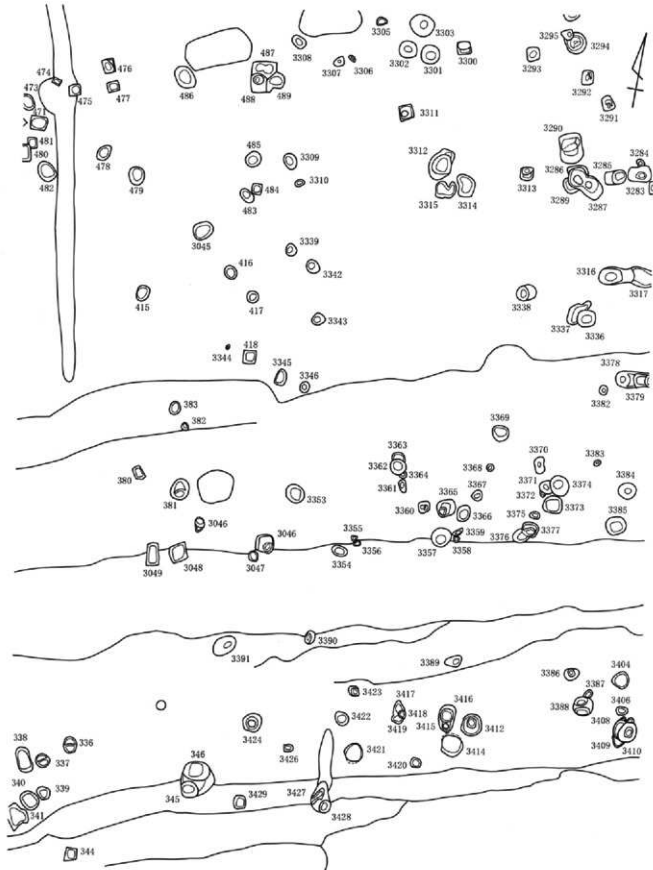
3区1面屋敷遺構南東部北側の柱穴群及び出土遺物

では9寸、第2集中域では6寸、方形のものでは第  
1集中区では9寸、第3集中区では6寸にピークが  
あるなど、ややその大きさに対するピット数の分布  
状況には分散傾向が見られた。

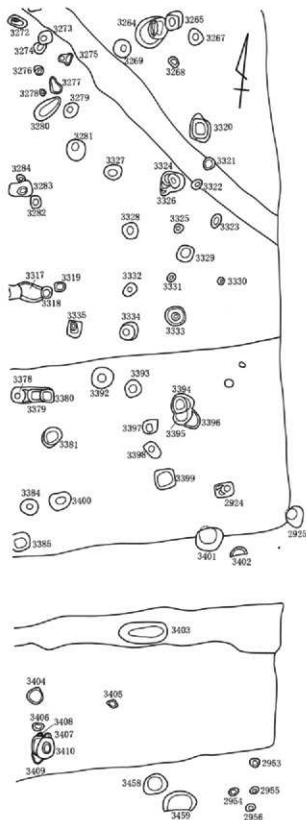


第184図の(2) 3区1面屋敷遺構南東部北側の柱穴群

第3章 発見された遺構と遺物



第184図の(3) 3区1面屋敷遺構南東部北側の柱穴群



第184図の(4) 3区1面屋敷遺構南東部北側の柱穴群

また礎石使用のピットは106基であったが、これは中央域のピットの8.8%に当たり、と全体のピットに占める礎石使用ピットの割合に対し1.6ポイント多い。特に中東部に於ける礎石使用ピット数は93基（第1集中域：25基、第2集中域：45基、第3集中域：23基）、9.9%であり、特に第2集中域に占める礎石使用ピットの割合は14.2%とピット全体に占める割合の2倍の数値を示している。

中央域西部では北域と似たような規模の建物が8棟抽出されているが、中・東部に於いては各集中域を亘とした4面庇を持つものなど主殿様の大型建物が何時期か建てられていたようで、これらを含む13棟の掘立柱建物が見出されている。

〔南東域〕南東域（第184図）に於けるピットの分布は全体に散漫な傾向にあったが、北東部では南東域の中にあつては比較的集中する分布が見られ、西部では近世・近代の溝である3-1-2号溝にの東層から6m程の位置には、同溝に沿うように帯状の集中的な分布が見られた。尚、南東部に於いては450基のピットを確認することができている。

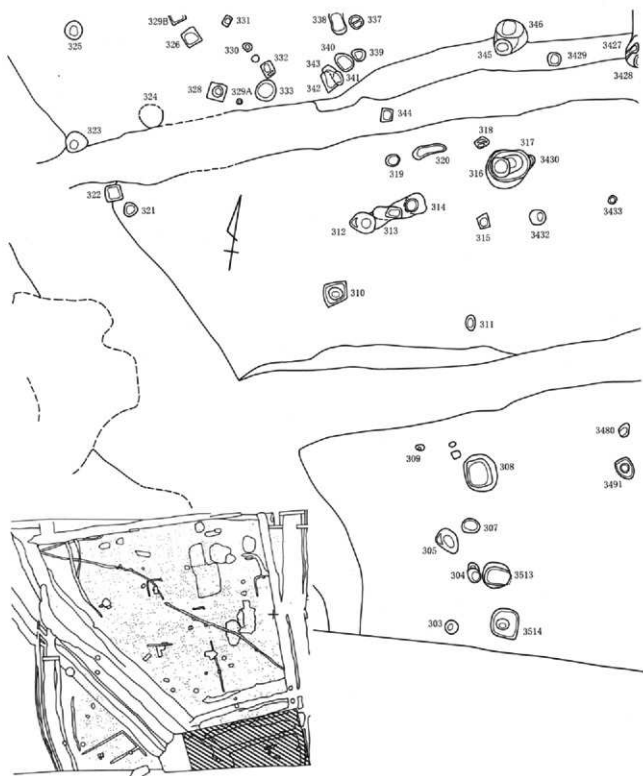
南東域のピットは形態的には円形プランのものが多く62.9%を占めている。その径は平均23.85cmと全体の平均値より2cm余り小さい。このうち円形プランのものは平均23.84cm、方形プランのものは平均23.87cmであった。南東域のピットの径に対する数量の多少についてみると、6〜7寸径クラスのものにピークがあり、15寸径クラス以上のものは少なかった。

礎石使用のピットは14基と少なく、南東域のピットに占める割合は3.1%に過ぎなかった。

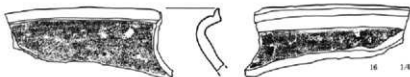
尚、南東域では北部を中心に6×3m程の比較的小型のものを中心とする掘立柱建物が22棟抽出されている。

〔南西域〕南西域（第185図）では屋敷遺構の西側を区切る3-1-4号溝と、その存在が想定される土塁の内郭側に沿って掘削されている3-1-9号溝との間及びその周辺、約8m幅の区域でのピット分布は薄かったが、(3-1-3号溝に切られた範囲を除く)こ

第3章 発見された遺構と遺物

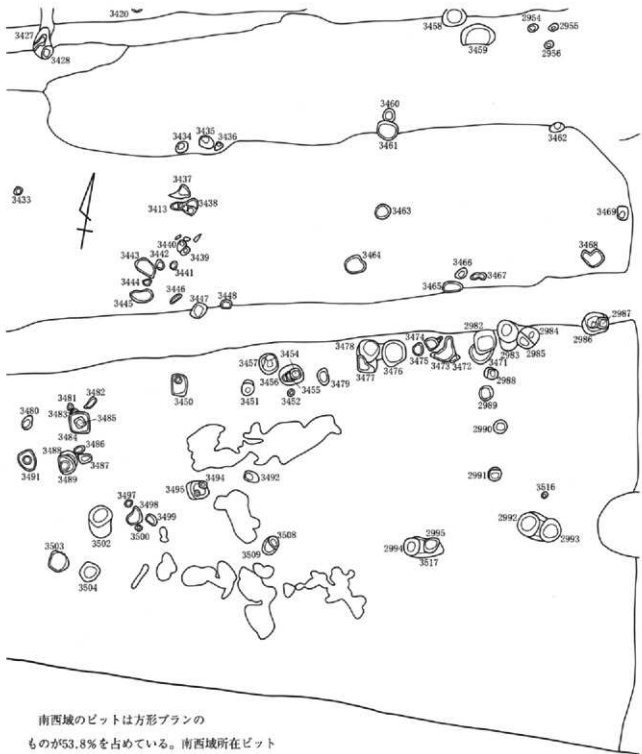


れ以外の区域では中城西部と同等以上のピット分布状態を示し、狭い範囲ながらも301基のピットを確認している。



第185図の(1) 3区1面屋敷遺構南東部南側の柱穴群及び出土遺物

第3節 3区の遺構と遺物

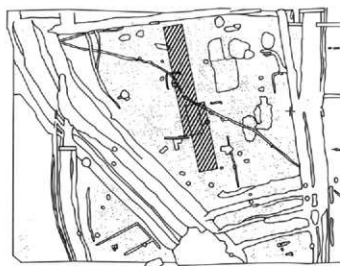


南西域のピットは方形プランのものが53.8%を占めている。南西域所在ピットの径は平均25.79cmと屋敷遺構全体のピットの径の平均値を僅かに上回る。このうち円形プランのものは平均25.96cm、方形プランのものは平均25.62cmで、径に対するピット数量は寸換算(端数切捨て)で7寸径がピークとなり、屋敷遺構全体の傾向に似たものであった。

第185図の(2) 3区1面屋敷遺構南東部南側の柱穴群

礎石使用のピットは30基と多くなかったが、南東域のピットに占める割合は9.97%で、第1～3集中域を含む中央域と近似した数値を示している。

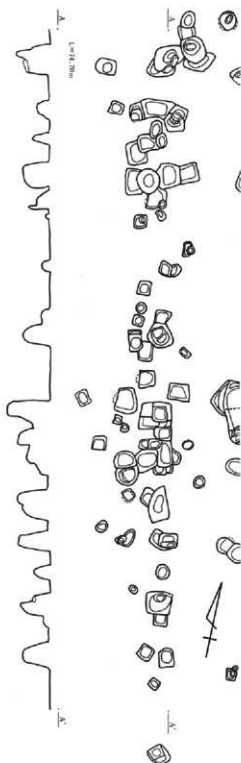
高、南西域では8×5m前後の規模のものを中心



とする掘立柱建物が9棟抽出されている。

**出土遺物** 屋敷遺構内所在ピットでは23基のピットで土器・陶磁器・鉄製品の出土を見たが、その数量は極めて少なかった。このうち中世と思われる時期の遺物は出土地点で見ると北城5点、中城9点、南東城2点、南西城1点であった。この他、193基のピットで礎石の出土を見、1基で馬歯、12基で炭化材の出土を見ている。(ア)

出土遺物には龍泉窯系の青磁碗(7,14,15)、白磁(13)、知多半島産の焼締陶器の播鉢(1,5)と甕(16)、深美半島産の焼締陶器の播鉢(10,11,12)と甕(18)、

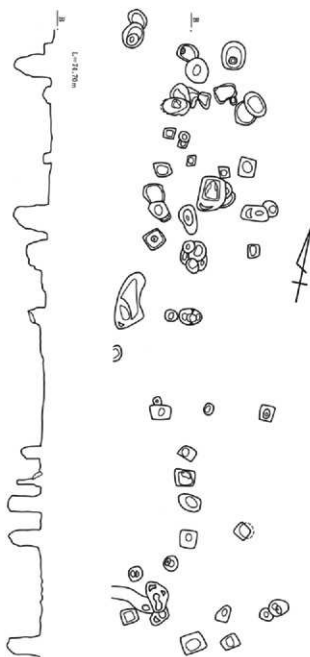


第186図の(1) 屋敷遺構柱穴群集中城南北列



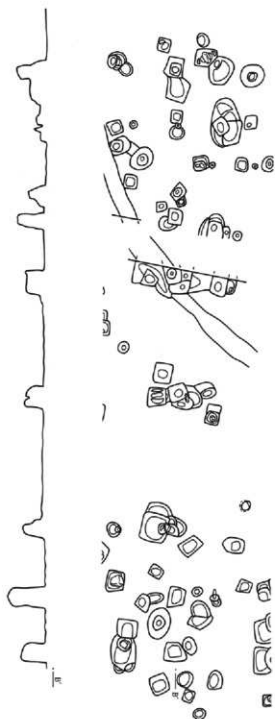
第3節 3区の遺構と遺物

城南半部の主殿様大型建物の北側柱穴の一つ、3-1-948号ピットから出土した鉄製器(9)である。全体に腐食が進行し鉾が欠損しているものの、概ね完形に近い状態である。この器は片面式で上縁と側縁



在地系の陶器皿(6)、産地不明の焼締陶器皿(2)の破片、土師器・須恵器片といった土器・陶磁器、模倣銭若しくはビタ銭の破片(8)、槍鉋様のソケット部分を中心とした箇所が残る鉄製工具(4)、釘(17)といった金属製品、壁土の残欠と思われる土塊(3)、スラグなどがあつた。また上述のように礎石(19-34)もあり、この中には柱の当たり痕を残すもの(19-24)も認められた。

こうした出土遺物の中で注目されたのは、中(ア)



第186図の(2) 屋敷遺構柱穴群集中城南北列

### 第3章 発見された遺構と遺物

が緩やかな弧を描いており、下縁は楔形帯を意識した造りとなっている。表背面の縁辺は折り返されて縁取りがなされ、表面の鍔座は一見放射状に見える枝紋と思われる紋様で、中心は損耗しているようにも見える。細かい出土状況は不明であるが、大型建物の南側底の柱穴である3-1-582号ピットから出土した馬歯と共に、地鎮、或いは建物廃棄に伴う祭祀行為に伴って埋設された可能性が考えられる。

**出土炭化材** 屋敷遺構内所在ピットには覆土中に炭化物を含むものが幾つかあったが、3-1-246・251・258・446・600・615・924・952・1378・2025・2590号ピットとY軸300-310ライン間所在ピット（調査時点2716号ピット）で炭化木片の採取を行った。このうち8点の炭化材については樹種同定を行い、更に4点についてAMS法によるC<sup>14</sup>年代測定を施した。（第4章に報告書掲載）

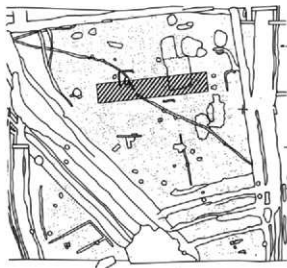
〔樹種同定〕 樹種同定は246・446・600・615・924・952・2025・2716号ピット出土炭化材に対して実施した。鑑定の結果、446号ピット出土炭化材はケヤキ、600号ピットのはコナラ節、924号ピットのはヒノキ科と樹皮付きのクスギ節、2025号ピットのはクリ、2716号ピットのはカツラ及びトネリコ属で、246・615・952号ピットのはタケ亜科と同定された。このように11の樹種が同定され、うち3点がタケ類と判定された。尚、タケ

類は、例えば孟宗竹のような太いタケで、建築材への転用も可能と判断されるものであった。タケ類を出土したピットのうち246号ピットは南西域に在って南北軸の柱穴列を構成するピットの一つである。

615号ピットは中央城南半の四面庇付大型建物の南側柱穴の一



つであり、952号ピットは今回建物抽出の対象とはならなかったものであるが、同建物の北側ピット列に連なる位置にあるものである。出土し



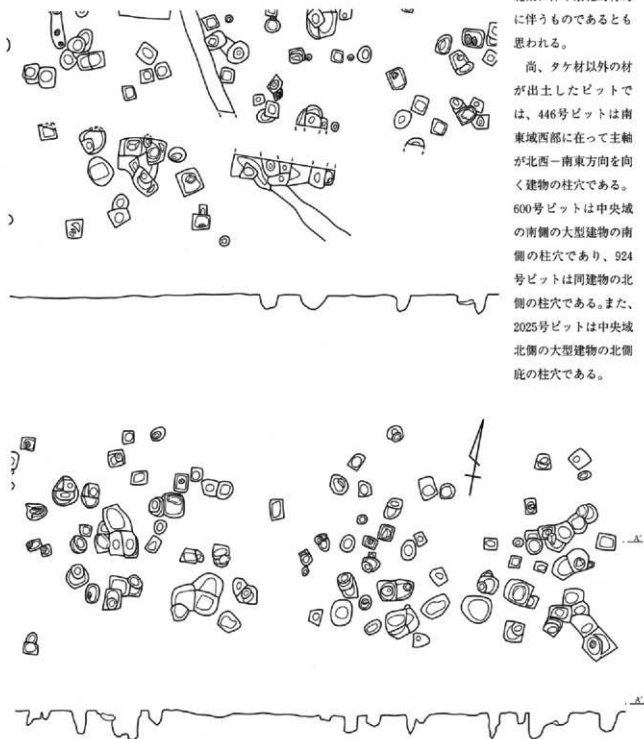
第187図の(1) 3区1面屋敷遺構柱穴群第3集中城東西列

た炭化材が全て柱材であったとは言えないが、タケ材が柱材として使用されたとすると極めて珍しい。タケ材を柱に使用した建物は絵巻物にも見られるが、多くは井戸、厨等簡便な建物である。しかし観応2年(1352)に完成を見た幕絵詞巻第八巻に描かれ

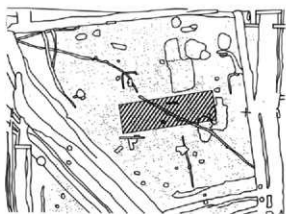
た竹丈庵はしっかりとした建物である。竹丈庵は寺院境内に建てられた特異な例ではあるが、竹材が建材として使用し得ることを示す例であり、タケ材であることを以って建材の使用を否定されるものではない。しかしタケという素材から地鎮、或いは建物

廃棄に伴う祭祀的行為に伴うものであるとも思われる。

尚、タケ材以外の材が出土したピットでは、446号ピットは南東城西部に在って主軸が北西-南東方向を向く建物の柱穴である。600号ピットは中央城の南側の大型建物の南側の柱穴であり、924号ピットは同建物の北側の柱穴である。また、2025号ピットは中央城北側の大型建物の北側底の柱穴である。

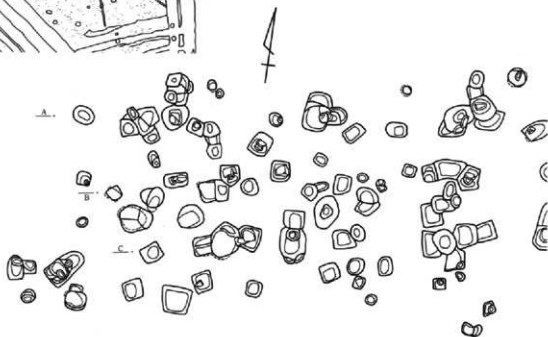


第187図の(2) 3区1面屋敷遺構柱穴群第3集中城東西列

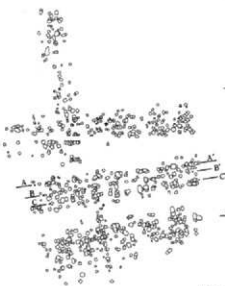


〔年代測定〕年代測定を行った炭化材は、615・952号ピット出土のタケ垂科材、924号ピット出土のヒノキ材、2025号ピット出土のクリ材を用いた。

測定の結果、真の年代が入る確率が95%の場合、615号ピット資料でA.D.1185～1275年、924号ピット資料でA.D.860～980年、952号ピット資料で



L=74.70m



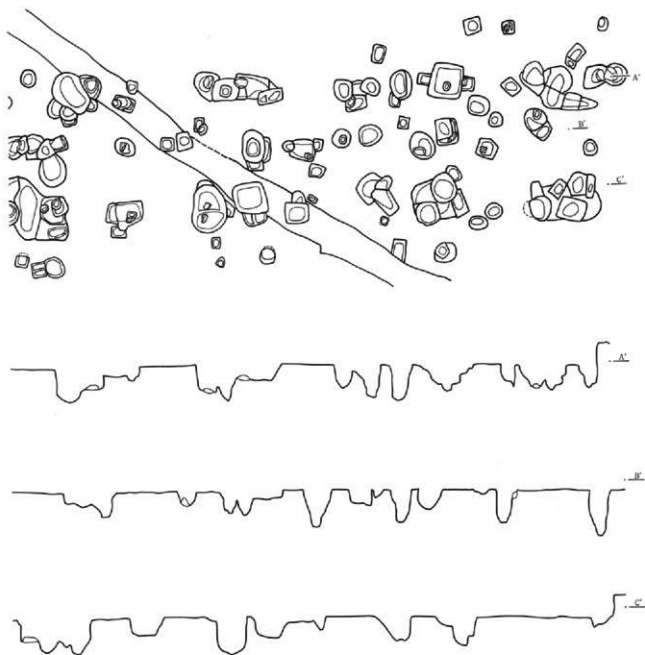
第188図の(1) 3区1面屋敷遺構柱穴群第3集中域東西列

### 第3節 3区の遺構と遺物

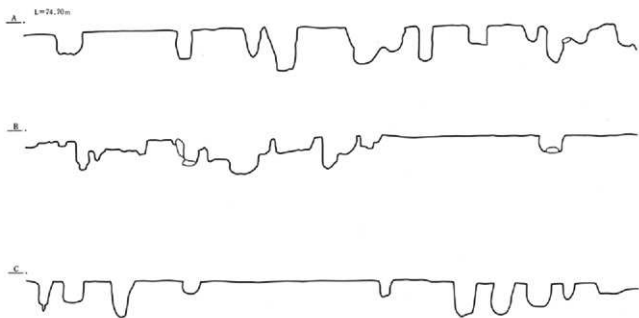
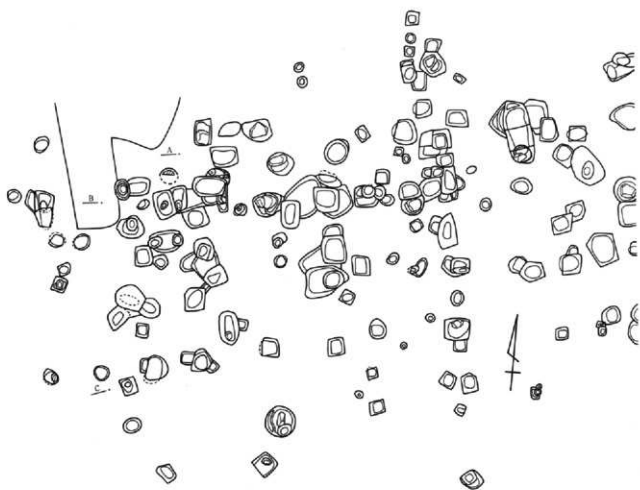
A.D.1190～1280年、2025号ピット資料でA.D.1155～1265年、真の年代が入る確率が68%の場合、615号ピット資料でA.D.1210～1260年、924号ピット資料でA.D.885～905年、952号ピット資料でA.D.1220～1260年、2025号ピット資料でA.D.1165～1225年という値が出された。

924号ピット資料は他の資料より百数十年古い年

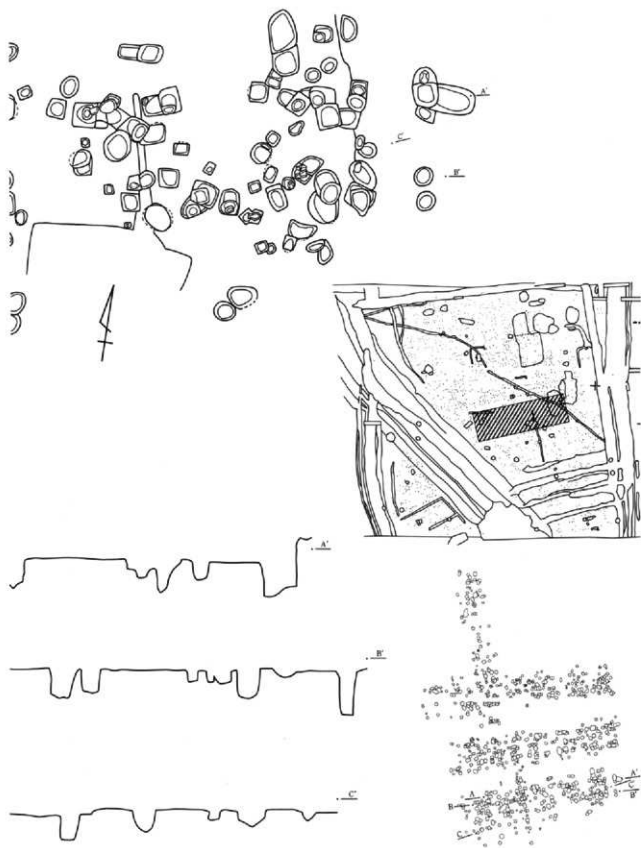
代を示しているため検討を要するが、他の3資料は12世紀後半～13世紀中葉という年代を示している。これらの炭化材が建材であったとすると、本屋敷遺構の一部建物の年代は鎌倉時代の所産ということになるが、カーボンアイテティングで得られた年代は陶磁器の観察で示された年代（13世紀中世以降）の古い段階に重なるものである。



第188図の(2) 3区1面屋敷遺構柱穴群第3集中城東西列

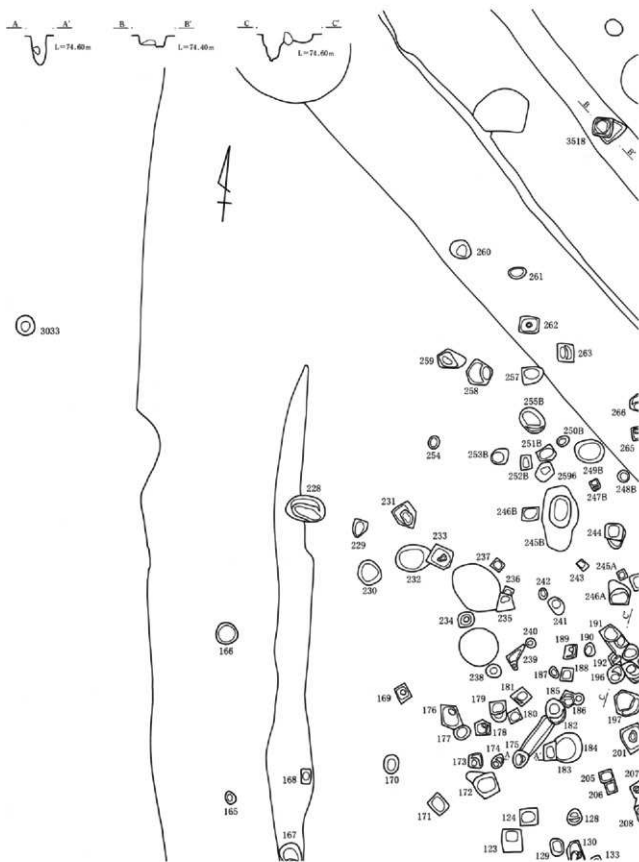


第189図の(1) 3区1面屋敷遺構柱穴群第3集中域東西列



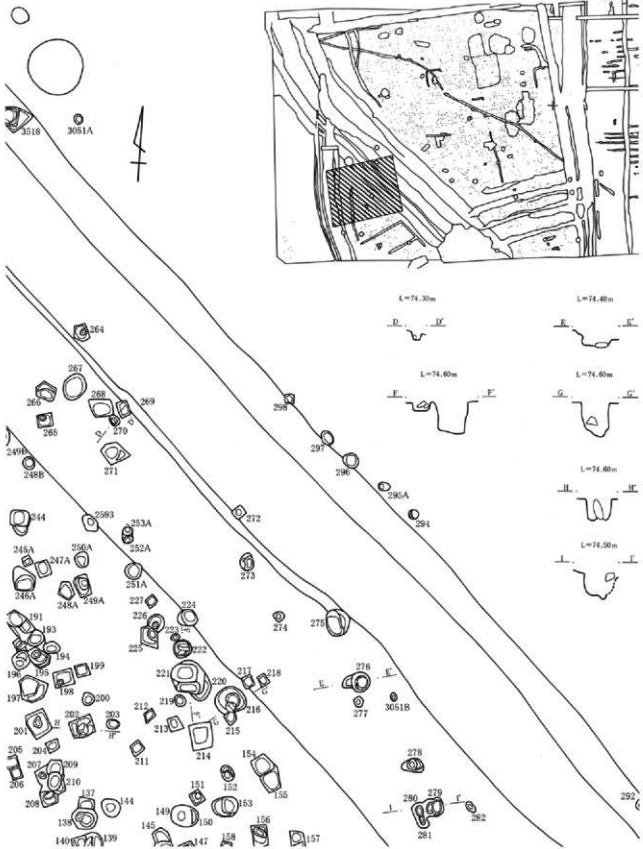
第189図の(2) 3区1面屋敷遺構柱穴群第3集中域東西列

第3章 発見された遺構と遺物



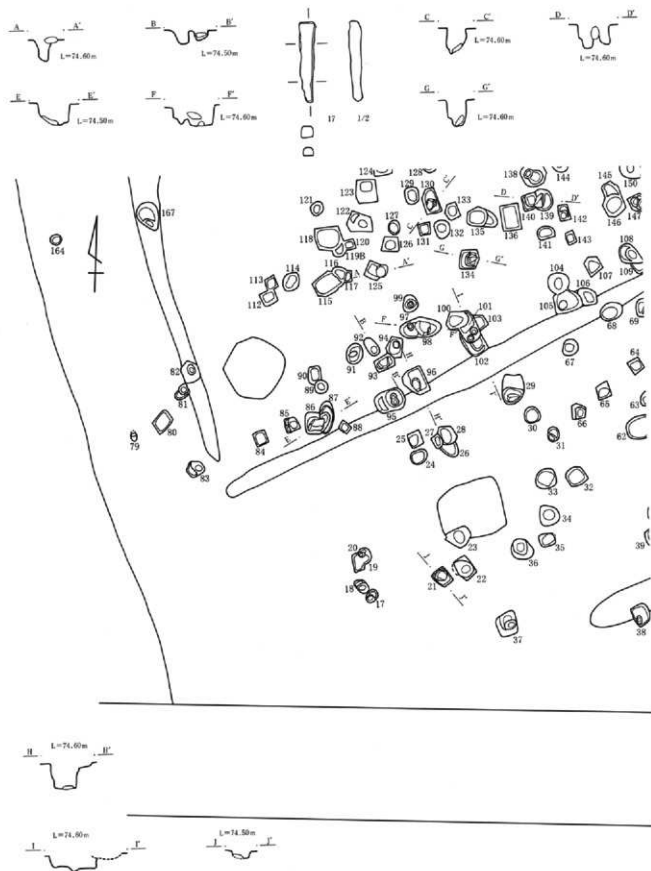
第190図の(1) 3区1面屋敷遺構南西部北側の柱穴群





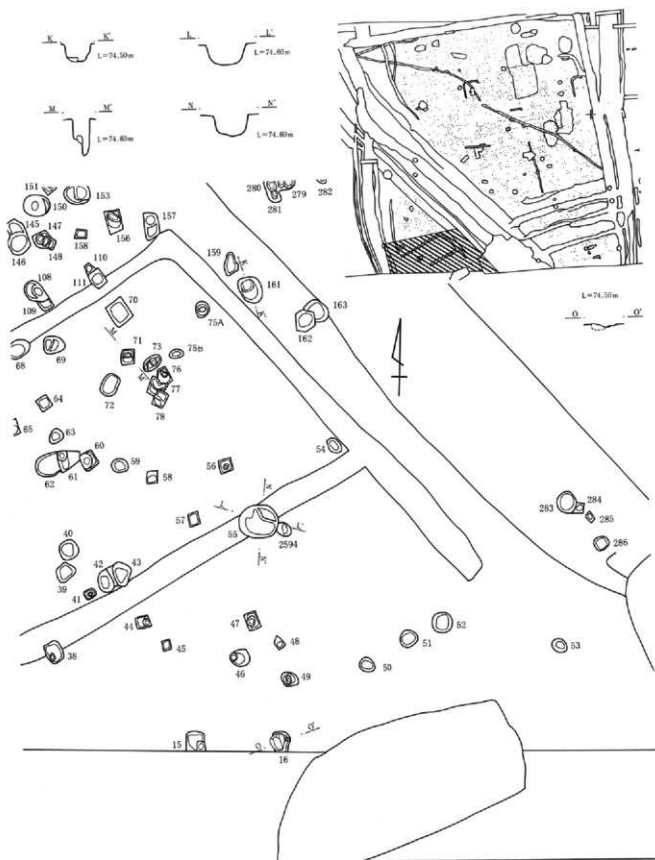
第190図の(2) 3区1面屋敷遺構南西部北側の柱穴群

第3章 発見された遺構と遺物



第191図の(1) 3区1面屋敷遺構南西部南側の柱穴群266・267

第3節 3区の遺構と遺物



第191図の(2) 3区1面屋敷遺構南西部南側の柱穴群



第192図 3区1面屋敷遺構東部柱穴群出土遺物

### 7. 3区南西部の遺構

#### (1) ビット群 (第193図、図版74)

**概要** 屋敷遺構の外側となる3区南西部に於いては13基のビットがあった。これらのビットはそれぞれ単独で立地し、切り合い等は認められなかった。

出土遺物もなく時期特定には至らなかったが、覆土の様子から、概ね屋敷遺構内ビットと同様の時期

のものであろうと判断される。

これのビットのうち3-1-2～5号ビット、3-1-6～10号ビット、3-1-11・12号ビットは近接して位置しているが、3-1-1・13号溝は単独で位置している。このうちビットは7・8号ビットと11・13号ビットがビットの主軸方向と形態が近似することから規則的配置に基づくものである可能性を有するもの、全体として建物配置等を見出すことはできなかったが、小型のものは杭の打設痕と判断され、それ以外は柱穴であった可能性を有する。

**規模** [1号ビット] 径24×27cm 深さ35cm

[2号ビット] 径27×27cm 深さ29cm

[3号ビット] 径30×41cm 深さ15cm

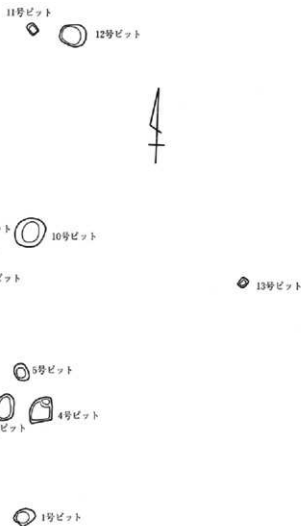
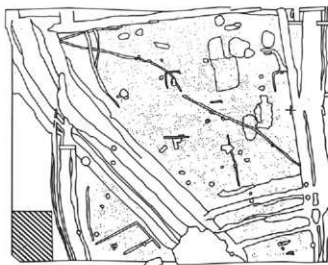
[4号ビット] 径36×35cm 深さ15cm

- [5号ピット] 径20×28cm 深さ23cm  
 [6号ピット] 径22×22cm 深さ22cm  
 [7号ピット] 径12×14cm 深さ9cm  
 [8号ピット] 径16×18cm 深さ10cm  
 [9号ピット] 径22×17cm 深さ8cm  
 [10号ピット] 径43×50cm 深さ15cm  
 [11号ピット] 径13×17cm 深さ6cm  
 [12号ピット] 径33×42cm 深さ9cm  
 [13号ピット] 径12×14cm 深さ13cm

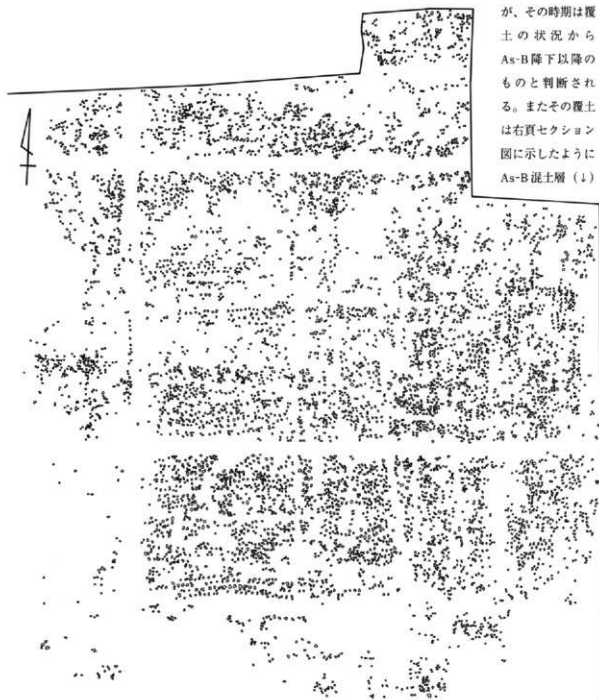
**構造** 13基のピットのプランは屋敷遺構内所在ピット同様、円形と方形に大別され、前者には2・3・5

・6・10・12号ピットが該当する。

規模はバラツキがあり、概ね3・4・10・12号ピットは比較的大型で、他は小型に分類されるが、後者のうち特に方形プランの7・8・11・13号ピットはより小型であった。径の平均は25.46cmを測り、深さは平均16.08cmと浅いものであった。尚、円形プランのピットの径の平均は32.08cm、方形プランピットでは平均19.79cmを測った。



第193図 3区1面屋南西部ピット群



が、その時期は覆土の状況からAs-B降下以降のものだと判断される。またその覆土は右頁セクション図に示したようにAs-B混土層(↓)

第194図の(1) 3区1面東部鋤跡群

### 8. 3区東部の遺構群

#### (1) 鋤跡群 (第194図、図版77)

**概要** 屋敷遺構の東方、3区東半部の近代以降の耕作遺構の下面に於いて、多数の鋤跡が広範囲に亘って確認された。

この鋤跡からの遺物の出土はみられなかった(※)

群の下位層であり、多量のAs-Bを含むため、中世のそう運くならない段階で掘削された鋤跡群と判断される。

尚、本鋤跡群は後述する4区の鋤跡群との関係から中世の水田開削に伴う耕作痕として把握されるものであるが、後世の耕作溝等による攪乱もあって、

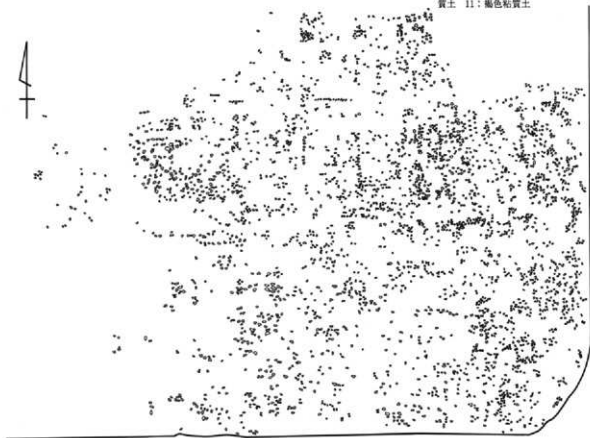
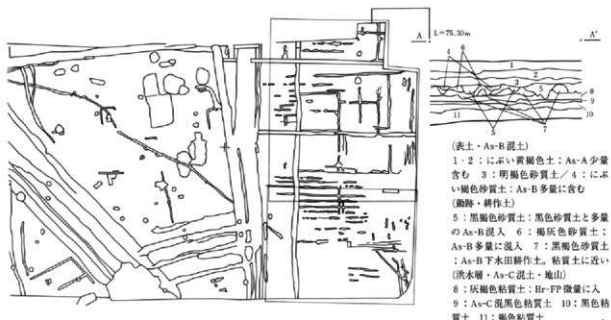
4区のように明瞭な状態で畦等の位置を想定することはできなかった。

規模 確認範囲 東西31.5m 南北58.1m

鋤痕跡 幅10~15cm前後 奥行き4~6cm前後  
深さ8cm程度

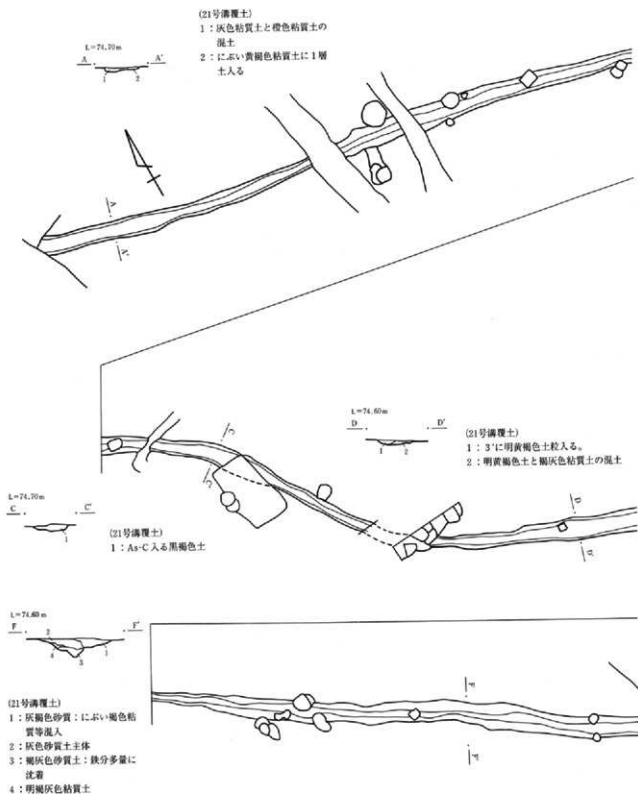
構造 畦は上述のように抽出できなかったので、一面一面の水田の形状・規模は確認できなかった。

個々の鋤跡については後述する4区の中世水田面に見られたものと形體的には近似している。



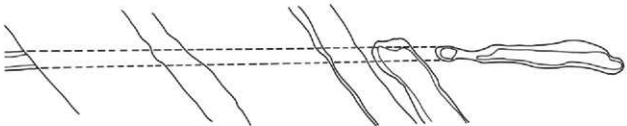
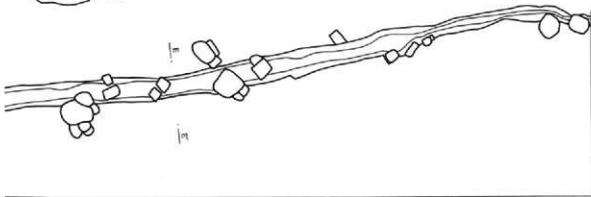
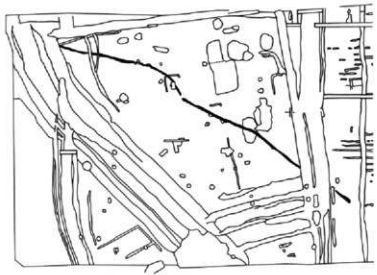
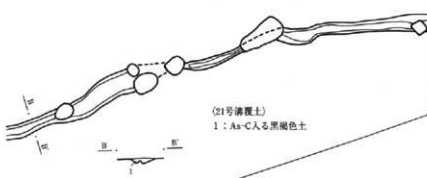
第194図の(2) 3区1面東部鋤跡群

1-4 3区1面の遺構と遺物Ⅲ (古代)



第195図の(1) 3-1-21号溝





第195図の(2) 3-1-21号溝

第3章 発見された遺構と遺物

(1) 3-1-21号溝 (第195図、図版65・66)

**概要** 3-1-21号溝は屋敷遺構北西隅部3-1-2号溝と3-1-20号溝との交点付近から、屋敷遺構の北寄り2/3の区域を概ね西北西-東南東方向に横切り、屋敷遺構東側の溝群を越えて3-1-39号溝手前まで達している。

本溝は屋敷遺構の溝・土坑・ピット等多くの遺構と重複関係にあり、何れの遺構にも本溝は切られているが、調査段階ではこうした新旧関係に拘らず、一括して掘削している。また、本溝からの出土遺物は認められず時期特定には至らなかったが、覆土の状態からAs-B降下以前の所産と判断される。また覆土の一部にAs-Cを含むもののHr-FA・Hr-FPが確認されなかったため、4～5世紀段階まで遡る可能性も有する。

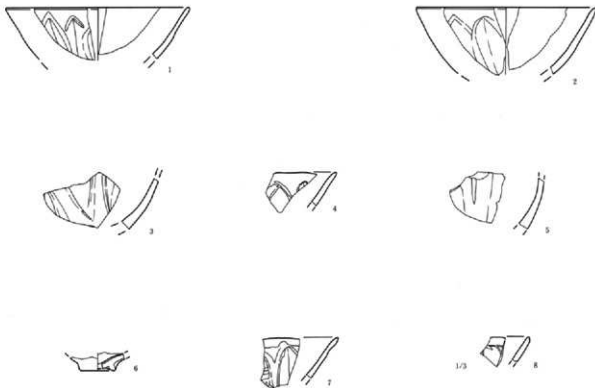
本溝は若干蛇行するものの比較的直線的で長い距離を掘削しているため水路としての使用を検討したが、流水の痕跡等は確認されなかった。また、明確な掘削意図も特定することはできなかった。

**規模** 長さ61.9m 幅55cm 深さ17cm

**構造** 本溝は中央西寄りであり大きく蛇行する以外は比較的直線的な走行を呈しているが、そのプランは大きくは西側2/3の区域と東側1/3の区域とに分けることができる。前者は西北西-東南東の走行を基本としているが、西寄り2/3の範囲で北側に大きく張り出している。最も大きく張り出しているのは西側から3/4程の地点で、4m程張り出している。この地点から西の張り出し部分は直線的に西端から2m程の地点まで、東側は弧を描きながらやや急な状態でそれぞれ本来のラインに接続している。

さて、溝の西端底部の高さは標高74.56mを測り、張り出し頂部では標高74.47m、東端部では標高74.39mを測った。溝全体の高低差は僅か17cmしかなく、溝の長さに鑑みると殆ど高低差なく掘削した様子が窺われる。

本溝の掘削底面は平気味であり、壁面はやや開いている。尚、溝の幅員は一定ではなく、24～55cm幅で不規則な増減が見られる。



第196図 3区1面遺構外出土遺物 (その1)



1-5 3区1面の遺構外の出土遺物

第197図 3区1面遺構外出土遺物(その2)

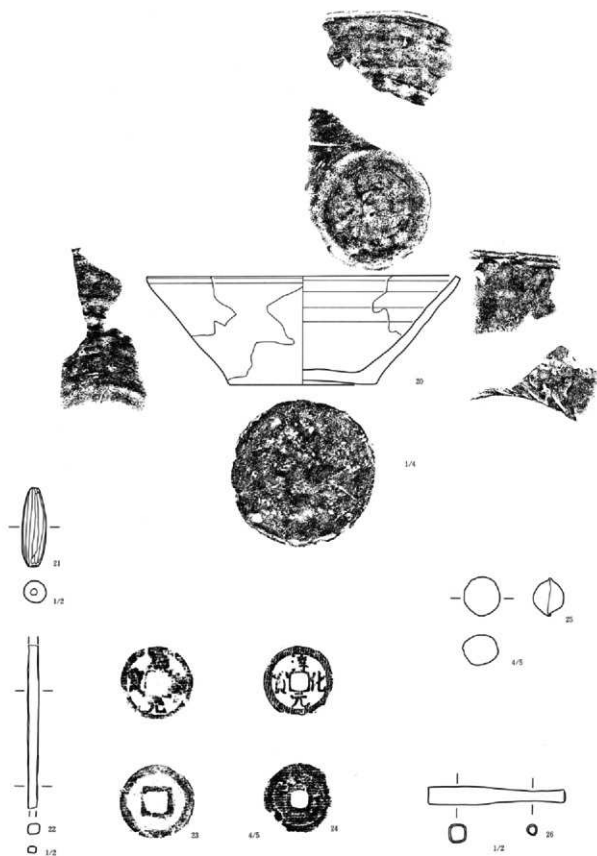
## (1) 3区1面に於ける遺構外の出土遺物

(第196-199図, 図版99・100)

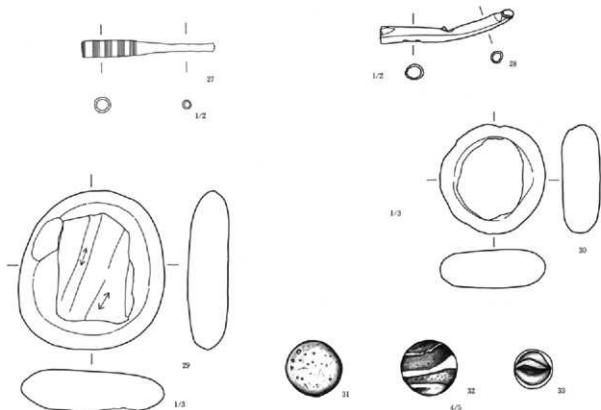
**概要** 3区1面に於いても遺構に伴わない遺物が出土したが、これらは3区1面で確認・調査された各遺構と同様の時期、即ち中・近世を中心とする古代以降の時期のものであった。出土した遺物には龍泉窯系の青磁碗(1-8)、肥前産の磁器碗(9,10)、大窯の施釉陶器碗(11)、古瀬戸の施釉陶器碗(12)、瀬戸美濃系の陶器碗(13,14)、陶器蓋(15)、知多産の焼締陶器甕(16)と軟質陶器播鉢(17)、産地不明の焼締陶器甕(18)と軟質陶器播鉢(19・20)の他、土師器の

坏・甕、須恵器の碗・甕・瓶・蓋、灰釉陶器碗、軟質陶器などの土器、陶磁器の破片が見られた。

この他、土鍾(21)といった土製品や、土製箸(22)や、磨耗痕の残る台石(29・30)といった石製品、銭種不特定(□□元寶)の銅銭(23)や淳化元宝(24)も見られたが、銭は模鑄銭であった。また火繩銃の鉄砲玉(25)や、18世紀以降のキセルの吸い口(26-28)などの金属器。おはじき(31・32)、ビー玉(33)といったガラス製玩具などの出土も見られた。



第198図 3区1面遺構外出土遺物(その3)



第199図 3区1面遺構外出土遺物(その4)

## 2-1 3区2面の遺構と遺物

(1) 3区2面の試掘調査(第200図、図版78・100)

**概要** 3区2面の調査はAs-C混黒色粘質土上面を確認面とする試掘調査として実施した。試掘調査は2箇所の大グリッドを設定して施した。設定した試掘グリッドは230-239-270-279グリッドと250-259-270-279グリッドで、前者(南側のもの)を「試掘グリッド1」、後者(北側のもの)を「試掘グリッド2」と称した。

試掘調査の結果、試掘グリッド1に於いては確認面(As-C混黒色粘質土上面)はほぼ平坦で、遺構・遺物は確認されなかった。試掘グリッド2に於ける確認面もほぼ平坦であったが、北東部で浅い小規模の溝と小ピットが確認された。また土師器・須恵器の甕や碗など律令期のものを中心とする遺物の出土があり、砥石(1)の出土も見られた。

尚、第2面はこのように遺構が殆ど確認されず、その遺存状況も悪かったため、調査期間との兼ね合いに鑑みて拡張等は行わず、試掘調査を以って調査を終了した。

(2) 溝遺構(第200図)

**概要** 溝遺構は試掘グリッド2の北東部で3条が確認された。調査時点で遺構名称は付されていないが南側から3-2-1-3号溝と呼称することとする。尚1-3号溝の遺存状況は極めて悪く、残穴が残るに過ぎない。尚、3溝ともに試掘グリッド内で完結している。

1-3号条の溝からの出土遺物はなく時期特定もできなかったが、何れもAs-B下水田の耕作土下に在ったAs-FP混灰褐色粘質土で被覆されていた

### 第3章 発見された遺構と遺物

め、6世紀後半から11世紀の間の所産として把握されるものである。

また掘削意図については本溝群はその遺構配置から(畝の)耕作溝である可能性が考えられる。

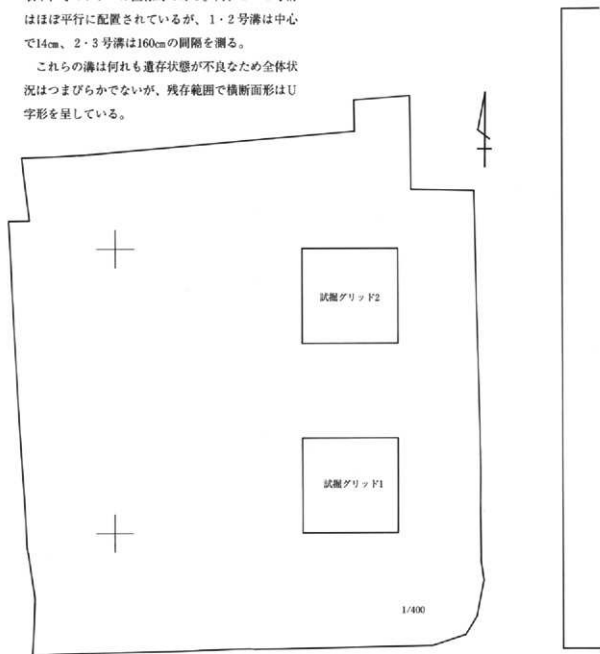
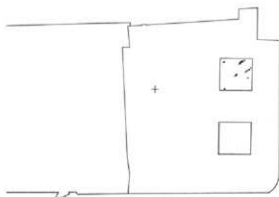
**規模** (1号溝)長さ52cm 幅7cm 深さ1cm

(2号溝)長さ128cm 幅7cm 深さ2cm

(3号溝)長さ100cm 幅10cm 深さ2cm

**構造** 1～3号溝は何れも東北東-西南西の走行を取り、そのプランは直線的である。尚、1～3号溝はほぼ平行に配置されているが、1・2号溝は中心で14cm、2・3号溝は160cmの間隔を測る。

これらの溝は何れも遺存状態が不良なため全体状況はつまびらかでないが、残存範囲で横断面形はU字形を呈している。



第200図の(1) 3区2面の試掘調査

(2) 小ピット群 (第200図, 図版78・100)

概要 試掘グリッド2に於いては7基の小ピットが確認された。

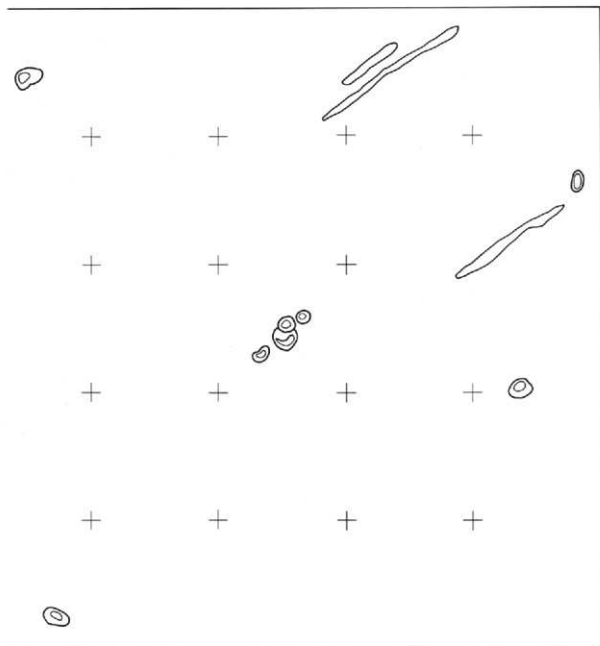
小ピットの時期は特定できなかったが、上述の3-2-1-3号溝と同じAs-FP混灰褐色粘質土を覆土としているため、溝群と同時期と解釈される。

人為的かどうかも含め掘削意図は不明であるが、少なくとも位置関係から建物に伴うものではなく作物の痕跡という解釈が考えられる。

規模 径8-13cm 深さ8cm以下

構造 何れのピットも円形プランを呈する。

形態は丸い窪み状を呈する。



第200図の(2) 3区2面の試掘調査(グリッド2)と出土遺物

3-1 3区3面の試掘調査と遺物

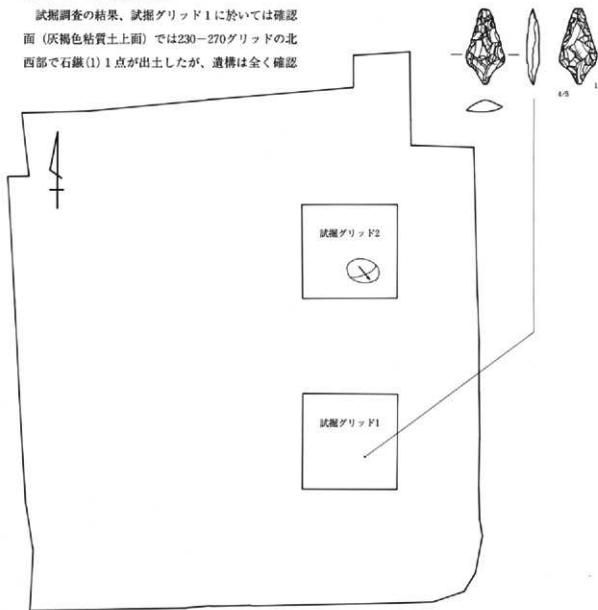
(1) 3区3面の試掘調査(第201図、図版78・100)  
 概要 3区3面の試掘調査は2面の調査終了後、直ちに実施された。

3面の調査に於いてはAs-C混黒色粘質土及び黒色粘質土を除去した地山洪積層(灰褐色粘質土)上面を遺構確認面とした。試掘グリッドは2面に於ける試掘調査と同じ230-239-270-279グリッド(試掘グリッド1)と250-259-270-279グリッド(試掘グリッド2)を使用した。

試掘調査の結果、試掘グリッド1に於いては確認面(灰褐色粘質土上面)では230-270グリッドの北西部で石織(1)1点が出土したが、遺構は全く確認

されなかった。試掘グリッド2に於いては250-270グリッドと250-271グリッド境の北寄りで風倒木痕1箇所を確認した。覆土は北西側が灰黄褐色粘質土で南東側が黒色土であり、倒木方向は南東方向である。

以上のように3区3面の調査では試掘調査によって遺物1点を出土したものの遺構は確認されなかったため、試掘調査を以て調査を終了した。



第201図 3区3面の試掘調査と出土遺物



## 第4節 4区の遺構と遺物

## 4-1 4区の調査概要

4区は区全体が3区東半部から5区に続く谷地形である。4区も3区同様主に1面の調査であり、

後述するように下位面に対しては試掘調査のみ実施している。

1面ではAs-B(1108)降下以降の遺構群を確認調査した。しかし、それらは平安時代末期、中世、中・近世、近世以降の4時期に大別される。

このうち近世以降、近・現代に続く遺構としては広瀬川用水に連なる用水路1条が区東部に在った。また焼夷弾の爆裂坑も1基確認している。

中世～近世に遺構としては溝8条、小ピット14基を調査した。溝群は耕作に伴うものと判断される。

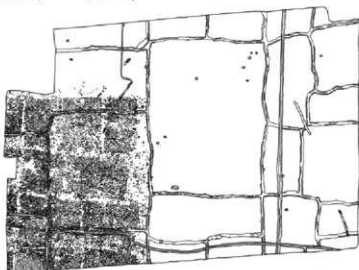
中世の遺構としては区南西部に3区から続く水田耕作の鋤先痕が確認された。これらの鋤先痕は覆土の状態から中世でも遅くならない時期の所産と判断されるものであったが、個々の鋤先痕は比較的明瞭に残されており、その分布の濃淡から畦を復元することができている。

2面ではAs-C(4世紀初頭)を混入する黒色土層上面を確認面とした試掘調査を実施した。

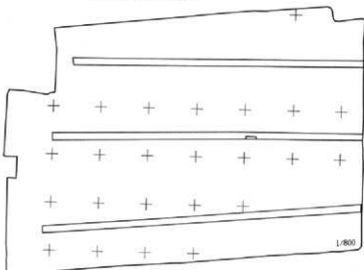
その結果、Hr-FA(6世紀初頭)らしきテフラで充填した窠みが確認されたものの、遺構らしいものは確認されなかったため、2面の調査は試掘調査に留め、面的調査は行わなかった。

3面では、洪積層上面に確認面を設定した試掘調査を実施した。

その結果As-C層下で2箇所に窠みを確認し、古い風倒木痕1基を確認したが、明瞭な遺構を見出す



平安末期の遺構としてはAs-B下水田がある。この水田址は畦の方向から条里方眼を意識しているものと認識されるものであるが、一面一面の水田面は全体としては大区画畦畔に属するものであるが、その規模には大小があり、地形に制約されて形作られていることが分かる。



ことができなかった。このため、3面に於いても試掘調査に留め調査を打ち切っている。

4-2 4区1面の遺構と遺物Ⅰ（近世以降）

(1) 3号溝（第202図、図版102・106）

概要 4-1-3号溝は4区東部に所在する。4区において最も大きい溝以降で、調査区を南北に横切る。

本溝は頁左下に示した圃場整備前の地形図に照らしてみると、地目が水田となっている区域の地境のに重なる。前述した3区1面の3-1-1・2号溝程の規模はないものの、昭和16年の地籍図には水路であったことが記され、広桃用水の分水路の一つとして使用されたものと判断される。

本溝からは砥石(1)と共に「萬泉堂」の印のあるガラス小ビン(2)が出土している。この小ビンと左

に記した近代の耕地図の記載から、本溝は近代若しくは現代まで使用されたことが確認される。しかし当初の掘削時期は特定できず、一方埋没時期も近現代と想定されるに過ぎないが、近代の土地区画に一致することから江戸時代後期以降の掘削の可能性が高く、また水路でありながらビニール等が見られなかったことから近代に埋められた可能性も想定される。



第202図の(1) 4-1-3号溝及び出土遺物

規模 長さ51.3m 幅110cm 深さ22cm

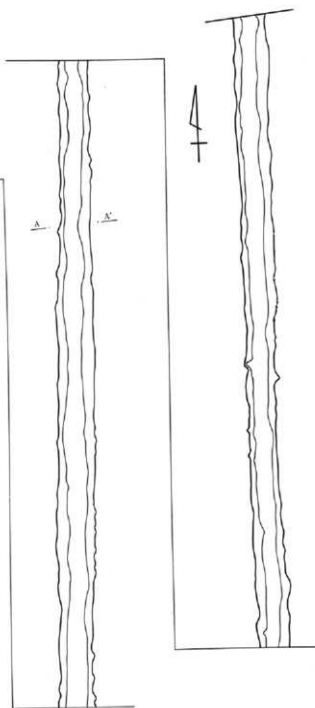
(地形図による全長106.25m)

構造 本溝はその走行を概ね南北に取っている。南北両側共に調査区外に延びていて調査できなかったため全体の状況を把握できた訳ではないが、上述の地形図と地籍図の記載状況からは、直線的な溝であったことが認識されるのである。調査区内に於いて



確認された溝は壁・底面の東西両側のラインに多少の揺れが見られたものの、そのプランはやはり直線的ではあった。また地籍図等から本溝の上流側となる北側では調査区を出て18m程で本溝に分水していた東西走行の溝に突き当たっており、下流側となる南側ではやはり調査区を出て40m程で西北西から来て東方に抜ける水路に突き当たっていたことが確認された。

本溝は全体としては底面は概ね平底状を呈し、壁面は開き気味の掘削形態を呈するものである。しかしながら部分的に見ると流水による影響が細かい凹凸も見られた。

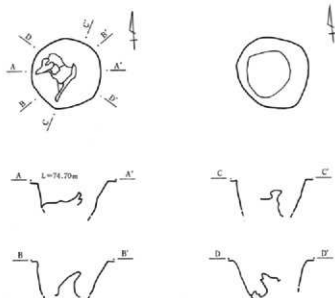
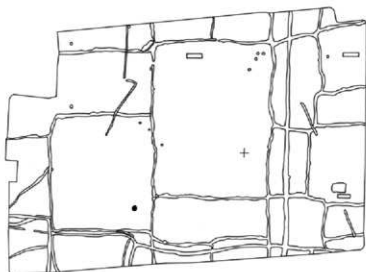


第202図の(2) 4-1-3号溝及び出土遺物

(2) 1号土坑 (第203図、図版103・106)

概要 本土坑は4区南西に在って、As-B下水田の表出に伴って確認、調査された。

当初井戸遺構として調査を進めたが、出土した鉄片が焼夷弾と確認され、覆土中に油脂分が認められた



第203図 4-1-1号土坑

こと、また本遺跡の発掘作業員から伊勢崎空襲の際に水田で燃焼が目撃されたという証言が得られたことから、当遺跡周辺に空襲のあった昭和20年8月15日かその直後の土坑と断定された。

伊勢崎空襲（米空軍の作戦番号330）は、終戦当日の昭和20年8月15日未明に米空軍第73及び第314爆撃隊によって実施されたもので、本遺跡を含む旧上陽村では負傷者1名、家屋被害4棟、罹災者20名が出ている。しかしTarget information sheetを見る限り主たる攻撃目標は市街地周辺の中島飛行機園

連の工場及びこれとの関連が認定された小規模な工場を含む伊勢崎市街地であって、本遺跡を含む市街地周辺地域は攻撃対象にはなっていたものの特段の目標は設定されていなかった。

編隊は東から進入するよう命令されていたが、本遺跡への攻撃は距離的に主目標たる伊勢崎市街地周辺地への投下に関連した誤爆とは考えにくく、前橋空襲の際も搭載爆弾を全て投下した訳ではないことから良く言われるように「捨てていった」とも考えにくい。寧ろ水田地帯であることと爆撃機の進路を助案すると米軍による空襲の常套手段として伊勢崎市街地からの退路を断つために投下されたか、遺跡北側の中内或いは南接する西善町の横堀集落を目標に投下されたものと想定される。

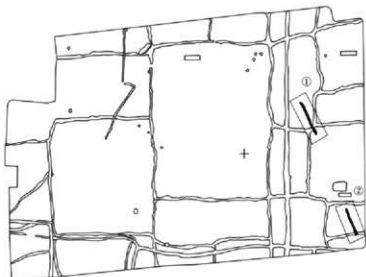
出土した焼夷弾は頭部、筒部カバー、尾部が一括して、概ね逆位となる位置関係で出土したが、弾筒部を識別することはできなかった。尚、この焼夷弾はMission ResumeによればM19型か信管付のM47型弾である。

一方本土坑は焼夷弾片の廃棄坑の可能性も考えられるが、出土状況と空襲当時本土坑付近が水田で水が入って土壌が緩くなっていたことから、寧ろ焼夷弾落下の衝撃による穴である可能性の方が高い。更に焼夷弾の出土状況や覆土に油脂分が確認されたことから上空での散布に失敗し、着地後燃焼した可能性も考慮される。

規模 径110×108cm 深さ60cm

構造 本土坑は円形なプランを呈し、丸底状、筒形の形態を呈している。

## 4-3 4区1面の遺構と遺物Ⅱ（中世を中心とする時期）



## (1) 1号溝 (第204図, 図版102)

**概要** 本溝は4区東部に位置する。遺存状況は余り良好ではなく、19.2mを隔てて南北2条に分かれる。

出土遺物もなく時期特定には至らなかったが、覆土にAs-Aを含まずAs-Bを含むため、中世～江戸時代中期の所産として把握される。

掘削意図も特定できなかったが、その掘削距離と覆土の観察から水路としての可能性が考えられる。

**規模** 全長30.7m 長さ(北側)7.8m

(南側)6.1m 幅50cm 深さ9cm

**構造** 本溝は北西-南東方向に走行を取り、直線的なプランを呈する。

遺存状況が良好でないのつまびらかでないが、底面は平底気味で、壁面は比較的しっかり立つようである。尚、底面、壁面とも凹凸が見られる。

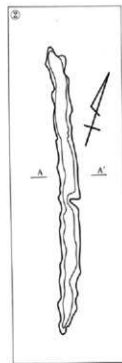
## (2) 2・5・4号溝 (第205・206図, 図版102・106)

**概要** 4-1-2・4・5号溝は共に4区南部に位置する。2号溝は西部で1.8m程途切れるが、調査区を東西には縦断し、東部(2b溝)と中西部(2c溝)で南に分岐する溝を伴う。5号溝は2bと、4号溝は西部で2号溝と絡む。2・5号溝と2・4号溝の方向が近似することなどから同質の溝と解釈さ

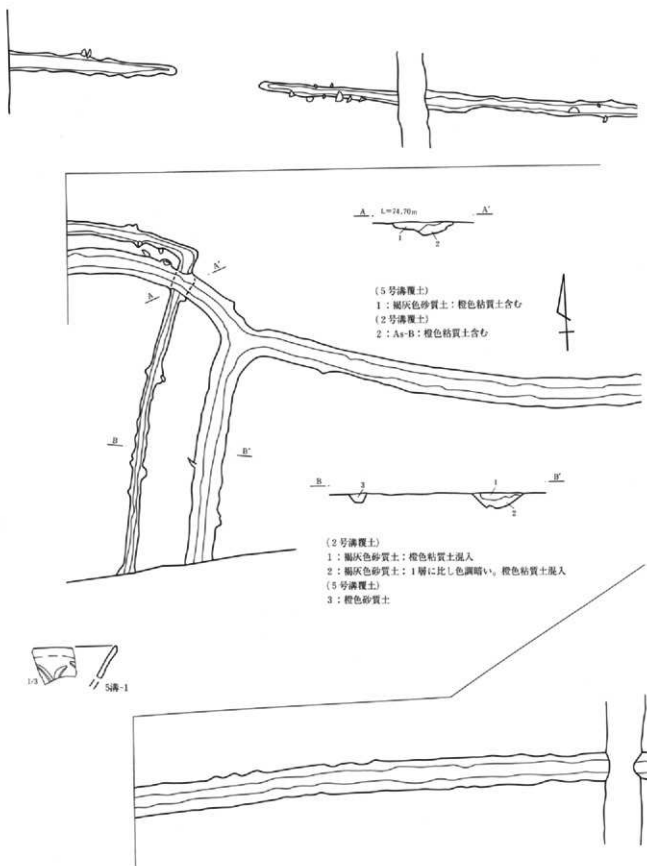


## (1号溝覆土)

- 1: 黒褐色砂質土
- 2: 濃い黄褐色砂質土: 細粒, 酸化鉄含み下位から層状に堆積。締まりなし
- 3: 赤色砂質土: 粗粒, 締まりなく酸化鉄沈着
- 4: 灰黄褐色粘質土
- 5: 黄褐色砂質土: 粒子微細でAs-B・2層土含む

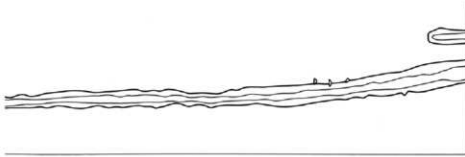


第204図 4-1-1号溝

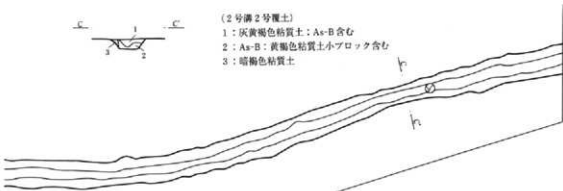


第205図の(1) 4-1-2・5号溝

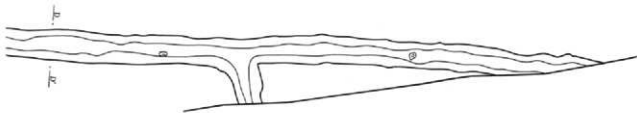
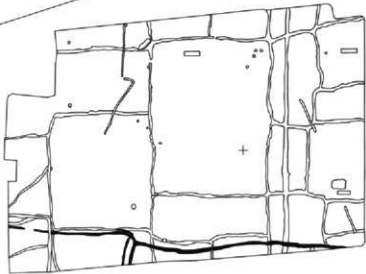
第4節 4区の遺構と遺物



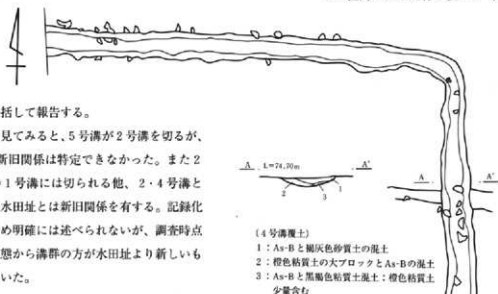
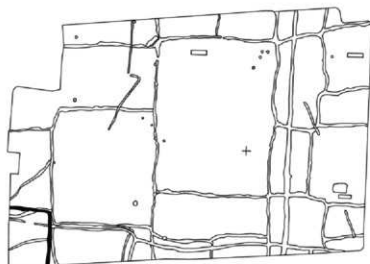
- (2号溝2号覆土)  
 1: 灰黄褐色粘質土: A+B含む  
 2: A+B: 黄褐色粘質土小ブロック含む  
 3: 暗褐色粘質土



- (2号溝覆土)  
 1: にふい褐色砂質土: 酸化鉄混入  
 (地山)  
 2: 黒褐色粘質土



第205図の(2) 4-1-2号溝及び出土遺物



れるため、一括して報告する。

重複関係を見てみると、5号溝が2号溝を切るが、2・4号溝の新旧関係は特定できなかった。また2号溝が前述の1号溝には切られる他、2・4号溝と後述の中世の水田址とは新旧関係を有する。記録化に失敗したため明確には述べられないが、調査時点では覆土の状態から溝群の方が水田址より新しいものと認識していた。

4・5号溝からの出土遺物は無く、2号溝からは土師器・須恵器片を出土しているが細かい時期特定には至らなかった。3条の溝は共に覆土にAs-Aを含まずAs-Bを含むため、何れも中世～江戸時代中期の所産として把握される。

掘削意図は特定できなかったが、共に水路若しくは地境の溝と考えられる。

規模 [2号溝] 長さ72.1m (2b溝) 1.0m

(2c溝) 4.9m 幅70cm 深さ23cm

[4号溝] 長さ20.0m 幅80cm 深さ13cm

[5号溝] 長さ10.8m 幅40cm 深さ9cm

構造 2号溝は調査区東部で南壁から入り、7.2m程西北西に進んで2b溝を南に分岐し、僅かに北に張り出しながら36.8m程西行して2c溝を分岐、(ア)

走行を北西に傾けて直ぐに西、更に西北西と変じて西壁から調査区外に抜けている。5号溝は区中西部で南壁より入り、2c溝の西に1.5mの間隔で平行に北、更に緩やかな弧を描きながら北北東に走行し、2号溝を横断して直ぐに西北西に走行を転じ、3.5m程で途絶えている。4号溝は調査区西部でやはり南壁より調査区内に入って北に走り、8.2m程で2号溝と交差し、更に2.8m北上して直角に西に走行を変じて(イ)



(4号溝覆土)

1: As-Bと褐色色砂質土の混土

2: 褐色粘質土の大ブロックとAs-Bの混土

3: As-Bと黒褐色粘質土混土: 褐色粘質土少量含む

西壁に抜けている。

2・4・5号溝の掘削形態についてみると、その横断面形状は船底形を呈し、何れの溝も細かく見ると壁面に若干の凹凸は見られるが、全体としてしっかりした掘り方をしている。壁面は2・5号溝は比較的しっかりした立ち上がりしているが、4号溝はやや開き気味である。

第206図 4-1-4号溝



## (3) 6号溝 (第207図, 図版102)

**概要** 本溝は4区西南部に位置する。その走行の方向や、プランから4区1面の他の溝遺構とは異なる性格を有する可能性がある。

本溝からの出土遺物はなかったため時期特定には至らなかった。しかし覆土がAs-B軽石を多く含んでいるため、As-B降下後比較的早い段階の所産である可能性を有する。

掘削意図は特定できなかったが、覆土がAs-Bと地山の黒色粘質土との混土であるため、人為的に掘削されたものと解釈される。また後述する中世の水田址とは走行が異なっている。

**規模** 長さ13.4m 幅110cm 深さ10cm

**構造** 本溝は全体的には北東-南西方向の走行を取るが、そのプランには緩やかな蛇行が見られる。

掘削底面は平底気味であるが、壁面はやや開く。

## (3) 7・8号溝 (第208図, 図版102)

**概要** 4-1-7・8号溝は4区中北部西寄りに位置する。両溝は位置・規模的に連続する溝である可能性を有するため一括して報告するが、走行の違いから別遺構の可能性も有する。

8号溝からの出土遺物は無く、  
7号溝からは須恵器甕片を出土したが  
時期特定 (ア)

には至らず、覆土にAs-Bを含むため中世以降の所産とできるに過ぎない。但し7号溝は覆土がAs-B主体であるので、As-B降下後早い段階の所産で、前述の4-1-6号溝と接続する可能性も有する。

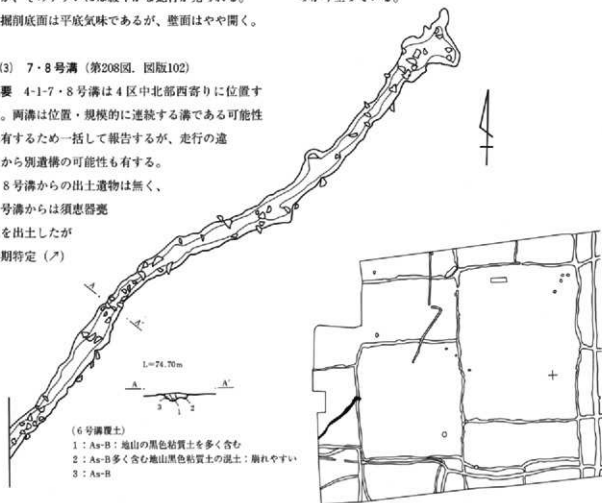
掘削意図も特定できなかったが、走行が7号溝が2・2c・5号溝と、8号溝が4号溝と近似するので、2・4・5号溝と同様であった可能性を有する。

**規模** [7号溝] 長さ14.8m 幅30cm 深さ11cm

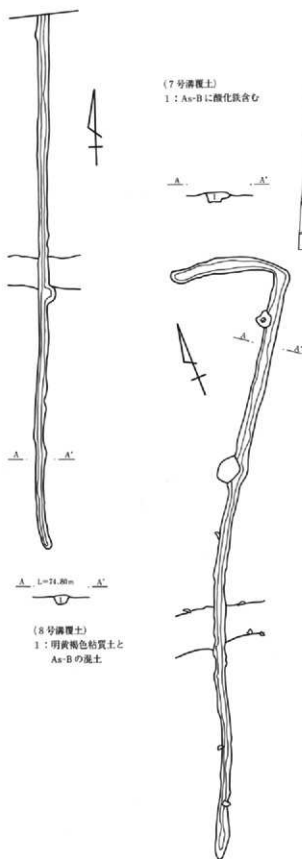
[8号溝] 長さ11.2m 幅40cm 深さ14cm

**構造** 7号溝は北東-南西方向に揺るかに弧を描く走行を取り、北端で鋭角に西に走行を転じて8号溝南端近くに至る。8号溝は概ね南北に直線的な走行を見せる。

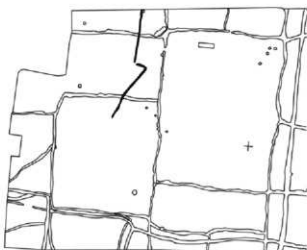
掘削形態は横断面形は丸底形で、壁面は比較的しっかり立っている。



第207図 4-1-6号溝



第208図 4-1-7・8号溝



(5) ビット群 (第209図, 図版103)

概要 4区1面に於いては4-1-1~14号の14基のビットを調査した。ビットは北東部に2~5号ビットがまとまり、その東に1号ビットが単独で位置し、中部に6~11・14号ビットが南北に散布し、北西部に12・13号ビットが散布している。

これらのビットからの出土遺物はなく時期特定には至らなかったが、4・6~14号ビットは覆土にAs-Bを含み、1~3・5号ビットもAs-B層を切り、近世後期以降の覆土ではないため、何れも中世~近世中期の所産として把握される。

掘削意図も特定できなかったが、形態的に2~5・8・10・13号ビットは杭跡の可能性はある。

規模 [1号ビット] 径31×30cm 深さ14cm

[2号ビット] 径32×38cm 深さ12cm

[3号ビット] 径31×37cm 深さ13cm

[4号ビット] 径61×68cm 深さ25cm

[5号ビット] 径58×44cm 深さ17cm

[6号ビット] 径46×66cm 深さ9cm

[7号ビット] 径34×60cm 深さ15cm

[8号ビット] 径43×40cm 深さ14cm

[9号ビット] 径26×28cm 深さ14cm

[10号ビット] 径26×28cm 深さ13cm

[11号ビット] 径36×30cm 深さ7cm

[12号ビット] 径56×54cm 深さ12cm

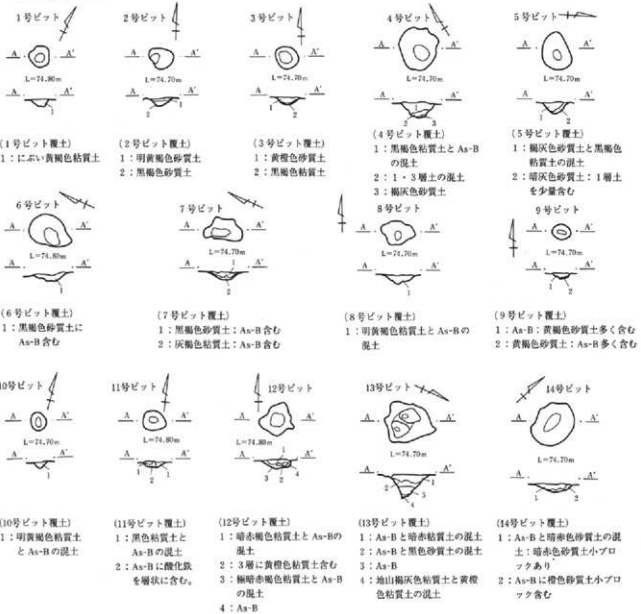
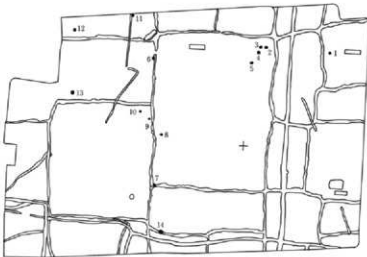
[13号ビット] 径84×65cm 深さ40cm

[14号ビット] 径59×71cm 深さ11cm

第4節 4区の遺構と遺物

構造 ビットのプランは3・7・8・11～13号ビットが隅丸方形形状、1・2・4～6・9・10・14号ビットが楕円形状を呈している。

掘削形態は1・9・12号ビットは筒形、2～5・8・10・13号ビットは逆円錐形を呈し、6・7・11・14号ビットは丸底気味で壁面が開き気味である。



第209図 4区1面の小ビット



第210図の(1) 4区1面遺痕 (中世水田址)

(6) 鋤痕 (中世水田址) (第210図, 図版104)

**概要** 4区南西部には多数の鋤痕が確認された。これらの鋤痕は覆土の状態、及び前述の溝群と3区1面の鋤痕等との関係から中世の遅くならない段階の所産として把握される。

鋤痕の分布には濃淡があり、特に帯状に分布の薄いところが認められ、水田の畦と判断された。鋤痕はこれに伴うものと認識される。

抽出された水田面は12面であったが、形態的にAs-B下水田の名残を留めている可能性がある。また、これらは3区1面東半部の動跡群に連続するものと判断され、屋敷遺構東に展開した耕作地の一部として認識される。

**規模** 分布域 31×30m

[水田面①] 11.2×(3.8) m

[水田面②] 9.1×(3.6) m

[水田面③] (16.0)×(2.1) m以上

[水田面④] 16.4×11.1 m

[水田面⑤] 7.4×11.7 m

[水田面⑥] 8.8×9.1 m

[水田面⑦] 13.2×8.4 m

[水田面⑧] 13.3×(15.8) m

[水田面⑨] 12.1×(14.0) m

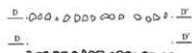
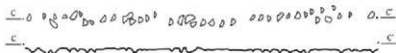
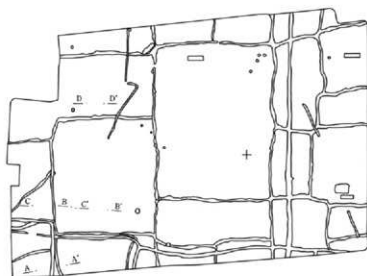
[水田面⑩] (2.7)×10.8 m

[水田面⑪] (4.4)×10.8 m

[水田面⑫] (1.6)×(12.3) m

**構造** 鋤痕の形態に大小があるが、平均的には三角形若しくは台形のプランを呈し、幅20cm前後、奥行き10cm前後、深さ5cm前後のものを標準とする。

水田面の規模にはばらつきがあり、地形に合わせて形作られたものと思われる。尚、そのプランは方形を基本としている。



第210図の(2) 4区1面鋤痕 (中世水田址)

## 4-4 4区1面の遺構と遺物Ⅲ(古代)

## (1) As-B下水田址(第211図, 図版104・105)

**概要** 4区1面のほぼ全域でAs-B層が確認され、その除去作業によってAs-B下水田が表出された。

水田面からは若干の土師器片等も出土したが、水田址としては天仁元年(1108)浅間山噴出テフラの降下時に埋没したものである。

本水田は大区画水田に属するが、北北東方向から南南東方向に極く緩やか傾斜する微地形に合わせて畦畔が設定されるためか、個々の水田面に規格性は認められなかった。また、土圧により水田面が若干の凹凸が生じていた。

**規模 分布域** 75.9×51.2m

[水田面①]	(20.0)×(5.8) m
[水田面②]	(30.3)×(17.0) m
[水田面③]	(9.4)×(11.4) m
[水田面④]	(9.9)×(5.8) m
[水田面⑤]	(9.2)×(5.4) m
[水田面⑥]	21.8×24.2m
[水田面⑦]	20.8×(8.4) m
[水田面⑧]	12.5×(4.6) m
[水田面⑨]	11.8×(6.2) m
[水田面⑩]	25.6×32.9m
[水田面⑪]	24.4×9.8m
[水田面⑫]	12.3×(5.0) m
[水田面⑬]	11.7×(4.5) m
[水田面⑭]	9.8×(6.4) m
[水田面⑮]	(10.0)×(4.3) m
[水田面⑯]	10.9×19.6m
[水田面⑰]	(10.3)×13.2m
[水田面⑱]	(10.4)×7.5m
[水田面⑲]	8.2×14.2m
[水田面⑳]	(11.8)×16.3m
[水田面㉑]	11.6×12.3m
[水田面㉒]	(7.0)×(1.3) m
[水田面㉓]	(8.5)×6.5m
[水田面㉔]	(8.3)×(2.6) m

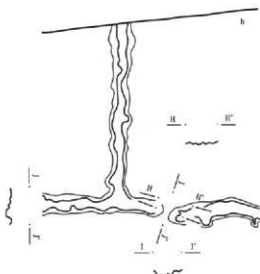
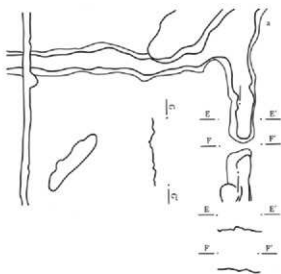
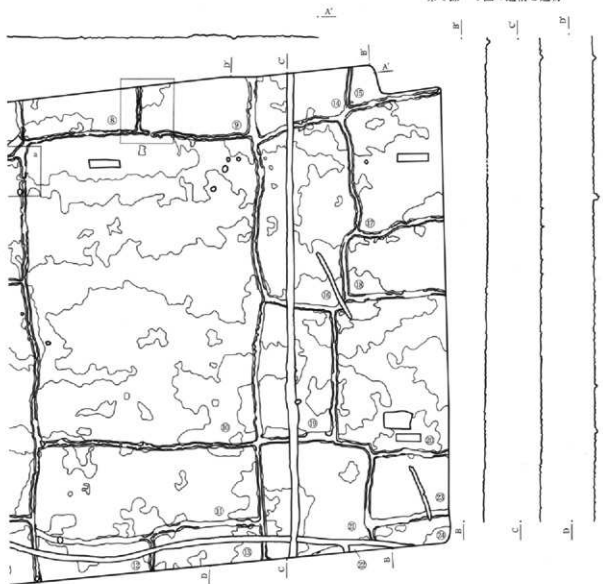


第211図の(1) 4区1面As-B混土水田

**構造** 水田面は23面を確認したが、そのプランは長方形を基調としながらもやや靴形に変形したもののや、やや湾曲したものなど様々であった。その規模も大小があった。水田面は4区中央に大きな区画のものがあり、その西側と南側には中規模の水田面が、東側と北側には小規模なものが多かった。

畦は土圧によって全体に圧縮されていて部分的に不明瞭な箇所もあった。そのため水口は殆ど特定することはできなかったが、水田面②と水田面⑨からそれぞれ水田面⑩に入るものの2ヶ所を確認した。確認された水口は上幅で水田面②・⑩間は45cm、水田面⑨・⑩間は50cmを測った。

第4節 4区の遺構と遺物



第211図の(2) 4区1面As-B混土水田

4-5 4区2・3面の試掘調査

**試掘調査** 4区に於いては1面調査終了後、下位面の遺構の有無を確認するため試掘調査を行った。最終的に設定した面は先づ4区2面として4世紀初頭浅間山噴出のAs-Cを混入する黒色土層上面を設定。遺構確認等を行ったのち下位面への試掘調査を施し、洪積層上面に4区3面を設定した。また2面はAs-B下水田面から平均で8~9cm程下位に在り、2面から3乃至8cm(平均6.3cm)下位に位置するものであった。

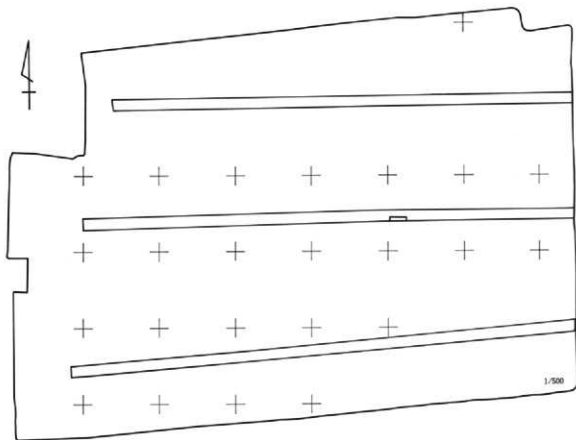
試掘調査は4区の北・中・南部にそれぞれ任意のトレンチを設定することで実施した。トレンチは東西方向に設定し、南から順に1・2・3号トレンチと呼称した。尚、As-B下水田面の各層は削られていて薄く、全体として遺存状況はあまり良好ではなく結局遺構を確認することはできなかった。

**2面の概要** 2面では2号トレンチで6世紀初頭噴出のHr-FAと思われるテフラが充填した窪み(第212図-①付近)が確認されたが、遺構としては認識されず、他に遺構も確認されなかった。

また若干の土師器坏・甕や須恵器碗の破片の出土が見られたが、遺物包含層として把握されるような出土状態ではなかったため、遺構確認の所見と併せて2面は面的調査の対象外とすることとした。

**3面の概要** 3面では2・3号トレンチでAs-C層下に窪み(第212図-②付近)が、また3号トレンチで古い時代の風倒木痕(第212図-③付近)が確認されたが、調査対象とすべき遺構を確認することはできなかった。

また出土遺物もなかったため、3面も面的調査の対象外となった。



第212図 4区2・3面試掘調査トレンチは位置図



## 第4章 科学分析

### 第1節 樹種同定

松業礼子 (パレオ・ラボ)

#### I はじめに

前橋市中内町にある中内村前遺跡から出土した木材の樹種を同定する。同定した遺物は4～5世紀の旧河道、中世の井戸、近世・近代の溝から出土した木製品・木材である。

今まで行われた群馬県内の樹種同定の結果では4～5世紀にはコナラ属クスギ節やコナラ節、アカガシ亜属などの樹種が道具を中心に利用されていたことが分かっている(鈴木・能城, 1986ほか)。花粉分析でも高崎市の日高遺跡や館林の茂林寺沼などでコナラ亜属(クスギ節とコナラ節を含む)が優占する結果が得られており、これらの樹種は植生としても多く確認されている(徳水, 1982; 辻ほか, 1986)。これらのことから周辺に多いこれらの樹種を積極的に利用していたことが分かる。中世ではまとまった樹種同定の事例は少ない。浜川高田遺跡や下植木志町田遺跡でクリが多い結果が得られているが、局地的なものではないかと考えられる(藤根・松業, 1998他)。中世では他に垂物などの針葉樹が適した製品の出土が増加することから、針葉樹の割合が増える傾向がある(鈴木・能城, 1997)。近世・近代は県内ではまとまった調査はされていないため良く分かっていない。これらの従来得られている結果と今回の試料にどのような違いがあるのかを明らかにすることを目的として樹種を同定した。

#### II 試料と方法

同定した試料は合計50点である(表1)。それらのうち4～5世紀に相当する試料は2・3旧河道を中心に30点、中世の井戸内出土試料が10点、近世・近代の溝出土試料が10点である。これらの試料は4～5世紀の9点のサンプル試料をのぞいていづれも木

製品である。

同定には、木製品から直接片刃剃刀を用いて、木材組織切片を横断面、接線断面、放射断面の3方向作成した。これらの切片はガムクロラールにて封入し、永久標本とした。樹種の同定はこれらの標本を光学顕微鏡下で観察し、現生標本との比較して行った。主要な分類群を代表する標本については写真図版に示し、同定根拠は後述する。

なお、同定に用いられた標本はプレパラート番号を付し財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団に保管されている。

#### 1. スギ *Cryptomeria japonica* (L.Fil.) D.Don Taxodiaceae 写真図版 1a~1c: A3-44

軸方向・放射方向両細胞間道をもたない針葉樹材。早材から晩材にかけての移行は急で、成長輪界は明瞭。樹脂細胞は早材から晩材部にかけて接線方向に散在する。放射組織は放射柔組織からなり単列。分野壁孔は大型のスギ型で1分野に1～2個ある。

#### 2. ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endl. Cupressaceae 写真図版 2a~2c: A3-28

軸方向・放射方向両細胞間道を持たない針葉樹材。早材から晩材への移行はやや急で、成長輪界は明瞭。晩材部の量が少ない。樹脂細胞は散在している。放射組織は放射柔組織のみからなり単列である。分野壁孔は中型のトウヒーヒノキ型で1分野に2個程度ある。

#### 3. カヤ *Torreya nucifera* (L.) Sieb. et Zucc. Taxaceae 写真図版 3a~3c: A3-1

軸方向・放射方向両細胞間道をもたない針葉樹材。早材から晩材にかけての移行は緩やかであるが、成長輪界は明瞭である。樹脂細胞を持たない。

No.	資料番号	プレバート番号	出土遺構	時期	製品名	樹種
1	A3-01	実測1	2-3-旧河道	4-5世紀	杭	カヤ
2	A3-02	実測2	2-3-旧河道	4-5世紀	着柄平楸 (板材)	ハンノキ属ヤシヤブシ節
3	A3-03	実測3	2-3-旧河道	4-5世紀	杭 (板材)	コナラ属クスギ節
4	A3-04	実測4	2-3-旧河道	4-5世紀	杭	コナラ属クスギ節
5	A3-05	実測5	2-3-旧河道	4-5世紀	有頭柄	コナラ属クスギ節
6	A3-06	実測6	2-3-旧河道	4-5世紀	薄板材	コナラ属
7	A3-07	実測7	2-3-旧河道	4-5世紀	杭	コナラ属クスギ節
8	A3-08	実測8	2-3-旧河道	4-5世紀	割材	コナラ属クスギ節
9	A3-09	実測9	2-3-旧河道	4-5世紀	杭 (割材)	コナラ属クスギ節
10	A3-11	実測11	2-3-旧河道	4-5世紀	杭	コナラ属クスギ節
11	A3-12	実測12	2-3-旧河道	4-5世紀	横楸	コナラ属クスギ節
12	A3-13	実測13	2-3-旧河道	4-5世紀	薄板材	アカガシ亜属
13	A3-14	実測14	2-3-旧河道	4-5世紀	着柄平楸	アカガシ亜属
14	A3-15	実測15	2-3-旧河道	4-5世紀	割材	コナラ属クスギ節
15	A3-16	実測16	2-3-旧河道	4-5世紀	角材	コナラ属クスギ節
16	A3-17	実測17	2-3-旧河道	4-5世紀	えぶり	コナラ属クスギ節
17	A3-18	実測18	2-3-旧河道	4-5世紀	厚板材	コナラ属クスギ節
18	A3-19	実測19	2-3-旧河道	4-5世紀	角材	コナラ属クスギ節
19	A3-20	実測20	2-3-旧河道	4-5世紀	杭	コナラ属クスギ節
20	A3-21	実測21	2-3-旧河道	4-5世紀	杭	コクスギ
21	A3-22	実測22	2-3-旧河道	4-5世紀	杭	コナラ属クスギ節
22	A3-23	実測23	2-1-1井戸	中世	杭	モモ
23	A3-24	実測24	2-1-1井戸	中世	杭 (割材)	ブナ属
24	A3-25	実測25	2-1-1井戸	中世	板材	ブナ属
25	A3-26	実測26	2-1-2井戸	中世	杭	コナラ属コナラ節
26	A3-27	実測27	3-1-4井戸	中世	漆椀	ケヤキ
27	A3-28	実測28	3-1-9井戸	中世	曲物銅板	ヒノキ
28	A3-29	実測29	3-1-10井戸	中世	曲物底板	ヒノキ
29	A3-30	実測30	3-1-10井戸	中世	曲物銅板	ヒノキ属
30	A3-32	実測32	3-1-10井戸	中世	曲物底板	ヒノキ属
31	A3-33	実測33	3-1-11井戸	中世	曲物底板	ヒノキ
32	A3-35	実測35	3-1-1溝	近世・近代	漆椀	ブナ属?
33	A3-36	実測36	3-1-1溝	近世・近代	漆椀	ブナ属
34	A3-39	実測39	3-1-1溝	近世・近代	漆椀	ブナ属
35	A3-40	実測40	3-1-1溝	近世・近代	漆椀	ブナ属?
36	A3-42	実測42	3-1-1溝	近世・近代	曲物底板	マツ属か?
37	A3-44	実測44	3-1-1溝	近世・近代	桶蓋	スギ
38	A3-45	実測45	3-1-1井戸	近世・近代	下駄	針葉樹
39	A3-46	実測46	3-1-1溝	近世・近代	用途不明木製品	ヒノキ
40	A3-47	実測47	3-1-1溝	近世・近代	杭	ハンノキ属ハンノキ節
41	A3-48	実測48	3-1-1溝	近世・近代	杭	コナラ属コナラ節
42	A53-14	サンプルNo.14	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	トネリコ属
43	A53-76	サンプルNo.76	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	ヤマグワ
44	A53-159	サンプルNo.159	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	コナラ属クスギ節
45	A53-182	サンプルNo.182	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	コナラ属クスギ節
46	A53-183	サンプルNo.183	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	コナラ属クスギ節
47	A53-187	サンプルNo.187	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	コナラ属クスギ節
48	A53-212	サンプルNo.212	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	コナラ属クスギ節
49	A53-232	サンプルNo.232	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	コナラ属クスギ節
50	A53-240	サンプルNo.240	2-3-旧河道	4-5世紀	サンプル	コクスギ

第2表 中内村前遺跡出土木材の樹種同定資料と結果

樹種	4-5世紀	中世	近世・近代	総計
スギ			1	1
ヒノキ		3	1	4
ヒノキ属		2		2
カヤ	1			1
針葉樹			2	1
ハンノキ属ハンノキ節			1	1
ハンノキ属ヤシヤブシ節	1			1
ブナ属		2	4	6
コナラ属クスギ節		21		21
コナラ属コナラ節		1	1	2
コナラ属		1		1
アカガシ亜属	2			2
ケヤキ		1		1
ヤマダワ	1			1
モモ		1		1
コクサギ	2			2
トネリコ属	1			1
総計	30	10	10	50

表3 時期別樹種同定結果

仮道管内壁に顕著な螺旋肥厚がある。放射組織はすべて放射柔細胞からなり、単列である。分野壁孔はヒノキ型が1分野あたり2個前後あるが本標本では確認できない。

#### 4. ハンノキ属ハンノキ亜属 *Alnus* Subgen. *Alnus* *Butulaceae* 写真図版 4a-4c: A3-47

小型の道管が単独あるいは放射方向に複合して散在する散孔材。道管の直径は成長輪界付近でわずかに減少する程度であるが、道管の密度は晩材部において低くなる。道管は20本前後の横棒からなる階段状穿孔板を持つ。放射組織は単列と集合放射組織があり、いずれも平伏細胞のみから構成されている。

#### 5. ハンノキ属ヤシヤブシ亜属 *Alnus* Subgen. *Alnaster* *Betulaceae* 写真図版 5a-5c: A3-2

小型の道管が単独あるいは放射方向に複合して散在する散孔材。道管の直径は成長輪界付近でわずかに減少し、密度も低くなる。道管は20-30本程度の横棒からなる階段状穿孔板を持つ。放射組織は単列で平伏細胞のみから構成されている。

#### 6. ブナ属 *Fagus* *Fagaceae* 写真図版 6a-6c: A3-24

小型の丸い道管が密に均一に散在する散孔材。道管の直径は成長輪界付近で減少する。道管は単穿

孔板と横棒が10本以下の階段状穿孔板を持つが階段状穿孔板は腐朽のため確認できなかった。放射組織はすべて平伏細胞のみから構成されているが幅は1-10列まで幅がある。

#### 7. コナラ属クスギ節 *Quercus* Sect. *Aegilops* *Fagaceae* 写真図版 7a-7c: A3-11

成長輪の始めに大型で丸い道管が1列に並ぶ環孔材。晩材部では径を減じた厚壁の道管が放射方向に配列する。道管は単穿孔板を持つ。放射組織は平伏細胞のみから構成され、大きさには明らかに2階級あり単列と10細胞幅前後に達する背の高い大型のものからなる。軸方向柔組織は晩材部で3細胞幅以下の帯状に分布する。

#### 8. コナラ属コナラ *Quercus* Sect. *Prinus* *Fagaceae* 写真図版 8a-8c: A3-48

成長輪の始めに大型で丸い道管が1列に並ぶ環孔材。晩材部では急激に径を減じた多角で薄壁の道管が火炎状に散在する。放射組織はすべて平伏細胞であるが、大きさは明らかに2階級あり単列と10列前後に達する大型のものから構成される。道管放射組織間壁孔は楕円形の対列状-横状。軸方向柔組織は晩材部で3細胞幅以下の帯状に分布する。

#### 9. アカガシ亜属 *Quercus* Subgen. *Cyclobalanopsis* *Fagaceae* 写真図版 9a-9c: A3-13

中型で厚壁の丸い道管が単独で放射方向に配列する放射孔材。道管径は晩材部にむかって多少減少する。道管は単穿孔板をもつ。放射組織は平伏細胞のみから構成され、大きさには明らかに2階級あり、単列と8細胞幅前後に達する大型のものからなる。道管放射組織間壁孔は横状。軸方向柔組織は晩材部

樹種	平壁	えぶり	横壁	杖	その他	サンプル	計
カヤ				1			1
ハンノキ属ヤシヤブシ節	1						1
コナラ属クスギ節	1	1		8	5	6	21
コナラ属					1		1
アカガシ亜属			1				2
ヤマダワ						1	1
コクサギ			1				2
トネリコ属						1	1
総計	2	1	1	10	7	9	30

表4 4-5世紀の製品別樹種同定結果

## 第4章 科学分析

樹種	曲物	漆柄	杖	その他	計
ヒノキ	3				3
ヒノキ属	2				2
ブナ属			1	1	2
コナラ属コナラ節				1	1
ケヤキ		1			1
モモ			1		1
総計	5	1	2	2	10

表5 中世の製品別樹種同定結果

で3細胞幅以下の帯状に分布する。

10. ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino  
Ulmaceae 写真図版 10a~10c: A3-27

成長輪の始めに大型で丸い道管が1列に並ぶ環孔材。晩材部では急激に径を減じた薄壁の多角形の道管が多数集合して接線方向に配列する。道管は単穿孔孔板を持ち、小道管内部には螺旋肥厚がある。放射組織は1~6列程度で平伏細胞と1細胞高の方形細胞からなる縁辺部から構成されている。時に縁辺部の方形細胞に結晶が含まれていることがある。

11. ヤマグワ *Morus australis* Poir. Moraceae 写真図版 11a~11c: A53-76

成長輪の始めに大型で丸い道管が1列並ぶ環孔材である。晩材部では急激に直径を減じた道管が放射方向、接線方向に複合する。道管は単穿孔孔板を持つ。小道管内部には螺旋肥厚がある。放射組織は1~4列幅程度で、平伏細胞と2~4細胞高程度の直立もしくは方形細胞の縁辺部がある。道管放射組織間壁孔は大きくレンズ状を呈している。

12. モモ *Prunus persica* Batsch Rosaceae 写真図版 12a~12c: A3-23

成長輪の始めに中型で丸い道管が独立して2~4列程度並び、そこからやや径を減じた道管が数個放射方向に複合して散在する半環孔材である。障害細胞間道が接線方向に並んでいる。

道管は単穿孔孔板をもち、内壁には螺旋肥厚がある。道管内部に茶褐色の物質が見えることが多い。放射組織は1~5細胞幅程度で平伏細胞と縁辺部に方形、直立細胞がある。

13. コクサギ *Orixa japonica* Thunb. Rutaceae 写真図版 13a~13c: A3-21

極めて小型で薄壁の角張った道管が、斜めに集合して雲紋状を呈する散孔材。道管は単穿孔孔板を持ち、道管内壁に螺旋肥厚がある。放射組織は単列で平伏細胞と1細胞高の直立細胞の縁辺部から構成される。

14. トネリコ属 *Fraxinus* Oleaceae 写真図版 14a~14c: A53-14

大型の道管が成長輪の始めに並ぶ環孔材。晩材部では厚壁の小型の道管が放射方向に複合もしくは単独で散在する。道管は単穿孔孔板を持つ。放射組織は2列で平伏細胞のみから構成されている。

## III 結果

同定した結果針葉樹3樹種、広葉樹11樹種の合計14樹種が確認された(表1, 2)。4~5世紀ではコナラ属クスギ節が最も多く30点中21点を占めている。コナラ属クスギ節が多い結果は伊勢崎市や高崎市周辺の傾向と一致している。ほかにアカガシ亜属、ヤマグワ、コクサギ、トネリコ属など広葉樹材が中心に同定された。中世ではヒノキ(ヒノキ属)が最も多く、針葉樹材が増加している。近世・近代では利用している針葉樹材の種類が増加し、ブナ属、コナラ属コナラ節などもあわせて確認されている。

## 引用文献

- 藤根 久, 1993. 佐助×谷道跡出土木製品の樹種同定。「佐助×谷道跡(鎌倉税務署用地)発掘調査報告書 第2分冊」(佐助×谷道跡調査団編)。佐助×谷道跡調査団, 389-396。  
藤根 久・松葉礼子, 1998. 浜川遺跡群出土木材の樹種同定。「浜川遺跡群」(財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団編)。財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団, 336-360。

樹種	曲物	漆柄	杖	下駄	杖	板材	計
スギ				1			1
ヒノキ						1	1
針葉樹				1			2
ハンノキ属ハンノキ節					1		1
ブナ属			4				4
コナラ属コナラ節					1		1
針葉樹	1						1
総計	1	4	1	1	2	1	10

表6 近世・近代の製品別樹種同定結果

松業礼子, 2000, 北条小町邸跡で出土した土留め用材・木製品破片の樹種同定, 『北条小町邸跡(奈時・時頼邸)発掘調査報告書』(北条小町邸発掘調査団 宮田事務所編), 北条小町邸発掘調査団, 137-149.

鈴木三男・能城修一, 1986, 新保遺跡出土加工木の樹種, 『新保遺跡1弥生・古墳時代大講義 本文編』(財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団編), 群馬県教育委員会・財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団, 71-94.

鈴木三男・能城修一, 1982, 日高遺跡出土木材の樹種, 『日高遺跡一岡地自動車道(新潟県)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第5集一』(財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団編), 群馬県考古資料普及会, 372-388.

鈴木 三男・能城修一, 1997, 井戸から出土した木製品の樹種, 『早稲田大学安部球磨跡埋蔵文化財調査報告書 下戸塚遺跡の調査 第4部 中近世編 一中世一』(早稲田大学校地埋蔵文化財調査室編), 早稲田大学, 239-250.

徳永重元, 1982, 日高遺跡の花粉分析, 『日高遺跡一岡地自動車道(新潟県)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第5集一』(財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団編), 群馬県考古資料普及会, 349-356.

辻誠一郎・南木睦彦・小杉正人, 1986, 『茂林寺沼及び低地湿原調査報告書 第2集 船林の池沼群と環境の変遷史』, 船林市教育委員会, 110pp.

## 第2節 屋敷遺構柱穴出土炭化材の樹種同定

植田弥生 (ノバレオ・ラボ)

### 1. はじめに

ここでは、当遺跡3区から出土した炭化材8試料の樹種同定結果を報告する。これらは、中世のピットから出土した柱材と推定されるものである。なお4試料については、同一試料の一部を処理して、放射性炭素年代測定が実施されている(別報)。

### 2. 炭化材樹種同定の方法

まず、炭化材の横断面(木口)を手で割り、その断面を実体顕微鏡で観察し分類群のおおよその目安をつける。アカガシ亜属・コナラ節・クスギ節・クリ・シノキ属などは、横断面の管孔配列が特徴的であり実体顕微鏡下の観察で同定可能であるが、それ以外の分類群については3方向の断面(横断面・接線断面・放射断面)を走査電子顕微鏡で拡大し組織の特徴をもとに、同定を決定した。走査電子顕微鏡用の試料は、3断面を5mm角以下の大きさに整え、直径1cmの真鍮製試料台に両面テープで固定し、試料を充分乾燥させた後、金蒸着を施し、走査電子顕微鏡(日本電子(株) JSM-T100型)で観察と写真撮影を行った。

### 3. 結果とまとめ

表1に同定結果をまとめた。

検出された分類群は、針葉樹のヒノキ科、落葉広

葉樹のコナラ節・クスギ節・クリ・ケヤキ・カツラ・トネリコ属、そしてタケ亜科である。検出された分類群は、いずれも高木となり建築材に適した有用材が取れる樹種で、遺跡からの出土事例も多い樹種であった。

3試料から検出されたタケ亜科は、厚みが2mmほどの厚く硬い破片であり、明瞭な節部があるものもあった。このようなことから、かなり太い程であったと推測され、ササ類ではなくタケ類と思われる。

2716 Pitからはカツラとトネリコ属が、924 Pitからはクスギ節とヒノキ科の異なる分類群の破片が検出された。しかし、どちらか一方の樹種が混入したと断定できるような差異は無かった。また、Pit 600のコナラ節は直径1.2cmの丸木が半分に割れた状態の細い材で分枝部位もあった。Pit 924のクスギ節は、直径1.5cmの丸木で樹皮がついたやはり細い材であった。これらは柱材にしては細すぎるようではあるが、枝はらいを十分にしない状態で用いていた可能性もあり、単に混入とは否定できないと思われる。

以上のように中世の柱穴からは複数の樹種が検出され、特に落葉広葉樹材が多く使われていた。そして、タケ亜科(おそらくタケ類)は3ヶ所のピットから検出された事から、柱材として加わっていたようである。

No.	資料番号	状態	出土遺構	木製品	樹種	備考 (形状・ <sup>14</sup> C 試料)
101	A5-08	炭化材	3-1-0246 Pit	柱材	タケ葉科 カツラ	破片厚み 2mm
102	A5-11	炭化材	3-1-2716 Pit	柱材	トネリコ属	
103	A5-12	炭化材	3-1-0446 Pit	柱材	ケヤキ	
104	A5-13	炭化材	3-1-0600 Pit	柱材	コナラ節	直径1.2cm 半割れ材 約10年輪あり
105	A5-14	炭化材	3-1-0615 Pit	柱材	タケ葉科	節あり PLD-1049
106	A5-15	炭化材	3-1-0924 Pit	柱材	ヒノキ科 クスギ節	直径 3cm 丸木 24年輪あり PLD-1050 外側 7年輪を使用 直径1.5cm 丸木 樹皮付き 12年輪あり
107	A5-16	炭化材	3-1-0952 Pit	柱材	タケ葉科	厚み 2mm PLD-1051
108	A5-17	炭化材	3-1-2025 Pit	柱材	クリ	3破片 PLD-1052 1破片の外側 6年輪を使用

表7 中内村前遺跡3区出土炭化柱材の樹種結果

以下に各分類群の同定根拠とした、材組織の観察結果を記載する。

ヒノキ科 Cupressaceae 図版1 1a-1c (資料番号 A5-15)

仮道管・放射組織・樹脂細胞からなる針葉樹材。晩材の量は極めて少ない。分野壁孔は1分野に1～3個、小型のスギ型やヒノキ型である。放射組織の壁は平滑で、仮道管にらせん肥厚はなく、樹脂道もない。放射組織の細胞高は全般に低く、5細胞高前後が多い。このような形質からヒノキ科の材と思われる、特にアスナロに類似するが分野壁孔の数は少ないので分類群は特定できなかった。

コナラ属コナラ亜属コナラ節 *Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 図版1 2a-2c (資料番号 A5-13)

年輪の始めに中型の管孔が配列し、その後は孔口が薄壁で多角形の非常に小型の管孔が火炎状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一、内腔にチロースが発達する。放射組織は単列のものと広放射組織がある。

コナラ属コナラ亜属クスギ節 *Q.* subgen. *Quercus* sect. *Cerris* ブナ科 図版1 3a-3c (資料 A5-15)

年輪の始めに大型の管孔が1～3層配列し、その後は孔口が厚壁で円形の小型の管孔が単独で火炎状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一、チロースがある。放射組織は同性、単列のものと広放射組織があり、道管との壁孔は大型、大型の結晶細胞が多い。

クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科 図版2 4a-4c (資料番号 A5-17)

年輪の始めに多数の大型の管孔が配列し、晩材部は非常に小型の管孔が火炎状に配列する環孔材。道管の穿孔は単一、チロースがある。放射組織は単列同性、道管との壁孔は大型である。

ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ニレ科 図版2 5a-5c (資料番号 A5-12)

年輪の始めに中型の管孔が1～2層配列し、その後は小型から非常に小型の管孔が集合して塊状や接線状・斜状に配列する環孔材。道管の壁孔は交互状、穿孔は単一、小道管にはらせん肥厚がある。放射組織は異性、5～8細胞幅の紡錘形、上下端や縁に結晶細胞があり、道管との壁孔は交互状である。

カツラ *Cercidiphyllum japonicum* Sieb. et Zucc. カツラ科 図版2 6a-6c (資料番号 A5-11)

小型で多角形の管孔が年輪内に密在し、年輪界ではやや径を減じ、管孔の占有面積が非常に多い散孔材。道管の壁孔は交互状から階段状、穿孔は横棹数が非常に多い階段穿孔である。放射組織は異性、1～3細胞幅、多列部の上下端に方形細胞や直立細胞からなる単列部が1～3細胞層ある。

トネリコ属 *Fraxinus* モクセイ科 図版3 7a-7c (資料番号 A5-11)

中型の管孔が2～3層配列し、その後は小型の管孔が単独または2～3個が複合して分布する環孔材。周囲状柔組織が顕著である。道管の壁孔は小型

で交互状、穿孔は単一である。放射組織は同性、1～2細胞幅である。

タケ重科 Gramineae 図版3 8a (資料番号 A5-6)

2mm前後の厚みがある硬質の稈で、明瞭な節を持

つ。横断面の維管束は、散在する不整中心性で、維管束鞘が非常に発達している。このような形質から、タケ重科と同定され、特に太く高く成長するタケ類と考えられる。

### 第3節 放射性炭素年代測定

中内村前遺跡から出土した炭化材試料4点の放射性炭素年代をAMS法にて測定した。測定結果と暦年代較正して得られた結果は表1に記載した。

#### 放射性炭素年代測定について

試料は、酸・アルカリ・酸洗浄を施して不純物を除去し、石墨(グラファイト)に調整した後、加速器質量分析計(AMS)にて測定した。測定された $^{14}\text{C}$ 濃度について同位体分別効果の補正を行った後、補正した $^{14}\text{C}$ 濃度を用いて $^{14}\text{C}$ 年代を算出した。

なお、 $^{14}\text{C}$ 年代値(yrBP)の算出には $^{14}\text{C}$ の半減期としてLibbyの半減期5,568年を使用した。また、付記した $^{14}\text{C}$ 年代誤差( $\pm 1\sigma$ )は、計数値の標準偏差 $\sigma$ に基づいて算出し、標準偏差(One sigma)に相当する年代である。これは、試料の $^{14}\text{C}$ 年代が、その $^{14}\text{C}$ 年代誤差範囲内に入る確率が68%であることを意味する。試料の $^{14}\text{C}$ 計数率と現在の標準炭素(Modern standard carbon)の $^{14}\text{C}$ 計数率の比が $^{14}\text{C}_{\text{Sample}} / ^{14}\text{C}_{\text{Modern}} \geq 1$ の時はModernと表記する。

#### 同位体分別効果の補正について

表1に記載した $\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$ 値は、PDB標準試料の $^{13}\text{C} / ^{12}\text{C}$ 比( $^{13}\text{C} / ^{12}\text{C}$ ) PDB = 0.0112372)を標準値として、その標準値からのずれを千分率で示し、試料炭素の $^{13}\text{C} / ^{12}\text{C}$ 比( $^{13}\text{C} / ^{12}\text{C}_{\text{sample}}$ )を質量分析計で測定して、 $\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}} = [ ( ^{13}\text{C} / ^{12}\text{C}_{\text{sample}} - ( ^{13}\text{C} / ^{12}\text{C}_{\text{PDB}} ) ) / ( ^{13}\text{C} / ^{12}\text{C}_{\text{PDB}} ) ] \times 1000$ の計算式によって算出した。試料の $\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$ 値を $-25.0\%$ に規格化することにより、測定された試料の $\delta^{13}\text{C}_{\text{PDB}}$ 値を用いて $^{14}\text{C}$ 濃度を補正し、これを用いて $^{14}\text{C}$ 年代を算出し

山形秀樹 (パレオ・ラゴ)

た。したがって、表1に記載した $^{14}\text{C}$ 年代は同位体分別効果による測定誤差を補正した年代である。

#### 暦年代較正について

暦年代較正とは、大気中の $^{14}\text{C}$ 濃度が一定で半減期が5,568年として算出された $^{14}\text{C}$ 年代に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の $^{14}\text{C}$ 濃度の変動、および半減期の違い( $^{14}\text{C}$ の半減期5,730 $\pm$ 40年)を較正し、より正確に真の年代を求めるために、 $^{14}\text{C}$ 年代を暦年代に変換することである。具体的には、年代既知の樹木年輪の $^{14}\text{C}$ 年代の詳細な測定値を用い、さらに珊瑚のU-Th年代と $^{14}\text{C}$ 年代の比較、および海成堆積物中の高状の堆積構造を用いて $^{14}\text{C}$ 年代と暦年代の関係を調べたデータにより、較正曲線を作成し、これを用いて較正暦年代を算出する。較正暦年代の算出にRadiocarbon Calibration Program' CALIB rev. 4.3 [Reference for datasets used: Stuiver,M., Reimer,P.J., Bard,E., Beck,J.W., Burr,G.S., Hughen,K.A., Kromer,B., McCormac,F.G., v.d. Plicht,J., and Spurk,M. (INTCAL98 : Stuiver et al., 1998a). Radiocarbon 40, p.1041-1083] を使用した。なお、暦年代較正值は $^{14}\text{C}$ 年代値に対応する較正曲線上の暦年代値であり、真の年代である可能性が最も高いことを示す。また、 $1\sigma$ 暦年代範囲および $2\sigma$ 暦年代範囲は確率分布を用いて算出した暦年代範囲であり、その範囲内に真の年代が入る可能性が高いことを示す。 $1\sigma$ 暦年代範囲は $^{14}\text{C}$ 年代誤差に相当する較正曲線上の暦年代範囲であり、真の年代が入る確率が68%であることを示す。 $1\sigma$ 暦年代範囲のProbabilityは、68%のうちで、さらに特定の

#### 第4章 科学分析

1 $\sigma$  暦年代範囲に入る確率を示す。同様に、2 $\sigma$  暦年代範囲は<sup>14</sup>C年代誤差の2倍(±2 $\sigma$ )に相当する校正曲線上の暦年代範囲であり、真の年代が入る確率が95%であることを示す。2 $\sigma$  暦年代範囲のProbabilityは、95%のうちで、さらに特定の2 $\sigma$  暦年代範囲に入る確率を示す。

校正曲線は<sup>14</sup>C濃度の変動のためデコボコしており、そのため<sup>14</sup>C年代値に対応する暦年代較正值、または<sup>14</sup>C年代誤差に相当する暦年代範囲が複数存在する場合があるが、暦年代較正值はいずれも等しく真の年代である可能性があり、1 $\sigma$  暦年代範囲はいずれも68%、2 $\sigma$  暦年代範囲はいずれも95%の確率で、さらにProbabilityに示された確率で真の年代が入る。

暦年代較正は約二万年前からAD1950年までが有効であり、該当しないものについては暦年代較正值を\*\*\*\*またはModernと表記し、1 $\sigma$  暦年代範囲および2 $\sigma$  暦年代範囲を\*\*\*\*\*と表記する。また、cal

AD1955\*は核実験後の年代を指し、Modernを意味する。ただし、一万年以前のデータはまだ不完全であるため注意する必要がある。

#### 備考

ModernはAD1950年以降の新しい年代を指す。yrBPはAD1950年から過去へ遡った年代を意味する。calは較正した暦年代を意味し、実年代との混同を防ぐためにつけられる。また、Probabilityが10%未満の1 $\sigma$  年代範囲および2 $\sigma$  年代範囲については記載を省略した。

#### 引用文献

- 中村俊夫(2000) 放射性炭素年代測定法の基礎。日本先史時代の<sup>14</sup>C年代、p.3-20。  
 Stuiver, M. and Reimer, P. J. (1993) Extended <sup>14</sup>C Database and Revised CALIB3.0 <sup>14</sup>C Age Calibration Program, Radiocarbon, 35, p.215-230.

測定番号 (測定方法)	試料データ	δ13CPDB (‰)	14C年代 (yrBP±1 $\sigma$ )	14C年代を暦年代に較正した年代		
				暦年代較正值	1 $\sigma$ 暦年代範囲(Probability)	2 $\sigma$ 暦年代範囲(Probability)
PLD-1049 (AMS)	炭化材(タケ壱科) A5-143-1-0615Pn 柱材	-27.1	820±25	cal AD1220	cal AD1210-1260(98.7%)	cal AD1185-1275(97.4%)
PLD-1050 (AMS)	炭化材(ヒノキ科) A5-153-1-0924Pn 柱材	-23.5	1140±25	cal AD895 cal AD925 cal AD935	cal AD885-905(23.2%) cal AD915-965(71.8%)	cal AD860-980(90.9%)
PLD-1051 (AMS)	炭化材(タケ壱科) A5-163-1-0952Pn 柱材	-27.7	810±25	cal AD1225 cal AD1230 cal AD1240	cal AD1220-1260(100%)	cal AD1190-1280(100%)
PLD-1052 (AMS)	炭化材(クリ) A5-173-1-2025Pn 柱材	-25.9	850±25	cal AD1215	cal AD1165-1225(97.7%)	cal AD1155-1265(95.3%)

第8表 放射性炭素年代測定および暦年代較正の結果



## 第5章 まとめ(小結)

以上述べてきたように中内村前遺跡の1～4区に於いては多数の遺構を調査し、遺物を取り上げることができた。その概要については第3章の各節冒頭に述べたので繰り返さないが、1～4区全域にAs-A降下(1783)後の耕作遺構や水路が見られた。そして1区西部には古代の集落、2区東半部には古墳時代前・中期の旧河道や古墳時代後期と平安時代末期の水田址、3区西半部には鎌倉時代以降の屋敷遺構、3区東半部～4区西部にかけては中世の水田址、4区全域には平安時代末期の水田址を調査した。

その成果は少なくなかったが、本書に於いては特に3区に確認、調査した(鎌倉時代頃を中心として)使用されたと想定される(屋敷遺構の溝及び掘立柱建物群(ピット群)、及び3-1-26号溝出土の墨書礎石)について触れてまとめたい。

### 第1節 屋敷遺構の堀と溝

#### 1 はじめに

3-1-屋敷遺構(以下「屋敷」とする)に於いては、その周囲を画する溝遺構が20条、屋敷内の区画溝等7条が確認、調査されている。以下、屋敷遺構の溝遺構について若干の検討を行いたい。

尚、以下本項に於いては各遺構番号の表記を簡略にするため、遺構番号のうち3区1面の遺構であることを示す「3-1-」表記を省略することとする。

#### 2 溝遺構の掘り直し回数

屋敷周囲を画する溝の新旧関係は殆ど特定できなかったのがあるが、このうち屋敷の東側を画する溝群(26-29・32・36-38号溝)では、26号溝使用の時期→北半は27号溝、南半は26号溝を使用した時期→27号溝使用の時期の3時期が想定される。更に26号溝と33号溝の覆土の堆積状況から、26号溝が33号溝に繋がっていた時期→26号溝から南側の35号溝に直線的に繋げていた時期の2時期が想定されている。

第3章でも述べたように、3区1面の屋敷遺構で確認した2,726基のピットの分析に当たっては東北芸術工科大学の宮本長二郎先生のお手を煩わせた。先生にはお忙しい中、ピット群から72様の建物を抽出して載った。抽出された個々の建物については建物の軸方向に関する若干の考察と併せて失礼乍筆者が第2節で述べて載ることとした。先生には建物の総括についての玉稿を賜った。この玉稿については第3節に掲載させて載ることとする。

また、3区1面の屋敷遺構東堀である3-1-26号溝からは非常に珍しい墨書礎石が出土した。ここに書かれた経文については神奈川県立金沢文庫の西岡芳文先生のお手を煩わせ、ご鑑定をお願いした。先生にはお忙しい中ご丁寧なご検討を戴き玉稿を賜った。この玉稿については第4節に掲載させて載った。

これに他の溝の新旧を勘案すると、東側の溝だけで合わせて8時期以上の時期があったことが確認されている。

また、南側を画する溝群(8・12-15・35溝)では5時期以上が想定され、西側を画する溝群(4・5・6号溝)では6号溝→5号溝→4号溝へ移行した3時期が設定される。北側を画する溝群(7・11・20号溝)ではその遺構のあり方から20号溝或いは7号溝で完結した時期と、北側に新たに郭を配置したこと考えられる時期の3時期を想定することができた。更に11号溝では覆土の状態から2回の掘り直しが確認された。

このように溝遺構からは部分によって想定される時期の数は異なるが、一辺3時期以上、全体としては8時期以上の塗り替えのあったことを想定することができるのである。このことは後述する建物の重複の状況と併せて、屋敷遺構が長期的に使用されていたことを示している。



第213図 屋敷遺構と溝の配置

### 3 一つの時期に於ける溝・堀の配置

さてこれら屋敷遺構の四囲を廻る溝群について、一時期にどの溝とどの溝が対応したかは特定できなかったのであるが、以下のような規模に関する状況が認められる。

屋敷遺構の郭を包むと想定される溝のうち東側の26・27号溝、西側の4号溝、南側の8・33号溝、北側の7・11号溝は堀と呼べるような規模を有するものであった。これらの溝は近世の溝に壊されていたり、調査区外に出る部分もあるため全体の状況はつまびらかではないのであるが、位置関係から中央郭の西側を画する4号溝と北側を画する7号溝は接続する可能性を有し、北側郭の西側を画する11号溝と

中央・北側郭の東を画する26・27号溝が調査区外に存在が推定できる北側郭の北を画する堀を介して連続する可能性が考慮されるのである。しかしながら、例えば東側の27号溝は南側で途切れて10m以内にこれに接続或いは対応する堀は確認されていない。また、東側から入って南側に回り込む26号溝と33号溝も、33号溝の西端が途切れていて延長方向にある8号溝とは21.5mと、かなりの距離で隔たっている。従って33号溝と8号溝が対応するものとは考えられない。このように調査区外に出ている不明箇所を考慮に入れ、或いは虎口の存在を想定しても“堀”だけで屋敷遺構の四囲を囲むことはできないのである。

一方“堀”に比べて小規模な“溝”では、中央郭の西を画する5・6号溝と北を画する20号溝が接続する可能性を有し、南を画する溝のうち14号溝が27号溝の位置まで達しているため南から来る28号溝と接続していた可能性がある。しかし近世の溝や上述の“堀”に切れ、或いは南側の15号溝に見られるようにその掘削が浅いためどこまで延びていたか特定できないものも見られたため、全体の状況は不明である。小規模な“溝”だけ、屋敷遺構の四圍を囲めた可能性はあるのであるが、実際に囲んでいたか否かを特定することはできなかったのである。

上述のように、溝の規模で分けた場合、大きな規模の溝（＝堀）だけでは屋敷遺構を囲む溝としては完結しないことが確認された。従って、郭の四圍を囲むためには堀と小規模な溝とを組み合わせて考える必要があると思慮されるが、規模の違う溝を同格のものとして繋いで良いものか否かを判断に迷っていた。そんな折、松田直剛氏から高知県南国市の田村館址群についてご教示賜る機会を得たのであるが、その際、氏は田村館址群の館では溝→堀→溝という推移が認められるが、平時には溝を使用し、戦乱期には堀を使用していたと判断され、堀と溝の違いは周辺地域の安定に左右されるものであるといった見解を示された。一つの時期に堀と溝の両者が並存する本遺跡の屋敷遺構にこうした見解を当て嵌めるのが適当か否かという問題はあるが、一方で両者を用いなければ屋敷遺構を囲むことができないのであり、堀と溝が掘削時点での周辺地域の安定に左右されるものであるとすれば、両者が並存し、同格のものとして許容されていたものと思われるのである。

尚、本屋敷は前述したように出土炭化材の年代測定から平安時代末期から鎌倉時代前半期の年代が与えられ、また出土遺物からも鎌倉時代を中心とする時期の所産として解釈されている。本遺跡周辺では、鎌倉時代は比較的安定した世情であったと思われるが、その当初の源平合戦の時期、中期の上野守護安達氏失脚の霜月の乱の時、及びその終焉から南北朝期に至る時期は不安定となる。しかし、堀の掘削が、

こうした不安定要因だけに拠るものであるか否かを特定することはできなかった。

#### 4 屋敷遺構内部の溝群

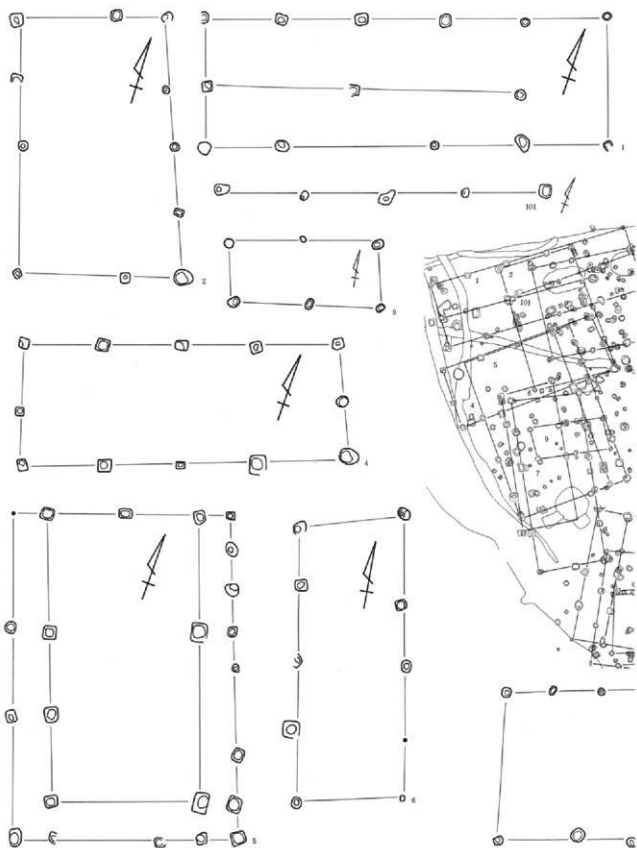
屋敷遺構内部の溝としては8条が確認されている。何れも郭全体に広がるものではなかったが、このうち南西部の4号溝の内側に並走する9号溝は位置的に土塁の内側を画する溝と解釈した。しかし、或いは屋敷遺構の西を画する溝であった可能性も残されている。

一方、屋敷遺構中央部に在る南北走行の16号溝は屋敷遺構中央郭、特に南東城北部を東西に画する溝と解釈した。建物との関係で言うと、16号溝は走行＝方位が近似する後述のSB46号建物とSB52号建物の間に位置しているため、両建物に伴うもので、これを画する溝である可能性を考えたい。

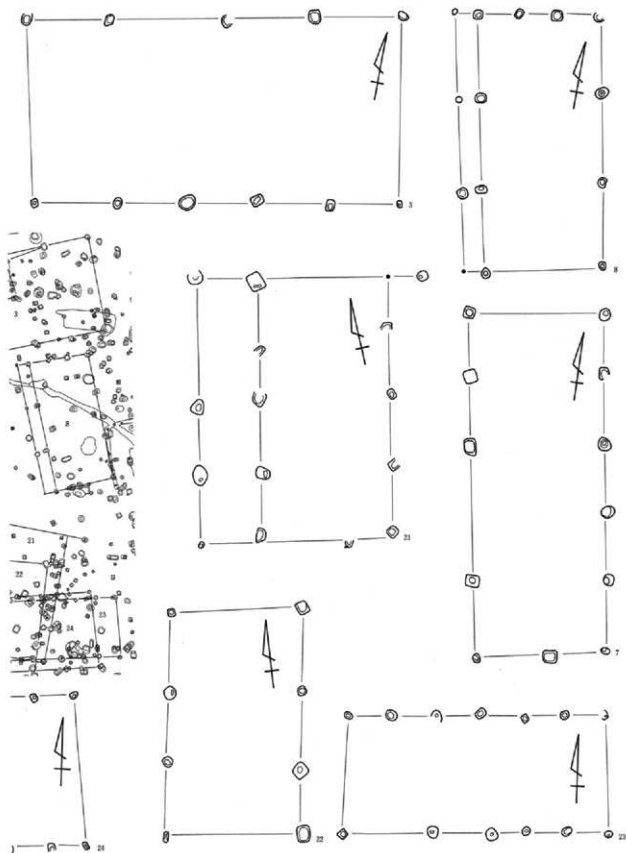
中央郭中北に在る22・23号溝は直線的或いはL字形のプランを呈するもので、建物に伴うものと解釈しているが、共に抽出された掘立柱建物とこれに適合する配置のものは認められなかった。走行の方向は両溝共に最も多く建物の建っていた時期のものとして一致している。

北東部の24・25号溝は掘立柱建物の分布が希薄で、井戸の多く確認された区域に在って井戸に近い位置に在り、26号溝に続くため、排水のための溝と解釈した。プランは鉤の手を呈しており、26号溝を使っていた時期、或いは北半を26号溝、南半を27号溝を使っていた時期に伴うものと解釈される。

北西部の17・18号溝はその走行が屋敷遺構四圍の堀等と一致していない。即ち、その北部に於いては7号溝に直行する傾向を示しているが、中・南部は近世以降の用水路である1～3号溝に並行する位置を走行している。こうしたことから17・18号溝は近世の水路である3号溝掘削へと続く時期のものではないかと考えられる。即ち、17・18号溝は屋敷遺構内に洪水等による流路の形成されつつあった状態を示しているのではないかと考えられるのである。



第214図の(1) 屋敷遺構内の掘立柱建物(北城西部)



第214図の(2) 屋敷遺構内の掘立柱建物（北城西部）

## 第2節 屋敷遺構内の建物

### 1 はじめに

第3章第3節に述べたように、3区屋敷遺構には2,726基のピットを確認、調査したのであるが、筆者の能力不足や調査期間との兼ね合いから十分な調査も、また建物の想定も行えずに発掘調査を終了した。その後整理段階に至っても建物の想定に苦慮していたのであるが、幸いにも宮本長二郎先生のご尽力によって72棟の建物と15基の柱穴列を想定して載くことができた。

本来であるならば先生にご説明賜るべきところではあろうが、本報告書に於いては、私なりの理解に於いて抽出して載いた建物についてその概要を述べさせて載くこととしたい。

### 2 北域の建物と柱穴列

#### (1) 1号建物 (SB1, 第214図)

**概要** 北域北西位置し、郭北側を画する3-1-7号溝に沿うように在る。2×5間の建物で、一部の柱が確認されていないが、総柱建物に分類される。

**間尺** 東西 2.0~2.4m 平均 2.10m

南北 1.6~1.8m 平均 1.70m

**主軸方位** N70°

#### (2) 2号建物 (SB2, 第214図)

**概要** 1号建物に直交して重複しており、3-1-7号溝の南に北側柱穴列が沿うように在る。2×4間の建物であるが、中央の柱穴列が東にやや片寄っている。

**間尺** 東西(西側) 2.7~2.8m 平均 2.75m

(東側) 1.3~1.5m 平均 1.40m

南北 1.5~1.9m 平均 1.69m

**主軸方位** N340°

#### (3) 3号建物 (SB3, 第214図)

**概要** 北域北西位置し、1号建物の南東に重なって位置する。1×5間の建物であるが設計規格は2×5間であったと想定される。

**間尺** 東西 1.8~2.4m 平均 1.97

南北 4.8~5.0m 平均 4.95m

**主軸方位** N80°

#### (4) 4号建物 (SB4, 第214図)

**概要** 1号建物の南に位置する。2×4間の建物であるが、東西の間尺に比し南北の間尺が短い。

**間尺** 東西 2.0~2.2m 平均 2.19m

南北 1.4~1.8m 平均 1.53m

**主軸方位** N70°

#### (5) 5号建物 (SB5, 第214図)

**概要** 北側が4号建物中程に重なるように位置する。2×3間の建物で、南北列の中位の柱はそれぞれやや南に偏る。本体から80~90cm離れた東・南・西面に下屋を有するがピット配置はやや複雑である。

**間尺** 本体 東西 2.0~2.0m 平均 2.00m

南北 2.1~3.1m 平均 2.50m

下屋 東西 0.8~1.1m 平均 0.94m

南北 0.9~1.3m 平均 1.08m

**主軸方位** N340°

#### (6) 6号建物 (SB6, 第214図)

**概要** 北域南西、5号建物中~南西部に重なるように位置する。1×4間の建物である。

**間尺** 東西 2.8m 平均 2.80m

南北 1.5~2.4m 平均 1.83m

**主軸方位** N352°

#### (7) 7号建物 (SB7, 第214図)

**概要** 6号建物に対して南東にスライドしたような位置に重なって位置している。2×5間の掘立建物である。

**間尺** 東西 1.4~1.9m 平均 1.73m

南北 1.6~2.1m 平均 1.79m

**主軸方位** N359°

## (8) 8号建物 (SB8, 第214図)

**概要** 北側が10号建物の南西に一部重なって位置する。3×3間の建物であるが、東西の柱間は狭い。建物本体から西側50~60cmの位置に下屋を有する。下屋の柱間は本体のそれに準ずる。

<b>間尺</b> 本体	東西	1.0~1.1m	平均	1.05m
	南北	2.0~2.4m	平均	2.25m
下屋	南北	2.1~2.5m	平均	2.30m

**主軸方位** N350°

## (9) 9号建物 (SB9, 第214図)

**概要** 北城西部に在り、5・6・7号建物に重複する。1×2間の小型の建物で、プランはやや変形を呈する。

<b>間尺</b> 東西	1.9~2.0m	平均	1.98m
南北	1.5~1.7m	平均	1.6m

**主軸方位** N81°

## (10) 10号建物 (SB10, 第215図)

**概要** 北城中北部に在る東西に棟を持つ庇付の大型建物で、1・8・11・18号建物と重複する。建物本体から西側60cmに下屋が付く。柱配置はやや不規則であるが、建物本体は2×8間の総柱の建物である。

<b>間尺</b> 本体	東西	1.2~2.3m	平均	1.77m
	南北	0.7~2.3m	平均	1.39m
下屋	南北	1.4m	平均	1.18m

**主軸方位** N78°

## (11) 11号建物 (SB11, 第215図)

**概要** 10号建物の東に重複して位置する。3×2間の規格を持つ1×3間の建物と想定されるが、棟持柱は持たない。建物本体から80cm程の東西の位置に下屋を有する。

<b>間尺</b> 本体	東西	3.8~3.9m	平均	3.85m
	南北	2.1~2.2m	平均	2.12m
下屋	南北	1.8~2.4m	平均	2.24m

**主軸方位** N0°

## (12) 12号建物 (SB12, 第215図)

**概要** 北城東部に在って11・13号建物などと重複する。1×4間の細長い建物である。廂の可能性も考えられる。

<b>間尺</b> 東西	1.9~2.6m	平均	2.29m
南北	2.2~2.3m	平均	2.25m

**主軸方位** N98°

## (13) 13号建物 (SB13, 第216図)

**概要** 北城の大型建物の一つで、東南部に位置する。建物全体は正方形に近いプランを呈しているが、南東部に3×5間の南北に長い本体建物がある。その北東に2×3間の建物部分が付随し、北側0.7mと付随部分の東0.9mのラインに下屋が付く。東側の下屋のラインは南に延び、本体建物の南の列が東に延びたものと直角に交わる。付随部分南側列の延長線上の柱列が本体建物南寄りに並んでいる。

<b>間尺</b> 本体	東西	1.8~2.4m	平均	2.00m
	南北	1.3~2.3m	平均	1.85m
付随部分	東西	1.2~1.7m	平均	1.41m
	南北	2.0~2.1m	平均	2.07m
東側下屋	南北	0.5~0.9m	平均	1.33m

**主軸方位** N350°

## (14) 14号建物 (SB14, 第215図)

**概要** 北城東部に13号建物東部に重なる。棟持柱を持たない4×2間の建物であるが、規模はやや大きい。

<b>間尺</b> 東西	3.3~3.4m	平均	3.35m
南北	1.9~2.7m	平均	2.3m

**主軸方位** N348°

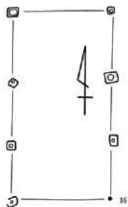
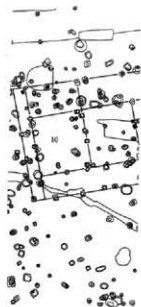
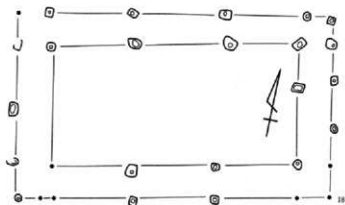
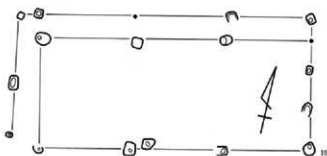
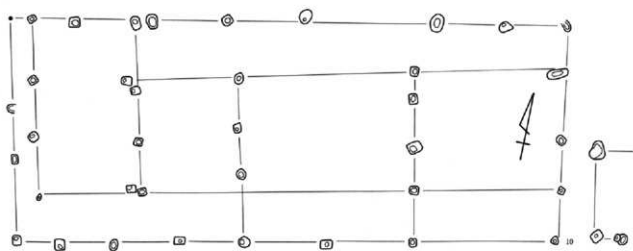
## (15) 15号建物 (SB15, 第215図)

**概要** 北部東部に14・19号建物に跨って位置する。2×6間の建物で、棟持柱がやや西に偏る。

<b>間尺</b> 東西	1.4~2.0m	平均	1.70m
南北	1.1~1.6m	平均	1.21m

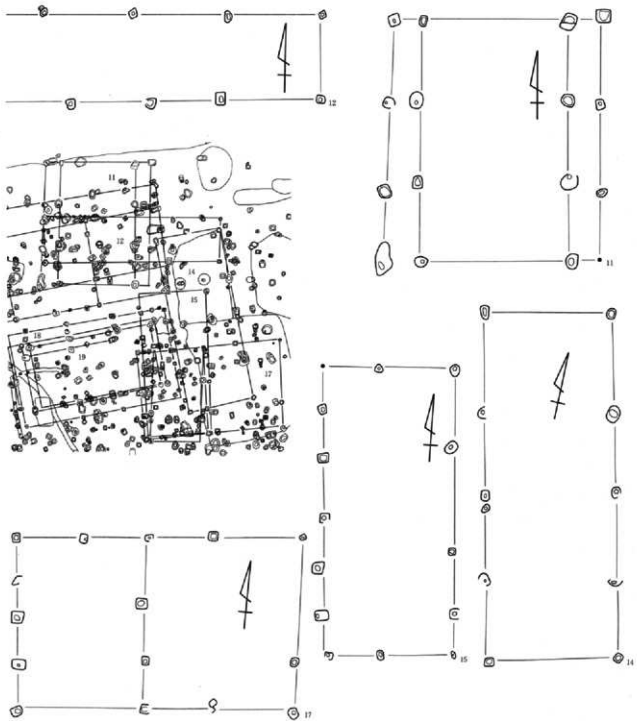
**主軸方位** N358°

第5章 まとめ (小結)

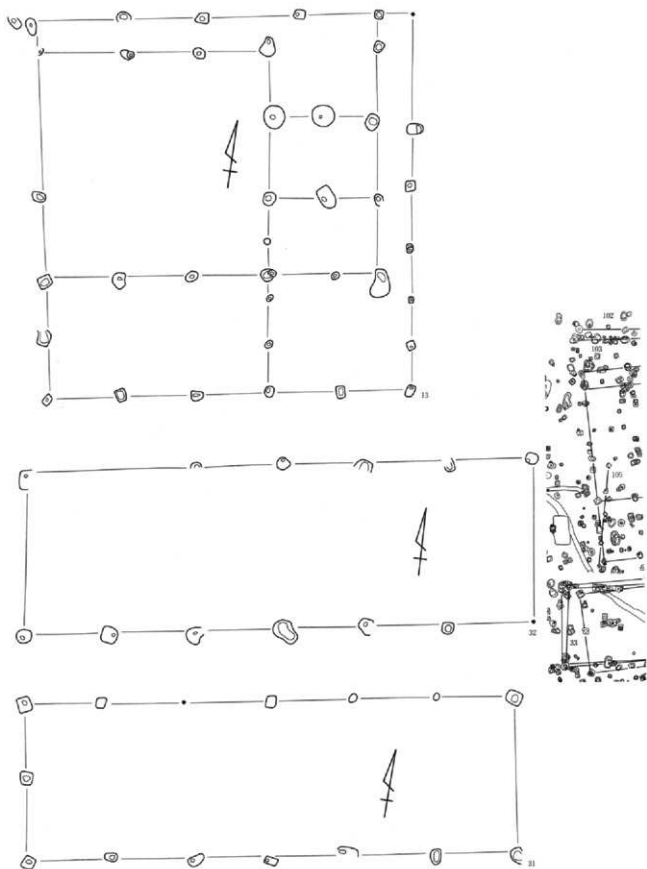


第215図の(1) 屋敷遺構内の掘立柱建物 (北域中部)



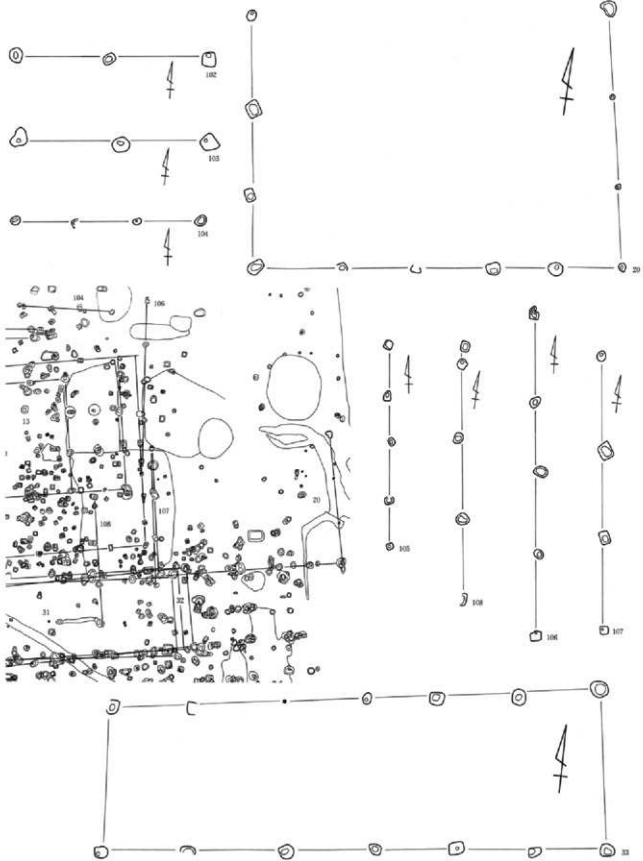


第215図の(2) 屋敷遺構内の掘立柱建物（北域中部）



第216図の(1) 屋敷遺構内の掘立柱建物(北城東部)

第2節 屋敷遺構内の建物



第216図の(2) 屋敷遺構内の掘立柱建物（北城東部）

第5章 まとめ(小結)

(16) 16号建物 (SB16, 第215図)

概要 15号建物の南よりに重なる。1×3間の小型の建物である。

間尺 東西 2.6m 平均 2.6m

南北 1.7~2.7m 平均 1.65m

主軸方位 N350°

(17) 17号建物 (SB17, 第215図)

概要 北域東部の13号建物の南東に重複する4×4間の東西に長い建物である。中央やや西寄りに柱穴列が並ぶ。南北列の中位の柱はやや南に偏る。

間尺 東西 1.7~2.3m 平均 1.85m

南北 1.0~1.3m 平均 1.16m

主軸方位 N80°

(18) 18号建物 (SB18, 第215図)

概要 北域中部南寄りに位置する、3×3間の東西に長い4面庇の建物である。下屋が建物本体から60cm~1m離れた位置に建っている。南北方向の柱の掘削位置はやや不定である。

間尺 東西 1.8~2.5m 平均 2.18m

南北 0.9~1.3m 平均 0.93m

主軸方位 N79°

(19) 19号建物 (SB19, 第215図)

概要 18号建物の中に位置する。18号建物同様3×3間の東西に長い建物である。北側と西側の建物本体より50cm離れた位置に下屋が設けられている。

間尺 本体 東西 2.0~2.6m 平均 2.33m

南北 0.8~1.0m 平均 0.98m

下屋 南北 1.3~1.8m 平均 1.55m

主軸方位 N77°

(20) 20号建物 (SB20, 第216図)

概要 北域東南隅部に位置する。北側が欠失するが、残存部は3×5間の大型の建物である。プランは東西に若干長い。

間尺 東西 1.7~2.3m 平均 1.94

南北 1.9~2.5m 平均 2.25

主軸方位 N80°

(21) 101号柱穴列 (第214図)

概要 北域北西隅部に位置する。5基のピットからなる4間の柱穴列である。東西を向く。

間尺 東西 2.1~2.2m 平均 2.18m

主軸方位 N75°

(22) 102号柱穴列 (第216図)

概要 北域北東に位置する、3基のピットからなる東西方向の柱穴列である。

間尺 東西 2.5~2.6m 平均 2.55m

主軸方位 N80°

(23) 103号柱穴列 (第216図)

概要 102号柱穴列の南に近接する、3基のピットからなる東西方向の柱穴列。

間尺 東西 2.3~2.7m 平均 2.50m

主軸方位 N80°

(24) 104号柱穴列 (第216図)

概要 102号柱穴列の北東に近接する、4基のピットからなる東西方向の柱穴列。

間尺 東西 1.6~1.7m 平均 1.63m

主軸方位 N88°

(25) 105号柱穴列 (第216図)

概要 北域中部に位置する、5基のピットからなる南北方向の柱穴列である。

間尺 南北 1.2~1.5m 平均 1.30m

主軸方位 N2°

(26) 106号柱穴列 (第216図)

概要 北域北東北寄りに位置する、5基のピットからなる南北列の柱穴列である。

間尺 南北 1.8~2.3m 平均 2.10m

主軸方位 N357°

## ⑦ 107号柱穴列 (第216図)

概要 108号柱穴列の東に位置する南北列の柱穴列で、4基のピットからなる。

間尺 南北 2.3~2.5m 平均 2.40m

主軸方位 N350°

## ⑧ 108号柱穴列 (第216図)

概要 北城北東南寄りに位置する南北方向の柱穴列で、4乃至5基のピットからなる。

間尺 南北 2.0~2.4m 平均 2.13m

主軸方位 N355°

## 3 中城の建物と柱穴列

## ⑨ 21号建物 (SB21, 第214図)

概要 中城西部に在る。一部柱穴が確認されていないが、3×4間の庇付の建物である。西半分が総柱の建物となる。建物本体から東側80cmの位置に下屋を有する可能性を持つ。

間尺 東西 1.2~1.7m 平均 1.29m

南北 1.3~2.0m 平均 1.70m

主軸方位 N14°

## ⑩ 22号建物 (SB22, 第214図)

概要 21号建物の中にやや南にスライドするような位置に重複して位置する。2×3間の規格に基づく建物と想定されるが、棟持柱は持たない。

間尺 東西 3.5~3.7m 平均 3.60m

南北 1.7~2.3m 平均 1.98m

主軸方位 N18°

## ⑪ 23号建物 (SB23, 第214図)

概要 西半分が21・22号建物に重複する。1×6間の建物であるが、間尺は東西が狭く、南北が広がっている。

間尺 東西 1.1~1.6m 平均 1.17m

南北 3.1m 平均 3.1m

主軸方位 N92°

## ⑫ 24号建物 (SB24, 第214図)

概要 21~23・27号建物に重複して位置する。1×4間の建物であるが、南北列は広がっている。プランは台形を呈する。

間尺 東西 1.0~2.1m 平均 1.31m

南北 3.9~4.0m 平均 3.95m

主軸方位 N80°

## ⑬ 25号建物 (SB25, 第217図)

概要 中城西部に東寄りに位置する。中位の規模の1×4間の建物であるが、棟持柱は持たない。

間尺 東西 3.2~3.5m 平均 3.35m

南北 2.2~2.6m 平均 2.31m

主軸方位 N350°

## ⑭ 26号建物 (SB26, 第217図)

概要 中城・西部境の北寄りに、中城北半の大型建物と重複して位置する小型の建物である。東西列は5間。南北列は東側が2間、西側が3間のプランである。

間尺 東西 0.9~1.6m 平均 1.31m

南北 (東側) 1.8m 平均 1.80m

南北 (西側) 1.0~1.3m 平均 1.13m

主軸方位 N85°

## ⑮ 27号建物 (SB27, 第217図)

概要 中城西部に位置し、21・23号建物から南東にスライドするように重なって位置する。南北列は3間、東西列は北側で3間、南側では2間の庇付の建物である。

間尺 東西 (北側) 1.1~1.6m 平均 1.30m

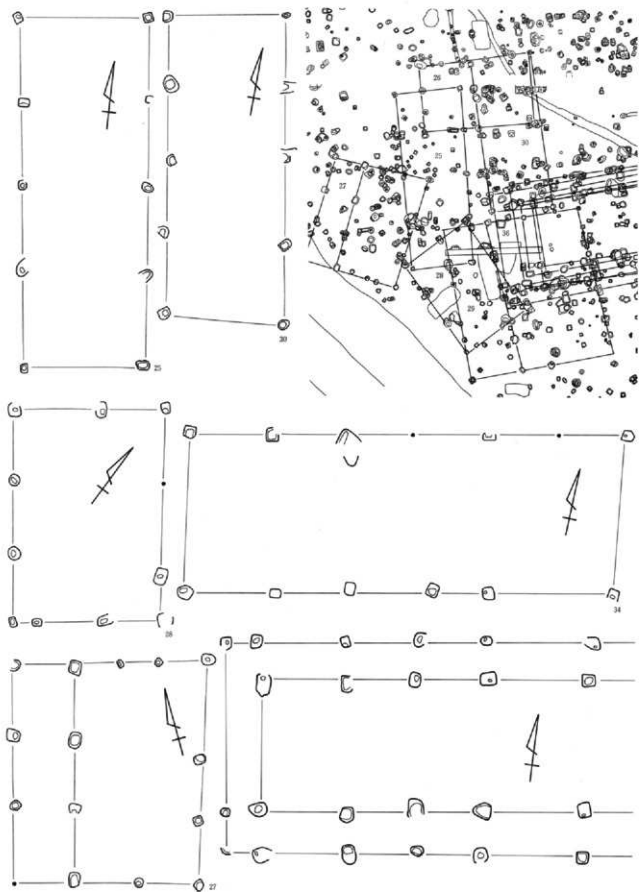
東西 (南側) 1.6~1.7m 平均 1.63m

南北 1.6~2.0m 平均 1.72m

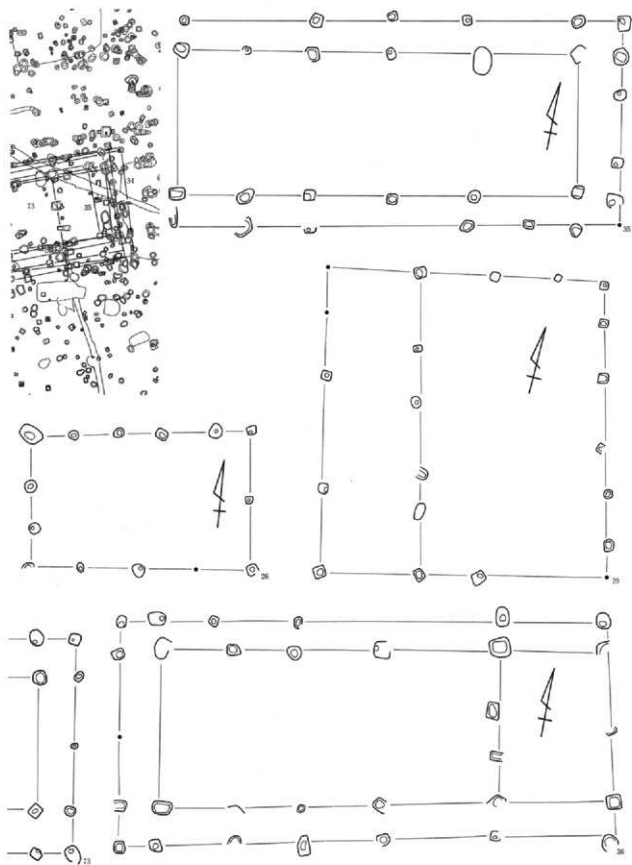
主軸方位 N347°

## ⑯ 28号建物 (SB28, 第217図)

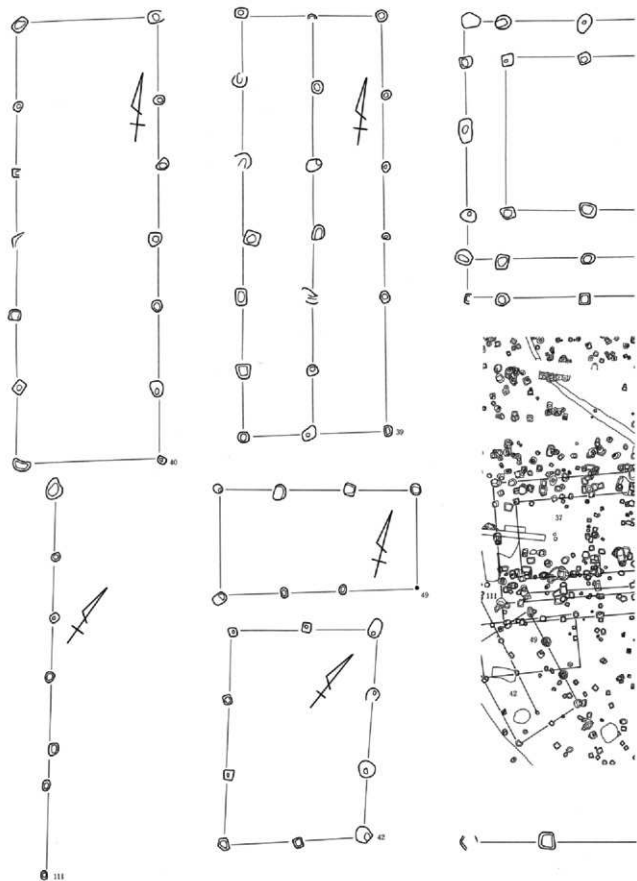
概要 中城西部に位置し、42号建物の北側に重なって位置する。北側が4号建物中部に重なるように位



第217図の(1) 屋敷遺構内の掘立柱建物（中城中・西部）



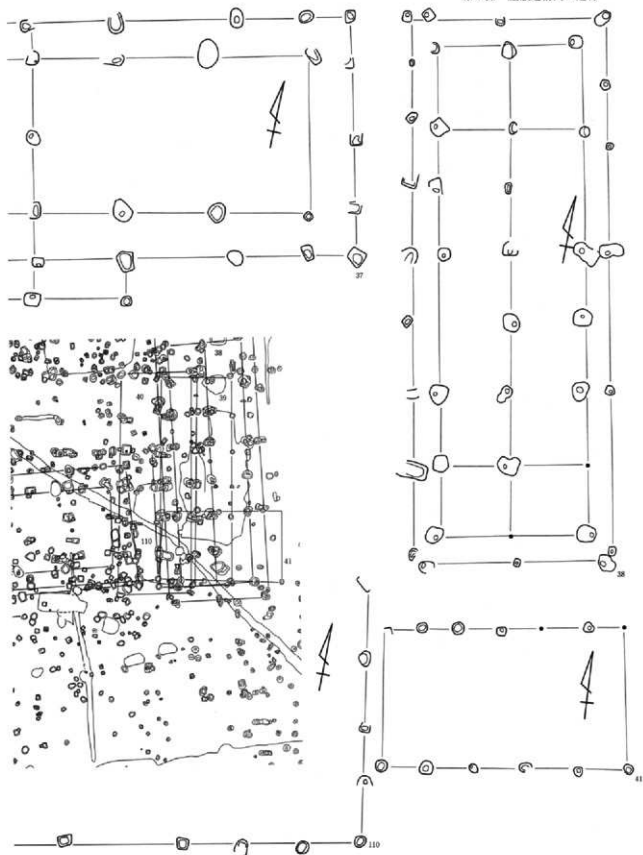
第217図の(2) 屋敷遺構内の掘立柱建物（中城中・西部）



第218図の(1) 屋敷遺構内の掘立柱建物 (中城中・東部)



第2節 屋敷遺構内の建物



第218図の(2) 屋敷遺構内の掘立柱建物 (中域中・東部)

## 第5章 まとめ(小結)

置する。2×3間の建物であるが、棟持柱は東に偏って位置している。

間尺 東西 1.7~2.4m 平均 2.03m  
南北 1.2~1.9m 平均 1.85m

主軸方位 N324°

### ㊦ 29号建物 (SB29, 第217図)

概要 中城中部南側から南城中部北側にかけて位置し、中城中・東部の大型建物群と重複する。5~6×3間のプランであるが、西側2.5m程の位置に庇がつき、本体東西列の間尺は平均1.63mを測ることができる。

間尺 東西 1.2~2.6m 平均 1.85m  
南北 1.0~1.9m 平均 1.55m

主軸方位 N350°

### ㊧ 30号建物 (SB30, 第217図)

概要 29号建物の北端、中城中・東部の大型建物の西端部に重複する。1×6間の中規模の長方形建物であるが、棟持柱は持たない。

間尺 東西 3.2m 平均 3.20m  
南北 1.8~2.3m 平均 1.99m

主軸方位 N347°

### ㊨ 31号建物 (SB31, 第216図)

概要 中城中・東部北半の大型建物の一つである。東側の棟持柱は確認されていないが、2×6間の東西に長い建物である。

間尺 東西 2.0~2.5m 平均 2.25m  
南北 2.0~2.2m 平均 2.10m

主軸方位 N340°

### ㊩ 32号建物 (SB32, 第216図)

概要 31号建物に重なる。棟持柱は見られないが、形態的には棟持柱を持つ31号建物に似る、1×6間の東西に長い大型建物である。

間尺 東西 2.1~2.5m 平均 2.25m  
南北 4.20m 平均 4.20m

主軸方位 N83°

### ㊪ 33号建物 (SB33, 第216図)

概要 32号建物とはほぼ重なる大型建物である。32号建物同様、1×6間の建物で棟持柱は持たず、形態的にも32号建物に似るがやや傾きが異なる。

間尺 東西 1.8~2.6m 平均 2.40m  
南北 3.9~4.2m 平均 4.05m

主軸方位 N72°

### ㊫ 34号建物 (SB34, 第217図)

概要 中城中・東部南半部に所在する。確認できなかった柱穴もあるが、1×6間の建物と判断される大型建物であるが、棟持柱認められない。

間尺 東西 1.8~2.4m 平均 1.89m  
南北 4.1~4.2m 平均 4.15m

主軸方位 N80°

### ㊬ 35号建物 (SB35, 第217図)

概要 中城中・東部南半部に所在する庇付きの大型建物の一つである。現況で東側と南北の本体から60cm~1.2mの位置に下屋が付く。下屋の柱間は本体のそれに準拠するが東辺は間に2基のピットが入る。

間尺 本体 東西 1.7~2.9m 平均 2.11m  
南北 3.7~3.9m 平均 3.80m  
下屋 南北 1.0~1.8m 平均 1.27m

主軸方位 N80°

### ㊭ 36号建物 (SB36, 第217図)

概要 中城中・東部南半部所在の下屋の大型建物の一つである。北・西・南に下屋を有する。建物本体は1×5間の長方形の建物で、東の柱穴列に棟持柱を有する。間に柱穴2箇所入る南北の柱穴列が東から2列目にある。下屋は本体から80cm~1.2mの位置にあり、掘削位置、間尺は本体に準じている。

間尺 東西 1.4~3.3m 平均 2.38m  
南北(外周) 2.0~2.2m 平均 2.04m

南北 (内側) 1.2~1.7m 平均 1.37m

主軸方位 N78°

49) 37号建物 (SB37, 第218図)

**概要** 中域中・東部南半部所在の大型建物群の中で最も規模の大きい建物の一つである。所謂4面庇の建物で、南西に更に下屋が付く。建物本体は東西両側とも棟持柱を伴わないが、西から2列目の南北列の柱列と東西両側の庇柱穴列の棟位置に柱穴確認されることから2×5間とした。下屋は本体から1.0~1.4mの位置に在り、南西部の張出部の柱列も90cm~1.1mの幅を有し、その間尺は本体部分に準じている。

間尺 東西 1.9~3.2m 平均 2.28m

南北 1.9~2.3m 平均 1.90m

(本体) 南北 4.0~4.3m 平均 4.15m

主軸方位 N80°

46) 38号建物 (SB38, 第218図)

**概要** 中域東部の主軸を南北方向に取る大型建物で最も大きなものである。四面庇の総柱の建物で、本体は2×7間の建物で、本体から50cm~1.6mの位置に下屋が付く。下屋の柱穴の配置は棟部分は合致するが、他は本体とは異なる規格となっていて、南側の配置は特徴的である。

間尺 本体 東西 1.8~2.1m 平均 1.91m

南北 1.7~2.4m 平均 1.85m

下屋 東西 2.3~2.8m 平均 1.67m

南北 1.2~2.2m 平均 1.76m

主軸方位 N347°

47) 39号建物 (SB39, 第218図)

**概要** 中域東部に所在する南北軸の大型建物の一つで、38・40号建物と重複する。2×6間の総柱の建物である。

間尺 東西 1.7~2.1m 平均 1.91m

南北 1.6~2.3m 平均 1.85m

主軸方位 N353°

44) 40号建物 (SB40, 第218図)

**概要** 中域東部の大型建物群の一つで、38・39号建物より軸が西にずれて、中部の中央の32・34号建物の東端に掛かる。1×6間の建物で、周囲の形並や規模は39号建物に似るが、棟持柱は持たない。

間尺 東西 3.6~3.7m 平均 3.65m

南北 1.7~2.2m 平均 1.93m

主軸方位 N353°

45) 41号建物 (SB41, 第218図)

**概要** 中域東部の南北軸大型建物の南部に重複する。1×5間の小型の建物であるが、棟持柱はなく、東西の柱間は狭く、南北列で異なっている。

間尺 東西 (北側) 0.9~1.2m 平均 1.03m

東西 (南側) 1.2~1.7m 平均 1.30m

南北 3.5~3.8m 平均 3.65m

主軸方位 N82°

50) 73号建物 (SB73, 第217図)

**概要** 中域中・東部南半部所在の大型建物の一つである。この地域に特徴的な4面庇の建物である。建物本体は1×5間の細長い建物であるが、棟持柱は持たない。下屋は本体から0.8~1.0mの位置にあり、その柱穴の掘削位置、間尺は本体に準ずるが東側列の中位、棟通りには柱穴が掘削されている。

間尺 本体 東西 1.9~2.9m 平均 2.14m

南北 3.5~3.5m 平均 3.50m

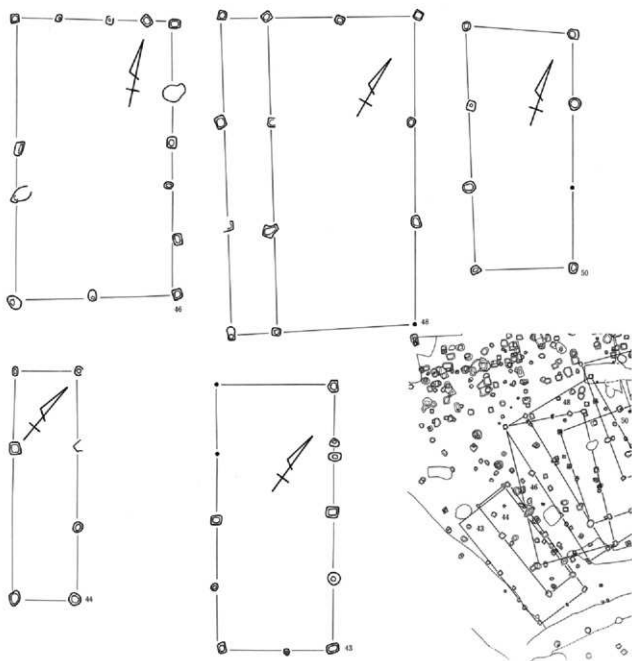
下屋 南北 1.7~1.8m 平均 1.75m

主軸方位 N80°

51) 110号柱穴列 (第218図)

**概要** 中域中部に位置する。中域中・東部南半部の庇付大型建物群の東側と南側を囲むように、ピットが鉤字形に配列する。大型建物か、中域中部を区画する塀に伴う柱列であると判断される。南北は3間であるが、東西は本来8間の構造物であったものと想定される。

間尺 東西 1.5~2.0m 平均 1.68m



第219図の(1) 屋敷遺構内の掘立柱建物 (南東城北部)

南北 1.4~2.0m 平均 1.68m  
 主軸方位 N77°

4 南東域の建物と柱穴

(52) 42号建物 (SB42, 第218図)

概要 東南城西北部に在り、北は中城の28号建物、南は東南城の43~45号建物に連なる北西-南東に主軸を取る建物群の一つである。2×3間の建物で、

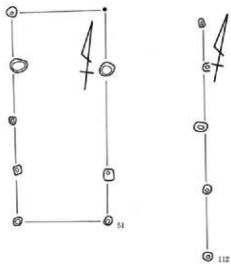
棟持柱はやや東に偏る。

間尺 東西 1.8~2.0m 平均 1.90m  
 南北 1.6~2.1m 平均 1.85m

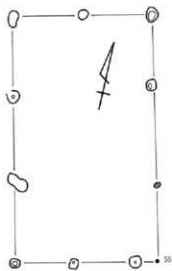
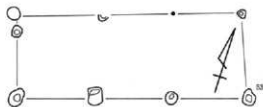
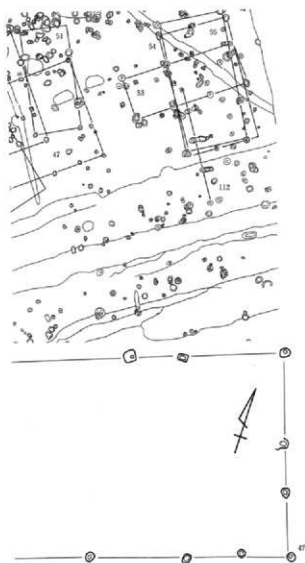
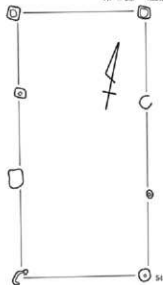
主軸方位 N324°

(54) 43号建物 (SB43, 第219図)

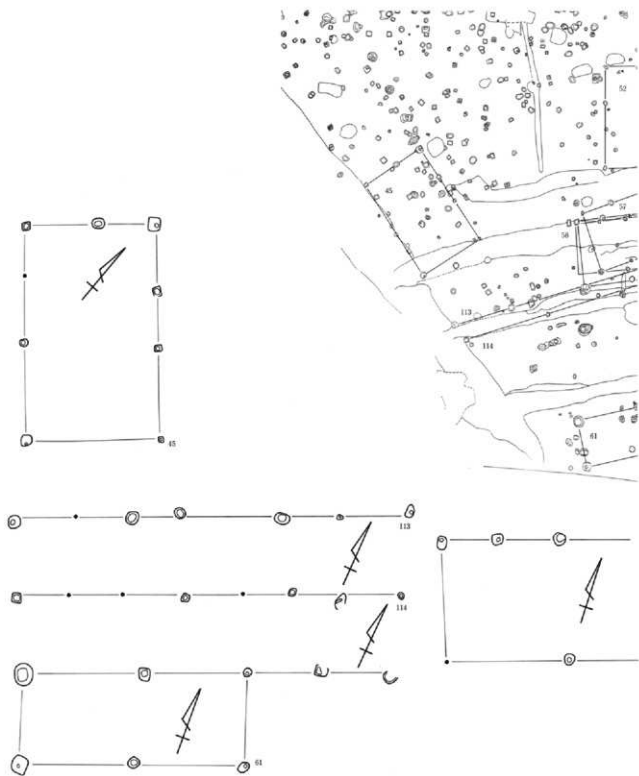
概要 南東城西北部の北西-南東軸建物群の一つ。南辺には棟持柱が見られる1×4間の長方形建物。



第2面 屋敷遺構内の建物



第219図の(2) 屋敷遺構内の掘立柱建物 (南東域北部)



第220図の(1) 屋敷道構内の掘立柱建物(南東城南部)

間尺 東西 1.3~1.7m 平均 1.50m

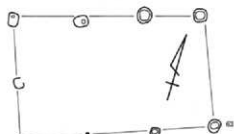
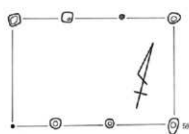
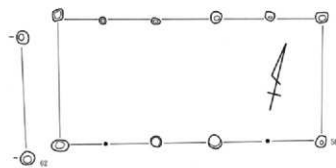
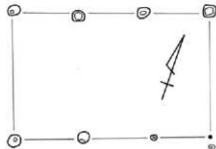
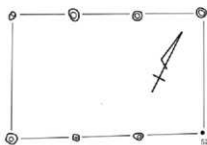
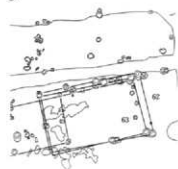
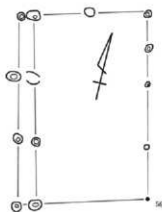
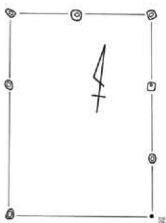
南北 1.5~1.9m 平均 1.75m

主軸方位 N324°

(5) 44号建物 (SB44, 第219図)

概要 43号建物の北東にはまり込む。1×3間の小型の建物である。

第2節 屋敷遺構内の建物



間尺 東西 1.6~1.7m 平均 1.65m

南北 1.9~2.1m 平均 1.98m

主軸方位 N32°

第220図の(2) 屋敷遺構内の孤立柱建物 (南東城南部)

55 45号建物 (SB45, 第220図)

概要 中城の28号建物から続く一連の北西-南東軸建物群のうちの最南端に在る建物である。2×3間の建物であるが、南半は間尺が広い。北縁に棟持柱が建つ。

間尺 東西 1.6~1.9m 平均 1.75m

南北 (北半) 1.5~1.8m 平均 1.60m

第5章 まとめ(小箱)

南北(南半) 2.4~2.7m 平均 2.55m

主軸方位 N320°

56) 46号建物(SB46, 第219図)

概要 南東域北西部に位置する。南北に棟持柱を有し、4×5間規格の建物であったと想定される。東西の柱間にはばらつきがある。

間尺 東西 0.7~1.3m 平均 1.08m

南北 1.1~1.8m 平均 1.47m

主軸方位 N347°

57) 47号建物(SB47, 第219図)

概要 南東域中北部に在る2×3間と思われる大型建物である。間尺にはややばらつきがある。

間尺 東西 1.4~3.4m 平均 1.90m

南北 0.7~2.5m 平均 1.75m

主軸方位 N72°

58) 48号建物(SB48, 第219図)

概要 46・47号建物と重複する2×3間のやや大型の建物である。本体の西1.2mに下屋が付く。

間尺 東西 1.9~2.1m 平均 1.93m

南北 2.3~2.8m 平均 2.67m

主軸方位 N331°

59) 49号建物(SB49, 第218図)

概要 東南域北西部に位置する。1×3間の小型の建物であるが、棟持柱はない。

間尺 東西 1.5~2.0m 平均 1.72m

南北 2.6~2.8m 平均 1.68m

主軸方位 N72°

60) 50号建物(SB50, 第219図)

概要 南東域中部北端に在る。1×3間の小型の建物で、棟持柱は持たない。

間尺 東西 2.6~2.8m 平均 2.70m

南北 1.8~2.2m 平均 2.08m

主軸方位 N340°

61) 51号建物

概要 西は端が50号建物と重複する。1×4間の小型の建物で、棟持柱は持たない。

間尺 東西 2.4~2.5m 平均 2.45m

南北 1.2~1.4m 平均 1.36m

主軸方位 N352°

62) 52号建物(SB52, 第220図)

概要 南東域中北部やや東寄りに位置する。2×3間と推定される小型建物。北辺に棟持柱が建つ。

間尺 東西 1.8~2.0m 平均 1.90m

南北 1.5~1.9m 平均 1.05m

主軸方位 N353°

63) 53号建物(SB53, 第219図)

概要 南東域北側東部に位置する東西軸の小型の建物で、1×3間を呈し、棟持柱は持たない。

間尺 東西 1.8~2.3m 平均 2.00m

南北 2.2~2.3m 平均 2.25m

主軸方位 N108°

64) 54号建物(SB54, 第219図)

概要 中位で53号建物と重複する南北軸の1×3間の中規模の建物である。棟持柱は持たない。

間尺 東西 3.2~3.4m 平均 3.30m

南北 1.8~2.3m 平均 2.28m

主軸方位 N350°

65) 55号建物(SB55, 第219図)

概要 54号建物にほぼ重なる。2×3間の建物で棟持柱が南北辺に建つ。

間尺 東西 1.5~1.8m 平均 1.68m

南北 1.8~2.6m 平均 2.16m

主軸方位 N347°

66) 56号建物(SB56, 第220図)

概要 南東域北東部南端近くに在る。2×3間の建物で、西側0.5mの位置に下屋がある。下屋の間尺



は本体に準ずる。

間尺 東西 1.4~1.5m 平均 1.48m  
南北 1.3~1.8m 平均 1.63m

主軸方位 N347°

㉑ 57号建物 (SB57, 第220図)

概要 南東城南半部中央北端近くに位置する。小型の建物で1×3間を呈するが、棟持柱は持たない。

間尺 東西 1.6~1.7m 平均 1.68m  
南北 3.1~3.2m 平均 3.15m

主軸方位 75N°

㉒ 58号建物 (SB58, 第220図)

概要 南東域に在って、57号建物に重複する。1×5間の建物である。

間尺 東西 1.2~1.6m 平均 1.38m  
南北 3.3~3.4m 平均 3.35m

主軸方位 85N°

㉓ 59号建物 (SB59, 第220図)

概要 南東域に在って57・58号建物に重複する。1×3間の小型の建物である。

間尺 東西 1.4~1.7m 平均 1.40m  
南北 2.7~2.8m 平均 2.75m

主軸方位 N78°

㉔ 60号建物 (SB60, 第220図)

概要 西部が58号建物と重複する。1×3間の建物と想定される。

間尺 東西 1.5~1.9m 平均 1.73m  
南北 3.3~3.4m 平均 3.35m

主軸方位 N70°

㉕ 61号建物 (SB61, 第220図)

概要 南東城南半部西寄りに位置する。1×2間の建物であるが、北側列の東側延長線上に柱穴から2基乗って列を作っている。この延長箇所は柱間は1.9mである。

間尺 東西 3.0~3.2m 平均 3.13m  
南北 2.4m 平均 2.4m

主軸方位 N70°

㉖ 62号建物 (SB62, 第220図)

概要 南東城南半部東寄り、西部が61号建物に重複する。1×3間の建物であるが、東西の間尺が西半部と東半部で異なる。

間尺 東西 (西半) 1.5~1.6m 平均 1.58m  
東西 (東半) 2.1~2.2m 平均 2.15m  
南北 3.2m 平均 3.20m

主軸方位 N72°

㉗ 111号柱穴 (第218図)

概要 南東域西部に在り、28・42号建物等北西-南東軸の一連の建物群中央を串刺しにするように位置している。7基の柱穴からなるが、南端は2間分であると想定される。

間尺 南北 1.0~1.9m 平均 1.47m

主軸方位 N336°

㉘ 112号柱穴 (第219図)

概要 南東城北半東部に位置し、56号建物の西に平行に在る。4基のピットからなる。

間尺 南北 1.1~1.7m 平均 1.53m

主軸方位 N335°

㉙ 113号柱穴 (第220図)

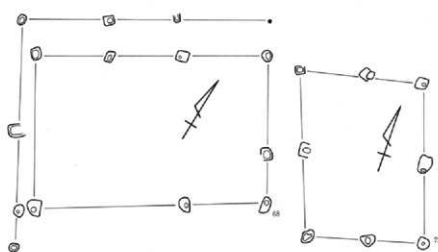
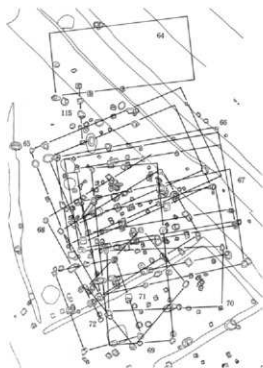
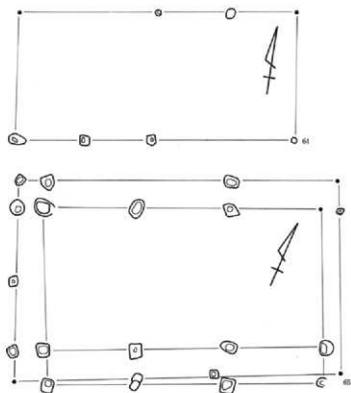
概要 南東域に在り、西部は113号溝の走行と平行に位置し、東部は58号建物等が重複している。途中確認できない箇所もあるが、7間分の柱穴列として把握される。

間尺 東西 1.3~1.9m 平均 1.51m

主軸方位 N80°

㉚ 114号柱穴 (第220図)

概要 113号柱穴列の南0.9mの位置に並列に位置している。柱穴の確認されない箇所もあるが、7間の



第221図の(1) 屋敷遺構内の掘立柱建物(南西域)

柱穴列として把握している。

間尺 東西 1.3~1.6m 平均 1.46m

主軸方位 N88°

5 南西域の建物と柱穴列

⑦ 63号建物 (SB63, 第220図)

概要 南東城南半

部の62号建物と重

複する。2×3間の小型建物と想定される。

間尺 東西 1.5~1.8m 平均 1.63m

南北 1.7m以下 平均 1.53m

主軸方位 N71°

第2節 屋敷遺構内の建物

㉒ 64号建物

(SB64, 第221図)

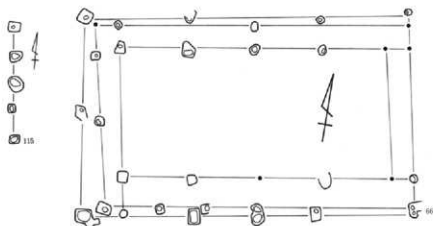
概要 南西域北端に在る。3号溝に切られて不明な箇所もあったが、1×4間のプランをもつ建物と解釈される。

間尺 東西 1.8~1.9m

平均 1.80m

南北 推定3.3~3.4m

主軸方位 N82°



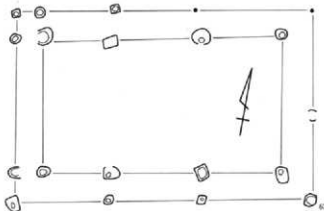
㉓ 65号建物 (SB65, 第221図)

概要 南西域北寄りに在り、一部が3-1-3号溝に切られて失われている。1×3間の建物で、4面庇の時期と南面のみに下屋を持った時期がある。下屋は建物本体から80cm程にあり、その間尺は本体のそれに準ずる。西面の下屋の棟部分には柱穴がある。

間尺 東西 2.4~2.5m 平均 2.48m

南北 3.6~3.8m 平均 3.70m

主軸方位 N68°



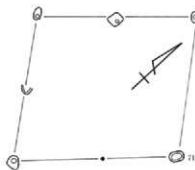
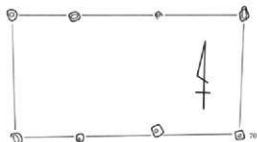
㉔ 66号建物 (SB66, 第221図)

概要 南西域中程にあつて65・67号建物等多数の建物と重複する1×4間の4面庇の建物である。庇は作り替えが想定され、本体から60~80cm離れた内側の下屋と、1.0m程離れた外側の下屋とがあるが、後者は南側がやや西に開いている。

間尺 東西 1.7~1.8m 平均 1.78m

南北 3.4~3.5m 平均 3.45m

主軸方位 N80°



㉕ 67号建物 (SB67, 第221図)

概要 北側の過半が66号建物と重複する。1×3間の4面庇の建物で、下屋は本体から60cm~1mの位置に設置され、東側の下屋の棟位置にも柱穴がある。

間尺 東西 1.8~2.5m 平均 2.12m

第221図の(2) 屋敷遺構内の独立柱建物 (南西域)

## 第5章 まとめ(小筋)

南北 3.5~3.6m 平均 3.55m

主軸方位 N79°

### ③2 68号建物 (SB68, 第221図)

概要 南西域で66・67号建物と重複し、3×3間の建物と想定される。下層は北・西側にあり、南側にも想定される。下層の柱間は本体のそれに準じ、本体から北側1m、西側は50cm程離れて設置される。

間尺 東西 1.9~2.3m 平均 2.07m

南北 1.3m程度 平均 1.26m

主軸方位 N60°

### ③3 69号建物 (SB69, 第221図)

概要 南西域中南部に位置し、70号建物などと重複している。2×5間の棟持柱を有する建物である。

間尺 東西 1.7~1.8m 平均 1.73m

南北 1.4~2.1m 平均 1.42m

主軸方位 N355°

### ③4 70号建物 (SB70, 第221図)

概要 69号建物などと重複する。1×3間の建物であるが、棟持柱は有さない。

間尺 東西 1.6~2.3m 平均 2.20m

南北 3.2~3.3m 平均 3.25m

主軸方位 N89°

### ③5 71号建物 (SB71, 第221図)

概要 南西域南部に在り、69・70号建物等多くの建物と重複する。一部柱穴を確認できないが、2×2間の建物と想定される。プランは菱形を呈する。

間尺 東西 2.1m程度 平均 2.13m

南北 1.9m程度 平均 1.83m

主軸方位 N43°

### ③6 72号建物 (SB72, 第221図)

概要 南西域西に在り、69・71号建物等と重複。土塁内側の溝と想定した3-1-9号溝に沿って建てられるため、同溝と同じ時期の可能性を有する。本建

物は2×2間の建物で主軸は南北方向を向く。

間尺 東西 1.4~1.9m 平均 1.60m

南北 1.9~2.3m 平均 2.18m

主軸方位 N342°

### ③7 115号柱穴列 (第221図)

概要 南西域北部に所在し、64・65号建物と重複する。柱間の狭い柱穴列で、5基のピットからなる。

間尺 南北 0.7~0.8m 平均 0.73m

主軸方位 N355°

## 6 建物の主軸方向

屋敷遺構の建物は、ピットの重複から何回もの改築が想定されるが、繰り返すように諸般の事由から荒い調査となったため、その新旧は僅かに中・南東城西寄りの北西-南東軸の建物群の44・45号建物が43号建物を切ることを確認できたに過ぎず、殆どの建物の推移は明確できなかったのである。その年代傾向については後述の第3項で宮本長二郎先生に述べて戴くこととして、ここでは建物の軸方向を手掛かりに建物の推移を若干検討したいと思う。

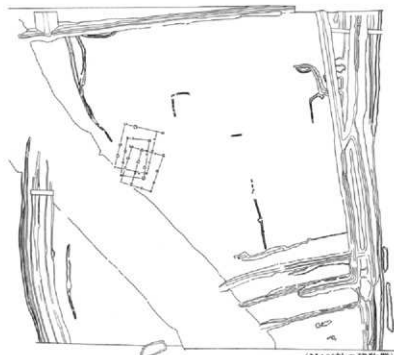
建物の軸方向を見ると、概ね南北を向く建物ではN10°前後以上、N0°前後、N350°前後、N340°前後、N330°前後以下の5グループに大別できる。一方概ね東西を向く建物ではこれらに直交するN100°前後以上、N90°前後、N80°前後、N70°前後、N60°前後以下にやはり分けられた。以下、主軸がN10°またはN100°前後以上の建物群を「N10°軸」、N0°とN90°前後のものを「N0°軸」、N350°とN80°前後のものを「N-10°軸」、N340°とN70°前後のものを「N-20°軸」、N330°とN70°前後以下のものを「N-30°軸」の建物群と呼称して、若干の検討を試みたいと思う。

### (1) N10°の建物群 (第222図の1-下)

N10°軸の建物群は、屋敷遺構中西部に固まって位置する、住居或いは倉庫と想定される中規模の3棟の獨立柱建物である。



(抽出建物群)



(N10°の建物群)

第222図の(1) 方位別掘立柱建物配置図

これらの建物は全て重複するが、その位置等から後述のN-30°軸の建物群との関連が考えられる。

(2) N0°の建物群 (第222図の2-上)

N0°軸の建物群は屋敷の中南部から南部中・東部、

第2節 屋敷遺構内の建物

北東隅部、北城西寄りを除き屋敷全体に分布する。

N0°軸の建物群には庇・下屋付きのものが少なく、後述するN-10°軸の建物群に比して若干幅狭で細長い印象を持つ中～大型のものが主体の掘立柱建物22棟と柱穴列4列がある。このうち大型建物は屋敷中央から東寄りに在り、鉤形に配置して広場様の空白部に面している。これらは屋敷の中心的建物と判断され、その北側のやや幅広でやや大型の建物がある区域は居住空間としての可能性が考えられる。その東側は水場の区域であったと想定される。また、屋敷の西側は倉庫等が想定される建物の設置区域と思われる。

尚、N0°軸の建物群の重複は、全体的としては3棟以下と想定される。

(3) N-10°軸の建物群

(第222図の2-下)

N-10°軸の建物群は、掘立柱建物34棟、柱穴列3列と最も充実している。掘立柱建物はN0°軸の建物群より大型で、庇を持つ建物も少なくない。

N-10°軸の建物群の配置を見ると、屋敷遺構中央部に4面庇の大型建物が配され、その北側にはN0°軸建物群の大型建物と同規模の

建物が同位置に設置され、N0°軸の建物との連続性が認められる。これらの大型建物の東には更に南北軸の大型建物が建つため、この一角の建物が正殿としての機能を持っていたものと思われる。

中心建物群の北側は比較的複雑な柱配置を示す大

## 第5章 まとめ(小結)

型建物を含む建物が配置されるため、この区域には正殿に対する奥殿の機能が想定される。その両側は建物分布の空白域で、東側はN0°軸のときと同様、水場としての使用が想定される。また西側の空白域は中心建物群の西側まで続く。中心建物群の南東及び南西には倉庫、或いは居住としての使用が想定される中型のものを中心とする建物群が建つが、両者の間は分布の空白域となっている。

N-10°軸の建物群の重複は2-3時期が多く、中心建物群では4時期を数え、比較的長時間の使用が窺われる。



(N0°軸の建物群)

### (4) N-20°軸の建物群

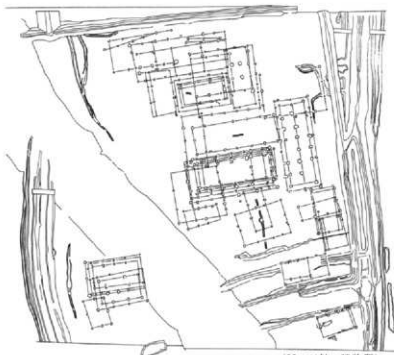
(222図の3-上)

N-20°軸の建物群は8棟の掘立柱建物からなるが、その分布は屋敷遺構北西部と南部に限定されて、北東側の広い範囲が分布の空白域となっている。また、屋敷の北西隅から中南部に流れる近世以降の溝群の位置も分布の空白域のあった可能性が窺われる。

N-20°軸の建物群では中型で庇付きの建物が多いが、南東部では小型で庇や下屋の付かない建物が分布する。中規模の建物には住居の可能性、小型のものは倉庫、廩等での使用が考えられる。

N-20°軸の建物群の重複は最大3時期である。

このうち中央近くの48号建物は、N-10°軸の建物群の中で西に傾く47号建物と軸方向の近い重複しており、連続性が思慮される。



(N-10°軸の建物群)

### 第222図の(2) 方位別掘立柱建物配置図

#### (5) N-30°軸の建物群 (222図の3-上)

N-30°軸の建物群は掘立柱建物5棟と柱穴列2列からなり、近世以降の水路群の南寄りの東西両側にこれに沿って分布している。

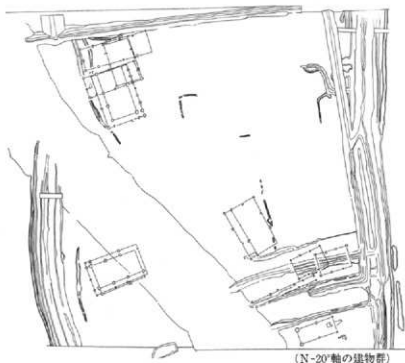
建物の規模はN-20°軸の建物群に比して小さく、

## 第2節 屋敷遺構内の建物

の建物構造は比較的単純で、建物配置にもやや余裕があるのに対し、 $N-10^\circ$ 軸の建物群の建物構造は $N0^\circ$ 軸のそれに比べ複雑で、配置も膨張する傾向が窺われるため、前者から後者への移行が考えられる。

また、 $N10^\circ \sim 20^\circ \sim 30^\circ$ 軸の建物群はその分布域が近世以降の水路群に沿う位置に限定されている。これに対しては後世の水路群掘削の基となる流水の発生等の影響を考慮したい。従ってこれらの建物群は $N0^\circ \sim 10^\circ$ 軸の建物群の時期より後代のものとして捕らえるものと思われる。尚、これらの中では建物の規模、分布の状態から $N-20^\circ$ 軸建物群から $N10^\circ \sim 30^\circ$ 軸建物群への変遷を想定したい。

こうした状況から、3区1面の屋敷遺構の建物は $N0^\circ$ 軸建物群を始めとし、 $N-10^\circ$ 軸の時期に発展し、洪水の発生や居住者の衰退といった理由から $N-20^\circ$ 軸建物群の時期に建物が減少し、やがて（常時ではないにせよ）流水路が固定化したため $N10^\circ \sim 30^\circ$ 軸の時期の建物群へと変化していったものと考えたい。



( $N-20^\circ$ 軸の建物群)



( $N-30^\circ$ 軸の建物群)

### 第222図のM3 方位別獨立柱建物配置図

住居或いは倉庫と考えられる。

重複は2-3時期である。

以上のように、建物の軸方向を五つのまとまりとして見てきたのであるが、このうち $N0^\circ$ 軸の建物群

### 第3節 中内村前遺跡の建築

宮本長二郎

#### 1. はじめに

中内村前遺跡第3区の中世屋敷跡から検出された73棟の掘立柱建物遺構について、その平面形式の分類を行ない、鎌倉時代を中心として室町時代後期にわたる当遺跡の住居建築上の特徴と変遷を明らかにしたい。

筆者は、当屋敷跡に群集して不規則にみえる2,726個の掘立柱穴をまとめるに当たって、関東地方の中世掘立柱住居の平面形式を想定して取り掛かった。つまり、「日本中世住居の形成と発展」(『建築史の空間』中央公論美術出版、平成11年)において、11-14世紀の全国100遺跡余りの掘立柱住居遺構を分析し、その平面類型と分布等について明らかにした。採用した関東地方の中世遺跡例は少ないが、神奈川県下を除く関東地方は梁間1間型が主流であるとの仮説を立て、この想定のもとに当屋敷跡の遺構をまとめることができたのである。但し、室町時代については遺跡例が少なく、鎌倉時代に確立した中世住居建築が、室町時代にどのように展開し、近世民家につながるのか、これも一応の仮説を立てたが、当屋敷跡の成果に期待するところ大である。

#### 2. 中世住居建築の分類

中世住居には、平安時代後期に発生した新様式の総柱型、律令時代の都城、官衙を中心に普及した律令型、弥生時代以来の伝統を受け継ぐ梁間1間型・多梁間型の4形式の掘立柱住居と竪穴住居、平地住居がある。地方・地域によって各形式の分布は異なり、異なる形式が複合するなど、多様な地方色、地域色を示すが、中世住居の主流は総柱型と梁間1間型である。

総柱型は柱を方眼状に配置し、柱径が細く、側柱と屋内柱は柱径と柱高を等しくして、柱上1門毎に梁を架け渡し、梁上に小屋を組む草葺屋根形式と、柱を側桁・母屋桁・棟木まで立ちあげて勾配の緩い

板葺屋根とする形式が想定される。柱間寸法は2mを基準とする例と、柱間を7-8尺とする例がある。鎌倉時代には一部の側面に狭い下屋を設ける例が大型住居にあり、南北朝以後に4面下屋付きが総柱型主屋に出現する。

梁間1間型は桁行2列の柱配置を基本形とし、住居の機能に応じて下屋のないものと、下屋を2面、3面、4面に設ける。妻側に、下屋を設ける場合には妻側中央に柱を立てないが、下屋のない場合には棟持柱(近接または壁心)を設けて切妻屋根とする例が多い。柱間寸法は総柱型と同じ傾向を示し、下屋の出は0.7-1.1mと狭いことも共通するが、4面下屋は主屋として鎌倉時代から存在する。

律令型は規模の大小に関わらず、身舎梁行2間とし、妻側中央の柱高は桁行と同じ柱高とする中国の随・唐の建築に倣った形式である。寺院・都城の礎石建物から、官殿・官衙の掘立柱建物に普及した形式である分、律令時代の一般集落には普及せず、律令制崩壊後は社寺建築と一部の貴族住宅に継承されるほか、一般集落に影響を及ぼしたものと思われ梁行2間の側が増えるが、壁心棟持柱付き梁間1間型か律令型かの判断が難しい。

多梁間型は身舎梁行3間以上の建物で、桁行と梁行の柱間寸法が等しく、大型建築には屋内棟持柱を設けて入母屋、寄棟屋根の棟木を支持する。この形式は弥生時代に成立し、奈良時代以後に衰退したものであるが、少数ながら室町時代の例があり、付属屋・作業小屋として存続したようである。

#### 3. 中内村前遺跡の住居形式

表1は身舎の桁行柱間数と梁行柱間数の関係で示した規模・形式別棟数で、括弧内は下屋・庇付きの棟数内訳である。梁行1間には一方の妻側を2-3間とする例を含めたが、その理由は後記する。

73棟のうち梁行1間は54棟で、全体の約74%を占



め、梁行2間12棟16.4%、梁行3間6棟8.2%、梁行5間1棟である。梁行1間の型に下屋付きが多いことは梁間1間型の特徴を示し、当屋敷跡は梁間1間型が主流であるといえる。

梁行2間12棟のうち2棟(SB38・39)は総柱型である。他の10棟は両妻側を2間に分ける形式であるが、その中柱が隅柱と等高の律令型か、壁心棟持柱の梁間1間型の系統かは、平面形式からは判別できない。このような形式は鎌倉時代には少なく、室町時代に入って一般集落の小型雑舎に増えたものと考えられる。

梁行3間の6棟は多梁間型であるが、SB2・10・17・29の4棟は梁行柱間が1.4～1.6mで、桁行柱間より狭く、これも室町時代に多梁間型の影響が梁間1間型に及んだものと考えられる。

梁間5間はSB13の1例のみで、総柱型である。屋内柱の省略が多い形式は室町時代後期の特徴を示し、前記のSB38・39が梁間1間型に総柱型を取り込んだ形式であるのに対して、当屋敷跡では唯一、総柱型のオリジナルな系統を引く遺構である。

#### 4. 下屋と庇

鎌倉時代の下屋は、身舎柱筋からの出を0.7～1.1mと狭いのが特徴で、南北朝以後に律令型の影響を受けて1.5m以上の庇が出現するが、梁間1間型は中世を通して狭い下屋とするのが一般的である。すなわち、梁間1間型の身舎を上屋として、上屋と下屋を一体にして屋根を葺き降す形式のため、下屋は狭くなる。いっぽう、庇は上屋とは別に垂木を架けて広庇を造ることができ、律令型に普及した形式である。

当屋敷跡では、表1の括弧内総計25棟のうち、下屋は21棟、庇は4棟である。庇付きの4棟(SB10・21・27・29)は、いずれも桁行側面の1面庇で、SB10のみ一方の妻側に下屋が付く。下屋付き21棟のうち1面下屋は3棟(SB8・48・56)、桁行2面は1棟(SB11)、妻側と平側の2面は2棟(SB13・19)、3面は3棟(SB5・36・68)、4面12棟(SB18

・25・31・32・33・35・37・38・65・66・67・73)である。なお、4面下屋のうちSB25・31・32・33の4棟の遺構解説は下屋付きでないとするが、下屋柱穴が4面の過半数に認められ、またSB65の3面下屋も4面下屋とすべき柱穴が認められる。

3面下屋付きの3棟は、いずれも下屋付きの身舎妻側は1間で、下屋の付かない身舎妻側は2～3間に分ける柱を設ける。

4面下屋の12棟は、総柱型のSB38を除いて、SB31のみ一方の身舎梁間を2間とするほか、全て梁間1間である。つまり、身舎妻側に下屋を設ける場合には身舎梁間には柱を立てないで、身舎柱を独立柱として屋内に取り込み、下屋を設けない場合には身舎妻側に棟持柱または間柱を立てる中世梁間1間型の特徴が当屋敷跡においても認められる。

梁間1間型54棟のうち34棟は下屋を設けないが、そのうちSB1・7・45・52・63の5棟は一方の妻側を2間とする。他方の妻柱が未検出の律令型の可能性もあるが、梁間が4m以下で狭いことから、寄棟屋根でなく切妻屋根としていたとすれば、一方の妻側だけでも棟持柱を立てることにより、切妻屋根の遺構的安定を保つことが可能である。弥生時代の梁間1間型には、一方の妻側に近接・壁心棟持柱を浅く掘立てる例が多く、その伝統を中世に引継いでいるものと考えられる。

#### 5. 柱間寸法

平安時代後期から鎌倉時代にかけての100余の遺跡例では、梁間1間型・総柱型ともに平均柱間寸法が1.8m以下の値を示す遺跡は数例に過ぎない。当屋敷跡の73棟の平均桁行柱間は、1.2～1.4mが9棟、1.5～1.8mが17棟、1.9～2.1mが32棟、2.2～2.7mが15棟である。2m前後の柱間が最も多く、2.2m以上の例を含めると、全体の64%が鎌倉時代と同じ傾向を示すのに対して、1.8m以下の狭柱間とする例が36%存在するのは新たな傾向である。また、当屋敷跡では主流である1.9～2.1mの柱間寸法は、2.0mの基準寸法に剛ったものと思われるが、鎌倉

時代には同一遺跡には共存しない2.4m前後の広柱間基準の例が存在することも、新たな傾向である。

柱間寸法が1.4m以下の9棟のうち、桁行5～6間の6棟の柱間寸法は1.2～1.3mで、その2間分が広柱間の1間に相当することから、これら6棟の規模は広柱間基準の桁行2間半～3間に相当する。他の3棟は桁行3～4間で、柱間寸法は約1.4mである。

柱間寸法1.5～1.8mの17棟うち、桁行8間(SB10)、桁行5間(SB7・29・46)のほか、桁行4間4棟、3間9棟である。

すなわち、桁行柱間寸法が1.8m以下の狭柱間を示す26棟のうち、桁行5間以上の4棟以外は桁行4間以下の小規模であり、狭柱間寸法は室町時代の小規模雑屋に主として採用されたものといえる。

## 6. 屋敷構え

屋敷跡の住居構成と配置形式の変遷については、遺構の重複による前後関係、建物方位、土器形式による時期の特定などを総合して決定しなければならないが、以上に記した建築上の時代差が認められると仮定し、とくに4面下屋付き大型住居を主屋とみなして、ごく大まかな屋敷構えの変遷の見通しを立てることにしたい。

屋敷跡中央に重複するSB35～37・73の4棟と、その北側に接して重複するSB31～33の3棟はいずれも4面下屋付きで、前者は桁行5間、後者は桁行6間の梁間1間型の東西棟大型住居である。南と北の2群に分かれてその前後関係は分からないが、7期に亘り連続して建替えられた主屋である。

この2群の東西柱主屋の東側に近接して重複するSB38・39・40は、桁行6～7間の南北棟大型住居建物で、SB38・39は梁間2間の総柱型、SB40は梁間1間型である。SB38のみ4面下屋付きであるが、他の2棟もSB38との重複状況や規模からみた、4面下屋付きの主屋であった可能性がある。

この3棟の南北棟建物の共通点は、柱間寸法が1.9mで、西側の東西棟主屋の2.1～2.4mより狭いことと、総柱型と梁間1間型の相異、重複関係から

みて、南北棟建物群は東西棟主屋群と同時期であり得ず、時期の降る3期の主屋群と想定される。

屋敷跡北方の主屋級建物はSB5・10・13・18の4棟であるが、SB5・18は桁行3間の梁間1間型で、SB5は3面下屋、SB18は4面下屋付きで主屋級の格式を示すが、桁行規模が小さいことや配置形式、柱間寸法からみて、中央の東西棟主屋または東の南北棟主屋に伴なう副屋の可能性が高い。

SB10は中央主屋群と同規模の大型であるが、狭柱間の多梁間型、庇付きの形式は明らかに室町時代に降る。SB13は当屋敷跡では唯一の方5間の総柱型建物で、鎌倉時代総柱型東落の主屋級規模を示す。また屋内柱の省略が進んだ室町時代の平面形式を示し、当屋敷跡では平面形式上最も新しい時期の主屋であると考えられる。

屋敷跡西南区に重複するSB65・66・67は、4面下屋付き、桁行3～4間の梁間1間型である。北区のSB5・18と同規模・同形式であることから、副屋である可能性が高いが、SB5・65の2棟の方は主屋群の方位と異なることから、副屋ではなく、時期を異にする主屋の可能性もある。

以上のように、桁行5～7間の大型住居を主屋とすれば12期の変遷、桁行3～4間の4面下屋付きを含めると17期の変遷が考えられる。当屋敷跡の盛期は鎌倉時代を中心として、住居の軸線を正方位に保つものが中心である。平面形式上は室町時代後半に比定されるSB13はやや方位が若干東で北に振れる程度であることから、軸線が北で西に大きく振れる遺構の時期は、4面下屋付き主屋を構えない終末期とみなすことができよう。

## 7. おわりに

以上のように、中内村前遺跡第3区の中世屋敷跡は関東地方の中世住居の主流である梁間1間型を中心に展開していること、他の地方の主流である総柱型の影響を受けて、梁間1間型に総柱型を採り入れた主屋(SB38・39)が発生していること、在来形式の律令型や多梁間型を付属屋として存続している

### 第3節 中内村前遺跡の建築

こと、屋敷跡の末期には総柱型（SB13）が成立していること、1.9m以下の狭柱間が発生していることなどが明らかになった。

総柱型主屋のSB13の桁行5間規模は、鎌倉時代

の総柱型集落では一般集落の主屋規模として定着しているが、当屋敷跡は、梁間1間型主屋の桁行5～7間規模や、方形区割の濠をめくらせた屋敷構えからみて、中世名主層であった可能性が考えられる。

梁 桁	1 間	2 間	3 間	4 間	5 間	合 計
2 間	2	2	—	—	—	4
3 間	22(10)	3(1)	—	—	—	25(11)
4 間	11(3)	—	2	—	—	13(3)
5 間	10(4)	4	2(1)	—	1(1)	17(6)
6 間	9(3)	2	1	—	—	12(3)
7 間	—	1(1)	—	—	—	1(1)
8 間	—	—	1(1)	—	—	1(1)
合 計	54	12	6	0	1(1)	73(25)

(注) 括弧内の数値は下屋・庇付き住居の棟数内訳を示す

第9表 屋敷跡住居規模・形式別棟数表

## 第4節 前橋市中内村前遺跡出土礎石墨書銘について(考察)

中内村前遺跡出土の礎石墨書銘は、当遺跡の性格を知る上で重要な情報を提供する文字資料であると考えられる。しかしこの銘文は、全面に文字が書かれていることは確認されるものの、明確に解説できる文字は少なく、単語として文脈を取れる部分もないため、残念ながら現在の段階ではほとんど何も読み取ることができない。こうした状況下で当銘文について考察を公表することは、本来は時期尚早であり、恠怩たる思いであるが、いくつかの可能性について指摘し、広く識者の御検討を仰ぐことによって、やがては解明への糸口がつかめるのではないかと考え、ここに簡単な考察を加えることにする。

## 【銘文の性格についての予察】

発掘調査情報によれば、当銘文を記した扁平な石材は、天台宗寺院があったと伝承される地域の橋脚と思われる柱痕の下から発見されたという。遺構調査によって15-16世紀の土層と判断されていることから、室町時代の何らかの信仰に基づく文字が記載され、信仰上の目的によって埋納されたものと推定される。

小石あるいは円形の石に文字を記して土中に埋納する行為は、平安時代後期、末法思想の流行によって行われた経塚造成にともなう事例が多い。ただしその場合、一字一石経の形態をとることが一般的であり、ある程度の書記面をもつ石材に写経される事例の方がむしろ少ない。扁平な石に銘文が写された事例としては、文永二年から弘安八年(1265-85)に造立された、高野山町石の基部から出土した『金光明最勝王経』の経石がある。これは蒙古襲来の前後に、安達泰盛の主導によって、密教による国家鎮護を目的として行われた事業であり、書写された経文もその目的に合致している。

中内村前遺跡の墨書遺物の内容を研究しようとするならば、遺跡の性格や出土状況からさまざまな可

## 西岡 芳文

能性を探ってみなければならぬであろう。

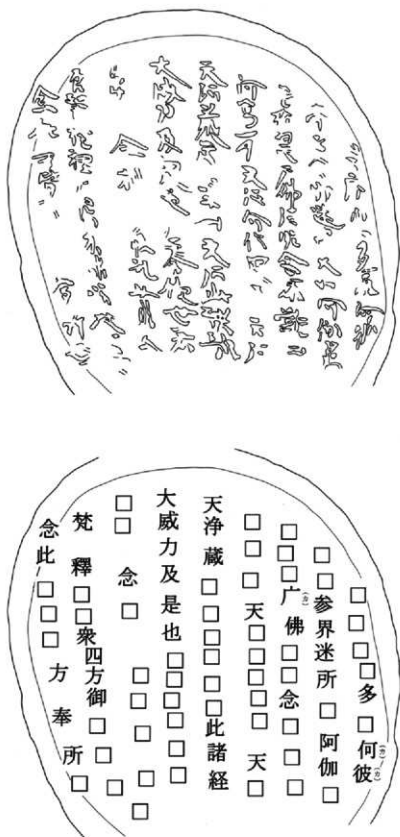
## 【願文か経文か】

当遺跡の発掘担当者は、この墨書石について、橋供養の願文ではないかと推測されていたようである。出土地点の状況を考えるとき、橋にかかわる何らかの銘文が記された可能性は高いであろう。そこで、架橋にまつわる何らかの宗教的・呪術的行為によってこの墨書石が埋納されたという前提で、解明の糸口を求めてみよう。

まず願文の可能性について。中世の橋供養の願文は、総量は少ないものの、代表的な事例をいくつか挙げることができる。天台宗系の安居院の唱導資料『転法輪鈔』には平安末期、後白河法皇時代の比叡山山王社の「大宮橋殿供養願文」や「祇園橋供養表白」などが収録されている。(『安居院唱導集』)。熊本県大慈寺には、道元門下の寒巖義尹が弘安元年(1278)に緑川河口の川尻津にかけた大渡橋の供養文が残され、金沢文庫には、文和二年(1353)の「六浦瀬戸橋供養文」が残る。室町時代の資料としては、東京・深大寺の僧・長弁が、多摩・世田谷地域の仏事で用いた文章を集めた「長弁私家抄」に、いくつかの橋供養文が収録されている。

これらの橋供養関係の願文・表白文は、概して架橋事業の経緯と施主(発起人)への称賛、さらに架橋の宗教的功德をのべたものが多い。すなわち、橋供養の願文は、開通に際して、会場に集まった関係者・地域住民に対して読み上げられる性格のテキストであり、ひそかに地中に埋蔵されるような性格の文章ではないのである。こうした点から考えると、当遺跡の出土墨書を橋供養の願文に比定することはやや難しいように思われる。

そこで、土木事業に際して埋蔵された墨書という前提で考えた場合、地鎮・鎮理儀式にかかわる遺物である可能性を考慮すべきであろう。



中世において、土木事業を行うとき、大地の神の祟りが恐れられたことはよく知られている。大地の神（地神・土公神）が遊行すると信じられた年四回の「土用」の期間には、耕作さえも遠慮し、土をいじる作業の前には、手厚く地神を祭る儀式をとりおこなうのが原則であった。地鎮に関する遺物は、寺院遺跡の発掘によって得られた事例が圧倒的に多いが、道路や架橋事業においても、類似した祭祀が行われた可能性が高い（元興寺文化財研究所『古代研究』18、特集「地鎮」1979年などを参照）。

ことに架橋の場合、技術的に困難な地形のところで工事が行われる場合が多かったため、神仏に対して盛大に折願をこめる必要があり、人柱や橋姫など、怪異な伝説が巷間にささやかれる例も古今を通じて著聞するところである。

ただし地鎮祭祀においては、純然たる仏教的な儀式だけでなく、陰陽道的な祭祀形態をとることもあったので、そこで使用される呪文や経典などを、現存する仏教経典の中に求めることが困難な場合も多いのである。

架橋にかかわる墨書遺物の出土例は、今までほとんど知られていないので、当遺跡の墨書を比較検討する材料は乏しいが、おそらく架橋にかかわる地鎮祭祀にともなう経文である可能性が高いのではなかろうか。

第223図 墨書文字及び釈文（高島秀之氏釈文を西岡芳文氏修正）

【墨書の内容についての検討】

墨書の内容について解説できる部分は少ない。前半の5行に「天」が頻出し、あるいは「天河」と読める部分があるようにも思える。5行目から6行目にかけて「此諸経大威力及是也」と読めそうである。このほか7行目に「念」らしき字が見える程度である。このほかにも3行目に「□□佛」と見える部分もあり、基本的に仏典にもとづく墨書であることは動かないであろう。

『大正新修大藏経』や『国訳秘密儀軌』の類を閲覧しても、これらの断片的な字を含む箇条は見出せなかった。あるいは経文を断片的に引用した独自の文章であるかも知れないが、今のところ全く手がかりはない。当遺物が架橋の基礎に埋納されたと考えられるならば、祈願の目的は、地神の慰撫、あるいは水神・龍神への表白を目的にしたと想像されるが、こ

れにふさわしい文言をもつ經典には行き当たらなかった。

地神や、仏教的な水神の代表的存在である弁才天にかかわる教典としては、『金光明最勝王経』にこれらの神の功德や信仰を説いた部分があり、こうした祭祀にはふさわしいと考えられる。近年まで九州に存在した盲僧琵琶の作法のなかにも、地鎮祭に際してこの經典の「地神品」を読む儀式が傳承されており、この經典を記した高野山町石の事例とも符合する。おそらく、こうした教典を取り込んで独自の解釈が取り込まれた文章が墨書され、架橋の安泰を祈念するために埋納されたと考えられるのが、当面の推理としては成り立つのではないであろうか。

今後、長期的な検討を加えて、この墨書石の真実に迫りたいものである。

## 第5節 おわりに

上述のように3区1面の屋敷の存続期間は堀や建物の検討から8～10世紀以上の長期に亘り、出土遺物の鑑別や出土炭化材の年代測定、宮本先生による建物の解析、西岡先生による墨書礎石の鑑定所見を総合すると鎌倉時代を中心に平安時代末期以降室町時代に使用されたと判断されるものであった。これまで幾つかの検討を行ってきたが、最後にこの屋敷の居住者について検討して考察を終えたいと思う。

明治初めの郡村誌は本遺跡周辺の山王・東善養寺・西善養寺・(矢田)・両家・横堀の各村がかつて善養治村と称した一村で、長寛2年(1164)に東西の善養寺村に分村し、更に上述の村々に分かれたと伝えられている。分村の年代は兎も角、少なくとも現在の前橋市山王・東善・西善町の一帯が「善養寺」と呼ばれる地域であったようである。郡村誌は善養治の名は開村した3人の頭文字を合わせたとも伝えているが、貞観2年(860)または嘉応元年(1169)建立とされる山王町所在の禪養寺の寺領から来る名称と解釈される。尚、本遺跡3区の屋敷からは磬などが出土

したため、寺院である可能性も検討したが、善養寺は前述の禪養寺と判断されるため、少なくとも3区の屋敷が善養寺である可能性は無いものと判断した。

鎌倉時代当時の本遺跡周辺の様子はつまびらかでないが、鎌倉時代末期から南北朝時代の文書が長楽寺文書に残されている。その一つは元徳3年(1331)の関東下知状案の「上野国那波郡善養寺内田肆町参段半、在家式字」、一つは元徳4年(1332)の由良孫三郎景長妻紀氏寄進状案の「上野国那波郡内善養寺高山弥四郎重朝領地内在家二・田四町三段半」、一つは観応3年(1352)の足利尊氏安堵状の「那波郡善養寺住内在家二・田四町三段半」である。これらの文書から「善養寺」表記が少なくとも鎌倉時代末期には使われていたことが確認され、善(禪)養寺の寺領であったと推定される「善養寺」の一部が時期ははっきりしないが高山氏の所領となり、鎌倉時代末期に紀氏(大谷氏)に買取され、南北朝期に長楽寺に寄進されたという土地所有の経緯が確認される。この記事から本屋敷の居住者が善養寺や長楽寺、

或いは高山氏や紀氏の支配下にあった可能性も考慮されるのであるが、屋敷の規模は方半町程で方1〜2町とされる所謂武士の館に比してかなり小さい。従って居住者は被支配層であり、その中では上位にあった者ではないかと想定される。

また上述の文書の関連文書として紀氏寄進後の年代不詳の長楽寺文書に「十三貫文作人六郎二郎入と分、十五貫文作人弥藤三」の記載がある。「四町三段半」の田圃の所在地はが特定できていないのであるが、「二字」が文字通り二棟の建物を指すならば本屋敷の建物数に照らして六郎二郎や弥藤三が本屋敷の居住者であった可能性薄いことになり、本屋敷の住人は「作人」より上位の人物ということになる。

ところで仮に本屋敷の最盛期が出土炭化材の年代測定成果よる時期に収まるとするならば、その終焉は上野守護安達泰盛が滅ぼされる弘安8年(1285)の霜月騒動が契機なる。その場合、本屋敷に安達氏関連の人物の居住が考えられるのであるが、本屋敷は室町時代まで存続するため、安達氏に直結しない人物の居住や、屋敷地が支配者の居住地として認識されていた可能性も考えられる。

以上のように、本屋敷の居住者を特定することはできなかったのであるが、現時点では在地の被支配層中の上位者、宮本先生が述べられたような中世名

主層の居住の可能性を考えておきたいと思う。

【参考文献】  
群馬県史編さん委員会「群馬県史資料編5 中世1」1978  
前橋市史編さん委員会「前橋市史 第一巻」1971  
群馬県文化振興事業会「上野国郡誌 14 佐和郡」1966

本書では平成9〜10年にかけて実施した中内村前遺跡の発掘調査のうち、1〜4区の調査成果を報告した。特に3区1面の屋敷遺構は本県に於ける該期の屋敷遺構の希少例として注目されるものである。本書が前橋市南部の歴史研究に資され、更なる成果の出されることを期待するものである。

さて、振り返るにこうした多くの調査成果を得られたのは、猛暑や寒風の中で黙々と作業をこなし、冠水する調査現場でポンプと格闘してくれた発掘作業員諸氏の奮闘があったからこそであり、発掘調査報告書として上梓できるようになったのは、多くの図面と遺物、特に尋常でない数のピットの処理に没頭してくれた整理補助員諸氏の努力があったからこそである。第1分冊の巻末に彼らと撮ったスナップを掲載し、彼らの尽力に対する謝意としたいと思う。

最後になるが、発掘調査や整理作業に多くのご支援を賜った日本道路公団、群馬県教育委員会、前橋市教育委員会、そして発掘調査に当たって多大なご協力賜った地元の皆様らに感謝して稿を閉じたいと思う。



## 第5章 まとめ(小結)

[参考文献] 本文中記載のものを除く

香取忠彦『梵音具』『新版仏教考古学講座 五 仏具』1976

石守美『雁立柱建物の重量に関する一試験』

財団法人群馬県歴史文化財調査事業団「研究紀要3」1986

坂口一・三浦京子『奈良・平安時代の土器の編年』

群馬県史編さん委員会「群馬県史研究24」1986

群馬県史編さん委員会「群馬県史通史編3 中世」1989

財団法人群馬県歴史文化財調査事業団「荒砥堂子遺跡」(中沢悟編)2000



# 遺物一覽

## 3区ピット一覽

遺物一覧

1区の出土遺物

1-1 1区1面の出土遺物

1-1-3号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000023	土師器甕口縁部	1	7	奈良・平安時代中心
2	11-000024	土師器甕体部	2	20	奈良・平安時代中心
3	11-000025	土師器坏口縁部	3	22	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000026	土師器体一底部	2	6	奈良・平安時代中心
5	11-001288	須恵器甕体部	2	212	

1-1-4号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000531	土師器甕体部	1	10	古墳時代前・中期

1-1-11号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000037	土師器甕体部	1	6	奈良・平安時代中心

1-1-5号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000027	土師器甕口縁部	1	10	奈良・平安時代中心
2	11-000028	土師器甕体部	2	8	奈良・平安時代中心
3	11-000029	土師器甕底部	1	25	奈良・平安時代中心
4	11-000030	土師器坏口縁部	1	8	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000033	土師器坏体一底部	9	33	奈良・平安時代中心
6	11-001289	須恵器口縁部	1	13	
7	11-001290	須恵器体部	1	32	

1-1-8号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000032	土師器甕口縁部	1	3	奈良・平安時代中心
2	11-000033	土師器甕体部	1	24	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000034	須恵器高台付甕体一底部	1	8	平安時代

1-1-10号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000035	土師器甕体部	1	5	奈良・平安時代中心
2	11-000036	土師器坏体一底部	4	9	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000632	土師器甕体部	1	15	古墳時代前・中期

1-1-13号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000038	土師器甕体部	5	22	奈良・平安時代中心
2	11-000039	土師器甕底部	1	47	奈良・平安時代中心
3	11-000040	土師器甕体部	1	49	古墳時代後期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000633	土師器甕口縁部	1	14	古墳時代前・中期
5	11-000634	土師器甕体部	1	11	古墳時代前・中期
6	11-000635	土師器甕体部	4	51	古墳時代前・中期

1-1-16号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	国庫番号	国庫番号
1	10-000001	磁器碗	底径 8.3 残高 4.6	1/3. 口縁部欠損。外面に無輪。底面丸底で高台付き。体面直立。香炉の火入れ。	肥前磁器。江戸時代	第146回	PL16
2	20-000001	多孔石	残径 13.2×13.1×11.3	上・側面に孔が穿たれる	鎌名山二つ盆石	第146回	PL16

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000046	土師器甕口縁部	1	53	古墳時代後期
4	11-000047	土師器甕体部	7	101	古墳時代前期
5	11-000048	土師器甕体部	1	4	奈良・平安時代前
6	11-000049	土師器坏体一底部	3	8	奈良・平安時代中心
7	11-000050	須恵器甕口縁部	1	51	奈良・平安時代前

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-000051	須恵器甕体部	1	20	奈良・平安時代前
9	11-000052	須恵器高台付甕体一底部	1	14	平安時代
10	11-001359	磁器碗	1	27	肥前産
11	11-001360	磁器碗	1	5	産地不明。近現代
12	11-000636	土師器甕体部	3	30	古墳時代前・中期

1-1-17号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	国庫番号	国庫番号
1	20-000002	台石	径 20.7×19.5 厚 5.4	扁平な河原産を用いる。上面に磨耗痕跡	根粒輝石安山岩	第17回	PL16

第10表 1区1面の出土遺物一覧 (その1)

## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00053	土師器壺体部	5	10	奈良・平安時代中心
3	11-00054	土師器環口罎部	1	3	奈良・平安時代中心

## 1-1-19号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00057	土師器壺体部	4	61	古墳時代後期
2	11-00058	土師器環口罎部	1	3	奈良・平安時代中心

## 1-1-21号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00060	土師器環口罎部	2	21	奈良・平安時代中心
2	11-00061	土師器環口罎部	1	15	奈良・平安時代中心

## 1-1-22号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00062	須恵器壺体部	1	25	奈良・平安時代頃

## 1-1-12号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	20-00003	磁石	残存 8.8×6.1×6.0	上面に縦溝、側面に縦溝多く残る			第25図 PL16

## 1-1-16号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00047	土師器壺体部	1	19	奈良・平安時代頃
2	11-00048	土師器環口罎部	1	8	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00005	土師器坏体一底部	3	7	奈良・平安時代中心
5	11-00006	須恵器高台付罎体一底部	1	4	平安時代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00009	土師器坏体一底部	2	6	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00062	須恵器高台付罎体部	1	34	平安時代

## 1-1-13号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00127	須恵器壺体部	1	21	

## 1-1-17号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00002	土師器坏	断面径 12.6	破片。口縁残存。体一底部外面施釉。内面施釉で	7世紀後半	第21図	PL16

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00051	土師器壺体部	2	37	奈良・平安時代中心
3	11-00052	土師器坏体部	5	21	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00013	須恵器壺体部	2	6	奈良・平安時代中心

## 1-1-18号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00054	土師器壺体部	1	4	奈良・平安時代頃
2	11-00055	土師器環口罎部	5	27	高岡期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00016	土師器坏体一底部	2	8	奈良・平安時代中心

## 1-1-19号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00039	土師器罎口罎部	1	10	古墳時代前・中期
2	11-00052	土師器坏体一底部	1	10	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00063	須恵器壺体部	1	13	奈良・平安時代中心

## 1-1-20号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00058	土師器壺体部	2	6	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00019	土師器坏体一底部	1	4	平安時代

## 1-1-21号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00040	土師器壺体部	1	3	奈良・平安時代頃
2	11-00041	土師器環口罎部	1	4	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00052	土師器坏体一底部	1	4	奈良・平安時代中心

第11表 1区1面の出土遺物一覧(その2)

## 遺物一覧

## 1-1-22・24号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000163	土師器腰口縁部	1	6	奈良・平安時代頃
2	11-000164	土師器腰体部	1	5	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000165	土師器環口縁部	1	5	奈良・平安時代頃
4	11-000166	土師器環体一部	2	10	奈良・平安時代中心

## 1-1-25号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000167	土師器腰体部	3	17	奈良・平安時代中心
2	11-000168	土師器環口縁部	1	4	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000169	土師器環体一部	1	4	奈良・平安時代頃
4	11-000170	須恵器腰口縁部	1	9	奈良・平安時代頃

## 1-1-34号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000171	土師器腰口縁部	1	11	奈良・平安時代頃

## 1-1-15号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000146	土師器腰口縁部	1	5	奈良・平安時代頃
2	11-000172	土師器腰体部	3	10	

## 1-1-35号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000172	土師器腰体部	17	49	奈良・平安時代中心
2	11-000173	土師器腰底部	1	30	奈良・平安時代頃
3	11-000174	土師器環体一部	2	6	奈良・平安時代中心
4	11-000175	須恵器腰口縁部	1	8	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000176	須恵器高古付碗体一部	1	16	平安時代
6	11-000640	土師器腰体部	1	27	古墳時代前・中期
7	11-000173	土師器腰口縁部	1	10	

## 1-1-36号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-000003	土師器環	径 14.5 器高 3.7	縁部丸く、口縁外反。体一部、内面凹溝で、外面周削り	8世紀前半	第22図	PL.15

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000177	土師器環底部	1	4	奈良・平安時代頃

## 1-1-37号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-000004	須恵器環	径 14.5 残高 4.2	腰一部部の破片。左辺細縦線整形	8世紀後半	第23図	PL.15

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000178	土師器腰体部	2	23	奈良・平安時代中心
3	11-000179	土師器腰口縁部	2	7	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000180	土師器環体一部	2	5	奈良・平安時代中心
5	11-000181	須恵器高古付碗体一部	3	20	奈良・平安時代中心

## 1-1-39号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000182	土師器腰口縁部	1	6	奈良・平安時代頃
2	11-000183	土師器腰体部	1	5	奈良・平安時代頃
3	11-000184	土師器環口縁部	1	4	奈良・平安時代頃
4	11-000185	土師器環体一部	6	26	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000186	須恵器碗体一部	1	19	奈良・平安時代頃
6	11-000641	土師器腰体部	2	29	古墳時代前・中期
7	11-000675	土師器碗体部	1	16	奈良・平安時代頃

## 1-1-46号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000676	土師器腰口縁部	1	9	奈良・平安時代頃

## 1-1-54号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000645	土師器腰口縁部	1	16	古墳時代前・中期

## 1-1-49号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000642	土師器腰口縁部	2	16	古墳時代前・中期
2	11-000643	土師器腰体部	7	108	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000644	土師器腰体部	5	88	古墳時代前・中期

## 1-1-57号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000201	土師器腰口縁部	5	21	奈良・平安時代中心
2	11-000202	土師器腰体部	28	76	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000203	土師器環口縁部	7	24	奈良・平安時代中心
4	11-000204	土師器環体一部	22	89	奈良・平安時代中心

第12表 1区1面の出土遺物一覧(その3)

## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-00005	土師器竈口縁部	2	22	奈良・平安時代中心
6	11-00006	須恵器甕体部	2	58	奈良・平安時代中心
7	11-00007	須恵器高台付甕体一底	2	12	奈良・平安時代中心

## 1-1-50号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00008	土師器竈口縁部	1	5	奈良・平安時代頃
2	11-00009	土師器甕体部	7	29	奈良・平安時代中心

## 1-1-59号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00012	土師器竈口縁部	19	54	奈良・平安時代中心
2	11-00013	土師器甕体部	53	149	奈良・平安時代中心
3	11-00014	土師器甕底部	2	9	奈良・平安時代中心
4	11-00015	土師器坏口縁部	17	50	奈良・平安時代中心
5	11-00016	土師器坏体一底部	61	181	奈良・平安時代中心
6	11-00017	須恵器甕体部	1	75	奈良・平安時代頃

## 1-1-60号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00005	須恵器坏	口径 13.8 器高 3.1	左廻転縦輪整形。底面広く、体部やや丸みを持つ	8世紀前半	第20図	PL16

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00021	土師器竈口縁部	8	37	奈良・平安時代中心
3	11-00022	土師器甕体部	23	78	奈良・平安時代中心
4	11-00023	土師器坏口縁部	19	58	平安時代
5	11-00024	須恵器甕体部	1	12	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-00046	土師器甕体部	1	11	古墳時代前・中期
9	11-00047	土師器甕体部	1	31	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00020	土師器坏口縁部	6	30	奈良・平安時代中心
4	11-00021	土師器坏体一底部	4	23	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00020	須恵器高台付竈口縁部	2	5	平安時代
8	11-00021	須恵器高台付甕体一底部	1	5	平安時代
9	11-00020	須恵器甕	1	18	平安時代
10	11-00046	土師器甕体部	4	35	古墳時代前・中期
11	11-00047	土師器甕体部	2	12	奈良・平安時代中心
12	11-00046	須恵器甕体部	1	2	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00021	土師器竈口縁部	8	37	奈良・平安時代中心
3	11-00022	土師器甕体部	23	78	奈良・平安時代中心
4	11-00023	土師器坏口縁部	19	58	平安時代
5	11-00024	須恵器甕体部	1	12	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-00025	須恵器高台付甕体一底	4	50	平安時代
7	11-00046	土師器甕体部	1	7	古墳時代前・中期
8	11-00046	土師器甕底部	1	13	古墳時代前・中期

## 1-1-61号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00028	土師器竈口縁部	22	134	奈良・平安時代中心
2	11-00027	土師器甕体部	61	236	奈良・平安時代中心
3	11-00028	土師器甕底部	1	5	奈良・平安時代頃
4	11-00029	土師器坏口縁部	17	100	奈良・平安時代中心
5	11-00030	土師器坏体一底部	60	154	奈良・平安時代中心
6	11-00031	須恵器竈口縁部	1	22	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00032	須恵器甕体部	3	31	奈良・平安時代中心
8	11-00033	須恵器甕体一底部	6	20	奈良・平安時代中心
9	11-00034	須恵器高台付竈口縁部	1	22	奈良・平安時代中心
10	11-00035	須恵器長頸甕体部	1	24	古墳時代頃
11	11-00045	土師器甕体部	3	23	古墳時代前・中期
12	11-00045	須恵器甕体部	1	14	奈良・平安時代頃

## 1-1-62号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00036	土師器竈口縁部	3	18	奈良・平安時代中心
2	11-00037	土師器甕体部	13	24	奈良・平安時代中心
3	11-00038	土師器甕底部	1	11	奈良・平安時代頃
4	11-00039	土師器坏口縁部	3	16	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-00040	土師器坏体一底部	21	42	奈良・平安時代中心
6	11-00042	土師器竈口縁部	2	14	古墳時代前・中期
7	11-00043	土師器甕体部	2	7	古墳時代前・中期

## 1-1-63号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	40-00001	刀子柄	残存 4.2×1.1×0.6	刀子柄の残片、両端とも欠損		第21図	PL16

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00041	土師器竈口縁部	6	55	奈良・平安時代中心
3	11-00042	土師器甕体部	59	156	奈良・平安時代中心
4	11-00043	土師器甕底部	1	8	奈良・平安時代頃
5	11-00044	土師器坏口縁部	11	29	奈良・平安時代中心
6	11-00045	土師器坏体一底部	42	83	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-00046	須恵器甕体部	1	28	奈良・平安時代頃
8	11-00047	須恵器甕底部	1	7	奈良・平安時代頃
9	11-00048	須恵器高台付竈口縁部	3	4	平安時代
10	11-00049	土師器甕体部	1	7	古墳時代前・中期

第13表 1区1面の出土遺物一覧(その4)

## 遺物一覧

### 1-1-65号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000245	土師器甕口縁部	14	60	奈良・平安時代中心
2	11-000250	土師器甕体部	65	185	奈良・平安時代中心
3	11-000251	土師器甕底部	2	27	奈良・平安時代中心
4	11-000252	土師器坏口縁部	17	60	奈良・平安時代中心
5	11-000253	土師器坏体一底部	77	192	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-000254	須恵器高台付甕口縁部	2	10	平安時代
7	11-000255	須恵器高台付甕体一底部	5	15	平安時代
8	11-000655	土師器甕口縁部	2	11	古墳時代前・中期
9	11-000678	土師器甕体部	2	7	奈良・平安時代中心

### 1-1-70号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000362	土師器甕口縁部	5	19	奈良・平安時代中心
2	11-000363	土師器甕体部	12	42	奈良・平安時代中心
3	11-000364	土師器甕底部	2	44	奈良・平安時代中心
4	11-000365	土師器坏口縁部	6	39	奈良・平安時代中心
5	11-000366	土師器坏体一底部	14	53	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-000367	須恵器甕体部	2	25	奈良・平安時代中心
7	11-000368	須恵器高台付甕口縁部	1	4	平安時代
8	11-000686	須恵器甕体部	1	23	奈良・平安時代前
9	11-000657	土師器甕体部	2	12	古墳時代前・中期

### 1-1-71号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-000066	土師器坏	口径 12.4 器高 3.2	破片、断面丸く、口縁部外反。口縁横溝で、体一底部内面差溝で、外面直角	8世紀前半	第21回	PL16
2	10-000067	土師器坏	口径 13.2 器高 3.3	破片、断面平気状態で体部差溝。口縁部反し内面に横溝を刻み、横溝で、体一底部内面差溝で、外面直角	8世紀前半	第21回	PL16

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000269	土師器甕口縁部	24	187	奈良・平安時代中心
4	11-000270	土師器甕体部	56	351	奈良・平安時代中心
5	11-000271	土師器甕底部	6	56	古墳時代前期以前
6	11-000272	土師器甕底部	2	13	奈良・平安時代中心
7	11-000273	土師器坏口縁部	36	160	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-000274	土師器坏体一底部	97	371	奈良・平安時代中心
9	11-000275	須恵器甕口縁部	5	18	奈良・平安時代中心
10	11-000276	須恵器甕体一底部	3	19	奈良・平安時代中心
11	11-000277	須恵器甕底部	1	23	奈良・平安時代前、秋賀
12	11-000687	須恵器甕体部	1	20	奈良・平安時代前

### 1-1-84-85号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000290	土師器甕体部	9	31	奈良・平安時代中心
2	11-000291	土師器坏口縁部	4	12	奈良・平安時代中心
3	11-000292	土師器坏体一底部	20	55	奈良・平安時代中心
4	11-000293	須恵器甕体部	4	37	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000679	土師器甕口縁部(鬼高)	1	7	奈良・平安時代前
6	11-000690	土師器坏底部	1	4	奈良・平安時代前
7	11-001278	須恵器甕口縁部	1	6	

### 1-1-84号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000304	土師器甕口縁部	2	7	奈良・平安時代中心
2	11-000305	土師器甕体部	12	32	奈良・平安時代中心
3	11-000306	土師器坏口縁部	4	9	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000307	土師器坏体一底部	14	31	奈良・平安時代中心
5	11-000308	須恵器甕体部	3	23	奈良・平安時代中心
6	11-000309	須恵器高台付甕口縁部	2	4	平安時代

### 1-1-95号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000310	土師器甕口縁部	4	34	奈良・平安時代中心
2	11-000311	土師器甕体部	20	54	奈良・平安時代中心
3	11-000312	土師器甕底部	1	5	奈良・平安時代前
4	11-000313	土師器坏口縁部	3	6	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000314	土師器坏体一底部	22	60	
6	11-000315	須恵器甕底部	1	5	奈良・平安時代前
7	11-000316	須恵器高台付甕体一底部	1	3	平安時代

### 1-1-96号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000317	土師器甕口縁部	1	4	奈良・平安時代前
2	11-000318	土師器甕体部	9	16	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000319	土師器坏体一底部	12	28	奈良・平安時代中心
4	11-000320	須恵器甕口縁部	2	7	奈良・平安時代前

第14表 1区1面の出土遺物一覧(その5)

## 遺物一覧

## 1-1-103号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000321	土師器坏体-底部	1	6	奈良・平安時代頃

## 1-1-132号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000396	土師器坏口縁部	1	5	奈良・平安時代頃
2	11-001287	土師器坏体-底部	1	6	
3	11-001303	土師器坏口-底部	1	53	

## 1-1-114号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号				
1	20-000004	台石	径 12.2×10.5 厚 5.5	扁平な河床礫を用いる。上面に磨耗痕が残る			第25図 PL16				
No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000332	土師器鑿口縁部	1	10	奈良・平安時代頃	5	11-000335	土師器坏体-底部	1	4	奈良・平安時代頃
3	11-000333	土師器鑿体部	5	35	奈良・平安時代中心	6	11-000336	土師器高坏	1	8	奈良・平安時代頃
4	11-000334	土師器坏口縁部	1	5	奈良・平安時代頃						

## 1-1-125号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000661	土師器鑿体部	1	17	古墳時代前・中期

## 1-1-130号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000662	土師器鑿口縁部	1	18	古墳時代前・中期	2	11-000663	土師器高坏体-底部	1	76	古墳時代前・中期

## 1-1-1号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	20-000005	礎石	残存 14.9×13.9 厚 5.3	扁平な河床礫を用いる。上面に柱の当たり痕が残る	粗粒輝石安山岩	第28図	PL16
2	20-000006	台石	残存 19.2×19.0× 6.1	扁平な河床礫を用いる。上面に磨耗痕が残る	粗粒輝石安山岩	第29図	PL17
3	20-000007	礎脚	残存 23.8×12.4× 2.4	扁平な河床礫を用いる。上面に磨耗痕が残る	黑色片岩	第29図	PL16
No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考		
4	11-000391	須恵器鑿体部	2	75	奈良・平安時代頃		

## 1-1-3号井戸

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000392	土師器鑿体部	1	8	奈良・平安時代頃	2	11-000393	土師器坏体-底部	2	8	奈良・平安時代頃

## 1-2 1区2面の出土遺物

## 1-2-14号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000041	土師器鑿口縁部(残高)	1	12	奈良・平安時代中心	4	11-000044	須恵器高台付鑿口縁部	1	3	平安時代
2	11-000042	土師器鑿体部	2	6	奈良・平安時代中心	5	11-000045	須恵器高台付鑿体部-底部	1	2	平安時代
3	11-000043	須恵器鑿体部	1	140	奈良・平安時代頃						

## 1-3 1区3面の出土遺物

## 1-3-1号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-000008	土師器坏	口径 12.2 残高 3.2	破片。体-口縁部内面、口縁縁部で、体-底部内面磨蝕、外側磨蝕あり	9世紀後半	第32図	PL17
2	10-000009	土師器坏	口径 11.8 残高 2.8	破片。体底面滑、口縁外反、口縁縁部で、体-底部内面磨蝕、外側磨蝕あり	9世紀後半	第32図	PL17
3	10-000010	土師器坏	口径 12.0 残高 2.9	破片。体底面滑、口縁外反、口縁縁部で、体-底部内面磨蝕、外側磨蝕あり	9世紀後半	第32図	PL17
4	10-000011	土師器坏	口径 13.0 残高 3.2	破片。体底面滑、体-口縁外反、口縁縁部で、体-底部内面磨蝕、外側磨蝕あり	9世紀後半	第32図	PL17
5	10-000012	土師器坏	口径 13.4 残高 3.1	破片。表面面化粧。残高平、体底外反、口縁内面、口縁縁部で、体-底部内面磨蝕、外側磨蝕あり	9世紀後半	第32図	PL17
6	20-000008	礎石	長 11.9 幅 2.5 厚 1.6	土師器。表面、左右・下面に磨蝕痕、裏面下部には磨蝕痕あり	砥石。磨り方土	第33図	PL17

第15表 1区1面の出土遺物一覧 (その6)  
1区2面の出土遺物一覧  
1区3面の出土遺物一覧 (その1)

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
7	30-00009	スクレーパー	長さ 10.2 厚さ 1.7	扁平な河床礫を用い、表面より側縁調整	真岩、裏り方出土	第33図	PL17
8	30-00010	フレーク	長さ 10.2 厚さ 1.7	割片を用い、片面より刃部調整	黒色真岩、裏り方出土	第33図	PL17

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-00001	土師器壺口縁部	79	482	奈良・平安時代中心	22	11-00014	土師器壺体部	5	11	奈良・平安時代中心、裏り方
10	11-00002	土師器壺体部	600	1861	奈良・平安時代中心	23	11-00015	土師器壺口縁部	1	5	奈良・平安時代頃、裏り方
11	11-00003	土師器壺底部	7	52	奈良・平安時代中心	24	11-00016	土師器壺体一部	4	20	奈良・平安時代中心、裏り方
12	11-00004	土師器壺口縁部	15	165	古墳時代後期	25	11-00017	須恵器壺体部	8	170	奈良・平安時代中心
13	11-00005	土師器壺体部	23	214	古墳時代後期	26	11-00018	須恵器壺口縁部	15	57	平安時代
14	11-00006	土師器壺口縁部	160	694	奈良・平安時代中心	27	11-00019	須恵器壺体一部	23	91	平安時代
15	11-00007	土師器壺体一部	534	1544	奈良・平安時代中心	28	11-00020	須恵器壺	1	6	奈良・平安時代頃
16	11-00008	土師器壺口縁部	16	47	奈良・平安中心、黒漆塗あり	29	11-00021	須恵器壺	1	23	奈良・平安時代頃
17	11-00009	土師器壺体一部	10	42	奈良・平安中心、黒漆塗あり	30	11-00022	須恵器長頸壺腹部	1	16	平安時代頃
18	11-00010	土師器壺体一部	2	7	奈良・平安中心、黒漆塗あり	31	11-00023	土師器壺口縁部	1	9	古墳時代中、中期
19	11-00011	土師器壺口縁部	7	20	奈良・平安時代中心	32	11-00074	土師器壺体部	1	6	奈良・平安時代頃
20	11-00012	土師器壺口縁部	2	18	古墳時代後期	33	21-00002	磨石	1	123	破片
21	11-00013	土師器壺口縁部	1	4	奈良・平安時代頃、裏り方						

1-3-3号観立柱建物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00132	土師器壺体部	2	6	奈良・平安時代中心	3	11-00014	土師器壺体一部	2	12	奈良・平安時代中心
2	11-00133	土師器壺口縁部	1	6	奈良・平安時代頃						

1-3-8号観立柱建物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00135	土師器壺体部	2	24	奈良・平安時代中心	2	11-00016	土師器壺口縁部	1	9	奈良・平安時代頃

1-3-12号観立柱建物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00137	土師器壺体部	3	13	奈良・平安時代中心	3	11-00019	土師器壺体一部	5	21	奈良・平安時代中心
2	11-00138	土師器壺口縁部	1	3	奈良・平安時代頃						

1-3-17号ピット

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00198	須恵器壺	2	30	奈良・平安時代中心	1	11-00105	土師器台付壺体部	4	9	
2	11-00195	土師器壺体一部	1	6		2	11-00106	土師器壺体部	1	25	

1-3-19号ピット

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00013	土師器壺	口径 13.2 器高 3.5	短面やや丸形、体部黒漆、口径若干外反、口縁横溝で、体一底部内面黒漆で、外面黒漆あり、内面黒漆なし	9世紀後半	第48図	PL17

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00399	土師器壺体一部	1	12	奈良・平安時代頃

1-3-21号ピット

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00400	土師器壺口縁部	1	9	奈良・平安時代頃	1	11-00401	土師器壺体部	1	8	奈良・平安時代頃

1-3-23号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00014	土師器壺	口径 12.3 器高 3.3	ほぼ円形、体一底部丸みを帯び、口縁若干、口縁横溝で、体一底部内面黒漆で、外面黒漆あり、内面黒漆なし	8世紀後半	第49図	PL17
2	10-00015	土師器壺	口径 12.4 器高 3.6	体一底部丸みを帯び、口縁内反、口縁横溝で、体一底部内面黒漆で、外面黒漆あり	8世紀後半	第49図	PL17
3	10-00016	土師器壺	口径 27.8 残高 16.0	短円、体部黒漆を呈する、体部丸みを帯び、口径若干外反、口縁横溝で、体一底部内面黒漆で、外面黒漆あり	6世紀後半	第49図	PL18

第16表 1区3面の出土遺物一覧(その2)



## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000064	土師器壺口縁部	6	48	奈良・平安時代中心	11	11-000071	土師器小たまり	1	11	
5	11-000065	土師器壺体部	28	161	奈良・平安時代中心	12	11-000072	須恵器壺体部	14	1625	奈良・平安時代中心
6	11-000066	土師器壺口縁部	5	88	古墳時代後期	13	11-000073	須恵器高台付椀体一部分	2	19	平安時代
7	11-000067	土師器壺体部	1	22	古墳時代後期	14	11-000074	須恵器長頸甕口縁部	1	14	平安時代中心
8	11-000068	土師器環口縁部	14	113	平安時代	15	11-000075	須恵器長頸甕口縁部	1	14	平安時代中心
9	11-000069	土師器環口縁部	22	162	奈良期	16	11-000080	須恵器壺口縁部	1	28	奈良・平安時代中心
10	11-000070	土師器环体一部分	48	198	奈良・平安時代中心	17	11-00131	須恵器壺体部	3	1210	古墳時代

## 1-3-24号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-000017	土師器環	口径 12.6 残高 3.2	破片。底一隅縁丸みを持ち、口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
2	10-000018	土師器環	口径 12.4 残高 3.3	1/2。底一部分丸みを持ち、口縁内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
3	10-000019	土師器環	口径 12.5 残高 3.3	1/2。底一部分丸みを持ち、口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
4	10-000020	土師器環	口径 14.0 残高 2.7	1/2。底一部分丸みを持ち、口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
5	10-000021	土師器環	口径 14.0 残高 3.4	1/2。底一部分丸みを持ち、口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
6	10-000022	土師器環	口径 14.0 残高 3.4	底部分平底丸脚。体部分丸みを持ち、口縁部傾斜に内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
7	10-000023	土師器環	口径 13.5 残高 3.3	安全に広い。底部分平底。体部分丸みを持ち、口縁部若干内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
8	10-000024	土師器環	口径 13.7 残高 3.8	底部分平底丸脚。体部分丸みを持ち、口縁若干内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
9	10-000025	土師器環	口径 15.8 残高 4.1	底部分平底丸脚。体部分丸みを持ち、口縁若干内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
10	10-000026	土師器環	口径 12.9 残高 3.4	底部分平底丸脚。体部分丸みを持ち、口縁傾斜に内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
11	10-000027	土師器環	口径 13.3 残高 3.7	底部分平底丸脚。体部分丸みを持ち、口縁傾斜に内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
12	10-000028	土師器環	口径 14.0 残高 3.4	2/3。底部分平底丸脚。体部分丸みを持ち、口縁若干内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
13	10-000029	土師器高坏	口径 19.6 残高 4.6	底部分平底丸脚。体部分丸みを持ち、口縁傾斜に内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	7世紀後半	第50図	PL18
14	10-000030	土師器高坏	口径 19.5 残高 3.2	底部分平底丸脚。体部分丸みを持ち、口縁傾斜に内湾。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第50図	PL18
15	10-000031	軟質陶器大鉢	口径 27.4 残高 5.9	破片。輪軸彫形。内外面直張。内面灰化物付着	在地産。近・現代	第50図	PL18
16	10-000083	須恵器鉢	口径 13.4 底径 9.5 高さ 4.1	石割製輪軸彫形。底面に2度の赤帯9による切り離し状。底面に内凹調整	8世紀中葉	第50図	PL18
17	10-000011	こもあみ石	長さ 9.8 幅 5.7 厚 6.2	河床石使用。透水孔掘。下に磨刻痕。両面に研磨痕残る	石瓦岡緑岩。44kg	第50図	PL20
18	10-000012	白石	長さ 12.9 幅 6.2 厚 3.8	磨平河床石使用。上面に研磨痕残る。2.36kg	粗粒輝石安山岩	第50図	PL20
19	10-000013	黒石	長さ 12.9 幅 6.2 厚 3.8	河床石使用。裏・上下・両側面、両面に磨刻痕。裏面に研磨痕残る	石瓦岡緑岩。44kg	第50図	PL19

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
20	11-000078	土師器壺口縁部	6	28	奈良・平安時代中心
21	11-000077	土師器壺体部	53	208	奈良・平安時代中心
22	11-000078	土師器壺体部	1	8	奈良・平安時代中心
23	11-000079	土師器壺体部(鬼高)	6	34	古墳時代後期
24	11-000080	土師器環口縁部	48	271	奈良・平安時代中心
25	11-000081	土師器环体一部分	123	515	奈良・平安時代中心
26	11-000082	土師器環口縁部(鬼高)	4	28	古墳時代後期

## 1-3-24 25号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000080	土師器壺口縁部	2	13	奈良・平安時代中心
2	11-000080	土師器壺体部	12	54	奈良・平安時代中心
3	11-000091	土師器壺体部	3	46	古墳時代後期
4	11-000092	土師器環口縁部	2	13	奈良・平安時代中心

## 1-3-25号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-000032	土師器環	口径 11.8 残高 3.9	1/2。底部分平底丸脚。底一部分丸みを持ち、口縁部直立。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	8世紀後半	第51図	PL19
2	10-000033	土師器環	口径 10.7 残高 3.2	1/4。底部分平底。体部分直立。口縁部直立。口縁傾斜で、体一部分内面凹曲で、外面直張り	9世紀前半	第51図	PL19

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
27	11-000083	土師器高坏口縁部	3	19	古墳時代後期
28	11-000084	土師器高坏体部	2	18	奈良・平安時代中心
29	11-000085	須恵器壺体部	6	968	奈良・平安時代中心
30	11-000086	須恵器壺口縁部	10	33	平安時代
31	11-000087	須恵器壺体部一部分	7	49	平安時代
32	11-000088	須恵器壺	1	6	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000093	土師器环体一部分	9	32	奈良・平安時代中心
6	11-000094	須恵器壺体一部分	1	7	平安時代
7	11-000095	須恵器壺体部	1	13	奈良・平安時代中心

第17表 1区3面の出土遺物一覧(その3)

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
3	10-00034	土師器環	口径 10.4 残高 3.5	1/4、縁部平縁、体部凹入、口縁部直内湾、口縁横溝で、体一底部内面直溝で、外面直溝より体部隆起。	9世紀後半	第53図	PL19
4	10-00035	須恵器片煎飯	胴径 22.6 残高 7.9	体部直縁と丸、削出し、底面。第一直石直縁、破損で中央部を帯びる。同心輪縁整形。	奈良時代?	第53図	PL19
5	10-00036	須恵器環	口径 12.3 器高 3.6	1/4、石割輪縁整形。底面に赤切り痕。唇部直内湾、口縁外直。	9世紀後半	第53図	PL19
6	10-00037	須恵器環	口径 13.8 器高 3.5	1/4、石割輪縁整形。底面に赤切り痕。唇部直内湾、口縁外直。	9世紀後半	第53図	PL19
7	10-00038	土師器環	口径 23.0 残高 14.0	破片、コ字状口縁、肩部やや平張る。口縁横溝で、肩部外面直溝より、内面直溝で。	9世紀後半	第53図	PL19
8	10-00039	須恵器環	胴径 18.8 残高 5.0	断面一貫部の破片。表面直縁。表面直縁。	平安時代	第53図	PL19
9	10-00040	須恵器環	口径 28.0 残高 5.6	口縁部の破片、外反し、口縁部上下に接む。	平安時代	第53図	PL19
10	10-00041	土製陶輪車	径 5.5 高さ 1.9	1/2。径約 1cm の穿孔。上下面曲で調整。両面直溝をき。	第53図	PL19	
11	10-00014	こゝろみ石(磁石)	径 13.5 幅 6.2 厚 5.3	河原石使用。中央に磨耗痕あり。上下端部に磨打痕残る。	海城磯灰谷	第51図	PL20
12	10-00015	こゝろみ石	径 8.0 幅 4.4 厚 2.6	小児の河原石使用。中央に磨耗痕。裏面に磨打痕残る。	横粒輝石安山岩	第51図	PL20
13	10-00016	こゝろみ石	径 12.3 幅 5.7 厚 3.0	消食した河原石使用。中央に磨耗痕。380g	横粒輝石安山岩	第51図	PL20
14	10-00017	こゝろみ石(磁石)	径 13.0 幅 4.8 厚 2.6	河原石使用。中央に磨耗痕あり。上下端部に磨打痕残る。	海城磯灰谷	第51図	PL19
15	10-00018	こゝろみ石(磁石)	径 8.0 幅 4.4 厚 2.8	小児の河原石使用。中央に磨耗痕。上下端部に若干の磨打痕。表面、左右面に磨打痕残る。裏面に磨打痕。340g	ひん岩	第51図	PL20
16	10-00019	白石	長 15.7 厚 4.0	扁平な河原石使用。1/2。表面に磨打痕残る。980g	石炭河原石	第51図	PL20
17	10-00020	磁石(輝石)	長 11.0 厚 3.5	河原石使用。上下端に磨打痕。表面に磨打痕残る。260g	横粒輝石安山岩	第51図	PL19
18	10-00021	白石	長 11.8 幅 6.0 厚 3.1	扁平な河原石使用。表面に磨打痕と磨打痕残る。280g	横粒輝石安山岩	第51図	PL20
19	10-00022	白石	径 10.9 幅 4.1 厚 2.9	扁平な河原石使用。表面に磨打痕。磨打痕残る。400g	二ツ倉磁石	第51図	PL20
20	10-00023	白石	長 12.2 厚 6.0	河原石使用。表面に磨打痕。磨打痕残る。540g	横粒輝石安山岩	第51図	PL19

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
21	10-00095	土師器口縁部	57	372	奈良・平安時代中心	34	10-00107	須恵器口縁部	3	342	奈良・平安時代中心
22	10-00096	土師器体部	242	890	奈良・平安時代中心	35	10-00108	須恵器体部	75	3063	奈良・平安時代中心
23	10-00097	土師器底部	2	32	奈良・平安時代中心	36	10-00109	須恵器体部	3	43	奈良・平安時代中心 薄子
24	10-00098	土師器体部(丸高)	8	87	古墳時代前期	37	10-00110	須恵器体部	6	207	奈良・平安時代中心 数点
25	10-00099	土師器口縁部	179	915	奈良・平安時代中心	38	10-00111	須恵器体部	2	99	奈良・平安時代中心
26	10-00100	土師器体部一底部	385	1564	奈良・平安時代中心	39	10-00112	須恵器体部	3	315	奈良・平安時代中心
27	10-00101	土師器口縁部	6	85	奈良・平安時代中心	40	10-00113	須恵器口縁部	27	178	平安時代
28	10-00102	土師器口縁部	2	11	奈良・平安時代中心 破文縁部あり	41	10-00114	須恵器体部一底部	31	348	平安時代
29	10-00103	土師器体部一底部	1	5	奈良・平安時代中心 破文縁部あり	42	10-00115	須恵器高台付残片一破片	2	30	平安時代
30	10-00104	土師器台付巻体一底部	3	57	古墳時代前期	43	10-00116	須恵器器蓋面破片	1	13	奈良・平安時代代
31	10-00105	土師器台付巻体一底部	1	98	古墳時代前期	44	10-00117	須恵器体部	3	88	奈良・平安時代代
32	10-00109	土師器口縁部	1	7	平安時代。磨蝕	45	10-00084	須恵器口縁部	1	30	奈良・平安時代代
33	10-00106	不明瓦	9	309		46	10-00096	須恵器底面	1	21	奈良・平安時代代

1-3-34号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00042	土師器環	口径 23.1 残高 6.8	1/4輪一貫部直縁。口縁横溝で。肩部外面直溝より、内面直溝まで。	8世紀後半	第53図	PL20
2	10-00043	土師器台付巻脚部	底径 11.3 残高 5.2	板一貫部片。表面直縁。底面直縁直溝で。	8世紀後半	第53図	PL20

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	10-00118	土師器口縁部	2	21	奈良・平安時代中心	4	10-00119	土師器体部	1	5	奈良・平安時代代

1-3-35号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00044	土師器環	口径 13.1 器高 3.0	1/4。底面やや膨らみを持ち、口縁部直内湾。口縁横溝で、体部内面直溝で、外面直溝あり。	8世紀後半	第54図	PL20
2	10-00045	土師器環	口径 13.1 器高 3.1	1/4。底面平縁。唇部直内湾、口縁部直内湾。口縁横溝で、体部内面直溝で、外面直溝あり。	8世紀後半	第54図	PL20
3	10-00046	土師器環	口径 11.8 器高 3.2	ほぼ完全。表面直縁。底面平直縁。体一口縁部直内湾。口縁横溝で、体一口縁部直内湾で、外面直溝あり。	8世紀後半	第54図	PL20
4	10-00047	土師器環	胴径 29.0 残高 11.3	破片。表面直縁。内面直溝で、外面直溝あり。	8-9世紀か	第54図	PL20
5	10-00048	土師器環	口径 21.0 残高 16.3	口縁一貫部直縁。口縁横溝で。体部外面直溝より、内面直溝まで一貫部直縁。	4世紀後半	第54図	PL21
6	10-00049	須恵器環	口径 24.6 残高 3.0	口縁部破片。口縁外反し、口縁上下に引く。	平安時代か	第54図	PL19
7	20-00024	こゝろみ石	径 11.1 幅 4.8 厚 3.3	河原石使用。中央に磨耗痕あり。裏面に磨打痕残る。280g	横粒輝石安山岩	第54図	PL20
8	20-00025	こゝろみ石	径 15.9 幅 5.4 厚 3.5	河原石使用。中央に磨耗痕。480g	横粒輝石安山岩	第54図	PL20

第18表 1区3面の出土遺物一覧(その4)

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-000129	土師器壺口縁部	5	97	奈良・平安時代中心
10	11-000121	土師器壺口縁部	77	756	奈良・平安時代中心
11	11-000122	土師器壺底部	2	96	奈良・平安時代中心
12	11-000123	土師器壺口縁部	9	324	古墳時代後期
13	11-000124	土師器体部	11	143	古墳時代後期
14	11-000125	土師器壺口縁部	32	242	奈良・平安時代中心
15	11-000126	土師器坏体一部	53	268	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
16	11-000127	土師器高口縁部	2	27	奈良・平安時代中心
17	11-000128	須恵器壺口縁部	2	51	奈良・平安時代中心
18	11-000129	須恵器壺体部	2	69	奈良・平安時代中心
19	11-000130	須恵器钵体一部	1	10	平安時代
20	11-000131	須恵器蓋	1	7	奈良・平安時代
21	11-000030	土師器体部	5	17	古墳時代前・中期
22	11-000089	須恵器壺体部	3	106	奈良・平安時代頃

## 1-3-8号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-000050	土師器壺	口径 24.6 残高 3.0	胴部一部破片。底良好。小継ぎ多量。胴部は縦状に張り目。底縁若干割らる。胴部外面直張り。内面直張りで、底縁も直張り。	6世紀前半	第56図	PL21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000140	土師器体部	9	35	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000038	土師器体部	4	57	古墳時代前・中期

## 1-3-49号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000187	土師器壺口縁部	7	101	奈良・平安時代中心
2	11-000188	土師器壺体部	18	134	奈良・平安時代中心
3	11-000189	土師器壺底部	1	12	奈良・平安時代中心
4	11-000190	土師器口縁部	2	11	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000191	土師器坏体一部	5	18	奈良・平安時代中心
6	11-000192	須恵器壺口縁部	1	29	平安時代頃
7	11-000193	須恵器高台付钵体一部	1	7	平安時代
8	11-000194	須恵器壺口縁部	1	4	平安時代

## 1-3-50号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000195	土師器体部	2	14	奈良・平安時代中心

## 1-3-53号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000200	土師器口縁部	1	8	奈良・平安時代中心

## 1-3-52号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000196	土師器壺口縁部	2	10	奈良・平安時代中心
2	11-000197	土師器体部	3	15	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000198	土師器口縁部	1	6	奈良・平安時代頃
4	11-000199	土師器坏体一部	3	22	奈良・平安時代中心

## 1-3-55号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-000051	土師器坏	口径 13.6 残高 3.2	破片。底一体部断面のみを持ち、口縁部外見。口縁直張りで、体一部内面直張りで、外面直張り。	6世紀後半	第62図	PL22
2	20-000026	礎石	径 20.3×19.3 厚み 3.1	關平女河原古墳用。表面中央に径10.3×3.8cmを測る方形の柱の跡のみと痕が見られる。2面直張り。	磐城稲石古墳	第63図	PL22

## 1-3-68号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	20-000027	礎石	長さ 8.2 幅 5.9 厚み 1.7	1/2. 平箱形の石材で構成。表面、右側面に経路溝が見られ、表面面に筋目が残る。また左側面と土間に彫刻に付く筋目痕が若干見られる。	サイト	第62図	PL22

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000256	土師器口縁部	1	12	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000257	土師器坏体一部	3	17	奈良・平安時代中心

## 1-3-69号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-000052	土師器坏	口径 11.3 器高 2.6	破片。底部平張。断面のみを持ち、口縁部外見。口縁直張りで、体部傾ら表面内面直張りで、外面直張り後、体部直張りで。	6世紀後半	第62図	PL21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000258	土師器壺口縁部	3	20	奈良・平安時代中心
3	11-000259	土師器口縁部	1	8	奈良・平安時代頃
4	11-000260	土師器坏体一部	1	7	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000261	須恵器坏体一部	1	27	奈良・平安時代頃
6	11-000262	土師器口縁部	3	34	古墳時代前・中期

第19表 1区3面の出土遺物一覧 (その5)

遺物一覧

1-3-73号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	採取番号
1	10-00053	土師器杯	口径 12.0 残高 3.9	破片、底面丸みを帯びた口縁内周、口縁縁部で、体一底部内周縁部で、外面直縁、内周直縁等。	9世紀後半	第500図	PL.21
2	22-000105	こもあみ石	長 10.4 幅 5.5 厚 8.1	河床産使用。中に産粒直線も。340g		第600図	PL.21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000278	土師器杯体一底部	2	18	奈良・平安時代中心	5	11-000558	土師器器体部	1	25	古墳時代前・中期
4	11-000279	須恵器器体部	1	37	奈良・平安時代前						

1-3-74号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	採取番号
1	10-00054	土師器甕	底径 6.0 残高 6.3	第一底部片、胎内直、口縁縁部で、体一底部直縁、外面直縁、内周直縁等。	9世紀前半	第600図	PL.21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000280	土師器器口縁部	1	27	奈良・平安時代前	3	11-000559	土師器器体部	3	24	

1-3-75号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	採取番号
1	10-00055	土師器杯	口径 12.0 残高 3.7	ほぼ完全。底面丸縁、体一口縁部内周、口縁縁部で、体一底部内周縁部で、外面直縁、内周直縁等。	8世紀後半	第500図	PL.21
2	20-000028	多孔石	長 15.9 幅 10.7 厚 8.5	前面に磨打痕見られ、裏面に磨痕面見られる。900g		二つ石輪石	第600図

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000281	土師器器口縁部	1	4	奈良・平安時代前	4	11-000282	土師器器杯体一底部	2	5	奈良・平安時代中心

1-3-77号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	採取番号
1	10-00056	須恵器甕	口径 14.4 残高 1.7	破片、上面直口縁縁部に傾けて輪研削る。器高狭く、口縁縁部直径1.5cmに直縁。	8世紀	第600図	PL.21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000283	土師器器口縁部	1	11	奈良・平安時代前	3	11-000284	土師器器体部	2	5	奈良・平安時代中心

1-3-79号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	採取番号
1	10-00057	須恵器杯	口径 12.7 器高 3.5	1/2。右回転輪研削形。表裏面に砥石。底面回転糸切り痕残存。	8世紀後半	第620図	PL.22
2	10-00058	土師器杯	口径 12.5 器高 3.2	完全。表裏面直縁。底面平足丸縁。磨痕面直。口縁や内周、口縁縁部で、体一底部内周縁部で、外面直縁等。	8世紀後半	第620図	PL.22
3	20-000029	破石	長 19.4 幅 19.0 厚 5.8	扁平な半円盤を形作る。表面に径10.4×10.3cmを測る方形の粒の点とり磨痕も。3,500g		石突閃緑岩	第620図

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000285	土師器器口縁部	3	21	奈良・平安時代中心	7	11-000288	須恵器器体部	1	38	奈良・平安時代前
5	11-000286	土師器器杯体一底部	2	32	奈良・平安時代中心	8	11-000289	須恵器器高台背函体一底部	1	なし	平安時代
6	11-000287	須恵器器体部	2	291	奈良・平安時代中心						

1-3-80号土坑(田原井遺構)

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000394	土師器器体部	3	20	奈良・平安時代中心	3	11-000396	土師器器口縁部	1	5	奈良・平安時代前
2	11-000395	土師器器体底部	1	112	古墳時代後期	4	11-000397	土師器器杯体一底部	7	33	奈良・平安時代中心

1-3-90号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	採取番号
1	10-00059	土師器杯	口径 13.6 器高 3.5	2/3。底面平足。内面直縁。口縁部直縁。裏面丸みを持ち、口縁や内周、口縁縁部で、体一底部内周縁部で、外面直縁等。	7世紀後半	第630図	PL.22

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000394	土師器器体部	11	111	奈良・平安時代中心	4	11-000396	土師器器杯体一底部	9	62	奈良・平安時代中心
3	11-000395	土師器器口縁部	7	49	奈良・平安時代中心	5	11-000397	須恵器器口縁部	1	127	平安時代前

1-3-91号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000396	土師器器杯体一底部	1	10	奈良・平安時代前	1	11-000398	須恵器器体部	1	13	奈良・平安時代前

1-3-97号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000398	須恵器器体部	1	13	奈良・平安時代前

第20表 1区3面の出土遺物一覧(その6)

## 遺物一覧

## 1-3-92号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000299	土師器壺腹部	1	3	奈良・平安時代頃
2	11-000300	土師器壺底部	1	10	奈良・平安時代頃
3	11-000301	土師器坏口縁部	2	16	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000302	土師器坏体一底部	4	23	奈良・平安時代中心
5	11-000303	須恵器壺腹部	2	104	奈良・平安時代中心

## 1-3-103号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000322	土師器壺口縁部	8	53	奈良・平安時代中心
2	11-000323	土師器壺腹部	14	43	奈良・平安時代中心
3	11-000324	土師器坏口縁部	2	7	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000325	土師器坏体一底部	12	37	奈良・平安時代中心
5	11-000326	須恵器壺腹部	1	11	奈良・平安時代頃
6	11-000860	土師器壺腹部	1	30	古墳時代前・中期

## 1-3-105号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000327	土師器壺口縁部	1	11	奈良・平安時代頃
2	11-000328	土師器壺腹部	2	19	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000329	土師器坏口縁部	1	8	奈良・平安時代頃
4	11-000330	土師器坏体一底部	1	16	奈良・平安時代頃

## 1-3-109号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図録番号	図録番号
1	10-00060	土師器坏	口径 11.5 残高 3.4	1/4. ない外周面中。底一帯は丸く、口縁縁部に内溝、口縁縁部で、体一帯の内面溝部で、外面は丸く	7世紀後半	第57図	PL21
2	10-00061	土師器坏	口径 13.0 残高 2.5	破片。底面平気。腹部丸みを帯び、口縁外縁、口縁縁部で、体一帯の内面溝部で、外面は丸く口縁縁部で	8世紀前半	第57図	PL21

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000331	土師器坏体一底部	3	11	奈良・平安時代中心

## 1-3-115号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000337	土師器壺口縁部	1	4	奈良・平安時代頃
2	11-000338	土師器坏口縁部	3	10	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000339	土師器坏体一底部	4	8	奈良・平安時代中心

## 1-3-116号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図録番号	図録番号
1	10-00062	土師器坏	口径 13.2 残高 2.9	破片。底面平気。腹部丸く、口縁外縁、口縁縁部で、体一帯の内面溝部で、外面は丸く口縁縁部で	8世紀後半	第65図	PL22
2	10-00063	土師器壺	口径 19.4 残高 5.4	ほぼ完成。内面溝部による褐色斑の裏面。底面や丸みを帯び、口縁外縁、口縁縁部で、体一帯の内面溝部で、外面は丸く口縁縁部で	8世紀前半	第65図	PL22

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000340	土師器壺口縁部	2	8	奈良・平安時代中心
4	11-000341	土師器坏口縁部	6	54	奈良・平安時代中心
5	11-000342	土師器坏体一底部	13	72	奈良・平安時代中心
6	11-000343	須恵器壺腹部	2	286	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-000344	須恵器高台付壺口縁部	1	5	平安時代
8	11-000345	須恵器長頸壺口縁部	1	45	奈良・平安時代頃
9	11-000860	土師器壺腹部	1	13	奈良・平安時代頃

## 1-3-117号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000346	土師器壺口縁部	2	5	奈良・平安時代中心
2	11-000347	土師器壺腹部	2	9	奈良・平安時代中心
3	11-000348	土師器壺腹部	1	151	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000349	土師器坏口縁部	1	7	奈良・平安時代頃
5	11-000350	土師器坏体一底部	2	46	奈良・平安時代中心

## 1-3-118号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000351	土師器壺口縁部	1	15	奈良・平安時代頃
2	11-000352	土師器壺腹部	4	25	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000353	土師器坏体一底部	3	16	奈良・平安時代中心
4	11-000860	須恵器壺腹部	2	5	奈良・平安時代中心

## 1-3-120号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000354	土師器壺腹部	2	18	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000355	土師器坏口縁部	4	14	奈良・平安時代中心

第21表 1区3面の出土遺物一覧(その7)

遺物一覧

1-3-121号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	11-000297	土師器杯	口径 15.2 残高 3.7	破片、底面欠損。胴部直線。口縁の中折れ。口縁縁部で、体一底部内面角張りで、外側角張り体底縁部で直。	7世紀後半	第58図	PL21

1-3-122号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000256	土師器壺口縁部	4	25	奈良・平安時代中心	5	11-000300	土師器壺口縁部	1	56	古墳時代後期
2	11-000257	土師器壺底部	27	116	奈良・平安時代中心	6	11-000301	土師器壺体部	2	21	古墳時代後期
3	11-000258	土師器壺脚部	1	19	奈良・平安時代頃	7	11-000302	土師器壺口縁部	5	26	奈良・平安時代中心
4	11-000259	土師器壺底部	1	38	奈良・平安時代頃	8	11-000303	土師器壺体一底部	13	35	奈良・平安時代中心

1-3-124号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000264	土師器壺体部	1	8	奈良・平安時代頃	2	11-000305	土師器壺口縁部	1	6	奈良・平安時代中心

1-3-126号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-000296	土師器杯	口径 12.7 残高 3.1	1/4、表面ささる。底面やや丸みを帯び、体一口縁部内折れ。口縁縁部で、体一底部内面角張りで、外側角張り体底縁部で小傾斜の凹状縁使用。左側中折れ縁による凹部で、中折れに微凸部あり。上下両面に打痕残存。78g	8世紀後半	第60図	PL22
2	20-000200	こもあみ石	長 14.9 幅 6.7 厚 4.7			第60図	PL23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000266	土師器壺口縁部	5	65	奈良・平安時代中心	7	11-000370	須恵器高台付陶土口縁部	1	7	平安時代
4	11-000267	土師器壺体部	18	120	奈良・平安時代中心	8	11-000371	須恵器高台付陶土一底部	3	12	平安時代
5	11-000268	土師器壺口縁部	17	120	奈良・平安時代中心	9	11-000385	須恵器壺体部	5	139	
6	11-000269	土師器壺体一底部	16	55	奈良・平安時代中心						

1-3-127号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-000084	土師器杯	口径 12.5 残高 3.4	3/4、中の器形直線。表面面ささる。体一底部丸みを帯び口縁縁部直立。口縁縁部で、体一底部内面角張りで、外側角張り1/2。底面欠損。底面直線。口縁部内折れ。口縁縁部で、体一底部内面角張りで、外側角張り。口縁縁部で、体一底部内面角張りで、外側角張り。	8世紀前半	第60図	PL22
2	10-000085	土師器杯	口径 13.6 残高 3.4			第60図	PL22
3	10-000086	土師器壺	口径 16.5 残高 5.5	3/4、表面面中ややささる。体一底部丸みを帯び口縁部直立。口縁縁部で、体一底部内面角張りで、外側角張り。	8世紀前半	第60図	PL22

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000272	土師器壺口縁部	5	63	奈良・平安時代中心	6	11-000374	土師器壺口縁部	10	86	奈良・平安時代中心
5	11-000273	土師器壺体部	58	270	奈良・平安時代中心	7	11-000375	土師器壺体一底部	18	71	奈良・平安時代中心

1-3-130号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-000067	土師器杯	口径 12.0 残高 3.5	1/4、表面面中ややささる。底面平直。体底丸みを帯び口縁部直立。外折れ。口縁縁部で、体一底部内面角張りで、外側角張り1/2。左右に輪縁部あり。底面凹状縁あり。底面やや丸み。	8世紀後半	第67図	PL23
2	10-000066	須恵器杯	口径 12.0 残高 2.0		8世紀後半	第67図	PL23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000275	土師器壺口縁部	4	67	奈良・平安時代中心	6	11-000379	土師器壺体一底部	13	83	奈良・平安時代中心
4	11-000277	土師器壺体部	25	159	奈良・平安時代中心	7	11-000384	土師器壺体部	1	13	古墳時代前・中期
5	11-000278	土師器壺口縁部	15	112	奈良・平安時代中心	8	11-000312	須恵器壺体部	1	150	

1-3-131号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000380	土師器壺口縁部	2	25	奈良・平安時代中心	4	11-000383	土師器壺口縁部	9	40	奈良・平安時代中心
2	11-000381	土師器壺体部	17	129	奈良・平安時代中心	5	11-000384	土師器壺体一底部	17	207	奈良・平安時代中心
3	11-000382	土師器壺底部	4	28	奈良・平安時代中心	6	11-000385	土師器壺体部	1	なし	奈良・平安時代頃

第22表 1区3面の出土遺物一覧 (その8)

## 1-3-地土遺構(O-15グリッド)

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00044	土器器蓋口縁部	6	30	奈良・平安時代中心
2	11-00045	土器器口縁部	2	6	奈良・平安時代中心
3	11-00046	土器器口縁部	5	25	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00047	須恵器器蓋	2	16	奈良・平安時代中心
5	11-00048	須恵器蓋	1	21	奈良・平安時代頃

## 1-3-遺物包含層

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00049	土器器蓋口縁部	3	20	古墳時代後期
2	11-00077	土器器蓋口縁部	27	178	奈良・平安時代中心
3	11-00078	土器器蓋口縁部	25	150	古墳時代後期
4	11-00079	土器器蓋口縁部	124	424	奈良・平安時代中心
5	11-00080	土器器蓋口縁部	5	56	奈良・平安時代中心
6	11-00081	土器器蓋口縁部	33	177	奈良・平安時代中心
7	11-00082	土器器蓋口縁部	2	6	奈良・平安時代中心、黒漆塗器
8	11-00083	土器器蓋口縁部	122	349	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-00084	土器器蓋口縁部	4	19	奈良・平安時代中心、黒漆塗器
10	11-00085	土器器蓋口縁部	1	16	奈良・平安時代頃
11	11-00086	須恵器器蓋口縁部	1	6	奈良・平安時代頃
12	11-00087	須恵器器蓋口縁部	4	173	奈良・平安時代中心
13	11-00088	須恵器器蓋口縁部	4	41	奈良・平安時代中心
14	11-00089	須恵器器蓋	1	33	奈良・平安時代頃
15	11-00126	陶器	1	20	瀬戸・美濃産

## 1-3-田圃遺

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図面番号
1	10-00059	須恵器器蓋	径 5.7×5.4 厚み 1.6	縦片、外面に縦目線と平行する目線、内面同心円状目線	奈良・平安時代か	第70図	PL23
2	10-00070	瓦	径 8.5×7.7 厚み 1.7	縦片。表裏面滑で整形。	近・現代	第70図	PL23
3	20-00031	台石	径 14.2×7.9 厚み 3.5	扁平な河原石を加工。表裏面に磨痕。裏面に磨り残る	横根神社石山台石	第70図	PL23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00092	土器器蓋口縁部	1	26	奈良・平安時代頃
5	11-00093	土器器蓋口縁部	3	20	奈良・平安時代中心
6	11-00094	土器器蓋口縁部	3	26	奈良・平安時代中心
7	11-00095	須恵器器蓋口縁部	4	317	奈良・平安時代中心
8	11-00096	須恵器高台付陶器口縁部	2	30	平安時代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-00097	須恵器器蓋口縁部	1	212	奈良・平安時代頃
10	11-00098	須恵器器蓋口縁部	1	77	奈良・平安時代頃
11	11-00120	陶器	1	22	瀬戸・美濃産
12	11-00121	磁器	1	23	産地不明、近現代
13	11-00099	フレイク	1	59	黒色頁岩

## 1-4-調査面に拘らない遺物

## 1-4-1-グリッドの特定できる遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値(cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図面番号
Q-14グリッド							
1	10-00071	土器器蓋口縁部	口径 23.2 残高 4.1	口縁一帯の破片。体形直線的、口縁開く。口縁滑で、体形内面滑で、外周微凹凸	7世紀後半	第72図	PL23
O-15グリッド							
2	10-00072	土器器蓋	口径 23.8 残高 10.7	口縁一帯の破片。体形直線的、口縁開く。口縁滑で、体形内面滑で、外周微凹凸	9世紀前半	第72図	PL23
Q-17グリッド							
3	10-00073	須恵器器蓋	口径 11.3 器高 3.9	(右)回転軸線形。表面回転軸線切	8世紀後半	第72図	PL23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
J-14グリッド					
13	11-00082	土器器蓋口縁部	1	9	奈良・平安時代頃
N-13グリッド					
14	11-00041	土器器蓋口縁部	4	25	奈良・平安時代中心
15	11-00042	土器器蓋口縁部	3	なし	奈良・平安時代中心
16	11-00043	土器器蓋口縁部	3	11	奈良・平安時代中心
17	11-00044	土器器蓋口縁部	3	27	奈良・平安時代中心
18	11-00045	陶器現代	1	8	奈良・平安時代頃
N-14グリッド					
19	11-00049	土器器蓋口縁部	8	49	奈良・平安時代中心
20	11-00040	土器器蓋口縁部	1	23	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
N-14グリッド					
21	11-00041	土器器蓋口縁部	1	21	奈良・平安時代頃
22	11-00065	土器器蓋口縁部	1	10	古墳時代前・中期
O-17グリッド					
23	11-00042	土器器蓋口縁部	1	3	奈良・平安時代頃
24	11-00043	土器器蓋口縁部	3	9	奈良・平安時代中心
P-13グリッド					
25	11-00066	土器器蓋口縁部	1	28	古墳時代前・中期
P-15グリッド					
26	11-00049	土器器蓋口縁部	3	20	奈良・平安時代中心
27	11-00040	土器器蓋口縁部	13	39	奈良・平安時代中心

第23表 1区3面の出土遺物一覧(その9)  
1区の調査面に拘らない出土遺物(その1)

## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
P-15グリッド					
28	11-000421	土師器坏口縁部	1	18	奈良・平安時代頃
29	11-000422	土師器坏体-底部	8	27	奈良・平安時代中心
30	11-000423	須恵器坏口縁部	2	6	平安時代
Q-13グリッド					
31	11-000424	土師器坏体-底部	2	15	奈良・平安時代中心
Q-14グリッド					
32	11-000425	土師器坏口縁部	2	9	奈良・平安時代中心
33	11-000426	土師器坏体-底部	2	5	奈良・平安時代中心
Q-16グリッド					
34	11-000427	土師器坏体-底部	1	3	奈良・平安時代頃
Q-17グリッド					
35	11-000428	土師器器体部	1	3	奈良・平安時代頃
36	11-000429	土師器坏体-底部	1	5	奈良・平安時代頃
37	11-000429	須恵器器体部	1	33	奈良・平安時代頃
Q-18グリッド					
38	11-000430	土師器器口縁部	7	26	奈良・平安時代中心
39	11-000431	土師器器体部	27	72	奈良・平安時代中心
40	11-000432	土師器器体部	1	20	古墳時代後期
41	11-000433	土師器坏口縁部	12	49	奈良・平安時代中心
42	11-000434	土師器坏体-底部	47	173	奈良・平安時代中心
43	11-000435	須恵器器体部	1	16	奈良・平安時代頃
44	11-000436	須恵器器口縁部	2	5	奈良・平安時代中心
45	11-000437	須恵器器体-底部	6	26	奈良・平安時代中心
46	11-000438	須恵器器蓋	21	21	奈良・平安時代中心
47	11-000439	陶器	1	16	奈良・平安時代頃
48	11-000440	磁器	1	3	江戸時代
49	11-001352	磁器	1	5	肥前産
50	11-001353	磁器	1	5	産地不明、近現代
51	11-000667	土師器器体部	1	12	古墳時代前・中期
52	11-000668	土師器器体部	2	14	古墳時代前・中期
53	11-000669	土師器器体部	1	33	古墳時代前・中期
54	11-000700	須恵器器体部	1	25	奈良・平安時代頃

1-4-2 試掘等に2.0出上遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
試掘							
4	10-000074	土師器坏	口径 12.4 器高 3.3	1/4. 底面平砥。体一円縁部内縁。口縁縁部で、体一底面内面異断面で。外周異断面後体部断面で	8世紀前半	第7図面	PL23
南塚トレンチ							
78	11-000483	土師器坏口縁部	1	5	奈良・平安時代頃		
79	11-000484	土師器坏体-底部	1	5	奈良・平安時代頃		
80	11-000485	須恵器器体部	2	62	奈良・平安時代中心		
試掘							
81	11-000486	土師器器体部	16	94	奈良・平安時代中心		
82	11-000487	土師器器体部	1	5	奈良・平安時代頃		
83	11-000488	土師器坏口縁部	7	23	奈良・平安時代中心		
No. 資料番号 資料名称 数量 重量(g) 備考							
試掘							
84	11-000489	土師器坏体-底部	24	93	奈良・平安時代中心		
85	11-000470	須恵器器体部	7	157	奈良・平安時代中心		
86	11-000471	須恵器器口縁部	1	21	平安時代		
87	11-000472	須恵器器体部	3	26	奈良・平安時代頃		
88	11-000473	陶器	2	16	中世以降		
89	11-000474	磁器	2	36	昭和時代		
90	11-000475	磁器	1	2	江戸時代か		

第24表 1区の調査面に拘らない出土遺物(その2)



## 1-4-3 その他の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
表面採集							
5	10-00075	土師器坏	口径 13.0 残高 4.2	破片。底一底部湾曲。口縁部直立。口縁擴張で、体一底部内面凹曲で、外面直張り	7世紀後半	第72図	PL23
6	10-00076	須恵器碗	口径 16.1 残高 4.7	口縁一底部片。内面のみ隆起。底部膨らみを有し、口縁周	10世紀前半	第72図	PL23
7	10-00077	須恵器碗	底径 7.8 残高 3.2	底一底部片。内面のみ隆起。底部膨らみを有し、付高台	10世紀前半	第72図	PL23
8	10-00078	秋賀陶器大鉢	口径 20.1 残高 3.3	口縁破片。口縁部屈曲して張り出す。表面黄褐色	在地産。江戸一近代	第72図	PL24
9	10-00079	秋賀陶器鉢	底径 23.8 残高 4.4	腰部片。腰部膨らみ。内外面凹曲。底面傾斜なく調整。	在地産。近・現代	第72図	PL24
10	10-00080	陶器大鉢	径 7.4×6.6 厚さ 0.9	底部片。底面に「象水(胸)福口」の押印	在地。小量産。近・現代	第72図	PL24
11	10-00081	磁器碗	底径 4.0 残高 2.7	腰部下位に染付により山岳等描かれる	慶応寺。18世紀後半一19世紀初頭	第72図	PL24
12	20-00032	フレーク	径 10.2×9.8 厚さ 2.6	自然面残片	黒色頁岩	第72図	PL23

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
表面採集					
91	11-00049	土師器甕口縁部	33	183	奈良・平安時代中心
92	11-00049	土師器甕口縁部	12	204	古墳時代後期
93	11-00082	土師器甕体部	226	707	奈良・平安時代中心
94	11-00083	土師器甕体部	27	252	古墳時代後期
95	11-00084	土師器甕底部	6	49	奈良・平安時代中心
96	11-00085	土師器甕底部	1	217	古墳時代後期
97	11-00086	土師器坏口縁部	63	261	奈良・平安時代中心
98	11-00087	土師器坏体一底部	253	834	奈良・平安時代中心
99	11-00088	陶器	1	3	
100	11-00089	瓦	1	125	
101	11-00090	須恵器甕口縁部	2	25	奈良・平安時代中心
102	11-00091	須恵器甕体部	11	245	奈良・平安時代中心
103	11-00092	須恵器甕	2	63	奈良・平安時代中心、奈良
104	11-00093	須恵器甕体部	4	32	奈良・平安時代中心、薄手
105	11-00094	須恵器甕底部	4	63	奈良・平安時代中心
106	11-00095	須恵器甕口縁部	6	31	奈良・平安時代中心
1-86土坑					
107	11-00179	土師器甕体部	1	26	
1-87土坑					
108	11-00126	土師器甕体部	5	13	
109	11-00121	土師器甕体部	1	7	
110	11-00122	土師器坏口縁部	3	8	
111	11-00123	土師器坏体一底部	9	37	
112	11-00124	須恵器甕体部	1	112	
1区					
1	11-00130	土師器	29	30	
2	11-00132	土師器坏体一底部	42	53	
1区A-B段土					
1	11-00137	土師器	1	25	

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
表面採集					
113	11-00056	須恵器甕体一底部	18	86	奈良・平安時代中心
114	11-00057	須恵器甕	2	19	奈良・平安時代中心
115	11-00058	須恵器鉢	1	118	奈良・平安時代中心、秋賀
116	11-00059	陶器	7	75	
117	11-00134	陶器	4	18	瀬戸・美濃産
118	11-00135	磁器	1	12	肥前産
119	11-00136	土師器坏体一底部	1	7	底面不明。近・現代
120	11-00072	須恵器甕体部	5	127	奈良・平安時代中心
甕土等一括					
121	11-00137	陶器	5	47	瀬戸・美濃産
122	11-00138	磁器	1	20	肥前産
123	11-00067	土師器甕口縁部	1	12	古墳時代前・中期
124	11-00067	土師器甕体部	6	44	古墳時代前・中期
125	11-00067	土師器坏体部	2	5	古墳時代前・中期
126	11-00070	須恵器甕体部	1	30	奈良・平安時代中心
1区A土坑					
127	11-00087	土師器甕体部	1	7	
128	11-00088	土師器坏体一底部	3	9	
1-表探					
1	11-00129	土師器甕口縁部	9	69	
2	11-00129	土師器坏口縁部	5	26	
3	11-00129	土師器坏体部	9	52	
4	11-00129	須恵器甕口縁部	1	4	
5	11-00129	土師器	1	23	
6	11-00129	土師器甕体部	5	48	
1-Q-17グリッド					
1	11-00069	須恵器甕体部	1	14	
1-S-18グリッド					
2	11-00070	須恵器甕体部	2	39	

第24表 1区の調査面に拘らない出土遺物(その3)

遺物一覧

2区の出土遺物

2-1 2区1面の出土遺物

2-1-1号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000510	土師器甕口縁部	1	5	奈良・平安時代頃
2	11-000511	土師器甕体部	3	107	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000512	土師器甕体部	3	19	奈良・平安時代中心、瀬田化

2-1-2号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	51-000091	高歯	1		磁片

2-1-3号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000513	土師器坏体一底部	4	9	奈良・平安時代中心

2-1-4号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-000082	土師器高坏	口径 5.0 残高 6.6	坏底部一隅部片、胴部外面施劃り、内面紋り残像で	5世紀	第75図	PL46

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000514	土師器甕体部	5	18	奈良・平安時代中心、瀬田化
3	11-000515	土師器坏体一底部	11	43	奈良・平安時代中心、瀬田化
4	11-000516	須恵器甕体部	3	208	奈良・平安時代中心、瀬田化
5	11-000517	須恵器甕底部	1	85	奈良・平安時代頃、軟質

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-000518	須恵器高台付甕口縁部	4	16	奈良・平安時代中心
7	11-000519	須恵器高台付甕体底部	2	7	奈良・平安時代中心
8	11-000520	須恵器甕体部	1	87	奈良・平安時代頃
9	11-000521	土師器甕体部	2	29	古墳時代前・中期

2-1-7号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	31-000001	炭化物	少量		磁片

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	51-000014	骨	少量		小片1点、磁片2点以上

2-1-9号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000522	土師器坏口縁部	3	15	奈良・平安時代中心
2	11-000523	須恵器甕体部	1	95	奈良・平安時代頃、軟質

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000523	須恵器高台付甕体一底部	1	4	奈良・平安時代中心、瀬田化不詳

2-1-10号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000524	土師器甕体部	2	14	奈良・平安時代頃
2	11-000525	土師器坏口縁部	2	10	奈良・平安時代頃
3	11-000526	土師器坏体一底部	4	21	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000527	須恵器甕体部	1	34	奈良・平安時代中心、瀬田化
5	11-000528	須恵器高台付甕体一底部	4	28	奈良・平安時代中心、瀬田化

2-1-23号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	20-000003	鏡石(こゝろあみ石)	径 14.0 幅 5.9 厚 4.5	三角縁状の河床礫使用、上下端部に縦打痕り、中央に磨耗痕あり	粗粒輝石安山岩	第82図	PL46

2-1-小ピット

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	31-000002	炭化物	少量		小点、磁片4点以上
2	31-000003	炭化物	少量		小点、磁片5点以上

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	51-000006	高歯	少量		小片1点、磁片5点以上

2-1-1号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	30-000001	杖	径 9.0×5.5 長さ 56.1	厚板状の制材使用、上段切筋、下端部を尖端となす	ブナ属	第85図	PL46
2	30-000002	杖	径 9.2×5.5 長さ 47.6	制材を使用、筋あり。下段を尖端とし、左側面上部に磨痕あり	ブナ属	第86図	PL46
3	30-000003	板材	径 16.8 幅 7.3 厚 3.4	みかん割材断片。左側に柱石との組合い、万物傷の痕跡残る	コナラ属コナラ類	第86図	PL46

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000529	土師器坏体一底部	1	4	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000530	須恵器高台付甕口縁部	1	5	平安時代

第26表 2区1面の出土遺物一覧(その1)

## 遺物一覧

## 2-1-2号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図数番号
1	20-00004	杖	径 3.4×4.6 長さ 49.3	榎材使用。下端尖落。左側面に片物傷残り。上端は丸めて磨かれる	ナギキ	第86図	PL46

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000531	須恵器薬体部	1	9	奈良・平安時代頃

## 2-1-3号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図数番号
1	10-000384	須恵器高台付碗	口径 12.2 底径 7.8 器高 5.0	左回転軸輪軸彫。表裏面を分けて部分的に輪化焼行着。器底の中心部と器口縁部を縦的に開く。或面に回転糸切り痕。高台は付高直で高い	10世紀後半。やや輪化	第87図	PL46

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000532	土師器坏口縁部	2	8	奈良・平安時代中心
3	11-000533	土師器坏体一底部	6	19	奈良・平安時代中心
4	11-000534	須恵器薬体部	2	175	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000535	須恵器高台付碗口縁部	2	7	平安時代
6	11-000705	土師器薬体部	1	57	古墳時代前・中期

## 2-1-遺構外の遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図数番号
1	20-000034	石鏝	長さ 7.7 幅 1.3 厚さ 0.4	無彫痕。二等辺三角形を呈す	須磨石	第94図	PL46
2	20-000035	打石群	径 6.4 幅 4.3 厚さ 1	短棒型。下平尖頭。表裏面より割離調整	細粒輝石安山岩	第94図	PL46
3	10-000385	土師器坏	口径 12.2 器高 3.2	1/4。外周を七毛。裏面平底突脚で。体一口縁部湾曲。口縁輪彫で。体一底部内面黒染で。外周黒磨り	8世紀前半	第94図	PL46
4	10-000386	土師器土師坏	口径 10.3 底径 5.7 器高 3.3	右回転軸輪軸彫。内外面同焼し。一部施焼行着。体部丸みを持ち。口縁部若干外反。或面に回転糸切り痕	10世紀後半～11世紀前半	第94図	PL46

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
東平部中心					
5	11-000536	土師器薬口縁部	4	17	奈良・平安中心、粗造化
6	11-000537	土師器薬体部	31	112	奈良・平安中心、粗造化
7	11-000538	土師器薬口縁部	1	6	古墳時代後期、粗造化
8	11-000539	土師器薬体部	8	160	古墳時代後期、粗造化
9	11-000540	土師器小型雙口縁部	1	17	奈良・平安中心、粗造化
10	11-000541	縄文土器	1	18	中期
11	11-000542	土師器坏口縁部	13	37	奈良・平安中心、粗造化
12	11-000543	土師器坏体一底部	99	280	奈良・平安中心、粗造化
13	11-000544	土師器高坏筒部	1	14	古墳時代、粗造化
14	11-000545	須恵器薬口縁部	3	175	奈良・平安時代中心
15	11-000546	須恵器薬体部	1	11	奈良・平安時代頃
16	11-000547	須恵器薬体部	78	1974	奈良・平安時代中心
17	11-000548	須恵器薬体部	2	89	奈良・平安時代中心
18	11-000549	須恵器高台付碗口縁部	6	13	平安時代
19	11-000550	須恵器高台付碗口縁部	5	15	平安時代、粗造化
20	11-000551	須恵器高台付碗体一底部	16	121	平安時代、粗造化
21	11-000552	須恵器薬体部	28	125	平安時代
22	11-000553	須恵器薬体部	16	54	平安時代
23	11-000554	須恵器長頸直脚部	1	83	奈良・平安時代中心
24	11-000555	須恵器蓋(粗造化)	1	4	奈良・平安時代、粗造化
25	11-000556	陶器小	2	35	輪化頃
26	11-000688	土師器薬体部	10	97	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
西平部中心					
27	11-000689	土師器薬体部	1	12	古墳時代前・中期
28	11-000690	土師器薬体部	2	10	古墳時代前・中期
29	31-000004	灰化物	少量		小片1点、細片4点以上
西平部					
30	11-000557	土師器薬口縁部	1	26	奈良・平安時代頃
31	11-000558	土師器薬体部	15	32	奈良・平安時代中心
32	11-000559	土師器坏口縁部	4	10	奈良・平安時代中心
33	11-000560	土師器坏体一底部	41	111	奈良・平安時代中心
34	11-000561	土師器坏口縁部(塊高)	2	18	奈良・平安時代中心
35	11-000562	須恵器薬口縁部	1	34	奈良・平安時代頃
36	11-000563	須恵器薬体部	8	196	奈良・平安時代中心
37	11-000564	須恵器薬体部(軟質)	1	9	平安時代か、軟質
38	11-000565	須恵器高台付碗口縁部	2	15	平安時代
39	11-000566	須恵器高台付碗体一底部	12	56	平安時代
40	11-000567	須恵器高台付碗口縁部	1	12	平安時代
41	11-000568	須恵器高台付碗口縁部	1	3	平安時代
42	11-000569	軟質陶器	1	11	中世
43	11-000570	陶器	7	48	
44	11-000571	磁器	3	34	
45	11-000696	土師器薬体部	6	33	古墳時代前・中期
46	11-000697	土師器薬体部	3	71	古墳時代前・中期
47	11-001295	土師器薬体部	2	95	

第27表 2区1面の出土遺物一覧(その2)

遺物一覧

2-2 2区2面の出土遺物

2-2-1号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000577	土師器坏口縁部	2	13	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000578	土師器坏体一部	11	46	奈良・平安時代中心

2-2-2号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000579	土師器坏口縁部	2	8	奈良・平安時代中心
2	11-000580	土師器坏体一部	1	3	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000711	土師器甕体部	10	78	古墳時代前・中期
4	11-000712	土師器甕体部	8	49	古墳時代前・中期

2-2-3号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000581	土師器坏体一部	6	18	奈良・平安時代中心
2	11-000713	土師器甕口縁部	2	41	古墳時代前・中期
3	11-000714	土師器台付甕体部	4	17	古墳時代前・中期
3	11-000715	土師器台付甕脚部	2	11	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000716	土師器甕体部	2	6	古墳時代前・中期
5	11-000717	土師器台付甕口縁部	1	8	古墳時代前・中期
6	11-000718	土師器甕体部	3	17	古墳時代前・中期

2-2-5号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000719	土師器甕口縁部	2	22	古墳時代前・中期
2	11-000720	土師器甕体部	7	50	古墳時代前・中期
3	11-000721	土師器高坏脚部	2	13	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000722	土師器台付甕	3	18	古墳時代前・中期
5	11-000723	土師器甕体部	8	33	古墳時代前・中期

2-2-6号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-000087	土師器坏	口径 12.2 器高 3.8	底面平底突縁、体一口縁部滑曲。口縁部狭く、体一部内面直縁で、外面直縁り具体部縁で	8世紀前半	第99図	PL.47

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000582	土師器坏口縁部	2	20	奈良・平安時代中心
3	11-000583	土師器坏体一部	3	5	奈良・平安時代中心
4	11-000584	瀬志器高台付甕体一部	1	3	奈良・平安時代頃
5	11-000704	土師器台付甕口縁部	1	4	古墳時代前・中期
6	11-000705	土師器甕体部	8	78	古墳時代前・中期
7	11-000706	土師器台付甕脚部	1	7	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
8	11-000507	土師器坏口縁部	1	12	古墳時代前・中期
9	11-000708	土師器坏体部	3	15	古墳時代前・中期
10	11-000709	土師器壞口縁部	1	6	古墳時代前・中期
11	11-000710	土師器台付甕体部	3	22	古墳時代前・中期
12	11-000660	土師器坏口縁部	1	5	奈良・平安時代頃
13	11-000661	土師器坏体部	1	5	奈良・平安時代頃

2-2-7号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-000088	土鉢	径 1.6 高さ 3.9	中位が膨らみを持ち、中央部位に4mm径の孔が穿たれる			
2	20-000036	硝石	径 23.9 幅 13.2 厚 8.0	大形の自然産物を使用。表面2面、裏面2面、左側面1面、右側面1面上の硝石量を示す。1.95g	二ツ谷硝石	第99図	PL.47
3	20-000037	こもみ石	径 12.9 幅 5.1 厚 5.1	河原産物を使用。中位に磨耗痕跡。380g	ひん岩	第99図	PL.47
4	20-000038	磨石	径 14.8 幅 5.2 厚 4.2	扁平な河原産物を使用。表面に磨耗痕跡。600g	粗粒輝石安山岩	第99図	PL.47
5	20-000039	磨石	径 14.8 幅 5.2 厚 4.2	棒状の河原産物を使用。上下両面に磨耗痕跡。表面に磨耗痕跡。4.2g	ひん岩	第99図	PL.47

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
6	11-000585	土師器甕体部	12	52	奈良・平安時代中心
7	11-000586	土師器坏口縁部	3	10	奈良・平安時代中心
8	11-000587	土師器坏体一部	19	32	奈良・平安時代中心
9	11-000588	瀬志器甕体部	1	13	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
10	11-000589	瀬志器高台付甕口縁部	12	74	平安時代
11	11-000590	瀬志器高台付甕体一部	18	156	平安時代
12	11-000731	土師器甕体部	6	26	古墳時代前・中期

第28表 2区2面の出土遺物一覧 (その1)

## 2-2-10号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000291	土師器甕口縁部	1	8	奈良・平安時代頃
2	11-000292	土師器甕体部	3	54	奈良・平安時代中心
3	11-000732	土師器甕体部	2	22	古墳時代前・中期
4	11-000734	土師器埴口縁部	2	9	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-000735	土師器甕体部	5	45	古墳時代前・中期
6	11-000736	土師器甕体部	2	40	古墳時代前・中期
7	11-000737	土師器埴体部	1	9	古墳時代前・中期

## 2-2-11号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000733	土師器甕体部	1	5	古墳時代前・中期

## 2-2-15号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000738	土師器甕体部	2	17	古墳時代前・中期

## 2-2-12号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-000889	須恵器高台付埴口縁部	口徑 13.8 底径 10.6 器高 3.8	右回転軸輪型。掘出し高台。腰部丸みを帯び、口縁部ハ字上に開く。肩起し痕。底部左側の斜転遺棄痕跡あり			
No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	図面番号	図版番号
2	11-000293	土師器甕口縁部	1	5	奈良・平安時代頃		
3	11-000294	土師器埴体一部	7	43	奈良・平安時代中心		
No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	図面番号	図版番号
4	11-000295	須恵器高台付埴口縁部	6	56	平安時代		
5	11-000892	土師器埴口縁部	1	4	奈良・平安時代頃		

## 2-2-16号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000296	土師器甕体部	1	4	奈良・平安時代頃
2	11-000297	須恵器高台付埴口縁部	1	5	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000893	土師器甕体部	2	16	奈良・平安時代中心

## 2-2-17号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-000906	須恵器埴	口徑 11.8 底径 6.0 器高 3.8	右回転軸輪型。腰部肩直し。口縁部ハ字上に開く。底部に凹転赤塗り痕あり			
No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	図面番号	図版番号
2	11-000298	土師器甕体部	4	8	奈良・平安時代中心		
3	11-000299	土師器埴体一部	3	6	奈良・平安時代中心		
No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	図面番号	図版番号
4	11-000900	須恵器甕口縁部	2	33	奈良・平安時代中心		
5	11-000901	須恵器高台付埴体一部	96	424	平安時代		

## 2-2-1号溝ち込み

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-000901	土師器高埴	最大径 17.7 器高 5.3	杯縁に凸。表面面分平。器底面平。唇・口縁部に種々持つ。杯底に凹転の赤土塗痕あり。口縁横溝で、体一部内面無塗で、外面黒塗り			
2	10-000902	土師器甕	口徑 28.0 器高 16.3	口縁一部凹転片。口縁直ぐ、体部やや狭る。口縁横溝で、体部内面無塗で、外面黒塗り			
No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	図面番号	図版番号
3	11-000719	土師器甕体部	1	17	古墳時代前・中期		
4	11-000720	土師器甕体部	1	11	古墳時代前・中期		
No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	図面番号	図版番号
5	11-000741	土師器甕体部	1	9	古墳時代前・中期		

## 2-2-C-03アグッド出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000742	土師器台付甕体部	24	64	古墳時代前・中期

## 2-2-履土

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-001313	土師器高埴脚部	1	140	古墳時代中期
2	11-001314	土師器高埴体部	9	150	古墳時代前・中期

第29表 2区2面の出土遺物一覧(その2)

## 遺物一覧

### 2-2-遺構外の遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	20-00000	打製石斧	長さ 8.4 幅 5.5 厚さ 0.2	分製型、自然面を残す割片を用いる。割製調整は多くない。	黒色頁岩	第106図	PL48
2	20-00001	打製石斧	長さ 6.5 幅 6.4 厚さ 0.1	下平欠削。分製型に作るものと思われる。表面磨面再割製調整全無。左右両面に裏面から鋭い斜縁調整を施している。	硬質頁岩	第106図	PL48
3	40-00002	耳環	径 2.2 厚 0.4	1/6欠削。断面小。		第106図	PL48
4	10-00003	瓊珀	長さ 2.4 幅 1.5	口縁部扁平。注意し使用するが、あまり質は良くなく、粗造化が、口縁部は鋭く、断面は平直。	古墳、土層面からの埋り込み	第106図	PL48
5	10-00004	土師	径 3.7 径 1.3×1.3	中心部のみ、縦径に径3×2.5mmの穿孔。外周面直さ及び厚さで調整		第106図	PL48

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
東平部中心					
6	11-00056	土師器壺口縁部	2	11	奈良・平安時代中心
7	11-00057	土師器壺体部	66	121	奈良・平安時代中心
8	11-00058	土師器壺口縁部	10	90	古墳時代後期
9	11-00059	土師器壺体部	13	228	古墳時代後期
10	11-00060	土師器壺底部	3	39	古墳時代後期
11	11-00061	土師器環口縁部	51	226	奈良・平安時代中心
12	11-00062	土師器年体一底部	174	573	奈良・平安時代中心
13	11-00063	土師器環口縁部	5	36	古墳時代後期
14	11-00064	土師器高环頸部	2	75	古墳時代後期
15	11-00065	土師器瓶	2	29	古墳時代後期以降
16	11-00066	須恵器壺体部	2	なし	奈良・平安時代中心
17	11-00067	須恵器壺底部	7	97	奈良・平安時代中心
18	11-00068	須恵器壺口縁部	1	17	奈良・平安時代中心
19	11-00069	須恵器高台付甕口縁部	28	なし	奈良・平安時代中心
20	11-00070	須恵器蓋	3	27	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
西平部					
21	11-00062	土師器壺口縁部	1	18	奈良・平安時代頃
22	11-00063	土師器壺体部	9	14	奈良・平安時代中心
23	11-00064	土師器環口縁部	5	15	奈良・平安時代中心
24	11-00065	土師器年体一底部	5	31	奈良・平安時代中心
2面					
25	11-00074	土師器台付壺口縁部	11	44	古墳時代前・中期
26	11-00074	土師器壺体部	20	128	古墳時代前・中期
27	11-00074	土師器台付壺脚部	29	134	古墳時代前・中期
28	11-00074	土師器壺体部	10	79	古墳時代前・中期
29	11-00074	土師器口縁部	4	32	古墳時代前・中期
30	11-00074	土師器壺体部	61	620	古墳時代前・中期
31	11-00074	土師器高环頸部	5	86	古墳時代前・中期
32	11-00074	土師器壺口縁部	6	113	古墳時代前・中期
33	11-00084	土師器壺体部	1	4	奈良・平安時代頃
34	11-00129	須恵器壺体部	1	14	
35	11-00129	須恵器壺口縁部	16	50	

### 2-3 2区3面の出土遺物

#### 2-3-1号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00095	土師器	口径 2.1 底径 2.6 高さ 5.1	小口上子底。体部内面直縁を環1口縁部を外。口縁部無縁で、体一底部中央部直縁で、外面直縁を有する。	5世紀前半	第109図	PL48
2	10-00096	土師器瓶	口径 13.2 底径 4.4 高さ 5.1	内外面赤色塗料の痕跡。底面平直。体部直縁。口縁部無縁で、体部内面直縁で、外面直縁を有する。断面調整無一底部片。断面直縁も。平底の底面中央に径3.0mmの孔。その両側に径1.2-1.5mmの孔が半周当たり5ヶ所等たれ。内外面直縁を有する。	5世紀前半	第109図	PL48
3	10-00097	土師器瓶	底径 9.2 残高 7.0	口縁一断面直縁。体部直縁を有。口縁部外直縁。口縁部無縁で、体部内面直縁で、外面直縁を有する。	5世紀前半	第109図	PL48
4	10-00098	土師器壺	径 16.6 器高 17.4	口縁一断面直縁。体部直縁を有。口縁部外直縁。口縁部無縁で、体部内面直縁で、外面直縁を有する。	5世紀前半	第109図	PL48

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2-3-1号住居に伴う遺物					
5	11-00078	土師器壺口縁部	9	121	古墳時代前・中期
6	11-00076	土師器壺体部	15	174	古墳時代前・中期
7	11-00077	土師器口縁部	1	7	古墳時代前・中期
8	11-00078	土師器壺体部	5	13	古墳時代前・中期
9	11-00079	土師器壺体部	1	12	古墳時代前・中期
10	11-00080	土師器年体一底部	3	12	古墳時代前・中期
11	11-00081	土師器高环頸部	2	9	古墳時代前・中期
12	11-00082	土師器壺底部	1	25	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2-3-1号住居に伴う遺物					
13	11-00083	土師器壺底部	1	43	古墳時代前・中期
14	11-00084	土師器壺体部	18	426	古墳時代前・中期
西平部					
15	11-00072	土師器壺口縁部	1	27	奈良・平安時代頃
16	11-00073	土師器壺体部	2	6	奈良・平安時代中心
17	11-00074	土師器環口縁部	2	14	奈良・平安時代中心
18	11-00075	土師器年体一底部	1	16	奈良・平安時代頃
19	11-00076	土師器蓋	1	9	奈良・平安時代頃

第30表 2区2面の出土遺物一覧(その3)  
2区3面の出土遺物一覧(その1)

## 2-3 田河遺

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	国書番号	図版番号
1	000009	土師器器台	口径 8.6 底径 10.9 器高 9.3 孔径 1.0	表裏面からせる。底部大きく開き、胴部やや窄らみを持ち、口縁部は直線的に立ち上る。内面下部縁で後縁勢、胴部直線で、外面直線で後縁勢。	4世紀後半	第118図	PL48
2	000010	土師器器台	口径 7.3 底径 11.6 器高 10.0 口径 1.1	表裏面からせる。底部開き、胴部やや窄らみ、口縁部湾、外縁部内面及び外面直線で後縁勢。胴部内面上下縁部、中、下部直線。	4世紀後半	第118図	PL49
3	000011	土師器高坏	胴部径 12.0 残高 10.5	胴部湾。底部反折し、胴部断面のみを持つ。内面上下縁部、下部直線で、外面直線で後縁勢。	4世紀後半	第118図	PL49
4	000012	土師器高坏	口径 17.7 残高 6.1	4.5。表裏面からせる。底部直線も見られる。胴部直線より後縁部直線的に直く。底部7平に縦目貫れ縁るが、他の箇所の整形は不可。	4世紀後半	第118図	PL49
5	000013	土師器高坏	口径 17.0 底径 12.8 器高 16.5-18.9	4.5。胴部直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL49
6	000014	土師器高坏	口径 15.0 底径 11.2 器高 14.4	4.5。胴部直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL49
7	000015	土師器高坏	胴部径 11.4 残高 9.5	4.5。胴部直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL49
8	000016	土師器高坏	胴部径 12.6 残高 7.3	胴部湾。表裏面からせる。底部直線より開き、胴部直線で立ち上る。胴部直線的に直く。胴部内面直線、外面直線。	5世紀後半	第118図	PL49
9	000017	土師器輪	口径 14.2 器高 6.7	4.5。表裏面からせる。底部直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀後半	第118図	PL49
10	000018	土師器輪	口径 11.7 底径 4.3 残高 5.8	4.5。表裏面からせる。底部直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀後半	第118図	PL50
11	000019	土師器杯	口径 11.4 器高 4.0	4.5。表裏面からせる。底部直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL49
12	000020	土師器埴	口径 10.0 残高 3.8	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀	第118図	PL50
13	000021	土師器埴	口径 2.8 残高 2.4	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL50
14	000022	土師器小型壺	口径 14.0 底径 5.0 残高 8.4	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL50
15	000023	土師器小型壺	口径 9.8 底径 3.7 器高 8.7	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL50
16	000014	土師器小型壺	口径 2.8 残高 5.8	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL50
17	000015	土師器小型壺	口径 12.4 器高 7.4	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL50
18	000016	土師器埴	口径 9.7 残高 6.8	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL50
19	000017	土師器埴	口径 9.8 底径 3.0 残高 6.8	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第118図	PL50
20	000018	土師器小型壺	口径 12.6 残高 7.1	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀後半か	第119図	PL50
21	000019	土師器小型壺	口径 8.7 底径 3.0 器高 10.4	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第119図	PL50
22	000020	土師器小型壺	口径 11.0 残高 5.8	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀後半	第119図	PL50
23	000021	土師器小型壺	口径 13.3 底径 3.0 残高 7.6	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀	第119図	PL50
24	000022	土師器小型壺	口径 13.0 底径 6.7 器高 11.3-12.5	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第119図	PL50
25	000023	土師器壺	口径 16.7 残高 4.6	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	5世紀前半	第119図	PL50
26	000024	土師器壺	口径 47.1 残高 11.5	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4-5世紀	第119図	PL51
27	000025	土師器台付罿	口径 13.6 胴部径 23.2 残高 15.3	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀後半	第119図	PL51
28	000026	土師器台付罿	口径 13.6 最大径 23.2 残高 16.7	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀後半	第119図	PL51
29	000027	土師器台付罿	口径 10.2 残高 17.9	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀後半	第119図	PL51
30	000028	土師器台付罿	口径 9.6 残高 11.8	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀後半	第119図	PL51
31	000029	土師器台付罿	口径 13.7 残高 4.1	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀後半	第119図	PL51
32	000030	土師器台付罿	径 7.8 残高 7.2	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀(前半)	第119図	PL51
33	000031	土師器台付罿	口径 9.0 残高 5.6	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀(後半)	第119図	PL51
34	000032	土師器台付罿	口径 9.8 残高 6.6	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀(後半)	第119図	PL51
35	000033	土師器台付罿	口径 16.1 残高 5.2	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀後半	第120図	PL51
36	000034	土師器台付罿	口径 12.0 残高 5.0	口縁部欠損。半球状を呈する。外面直線より立ち上がり、胴部直線的、ほぼ直線的で底面に段を伴う。口縁、胴部直線、胴部内面直線、胴部内面直線で、外面直線。	4世紀後半	第120図	PL52

第31表 2区3面の出土遺物一覽(その2)

## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・外形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
37	10-000135	土師器台付甕	底径 7.6 残高 8.8	基部部から破断。表面磨き。口縁外反。縦筋彫刻。縦筋彫刻と基部部内面彫刻が近し。基部外面磨き。基部内面磨き。外面磨き。	4世紀後半	第1200図	PL52
38	10-000136	土師器台付甕	底径 10.0 残高 14.4	基部一断面。表面磨き。縦筋彫刻。縦筋彫刻と基部部内面磨き。基部内面磨き。外面磨き。外面磨き。	4世紀後半	第1200図	PL52
39	10-000137	土師器甕	底径 9.2 残高 10.0	基部一断面。底面平直で高直。体取部をなす。基部内面磨き。外面磨き。外面磨き。外面磨き。	4世紀	第1200図	PL52
40	10-000138	土師器甕	口径 19.2 底径 7.3 器高 32.4	部分的に欠損。底面やや上反。体部中からやや上反最大。口縁部外反。口縁線磨き。体部内面輪状彫刻残部。身取一断面。	5世紀前半	第1200図	PL52
41	10-000139	土師器甕	口径 18.8 残高 6.8	口縁一断面使用。表面磨き。口縁部外反。口縁線磨き。基部内面磨き。外面磨き。	5世紀後半	第1200図	PL52
42	10-000140	土師器甕	口径 18.0 残高 13.9	口縁一断面使用。体部内面磨き。外面磨き。外面磨き。外面磨き。	5世紀後半	第1200図	PL52
43	10-000141	土師器甕	口径 15.8 底径 7.9 器高 22.1	4/5。外面磨き。底面平直。基部平直に上反最大。口縁部外反。口縁線磨き。口縁部一断面内外面輪状彫刻。底面磨き。	4世紀後半	第1200図	PL53
44	10-000142	土師器甕	口径 15.9 底径 7.7 器高 25.8	3/5。口縁部と基部内面磨き。表面磨き。体部中反に口縁線磨き。口縁外反。体一断面内面磨き。外面磨き。	5世紀前半	第1200図	PL53
45	10-000143	土師器甕	口径 15.9 底径 7.7 器高 25.8	身一断面。内外面磨き。底面平直。基部やや丸みを帯び。基部内面磨き。外面磨き。	4世紀(後半)	第1200図	PL53
46	10-000144	土師器甕	口径 21.1 底径 7.2 残高 14.0	上反した欠損。表面磨き。底面平直で高直。口縁部上反。体部内面磨き。外面磨き。外面磨き。	4世紀。磨き・磨きからの使用か。	第1210図	PL53
47	30-000055	滑石平鏡	径 59.0 幅 15.0 厚 2.3	先端・左縁線欠損。縦目材使用。9片に分かれる。ナシに分布する。ハ・G取の欠け。両縁線が内側に。身の径53.4cm	ハンノキ属ヤブシロ	第1210図	PL55
48	30-000056	滑石平鏡	径 43.1 幅 9.7 厚 1.5	先端・左縁線欠損。縦目材使用。縦筋を呈する。両先直交し。身の径41.4cm。縦筋径3.03cm。縦筋3mm	コナラ属クスミ節	第1210図	PL53
49	30-000057	ふぶり	径 117.0 幅 21.0 厚 16.2 厚 2.0	上縁。左縁線部分欠損。縦目材使用。上縁部内面磨き。背面平直にて径4.8×2.6cm程の角状突起が認められる。	コナラ属クスミ節	第1210図	PL54
50	30-000058	有領筒	残長 8.7 幅 6.5 厚 1.2	先端片。縦目材。断面は径6.8×4.0cmの隅丸六角。縦目材径4.7cm	コナラ属クスミ節	第1210図	PL53
51	30-000059	銅板	残長 52.0 幅 12.6 厚 12.0	細粒光澤面等欠損。芯材材の削り出し。縁部表面磨き。径15.8×11.6cm。厚5.2mm以上。両縁辺が削り込まれ径5.5cm以下。長さ26.1cm	アカガシ亜属	第1210図	PL55
52	30-000060	杖	残長 43.3 径 3.8×1.8	1/3の部材使用。先端から長さ20.5cm。7.3cm。45.6cmの3片に分かれ。先端部一断面欠損。先端部内面から削り出しを遺る。	コナカヤ	第1220図	PL56
53	30-000061	杖	残長 72.0 径 5.5×2.5	部分的に欠損。みかん割の部材使用。特殊の加工なし	コナラ属クスミ節	第1220図	PL56
54	30-000062	杖	残長 58.2 径 6.3×3.0	欠損品。部材使用。左縁部から削り突端を作る	コナラ属クスミ節	第1220図	PL57
55	30-000063	杖	残長 30.4 径 3.4×3.3	両端欠損。部材使用。両端部潤滑から磨る	コナラ属クスミ節	第1220図	PL58
56	30-000064	杖	残長 33.1 径 4.6×4.5	両端欠損。芯材材使用。両端から削り	コナラ属クスミ節	第1220図	PL56
57	30-000065	杖	残長 47.8 径 4.0×3.9	上端部欠損。部材使用。下端を表面側から削り取った突端を作る	コナラ属クスミ節	第1230図	PL57
58	30-000066	杖	残長 17.4 径 4.4×3.3	両端欠損。部材使用。上端切られる。両端潤滑から磨る	コナラ属クスミ節	第1230図	PL56
59	30-000067	杖	残長 99.3 径 6.9×2.1	空所に近い。縦目材使用。下端部一面で両端から削り突端を作る	カヤ	第1230図	PL57
60	30-000068	杖	残長 88.5 径 8.5×4.4	上部欠損。縦目材使用。下端部を両端から削り出し突端を作る	コナラ属クスミ節	第1230図	PL59
61	30-000069	薄板材	径 16.7 径 10.0×5.0 厚 1.7	縦目の部材。上反削られ。右は磨かれ。用途不明	コナラ属クスミ節	第1230図	PL55
62	30-000070	角材	径 14.4×1.4 厚 4.0	芯材材。左端切断され。右磨かれ。用途不明	コナラ属クスミ節	第1230図	PL56
63	30-000071	厚板材	径 47.0 径 6.5×2.9	板目材。上反欠損。用途不明	コナラ属クスミ節	第1240図	PL59
64	30-000072	薄板材	径 64.0 幅 11.3 厚 1.7	一部欠損。縦目材使用。一端に幅2mm。奥行1.3mm程を標準とするはさみ4.5から13cm程の不規則欠損が認められている。用途不明	コナラ属	第1240図	PL58
65	30-000073	薄板材	径 65.0 幅 8.5 厚 0.6	縦目材。断面が多く小片分離し。粗造化進むが、均質な厚みを持つ	アカガシ亜属	第1240図	PL58
66	30-000074	銅材	径 24.2 径 15.5×4.4	一部欠損。芯材材。断面三角を呈する跡	コナラ属クスミ節	第1240図	PL58
67	30-000075	銅材	径 55.2 径 10.2×4.5	端を有し不規則に削られている。断面三角を呈する跡	コナラ属クスミ節	第1240図	PL58
68	30-000076	碧玉	径 2.3 径 1.1	縦筋に7分割された欠損品。幅2〜3mmの孔が縦筋に穿たれる	翡翠小	第1240図	PL59
69	30-000077	管玉	径 1.9 径 0.5×0.5	欠損品。縦筋に2mmの孔が穿たれる	翡翠小	第1240図	PL59
70	30-000078	石鏝	径 6.0 幅 7.3 厚 1.1	欠損品。縦筋の長い有蓋部。表面より細かく割離調整が施された	黒色頁岩小	第1240図	PL59
71	30-000079	スクレーパー	径 3.5 幅 1.4 厚 0.5	削片を用いる。刃部裏面より割離調整が施された	黒色頁岩	第1240図	PL59
72	30-000080	磨石	径 18.0 幅 12.0 厚 1.1	河床礫使用。表面に研削面残る	流紋岩	第1250図	PL60
73	30-000081	こもみ石	径 13.9 幅 5.5 厚 0.5	河床礫使用。中反に磨耗痕残り。表面に炭化物・灰層のものが付着	横紋輝石安山岩	第1250図	PL59
74	30-000082	台石	径 20.7 幅 14.1 厚 4.9	河床礫使用。表面の広い範囲に研削面残る	横紋輝石安山岩	第1250図	PL60

第32表 2区3面の出土遺物一覧(その3)



## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
A-05グリッド出土遺物					
75	11-00035	土器器口縁部	1	15	古墳時代前・中期
76	11-00036	土器器身底部	3	45	古墳時代前・中期
B-03グリッド出土遺物					
77	11-00037	土器器小型器体部	1	5	古墳時代前・中期
B-04グリッド出土遺物					
78	11-00038	土器器身底部	20	256	古墳時代前・中期
79	11-00039	土器器口縁部	1	11	古墳時代前・中期
C-03グリッド出土遺物					
80	11-00040	土器器口縁部	1	6	古墳時代前・中期
81	11-00041	土器器小型器体部	1	7	古墳時代前・中期
82	11-00042	土器器台付器体部	16	26	古墳前・中期、刷毛目無し
83	11-00043	土器器台付器体部	33	80	古墳時代前期
84	11-00044	土器器台付器脚部	2	21	古墳時代前期
85	11-00045	土器器口縁部	5	20	古墳時代前・中期
86	11-00046	土器器身底部	3	8	古墳時代前・中期
C-05グリッド出土遺物					
87	11-00047	土器器口縁部	5	54	古墳時代前・中期
88	11-00048	土器器身底部	29	69	古墳時代前・中期
89	11-00049	土器器口縁部	3	11	古墳時代前・中期
90	11-00050	土器器台付器口縁部	6	17	古墳時代前期
91	11-00051	土器器台付器体部	28	62	古墳時代前期
92	11-00052	土器器口縁部	2	7	古墳時代前・中期
93	11-00053	土器器台付器脚部	1	7	古墳時代前期
94	11-00054	土器器口縁部	1	11	古墳時代前・中期
C-07グリッド出土遺物					
95	11-00055	土器器台付器体部	2	5	古墳時代前期
D-01グリッド出土遺物					
96	11-00056	土器器口縁部	3	32	古墳時代前・中期
97	11-00058	土器器身底部	21	57	古墳時代前・中期
98	11-00061	土器器台付器体部	15	97	古墳時代前期
99	11-00062	土器器口縁部	4	30	古墳時代前・中期
100	11-00063	土器器身底部	1	8	古墳時代前・中期
D-02グリッド出土遺物					
101	11-00056	土器器小型器口縁部	1	8	古墳時代前・中期
102	11-00057	土器器小型器体部	16	106	古墳時代前・中期
103	11-00058	土器器台付器脚部	1	10	古墳時代前期
104	11-00059	土器器台付器口縁部	1	12	古墳時代前期
D-05グリッド出土遺物					
105	11-00060	土器器台付器口縁部	3	9	古墳時代前期
106	11-00066	土器器口縁部	1	27	古墳時代前・中期
107	11-00067	土器器台付器体部	4	6	古墳時代前期、S字口縁
108	11-00068	土器器台付器体部	3	11	古墳時代前期、刷毛目無し
F-02グリッド出土遺物					
109	11-00084	土器器身底部	1	48	古墳時代前・中期

## 2-3-As-C層上段層出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00076	土器器身底部	3	17	古墳時代前・中期

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
F-03グリッド出土遺物					
110	11-00076	土器器台付器体部	5	69	古墳時代前期
111	11-00077	土器器口縁部	1	13	古墳時代前・中期
112	11-00078	土器器身底部	3	26	古墳時代前・中期
F-04グリッド出土遺物					
113	11-00079	土器器身底部	15	33	古墳時代前・中期
114	11-00080	土器器口縁部	2	6	古墳時代前・中期
115	11-00081	土器器台付器体部	7	16	古墳時代前期
F-06グリッド出土遺物					
116	11-00021	土器器台付器口縁部	1	14	古墳時代前期、S字口縁
117	11-00022	土器器台付器体部	13	35	古墳時代前期
118	11-00023	土器器口縁部	5	13	古墳時代前・中期
119	11-00024	土器器口縁部	5	86	古墳時代前・中期
120	11-00025	土器器台付器	25	64	古墳前期、刷毛目無し
121	11-00026	土器器身底部	16	86	古墳時代前・中期
122	11-00027	土器器台付器底部	4	89	古墳時代前期
123	11-00028	土器器身底部	1	175	古墳時代前・中期
F-07グリッド出土遺物					
124	11-00029	土器器台付器口縁部	1	9	古墳時代前期、S字口縁
125	11-00030	土器器身底部	22	170	古墳時代前・中期
126	11-00031	土器器口縁部	7	51	古墳時代前・中期
127	11-00032	土器器口縁部	2	26	古墳時代前・中期
128	11-00033	土器器身底部	1	14	古墳時代前・中期
F-08グリッド出土遺物					
129	11-00034	土器器台付器	6	8	古墳時代前期か
F-10グリッド出土遺物					
130	11-00072	土器器身底部	3	29	古墳時代前・中期
G-05グリッド出土遺物					
131	11-00073	土器器台付器口縁部	2	28	古墳時代前期、S字口縁
132	11-00074	土器器小型器体部	1	7	古墳時代前・中期
133	11-00075	土器器身底部	1	34	古墳時代前・中期
134	11-00076	土器器口縁部	1	10	古墳時代前・中期
135	11-00077	土器器身底部	1	5	古墳時代前・中期
136	11-00078	土器器高坏坏部	1	56	古墳時代前・中期
137	11-00079	土器器台付器体部	4	14	古墳時代前・中期
138	11-00079	土器器台付器体部	10	9	古墳時代前期、S字口縁
G-287グリッド出土遺物					
139	11-00079	土器器台付器口縁部	1	13	古墳時代前期
H-08グリッド出土遺物					
141	11-00073	土器器身底部	1	8	古墳時代前・中期
142	11-00074	土器器身底部	1	54	古墳時代前・中期
C-03グリッド出土遺物					
143	11-01304	土器器身底部	17	103	

## 第33表 2区3面の出土遺物一覧(その4)

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00038	土器器身底部	1	5	古墳時代小

## 遺物一覧

2-3-3面遺構外の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00029	土師器埴成部	2	11		19	11-00053	土師器罎口縁部	19	167	古墳時代前・中期
2	11-00021	土師器壘底部	7	20		20	11-00094	土師器台付壘一脚部	1	66	古墳時代前期
3	11-00022	土師器壘底部	10	31		21	11-00055	土師器台付壘口縁部	16	156	古墳時代前期
4	11-00023	土師器壘体一底部	7	31		22	11-00095	土師器台付壘体部	456	846	古墳時代中期、朝毛田墓
5	11-00024	土師器坏体一底部	31	56		23	11-00097	土師器壘底部	11	267	古墳時代前・中期
6	11-00025	土師器高坏坏部	3	60		24	11-00098	土師器罎口縁部	23	149	古墳時代前・中期
7	11-00026	土師器高坏坏部	11	780		25	11-00099	土師器台付壘体部	108	304	古墳時代前期
8	11-00027	須恵器高台付罎口縁部	1	3	平安時代、流れ込み小窪	26	11-00070	土師器坏体部	1	7	古墳時代前・中期
9	11-00073	土師器台付壘口縁部	48	334	古墳時代前期、S字口縁	27	11-00071	土師器壘底部	10	226	古墳時代前・中期
10	11-00074	土師器台付壘体部	451	1612	古墳時代前期、S字口縁	28	11-00072	土師器罎体部	21	156	古墳時代前・中期
11	11-00075	土師器台付壘脚部	24	501	古墳時代前期	29	11-00073	土師器壘体部	9	233	古墳時代前・中期
12	11-00076	土師器壘口縁部	2	30	古墳時代前・中期	30	11-00074	土師器壘体部	7	120	古墳時代前・中期
13	11-00077	土師器壘体部	9	51	古墳時代前・中期	31	11-00075	土師器壘底部	3	377	古墳時代前・中期
14	11-00078	土師器小型壘口縁部	4	22	古墳時代前・中期	32	11-00079	土師器壘口縁部	13	271	古墳時代前・中期
15	11-00079	土師器小型壘	2	24	古墳前・中期、黒漆塗布	33	11-00080	土師器壘体部	314	3612	古墳時代前・中期
16	11-00080	土師器小型壘体部	87	228	古墳時代前・中期	34	11-00081	土師器壘体部	16	2126	古墳時代前・中期
17	11-00081	土師器小型壘口縁部	15	49	古墳時代前・中期	35	11-00077	土師器壘体部	87	157	古墳前・中期、被熱痕有
18	11-00082	土師器壘体部	29	203	古墳前・中期、被熱痕有	36	11-00078	土師器壘体部	134	275	古墳時代前・中期

2-3面

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00135	土師器台付壘体部	2	420	古墳時代前期	3	11-00137	土師器壘体部	2	700	古墳時代前・中期
2	11-00136	土師器台付壘体部	2	300	古墳時代前期	4	11-00138	土師器壘体部	1	235	古墳時代前・中期

## 2-4 調査面に拘らない遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000743	土師器壘体部	3	32	古墳時代前・中期	3	11-000865	須恵器高台付罎	1	34	平安時代
2	11-000744	土師器罎体部	1	5	古墳時代前・中期						

第34表 2区3面の出土遺物一覧(その5)  
2区の調査面に拘らない出土遺物

## 3区の出土遺物

## 3-1 3区1面の出土遺物

3-1-1号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・数形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00045	磁器碗	口径 1.0 器高 5.3	1/4. 底径3.9cm. 印模の染付けで首人一貫礼面等強く	地不明, 近代	第127図	FL79
2	10-00046	陶器碗	口径 10.8 残高 5.0	口径13の破片, 内外面鉄輪磨かる	地不明, 近・現代	第127図	FL79
3	10-00047	陶器碗	底径 4.6 残高 3.7	腰卸一高台片, 内外面鉄輪, 首入あり	瀬戸美濃, 時期不詳	第127図	FL79
4	10-00048	ひょうそく	口径 8.2 器高 5.1	口縁部・石目鉄輪縁部・首をとり、底面銅彩半切痕残り。内面鉄輪部と底面鉄輪3次体で施装	信楽7、19世紀	第127図	FL79
5	10-00049	芥子面	幅 3.0 高さ 4.7 厚 2.7	芥子面(指人形)。型出し。体面部、胴下部欠損。漆の目い表後部、腕の下部で傷欠け、背面の内側に指痕で、端部に漆面部の痕跡残る	地不明, 江戸一近代	第127図	FL79
6	10-00050	漆鉢	底径 15.5 残高 9.6	体一底厚片。底面内面磨利。体部外周鉄輪。底面下底。体部内面全体上磨目	磁下、近・現代	第127図	FL79
7	10-00051	地味陶器蓋	径 18.0×5.5 残高 1.0	口径破片。端部口縁本体に付くが、上下に引き出される	知多, 江紀中葉一後葉	第127図	FL79
8	10-00052	地味陶器蓋	径 10.5×9.9 厚 1.4	体部破片。表面に印き痕残り	深美, 12世紀	第127図	FL79
9	10-00053	地味陶器蓋	径 9.7×5.2 厚 1.3	体部破片。表面に自然鉄輪残り。両目縁。編刺残る	深美, 12世紀	第127図	FL79
10	10-00054	陶器蓋	口径部径 34.0 残高 1.7	胴一底部片。表面に鉄輪。胴部表面に方形のトナリ跡残る	知多, 近・現代	第127図	FL79
11	10-00055	漆木鉢	口径 9.6 残高 8.7	体一底部片。口径1.8cm. 残厚く、体部顔で調整。底面磨利	在池, 近・現代	第127図	FL79
12	10-00056	ほうろく鍋	径 12.7×6.0 厚 1.0	丸底系統の切物。口径から腰部片。口径内湾し、底面平底。	在池, 近・現代	第127図	FL79
13	10-00057	ほうろく鍋	径 13.3×5.4 厚 1.1	平底系統の切物。口径一底部片。耳附付付。口径直立し、底面平底	在池, 近・現代	第127図	FL79
14	10-00058	釜輪	幅 3.4 厚 3.5	口径・輪の中央に凹部あり。両側の縁部2cmの残差を有し。裏面平直。	在池, 近・現代	第128図	FL79
15	10-00059	釜輪	幅 4.2 厚 2.7以上	口径・輪の中央に凹部あり。両側の縁部2cmの残差を有する。裏面平直。	在池, 近・現代	第128図	FL79
16	10-00060	ガラス瓶	口径 1.7 器高 12.0	定形品。無色ガラス。本体径7.3×3.4cmの角形。器厚2-7.5mm. 磨利残り。底面に「9」×「C」の刻印	近代	第128図	FL80
17	10-00062	ガラス瓶	口径 1.6 器高 11.5	定形品。無色ガラス。磨利残り。向出状残存。体部に隆起の目取りあり。口径部にキズあり。表面に調整の痕跡	近代	第128図	FL80
18	10-00063	ガラス瓶	口径 1.5 器高 6.3	定形品。無色ガラス。径2.4cmの角形。表面に調整の痕跡。表面に「9」×「C」の刻印	近代, 日暮容器	第128図	FL80
19	10-00064	ガラス瓶	口径 1.2 器高 7.2	定形品。無色ガラス。口径1.2cm. 本体径1.1cmの角形。内面に印1.2cm. 表面に印1.2cm. の刻印	近・現代, 日暮容器	第128図	FL80
20	10-00065	ガラス瓶	口径 1.8 器高 6.3	定形品。無色ガラス。底径2.3cm. ガラス内に欠損見立調整あり	近代	第128図	FL80
21	10-00066	ガラス瓶	底径 1.7 器高 5.0	口径部欠損。とっくり形の無色ガラス瓶。ガラス内に欠損あり。裏面に「A」の刻印。調整残り	近代	第128図	FL80
22	10-00069	ガラス瓶	口径 2.7 器高 1.7	定形品。再流通品ガラス。口径にキズあり。内面丸く、調整済み	近・現代, クリーニ化	第128図	FL80
23	10-00068	いしけり	径 4.4×4.3 厚 0.8	定形品。緑色ガラス。ガラス内に大小の欠損多く、裏面からつらつら。表面の磨利残り。表面に引込み痕し出残る	近代か	第128図	FL80
24	10-00066	磁石	径長 3.4 幅 2.9 厚 1.2	板状の加工品。破片。表裏・左右の4面に磨利残り。及び一部磨利残り。	第128図	FL80	
25	10-00047	磁石	径長 6.7 幅 2.9 厚 2.3	板状の加工品。表裏・左右の4面に磨利残り。及び一部磨利残り。	第128図	FL81	
26	10-00048	磁石	径長 5.1 幅 5.7 厚 2.9	板状の加工品。表裏・左右の4面に磨利残り。表裏中央部も一部磨利残り。	近・現代	第128図	FL80
27	10-00049	磁石	径長 6.5 幅 2.8 厚 2.6	板状の加工品。端部片。左右側・裏面の4面に磨利残り	第128図	FL81	
28	10-00050	磁石	径長 3.2 幅 3.7 厚 1.6	板状加工品の先端部片。表裏一側面に磨利残り。一側面に加工痕残り	第129図	FL80	
29	10-00051	石板	径長 10.3×3.8 厚 0.4	破片。表裏面に数字・縦線磨利される	近代	第129図	FL81
30	10-00052	石板	径長 7.7×3.7 厚 0.4	破片。表面に数字と縦線。裏面に縦線磨利される	近代	第129図	FL81
31	10-00053	石板	径長 3.5×2.6 厚 0.4	破片。石材の材質残る	近代	第129図	FL81
32	10-00054	七輪	径 23.4	破片破片あり。柱加工。上段に1.3cmの穿孔。整形の新儀残る	近代	第129図	FL83
33	10-00055	桶蓋	径 12.3 厚 1.1	1/3. 板目材使用。偏った位置に径2.5cmの孔が穿たれる	ユギ	第129図	FL81
34	10-00027	動物皮板	径長 11.7×10.8 厚 0.5	一部欠損。板目材使用。裏面にキズあり。木釘跡まる	マツ鼠か	第129図	FL81
35	10-00028	動物皮板	径長 13.0×3.6 厚 0.5	破片。板目材使用。縁辺若干盛り上がる	磨利不特定	第129図	FL81
36	10-00029	漆椀	径 10.8 器高 3.2	1/3. 内外面黒漆塗布後、内面赤漆塗布	磨利不特定	第130図	FL82
37	10-00030	漆椀	径 10.8 器高 3.2	口径部・高台欠損。内外面黒漆塗布後、内面赤漆塗布	ブナ鼠か	第130図	FL82
38	10-00031	漆椀	残存 10.1 残高 2.5	口径部欠損。内外面黒漆塗布後、内面赤漆塗布。底面に赤漆塗布で出「1」	ブナ鼠	第130図	FL82
39	10-00032	漆椀	残存 8.5 残高 3.5	腰卸一高台1/2. 内外面黒漆塗布	ブナ鼠か	第130図	FL82
40	10-00033	漆椀	残存 8.9 残高 6.4	胴一底部片。外周黒漆塗布後、縁部で丸に残片確認か	ブナ鼠か	第130図	FL82
41	10-00034	漆椀	残 10.0×4.5	胴部片。内面赤漆塗布。外周黒漆塗布後赤漆で紅雲等強く	ブナ鼠	第130図	FL82
42	10-00035	漆椀	残 8.3×3.2	胴部片。内外面赤漆塗布	磨利不特定	第130図	FL82
43	10-00036	杖	径 3.8×3.7 残長 28.0	芯材使用。了端を倒し側面を作り出す	コナラ鼠コナラ鼠	第130図	FL83
44	10-00037	杖	径 6.0×4.3 残長 26.3	尖頭部欠損。芯材使用。上端部切端。側面に万巻敷見	ハンノキ鼠ハンノキ鼠	第131図	FL83

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
45	30-00028	用途不明木製品	總長 20.9 幅 7.6 厚 2.0	高脚部欠損。縦目釘痕跡。片脚側縁に2.0cm×5mm以下の段縁。中央部の縦目釘痕跡より径2.5×3.5cmの楕円孔が7～6.5mm間隔で作られる	ヒノキ	第131図	PL84
46	40-00005	瓦水遣貫	径 2.12×2.12 厚 0.13	新瓦水1文銭。背無文		第131図	PL85
47	40-00004	瓦水遣貫	径 2.82×2.82 厚 0.15	新瓦水4文銭。背十一文。		第131図	PL86
48	40-00005	釘	径 0.7×2.6 残長 15.2	角釘片。頭側欠損		第131図	PL83

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
49	11-00052	土師器壺口縁部	1	13	奈良・平安時代頃	75	11-00109	陶器口	1	231	
50	11-00050	土師器平口縁部	1	6	奈良・平安時代頃	76	11-00109	輪軸陶器口縁部	1	17	在地、近代
51	11-00093	土師器椀片一底部	1	11	奈良・平安時代頃	77	11-00109	輪軸陶器鉢底部	1	44	在地、近代
52	11-00092	軟質陶器	3	24	在地	78	11-00102	陶器鉢口縁部	4	30	肥前、近世以降
53	11-00093	陶器	4	49		79	11-00103	陶器碗底部	3	34	肥前、近世以降
54	11-00108	瓦	8	1565	近・現代	80	11-00104	陶器碗底部	1	23	瀬戸美濃近世以降
55	11-00109	スレート瓦	1	88	近・現代	81	11-00105	陶器碗底部	2	68	瀬戸美濃近世以降
56	11-00107	軟質陶器壺口縁部	2	733	在地、近代	82	11-00106	陶器碗物小偏底部	1	49	瀬戸美濃近世以降
57	11-00107	軟質陶器壺底部	1	93	在地、近代	83	11-00107	ひょう桶底部	1	57	瀬戸美濃近世以降
58	11-00107	軟質陶器壺底部	1	19	常滑	84	11-00108	輪軸陶器壺底部	13	898	常滑
59	11-00107	軟質陶器壺底部	11	179	在地、近代	85	11-00109	輪軸陶器底部	1	19	厚狭小
60	11-00107	軟質陶器壺口縁部	13	497	在地、近代	86	11-00110	陶器鉢口縁部	2	34	地不明、近代
61	11-00105	軟質陶器壺口縁部	6	196	在地、近代	87	11-00110	陶器鉢底部	1	9	地不明、近代
62	11-00106	軟質陶器壺口縁部	1	63	在地、近代	88	11-00110	陶器鉢底部	1	19	地不明、近代
63	11-00107	軟質陶器壺口縁部	1	73	在地、近代	89	11-00110	磁器碗口縁部	2	19	肥前、近世以降
64	11-00108	軟質陶器鉢口縁部	1	116	中野	90	11-00114	磁器碗底部	1	9	肥前、近世以降
65	11-00109	軟質陶器鉢口縁部	1	30	在地、近代	91	11-00115	磁器碗底部	5	81	肥前、近世以降
66	11-00108	軟質陶器鉢口縁部	3	301	在地、近代	92	11-00116	磁器鉢口縁部	2	23	肥前、近世以降
67	11-00108	軟質陶器鉢口縁部	2	65	在地、近代	93	11-00117	磁器鉢口縁部	6	163	地不明、近代
68	11-00108	軟質陶器鉢口縁部	1	177	常滑	94	11-00118	磁器碗底部	1	3	地不明、近代
69	11-00108	軟質陶器鉢口縁部	1	46	益子	95	11-00119	磁器壺口縁部	2	193	奈良・平安時代中心
70	11-00108	軟質陶器鉢口縁部	2	314	在地、近代	96	11-00111	磁器壺底部	10	539	奈良・平安時代中心
71	11-00108	軟質陶器鉢口縁部	1	170	在地、近代	97	11-00111	磁器碗口縁部	4	31	肥前、近世以降
72	11-00108	軟質陶器壺口縁部	8	1333	在地、近代	98	11-00112	磁器碗底部	6	31	肥前、近世以降
73	11-00107	軟質陶器壺底部	5	709	在地、近代	99	11-00113	磁器碗口縁部	1	3	肥前、近世以降
74	11-00108	軟質陶器壺底部	1	25	地不明近代						

3-1-地

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00160	磁器碗	口径 19.7 器高 5.0	2/3。底径3.9cm。印料の染付けで龍巻、花等描く	瀬戸美濃、近代	第132図	PL84
2	10-00161	磁器碗	口径 10.8 残高 5.0	1/2。内外面輪軸小から、染付けですら(5)等描く	瀬戸美濃、19世紀中葉	第132図	PL84
3	10-00162	磁器碗	底径 4.6 残高 3.7	口縁から腹部片、内外面輪軸小から、外面に染付けで松等描く	長崎、渡辺氏、18世紀後半～19世紀前半	第132図	PL84
4	10-00163	陶器碗	底径 5.4 残高 4.5	体部一高台1/2。浅黄赤。高台除き施釉。軸に貫入	長崎、渡辺氏、18世紀後半～19世紀前半	第132図	PL85
5	10-00164	陶器碗	底径 4.2 残高 4.5	体部一高台片。外面染付けで牡丹(小)等描く	長崎、渡辺氏、18世紀後半～19世紀前半	第132図	PL84
6	10-00165	陶器碗	口径 7.6 器高 4.6	口縁一短欠損。内面一外面口縁緑灰色。体部一高台外面、緑縁の痕跡	地不明、近・現代	第132図	PL84
7	10-00166	磁器碗	底径 3.3 残高 3.3	体部から高台部。腰一底部・高台外面を除き施釉	瀬戸美濃、18世紀後半	第132図	PL84
8	10-00167	磁器そばらよこ	口径 6.2 残高 4.5	口縁一腰部片。外面に染付けで施文	瀬戸美濃、19世紀前半	第132図	PL85
9	10-00168	磁器蓋	口径 10.1 器高 2.4	1/3。外面全体に野ぶどう(小)の葉が染付けで描かれる	瀬戸美濃、19世紀後半	第132図	PL85
10	10-00169	磁器蓋	口径 9.9 器高 2.4	1/2。内面にのせ等、内外面に染め付け	肥前、18世紀中葉	第132図	PL85
11	10-00170	磁器蓋	底径 5.4 残高 2.0	腰一底部片。内面に染付け。破り継ぎあり。高台内面に継ぎ跡の記号	肥前、18世紀後半	第132図	PL85
12	10-00171	陶器蓋	口径 10.2 残高 2.2	口縁一底部片。内面のみ施釉。オリーブ灰色	地不明、19世紀	第132図	PL85
13	10-00172	陶器蓋	底径 11.4 残高 9.0	腰一底部片。使用痕跡。内面灰色で全体に脚上げ、外面白染	信楽?、江戸	第132図	PL85
14	10-00173	陶器蓋	口径 10.3 器高 14.8 底径 13.1	1/2。口縁部で、体部内面下まで施釉。体部内面に黒目光輝。体部内面に白土及び一方への黒目。底面黄褐色	丹波、18世紀後半	第132図	PL85
15	10-00174	陶器鉢	口径 5.9×4.1 厚 3.9	口縁輪片。軸無し。軸で調整	加多、18世紀	第132図	PL85

第36表 3区1面の出土遺物一覧(その2)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
16	10-000175	陶器鉢	残存径 7.2×5.5 身厚 1.7	腰部破片。胴で調整。内面研ぎ痕	奈良, 12世紀	第132図	PL85
17	10-000176	陶器鉢	残存径 6.9×4.4 身厚 1.6	腰部破片。胴で調整。内面研ぎ痕	奈良, 12世紀	第132図	PL85
18	10-000177	陶器鉢	残存径 7.2×4.5 身厚 1.6	腰部破片。胴で調整。内面研ぎ痕	加多郡, 13世紀	第133図	PL85
19	10-000178	焼締陶器甕	残存径 10.6×6.6 身厚 1.7	腰部破片。胴で調整。内面指痕残存	加多郡, 12-13世紀	第133図	PL85
20	10-000179	陶器甕	残存径 9.0×12.0 身厚 1.0	腰部破片。酸化還元焼成。内面黒面調整。外面同心円・格子状残存	地不明, 近・現代	第133図	PL85
21	10-000180	甕	残存径 20.5×9.3 身厚 1.7	上縁部破片。酸化還元焼成。内面一上縁破片。胴で調整	地不明, 近・現代	第133図	PL86
22	10-000181	ほうろく餅	残存幅 13.8 残高 1.3	口縁一底部破片。丸底型だが底面平坦。酸化還元焼成	左池, 近・現代	第133図	PL86
23	10-000182	陶器大とっくり	口径 4.4 残高 9.4	口縁一唇部。口縁外面一内面上位段輪。外面磨り欠損	地不明, 近代	第133図	PL85
24	90-000009	ガラス瓶	口径 2.0 節高 5.9	完形品。無色ガラス。口縁ネジ。外面に露地の「みつば葉料」と目立目線	近・現代	第133図	PL86
25	90-000010	ガラス瓶	口径 1.8 節高 5.9	完形品。無色ガラス。口縁ネジ。外面に露地の「みつば葉料」と目立目線	近・現代	第133図	PL86
26	90-000011	ガラス瓶	口径 1.3 節高 6.4	完形品。丸ピン。気泡の多い緑色透過ガラス使用。型跡残す	近代	第133図	PL86
27	90-000012	ガラス瓶	口径 1.5 節高 6.2	完形品。丸ピン。透明ガラス。若干の気泡入る。型跡残す	近代	第133図	PL86
28	90-000013	ガラス瓶	口径 2.7 節高 1.7	完形品。一様なく透明丸形ピン。表面に「コイイ 奉」。底面に「一」の模様	近代	第133図	PL86
29	90-000014	おじき	径 1.7×1.45 厚 0.2	完形品。不透明の白色・紫色ガラス使用。裏面に露地で字「9」の字	近・現代	第133図	PL86
30	90-000015	緑一玉	径 1.56×1.62×1.68	完形品。気泡入る濃青緑色透過ガラス使用。上下に引かれる	近代	第133図	PL86
31	40-000006	鎌	径 14.4 幅 3.7	完形に近い。刀直線的で先端曲がる。朝日字彫をなす	近代	第133図	PL86
32	40-000007	すのこ	残存径 7.3×5.4 厚 0.9	破片。径約1.3cmの円孔が不規則に多数穿たれる	近代か	第133図	PL86
33	40-000008	きせる	径 1.6×1.0	唇部・らう・吸口が一体の鉄製品。全体に直線的	18世紀後半	第134図	PL87
34	40-000009	きせる(吸口)	径 2.2 径 1.55×1.05	吸口のみ。鍍銀装飾し	18世紀後半	第134図	PL87
35	40-000010	きせる(吸口)	径 2.2 径 0.8×0.8	吸口のみ。鍍銀装飾し	18世紀後半	第134図	PL87
36	40-000011	用途不明鉄製品	残存径 9.8 幅 1.4 厚 0.5	湾曲する幅状の薄板。鎌の可能性有り	近代	第134図	PL86
37	40-000012	踏鉄	径 10.0 幅 10.0 厚 0.4	馬蹄形を呈し。左右に4箇所づつ釘穴が穿たれる	近代か	第134図	PL86

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
38	11-001025	軟質陶器壺口縁部	9	1441	在地。近代	64	11-001048	焼締陶器甕口縁部	1	135	常滑。中世
39	11-001026	軟質陶器甕唇部	1	69	在地。近代	65	11-001047	焼締陶器甕唇部	12	1021	常滑。中世
40	11-001027	軟質陶器胎身口縁部	13	536	在地。近代	66	11-001046	陶器甕口縁部	3	31	瀬戸美濃
41	11-001028	軟質陶器胎身唇部	8	207	在地。近代	67	11-001049	陶器甕胎身	5	318	瀬戸美濃
42	11-001024	軟質陶器胎身胎身部	6	235	在地。近代	68	11-001050	陶器甕口縁部	1	66	瀬戸美濃
43	11-001025	軟質陶器大鉢口縁部	3	169	在地。近代	69	11-001051	陶器甕口縁部	1	119	瀬戸美濃
44	11-001026	軟質陶器大鉢胎身部	8	711	在地。近代	70	11-001052	陶器甕胎身部	1	21	瀬戸美濃
45	11-001027	軟質陶器大鉢胎身部	1	29	在地。近代	71	11-001053	陶器胎身部	1	15	瀬戸美濃
46	11-001028	軟質陶器大鉢口縁部	4	183	在地。近代	72	11-001054	陶器胎身部	2	33	地不明。近代
47	11-001029	軟質陶器大鉢胎身部	3	79	在地。近代	73	11-001055	陶器急須蓋	1	6	地不明。近代
48	11-001030	軟質陶器壺口縁部	1	89	在地。近代	74	11-001056	陶器急須胎身部	3	43	地不明。近代
49	11-001031	軟質陶器胎身部	2	79	在地。近代	75	11-001057	磁器甕口縁部	3	19	肥前
50	11-001032	軟質陶器鉢口縁部	1	35	在地。近代	76	11-001058	磁器甕胎身部	4	40	肥前
51	11-001033	軟質陶器甕口縁部	1	58	在地。近代	77	11-001059	磁器甕胎身部	13	530	肥前
52	11-001034	軟質陶器香炉胎身部	1	32	在地。近代	78	11-001060	磁器甕胎身部	1	14	肥前
53	11-001035	軟質陶器コロン	3	194	在地。近代	79	11-001061	磁器甕口縁部	10	131	地不明。近代
54	11-001036	軟質陶器土管胎身部	2	71	在地。近代	80	11-001062	磁器甕胎身部	7	63	地不明。近代
55	11-001037	軟質陶器瓦	1	758	在地。近代	81	11-001063	磁器甕胎身部	4	59	地不明。近代
56	11-001038	石盤小	1	7	近代	82	11-001064	磁器人形	3	35	破片
57	11-001039	施釉陶器甕胎身部	1	40	在地。近代	83	11-001065	磁器甕胎身部	5	258	
58	11-001040	軟質陶器甕口縁部	1	72	丹波	84	11-001066	磁器甕胎身部	1	80	
59	11-001041	軟質陶器甕口縁部	1	29	丹波	85	11-001067	磁器甕胎身部小	3	46	
60	11-001042	施釉陶器胎身部	2	135	常滑。中世	86	11-001068	陶器甕胎身部	1	61	瀬戸美濃
61	11-001043	焼締陶器胎身部	1	164	常滑	87	11-001069	磁器甕口縁部	1	7	瀬戸美濃
62	11-001044	焼締陶器胎身部	2	36	常滑	88	21-000011	七輪	3	410	1号溝 20-000054参照
63	11-001045	焼締陶器甕口縁部	1	45	常滑。中世	89	21-000006	灰化物	少量		瀬戸4点以上

第37表 3区1面の出土遺物一覧(その3)

# 遺物一覧

3-1-2号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00083	鏡鍔陶器	残存 10.6×15.7 厚 1.5	銅鍔片、内面自然釉跡あり、胎子目打ち、内面輪轆本底焼 4号鏡鍔	居多、12-13世紀	第134図	PL87
2	10-00084	鏡鍔陶器	残存 4.5×3.1 厚 1.1		居多、13世紀前期 -中期	第134図	PL87
3	10-00085	鏡鍔陶器	残存 7.9×10.5 厚 0.9	口縁部破片、内面に外に引き出され、口縁部下に引き 出される	居多、13世紀中期 -後葉	第134図	PL87
4	20-00055	打製石斧	残存 14.2×幅 7.5 厚 2.3	断面平坦、上縁部欠損。裏面に自然面残し、下に裏面から割 離し難	第134図	PL87	
5	20-00059	磁石	残存 7.0×6.9 厚 2.9	1/2、河床礫を用いる。内湾した傾斜に散行直残る	時期不明	第134図	PL87
6	20-00010	スクレーパー	残存 3.5×幅 10.3 厚 1.7	1/2、河床礫を用いる。内湾した傾斜に散行直残る	時期不明	第134図	PL87

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-001202	焼練陶器器体部	7	493	常滑	11	11-001206	土器か	1	53	
8	11-001203	焼練陶器器体部	4	242	厚美	12	11-000847	土師器台付雲口縁部	1	8	古墳時代前期
9	11-001204	焼練陶器器体部	4	86		13	11-001261	焼練陶器器体部	1	23	在地
10	11-001205	焼練陶器器体部	1	77	常滑	14	11-001302	軟質陶器	1	128	在地

3-1-3号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-00046	陶器器	残存 6.0×2.8 厚 0.6	口縁一係部破片。口縁から口縁内面に灰釉跡あり	大塚、14世紀末葉 -15世紀初葉	第135図	PL87
2	10-00087	陶器磁子	残存 5.5 残高 4.4	腰一底部片、回転輪轆型。係部輪跡あり、底面糸切り痕跡	大塚、13-14世 -15世紀	第135図	PL87
3	10-00048	陶器鉢	残存 9.3×4.3 厚 0.7	口縁破片。内外面鉄釉あり、内面刷印	肥前、18世紀	第135図	PL87
4	10-00089	陶器香炉	口径 11.4 器高 4.0	口縁部一箇片。口縁一係部外面灰釉。短い指が付き、底面 回転輪轆調整	瀬戸美濃、黄色 18世紀中葉-後葉	第135図	PL87
5	10-00090	陶器鉢鉢	残存 7.0×4.1 厚 0.5	口縁破片。焼成甘く、内外面鉄釉	瀬戸美濃?	第135図	PL87
6	10-00091	陶器碗	底径 3.5 残高 2.3	腰部一高台片。底部外面一高台跡も内外面鉄釉施軸	瀬戸美濃、江戸時 代	第135図	PL87
7	40-000013	農製品	長さ 7.7 幅 1.4	スクレーパー様の工具の刀か	用途不明	第135図	PL87
8	20-00056	石礫	長さ 5.9 幅 1.9 厚 0.5	細長の有蓋礫。基部三角を呈し、身は二等辺三角形を呈する	黒色頁岩	第135図	PL87

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-001367	白磁陶口縁部	1	2		3-2溝					
3-1溝						32	11-001167	陶器鉢	1	4	近代
10	11-000887	土師器平底部	3	7	奈良・平安時代中心	33	11-001168	磁器器体部	1	6	肥前
11	11-000888	土師器器体部	1	5	奈良・平安時代	3-3溝					
12	11-000910	須恵器器体部	1	13	奈良・平安時代	34	11-000862	土師器器体部	8	18	奈良・平安時代中心
13	11-000911	陶器口縁部	1	5		35	11-000863	土師器口縁部	5	14	奈良・平安時代中心
3-2溝						36	11-000922	須恵器器体部	3	29	奈良・平安時代中心
14	11-001136	陶器鉢底部	1	42	瀬戸美濃	37	11-000923	須恵器器体部	5	15	平安時代
15	11-001237	陶器陶口縁部	2	12	瀬戸美濃	38	11-000924	須恵器陶口縁部	1	6	平安時代
16	11-001238	陶器器体部	1	5	瀬戸美濃	39	11-000925	須恵器高台付碗体一底 部	5	46	平安時代
17	11-000859	土師器器体部	3	6	奈良・平安時代中心	40	11-000926	陶器器体部	1	19	
18	11-000960	土師器平底部	4	28	奈良・平安時代中心	41	11-001169	磁器陶口縁部	1	7	肥前、近世-近代
19	11-000961	土師器高台脚部	1	23	奈良・平安時代	42	11-001170	軟質陶器器体部	1	25	郡多平山、中世
20	11-000912	須恵器陶口縁部	2	41	奈良・平安時代中心	43	11-001171	軟質陶器器体部	1	31	丹波
21	11-000913	須恵器器体部	12	165	奈良・平安時代中心	44	11-001207	軟質陶器器体部-底部	17	281	在地、近代
22	11-000914	須恵器陶口縁部	2	21	奈良・平安時代中心	45	11-001208	焼練陶器陶口縁部	1	35	常滑
23	11-000915	須恵器高台付碗体部	1	7	平安時代	46	11-001209	瓦	3	116	在地近代
24	11-000916	須恵器高台付碗底部	3	28	平安時代	47	11-001210	軟質陶器器体部	1	9	在地近代
25	11-000917	常滑	1	6	常滑	48	11-001211	陶器器体部	3	59	在地近代
26	11-000918	内耳陶	5	86	在地、中世	49	11-001212	焼練陶器器体部	1	32	常滑
27	11-000919	灰釉陶器	2	12	美濃か	50	11-001213	軟質陶器器体部	1	33	在地、近代
28	11-000920	軟質陶器	4	34	在地、中世	51	11-001214	陶器香炉口縁部	1	10	瀬戸美濃
29	21-000012	石蓋	1	4	近代	52	11-001215	陶器陶口縁部	3	19	瀬戸美濃
30	11-001165	陶器器体部	1	27	瀬戸美濃	53	11-001216	陶器水差し口縁部	2	48	瀬戸美濃
31	11-001166	陶器器体部	1	36	瀬戸美濃	54	11-001217	陶器香炉底部	1	23	瀬戸美濃

第38表 3区1面の出土遺物一覧(その4)

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3-3溝					
55	11-00128	陶器碗体一部分	2	71	肥前、近世～近代
56	11-00129	陶器皿口縁部	7	47	瀬戸美濃
57	11-00129	焼締陶器器体部	3	68	美濃または常滑か
58	11-00121	須恵器器体部	6	76	奈良・平安時代中心
59	11-00122	軟質陶器給湯口縁部	1	41	在地、中世
60	11-00123	軟質陶器給湯体一部分	6	62	在地、中世
61	11-00123	磁器碗口縁部	2	14	在地、近代
62	11-00125	磁器?	1	4	近代
63	11-00128	焼締陶器器体部	1	18	美濃
64	11-00127	須恵器器体部	2	140	奈良・平安時代中心
65	11-00128	軟質陶器すり鉢口縁部	1	43	丹波
66	11-00129	磁器碗体部	1	7	肥前
67	11-00129	軟質陶器鉢体部	1	87	在地、中世
68	11-00121	焼締陶器器体部	1	83	常滑
69	11-00128	陶器すり鉢口縁部	1	15	瀬戸美濃
70	11-00123	陶器布虎皿口一部分	5	31	肥前、近世～近代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3-3溝					
71	11-00124	軟質陶器鉢口縁部	1	39	在地、中世
72	11-00125	軟質陶器給湯口縁部	7	208	在地、中世
73	11-00088	土師器器体部	1	47	古墳時代後・中期
74	11-00083	土師器碗体一部分	1	4	奈良・平安時代頃
75	11-00084	土師器坏体部	13	22	奈良・平安時代中心
76	11-00085	土師器蓋口縁部	2	10	奈良・平安時代中心
77	11-00086	土師器器体部	30	56	奈良・平安時代中心
78	11-00090	須恵器碗口縁部	5	19	平安時代
79	11-00095	須恵器碗体部	10	37	平安時代
80	11-00096	須恵器碗体部	1	14	平安時代
81	11-00097	須恵器坏口縁部	1	3	奈良・平安時代中心
82	11-00098	軟質陶器	2	9	在地、中世
83	11-00099	陶器	1	3	
84	11-00089	土師器器体部	1	5	
85	10-00002	馬歯	少量		細片2点

## 3-1-4号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値(mm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00092	青磁碗	残存 3.4×3.9 厚 0.6	口縁破片。外周直弁文、ややだれる	瀬京美濃、13世紀 中葉～後葉	第142図	PL86
2	10-00093	焼締陶器蓋	残存 10.9×6.8 厚 1.1	鉢部破片。外面甲ま直、内面輪縁破残りで調整	美濃、12世紀	第142図	PL86
3	10-00094	焼締陶器蓋	残存 8.6×6.3 厚 0.5	鉢部破片。外面自然輪縁から縄文。内面凹で	美濃、12世紀	第142図	PL86
4	10-00095	軟質陶器器体	残存 15.6 厚 5.0	胴一部分。右側縁部縮重。内面研磨痕顕著。底面粗粒 赤褐色	在地、中世、15世紀 頃	第142図	PL86
5	10-00096	軟質陶器器体	残存 9.9×9.0 厚 1.4	底面破片。底面直	在地、中世	第142図	PL86
6	10-00097	土師器坏	口径 14.0 器高 3.4	底部やや丸直、口縁外折し、口内内折。口縁縁部で、体一 部分の断面直で、外面磨面	8世紀後半	第142図	PL86
7	40-00004	包丁	刃長 8.3 幅 3.8 厚 0.5	柄を中心とした破片	第142図		PL86
8	40-00005	銅銭	径 2.38×2.31 厚 0.17	腐食・酸化化済み。銭判読不能。ビタ銭	銭判銭	第142図	PL86

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-00129	磁器碗体部	1	3	産地不明、近代
10	11-00140	須恵器器体部	1	129	奈良・平安時代頃
11	11-00141	焼締陶器すり鉢口縁部	1	34	産地不明、近代
12	11-00142	軟質陶器鉢体部	1	18	奈良・平安時代頃
13	11-00143	磁器碗口縁部	1	6	産地不明、近代
14	11-00144	磁器皿底部	1	8	肥前
15	11-00146	須恵器碗口縁部	1	6	瀬戸美濃
16	11-00147	焼締陶器すり鉢体部	1	124	常滑
17	11-00148	須恵器碗口縁部	1	37	奈良・平安時代頃
18	11-00149	焼締陶器器体部	14	1189	常滑
19	11-00084	土師器器体部	1	5	奈良・平安時代頃

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
20	11-00086	土師器坏口縁部	1	8	奈良・平安時代頃
21	11-00086	土師器坏体部	4	9	奈良・平安時代中心
22	11-00087	土師器鉢口縁部	1	11	奈良・平安時代頃
23	11-00092	須恵器蓋口縁部	1	13	奈良・平安時代頃
24	11-00092	須恵器蓋口縁部	1	19	奈良・平安時代中心
25	11-00092	須恵器蓋口縁部	3	33	平安時代
26	11-00093	須恵器碗体部	2	53	平安時代
27	11-00093	須恵器鉢口縁部	2	18	平安時代
28	11-00092	土師器	1	3	
29	11-00145	焼締陶器鉢口縁部	1	5	産地不明、近代
30	11-00125	焼締陶器蓋	2	80	在地、口縁部・体部片

## 3-1-5号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値(mm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00098	青磁碗	残存 6.9×6.1 厚 0.55	口縁～体部破片。外面直弁文。比較的明晰	瀬京美濃、 13世紀中葉～後葉	第142図	PL86
2	10-00099	青磁碗	残存 2.8×3.3 厚 0.5	口縁破片。外面直弁文、ややだれる	瀬京美濃、14世紀	第142図	PL86
3	10-00090	青磁碗	残存 2.6×2.9 厚 0.47	口縁破片。外面直弁文、ややだれる	瀬京美濃、 13世紀中葉～後葉	第142図	PL86

第39表 3区1面の出土遺物一覧(その5)

遺物一覧

3-1-7号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00021	焼締陶器壺	残存 8.6×5.2 厚 1.3	口縁部破片, N字口縁。肩部上下に引き出される	産地不明, 13世紀前半—中期	第144図	PL89
2	10-00027	焼締陶器壺	残存 9.5×6.3 厚 1.3	係部破片, 内面調整。外面印も痕	知多系? 12—13世紀	第144図	PL89
4	40-00016	青磁瓦	残 2.34×2.34 厚 0.15	筒瓦, 粗造化済み, 路割説不能	横須賀	第144図	PL89

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00120	焼締陶器壺底部	4	289	常滑	7	51-00003	長骨片	少量		小片5点以上
5	11-00121	軟質陶器鉢底部	4	43	在地, 近代	8	51-00013	骨端海綿骨等破片	少量		小片1点, 破片5点以上
6	11-00153	青磁網布—底部	1	3	龍泉窯系						

3-1-8号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00023	焼締陶器壺	残 13.4×13.7 厚 1.2	方部破片, 内面調整。外面自然輪跡小	知多, 13—14世紀	第155図	PL93
2	10-00034	焼締陶器壺	残存 9.5×6.3 厚 1.3	係部破片, 内面調整。外面印も痕残り輪跡小	知多, 13—14世紀 147図-4と同一個体否?	第155図	PL93
3	10-00025	焼締陶器鉢鉢	残存 4.3×6.1 厚 0.9	口縁部破片, 酸化跡。内面研磨痕残る	知多系, 13世紀	第155図	PL93
4	10-00026	焼締陶器鉢鉢	残存 9×11.0 厚 1.1	口縁—係部破片, 酸化跡。内面研磨痕残る	在地, 14世紀前半—15世紀前半	第155図	PL93

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-00125	磁器網布部	1	30	産地不明, 近代	9	11-00125	焼締陶器壺底部	3	305	深美
6	11-00122	軟質陶器砂器底部	1	14	在地	10	11-00088	土師器壺底部	1	129	奈良・平安時代頃
7	11-00123	焼締陶器壺底部	2	54	常滑, 中世	11	11-00126	青磁碗口縁部	1	4	龍泉窯系
8	11-00124	焼締陶器壺底部	5	225	常滑						

3-1-10号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00127	軟質陶器砂器底部	1	9	在地, 近代

3-1-11号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00037	青磁碗	底径 5.8 残高 2.2	底部—高台片, 底面跡も輪跡小	龍泉窯系, 13—14世紀	第143図	PL88
2	10-00038	焼締陶器壺	残存 10.8×7.7 厚 1.3	係部破片, 内面調整。外面印も痕残り, 輪跡小	深美, 12世紀	第143図	PL88
3	10-00029	焼締陶器壺	残存 5.1×9.7 厚 1.6	頸部破片, 内面調整。外面印も痕残り	深美, 12世紀	第143図	PL88

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	
4	11-00093	軟質陶器	1	15	在地	6	11-00129	須恵器壺底部	2	51		
5	11-00128	焼締陶器	1	277	常滑	7	11-00010	台石	1	238	焼片	

3-1-13号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00150	焼締陶器壺底部	3	281	常滑

3-1-15号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00069	土師器壺底部	1	6	奈良・平安時代頃

3-1-14号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00016	青磁碗	残存 3.3×3.4 厚 0.5	口縁部破片, 外面遺存文, ややだれる	龍泉窯系, 13世紀 半葉—後葉	第152図	PL92
2	10-00021	青磁碗	残存 4.8×3.5 厚 0.5	口縁部破片, 外面遺存文, ややだれる	龍泉窯系, 13世紀 中葉—後葉	第152図	PL92
3	10-00012	青磁碗	残存 3.0×3.1 厚 0.7	係部破片, 外面遺存文, ややだれる	龍泉窯系, 13世紀 半葉—後葉	第152図	PL92
4	10-00013	焼締陶器壺	残存 8.4×6.2 厚 1.3	係部破片, 内面調整。外面印も痕残り, 輪跡小	深美, 12世紀	第152図	PL92

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
5	11-00123	焼締陶器壺底部	5	300	常滑	7	51-00004	馬歯	少量		小片14点, 破片8点以上
6	11-00135	青磁碗底部	1	9	龍泉窯系						

3-1-25号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
1	10-00014	軟質陶器鉢鉢	残 14.3×13.6 厚 1.5	係部片, 外面調整。内面研磨痕残る	在地, 15—16世紀	第159図	PL93

第40表 3区1面の出土遺物一覧 (その6)



## 3-1-28号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-000215	青磁焼	底径 5.4 残高 2.5	腰部一高台片。底面縁も施釉。釉の色調濃い	龍泉窯系、13世紀中葉～後葉	第146図	PL80
2	10-000216	青磁焼	残 3.2×2.7 厚 0.5	体部片。外面薄片、ややだれた	龍泉窯系、14世紀	第146図	PL80
3	10-000217	焼締陶器蓋	残 13.0×6.4 厚 1.3	口縁外反。内外面輪筋かか	奈良、12世紀	第146図	PL80
4	10-000218	焼締陶器蓋	残 11.4×5.7 厚 1.5	口縁外反。内外面輪筋かか	奈良、12世紀	第146図	PL80
5	10-000219	焼締陶器蓋	残 15.0×15.9 厚 1.9	体部片。内外面調整	知多系、12～13世紀	第146図	PL80
6	10-000220	焼締陶器蓋	残 6.8×7.1 厚 1.2	口縁部片。N字状口縁。口縁部上下に引く。部分的に自然釉	知多、14世紀中葉～後葉	第146図	PL80
7	10-000221	焼締陶器蓋	残 11.9×9.0 厚 1.5	口縁部部片。N字状口縁。内外面輪筋かかせる。内外面調整	知多系、13世紀	第146図	PL80
8	10-000222	焼締陶器蓋	残 6.3×4.4 厚 1.2	口縁部部片。N字状口縁。内外面輪筋かか	知多系、13世紀	第146図	PL80
9	10-000223	焼締陶器蓋	残 5.8×3.9 厚 1.1	体部部片。外面押印文残り。内面調整	知多系、12～13世紀	第146図	PL80
10	10-000224	焼締陶器蓋	残 4.1×4.7 厚 1.3	体部部片。外面押印文残り。内面調整	知多系、12～13世紀	第146図	PL80
11	10-000225	焼締陶器蓋鉢	残 7.8×7.6 厚 1.0	体部部片。外面調整。内面磨き直れる	奈良、12世紀	第146図	PL80
12	10-000226	焼締陶器蓋鉢	残 21.8×8.5 厚 0.9	体部部片。外面上位部。下段段取り。内面磨き直れる	知多系、13世紀	第146図	PL80
13	10-000227	焼締陶器蓋鉢	残 10.7×6.7 厚 1.3	口縁部部片。口縁内凹。外面調整。内面調整で後下段に磨き直れる	在地、15世紀	第146図	PL80
14	10-000657	礎石	残長 16.4 幅 4.0 厚 2.8	上端及び下段欠損。上下・左右側面に磨き直れる。表面の磨き直り部。一部欠損に磨き直れる	根柢輝石安山岩	第147図	PL91
15	10-000658	礎石	残 12.4 幅 10.1 厚 3.9	扁平な河床礫使用。表面に径7.3×7.8cmの角柱の当たり痕残る	流紋岩	第147図	PL80
16	10-000659	礎石	残 18.2 幅 15.0 厚 4.7	扁平な河床礫使用。表面に径文表しは墨文が書き入れ。中央に径8.0×5.6cmの角柱の当たり痕残る	石英閃緑岩	第147図	PL80

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
17	11-000870	土器器残部	8	60	奈良・平安時代中心	21	11-001204	焼締陶器蓋体部	10	509	常滑
18	11-000871	土器器残部	3	12	奈良・平安時代中心	22	11-001202	焼締陶器蓋鉢体部	2	59	
19	11-000884	磁器器残部	1	3	平安時代	23	11-001203	陶器碗底部	1	9	瀬戸英流
20	11-000885	磁器器残部	2	16	平安時代						

## 3-1-27号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・形制・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-000228	焼締陶器蓋	残 5.6×4.9 厚 1.4	口縁部部片。N字状口縁で調整上下に引かれる。内外面輪筋かか	知多、14世紀前期	第147図	PL90
2	10-000229	焼締陶器蓋	残 11.3×8.3 厚 1.3	口縁部部片。N字状口縁。調整上下に引く。口縁内面自然釉	知多系、13世紀中葉～後葉	第147図	PL90
3	10-000230	焼締陶器蓋	残 6.5×6.6 厚 1.3	口縁部部片。N字状口縁。外面輪筋かか	知多、13世紀中葉～後葉	第147図	PL90
4	10-000231	焼締陶器蓋	残 11.4×9.1 厚 1.6	口縁部部片。N字状口縁。外面輪筋かか	知多、13世紀中葉～後葉、1550年?と同一個体か?	第147図	PL90
5	10-000232	焼締陶器蓋	残 13.2×8.9 厚 1.3	体部部片。内面調整。外面自然釉輪筋かか。叩き直れる	奈良、12世紀	第147図	PL90
6	10-000233	焼締陶器蓋	残 16.1×13.0 厚 1.3	体部部片。内面輪筋残残り。外面自然釉輪筋かか。叩き直れる	知多、13～14世紀、1465年?と同一個体か?	第147図	PL90
7	10-000234	焼締陶器蓋	残 7.4×6.0 厚 1.3	体部部片。内面調整での磨き残り。外面輪筋かか	奈良、12世紀	第147図	PL90
8	10-000235	焼締陶器蓋	残 5.5×4.2 厚 1.1	体部部片。外面調整。内外面調整	奈良、12世紀	第148図	PL90
9	10-000236	焼締陶器蓋	残 5.4×5.7 厚 1.0	体部部片。外面に叩き直れる	奈良、12世紀	第148図	PL90
10	10-000237	焼締陶器蓋	残 10.5×16.8 厚 1.3	体部部片。外面押印文残り。内面輪筋残残り調整。赤灰色	知多系、12～13世紀	第148図	PL90
11	10-000238	焼締陶器蓋	残 9.7×17.0 厚 1.3	体部部片。外面押印文残り。内面調整。赤灰色	知多系、12～13世紀	第148図	PL90
12	10-000239	焼締陶器蓋	残 7.2×10.7 厚 1.3	体部部片。外面押印文残り。内面調整	所在地不明、12～14世紀	第148図	PL90
13	10-000660	礎石	残長 6.5 幅 2.7 厚 2.5	中位部。裏面・左右側面に磨き直れる。表面の磨き直り部	第148図	PL90	
14	10-000661	打製石形	残長 10.3 幅 7.2 厚 1.7	扁平。裏面に自然面視字割片を使用。裏縁は両面から。先頭は裏面から調整調整を施す。	第148図	PL90	
15	10-000662	礎石	残 18.3 幅 13.5 厚 4.9	扁平な河床礫使用。表面中央に径1.6×6cm以上の角柱の当たり痕残る	根柢輝石安山岩	第148図	PL91
16	10-000663	礎石	残 19.5 幅 16.4 厚 4.9	扁平な河床礫使用。表面中央に径10.2×8.5cmの角柱の当たり痕残る	根柢輝石安山岩	第148図	PL91
17	10-000664	礎石	残 16.9 幅 15.1 厚 4.8	扁平な河床礫使用。表面中央に径7.5×6.3cmの角柱の当たり痕残る	根柢輝石安山岩	第149図	PL91
18	10-000665	礎石	残 18.5 幅 14.7 厚 4.9	扁平な河床礫使用。表面中央に径7.6×7.3cmの角柱の当たり痕残る	根柢輝石安山岩	第149図	PL91
19	10-000666	礎石	残 22.0 幅 15.6 厚 5.5	扁平な河床礫使用。表面中央に径9.0×7.4cmの角柱の当たり痕残る	根柢輝石安山岩	第149図	PL91
20	10-000667	礎石	残 22.4 幅 19.8 厚 5.5	扁平な河床礫使用。表面中央に径9.0×7.4cmの角柱の当たり痕残る	石英閃緑岩	第149図	PL91
21	10-000668	礎石	残 21.3 幅 17.6 厚 5.0	扁平な河床礫使用。表面中央に径8.5×10.3cmの角柱の当たり痕残る	根柢輝石安山岩	第149図	PL91
22	10-000669	礎石	残長 17.8 幅 13.1 厚 10.3	角柱の河床礫使用。一部欠損。表面に径7.7×7.7cm以上の角柱の当たり痕残る	根柢輝石安山岩	第149図	PL91

第41表 3区1面の出土遺物一覧(その7)

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
23	30-00070	磨石	径 11.4×10.7 厚 4.5	扁平な河床礫を使用。表面に研磨痕残る	石炭四角岩	第1500R	PL91
24	30-00071	白石	径 10.9 幅 9.4 厚 4.6	河床礫を使用。表裏面に磨打による窪み、磨打痕残る	石炭四角岩	第1500R	PL92
25	30-00072	白石	径 25.4×21.9 厚 10.7	河床礫を使用。表面に磨打痕残り、下縁破欠		第1500R	PL90

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
26	11-00073	土師器坏底部	2	8	奈良・平安時代中心	33	11-00126	須恵器壺体部	3	168	奈良・平安時代中心
27	11-00072	土師器壺体部	4	16	奈良・平安時代中心	34	11-00129	軟質陶器摺り鉢体部	1	91	
28	11-00036	灰釉陶器瓶口縁部	1	8	平安時代	35	11-00127	焼締陶器壺体部	31	1886	常滑
29	11-00037	陶器蓋	1	51	常滑	36	51-00010	長骨・扁平骨片	少量		焼片4点、断片2点以上
30	11-00125	焼締陶器壺底部	1	62	常滑	37	51-00011	長骨・扁平骨片	少量		焼片5点、断片5点以上
31	11-00126	須恵器壺体部	1	10	平安時代	38	51-00012	長骨・扁平骨片	少量		焼片2点、断片5点以上
32	11-00127	焼締陶器摺り鉢体部	1	16							

3-1-29号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	20-00073	磨石	径 17.5×9.4 厚 3.8	扁平な河床礫使用。表面に研磨痕残る	ひん岩	第1500R	PL93

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00172	陶器壺体部	1	21	瀬戸美濃

3-1-32号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-00020	青磁甕	径 5.3×5.3 厚 1.0	钵部破片。外縁直方文、ややだれる	龍泉京赤、14世紀	第1500R	PL92
2	10-00021	焼締陶器鉢鉢	底径 14.8 残高 5.1	胴部一高台部破片。やや軟質。付け高台。胴部内面研磨痕残る	加多摩、13世紀	第1500R	PL91
3	10-00022	焼締陶器鉢鉢	底径 18.6 残高 7.0	胴部一高台部破片。底面粗粒。胴部内面研磨痕残る	加多摩、13-14世紀	第1500R	PL92

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-00173	軟質陶器鉢鉢体部	1	89	在地、近代	6	11-00175	軟質陶器鉢鉢体部	1	36	在地、近代
5	11-00174	焼締陶器壺体部	2	148	常滑	7	11-00176	須恵器壺体部	1	43	奈良・平安時代頃

3-1-33号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-00023	施釉陶器壺	口縁 34.3 残高 15.4	口縁一帯破片。N字状口縁。外面施釉。内面無釉。緑色	加多摩、13世紀中葉～14世紀	第1500R	PL92
2	10-00024	焼締陶器壺	残 7.1×4.4 厚 1.1	口縁部破片。口縁外反	在池、軟質陶器、中葉	第1500R	PL92
3	10-00025	焼締陶器鉢鉢	残 5.8×5.0 厚 1.3	口縁部破片。口縁鈍角に尖る	在池、14世紀後半～15世紀前半	第1500R	PL92
4	20-00074	磨石	径 12.9 幅 6.7 厚 4.1	高層礫系。部分付着。大型の砥石。表裏面・左右側面に研磨痕残られ、側面に割傷も見られる。表裏面に磨痕	デイト	第1500R	PL92
5	20-00075	磨石	径 16.3×13.8 厚 3.0	扁平な河床礫使用。表面に研磨痕残る	粗粒輝石安山岩	第1500R	PL93
6	20-00076	磨石	径 16.3×13.8 厚 4.1	厚みのある河床礫使用。表面に研磨痕残り、縁部に酸化マンガン付着	粗粒輝石安山岩	第1500R	PL92
7	20-00077	こもみ石	径 11.4 幅 5.2 厚 3.0	棒状の河床礫使用。中に磨死痕残る	砂質頁岩	第1500R	PL92
8	20-00078	磨石	径 21.0 幅 7.3 厚 5.5	棒状の河床礫使用。表面に研磨痕複雑に形成される	溶結凝結岩	第1500R	PL93
9	20-00079	磨石	径 19.6 幅 6.7 厚 4.7	棒状の河床礫使用。表裏面に研磨痕。上下端面に磨打痕残る	ひん岩	第1500R	PL93

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
10	11-00177	焼締陶器壺体部	5	261	常滑

3-1-36号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00087	土師器坏底部	1	8	奈良・平安時代頃

3-1-37号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-00026	焼締陶器壺	残 4.8×4.1 厚 1.2	口縁部破片。N字状口縁。胴部上下に引く	加多摩、13世紀中葉～14世紀	第1500R	PL92

第42表 3区1面の出土遺物一覧 (その8)

## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000873	土師器壺体部	2	6	奈良・平安時代中心
3	11-000875	土師器碗体部	1	5	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-001179	埴輪陶器壺体部	1	44	宮内

## 3-1-19号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-000247	磁器碗	口径 14.3 残高 4.9	口径一体系破片、口径に比線起る。内外面に染付けで施紋	肥前 磁 器 (宮内見), 18世紀中葉 - 19世紀前半	第137図	PL88
2	10-000248	磁器碗	底径 2.6 残高 2.4	腰部一高台破片、内外面に染付け	瀬戸美濃磁器, 19世紀前半 - 19世紀後半	第137図	PL88
3	10-000249	陶器碗	口径 13.4 器高 3.8	口径一高台部破片、内の縁等内外面に染付けで施紋	瀬戸美濃陶器, 15世紀前半 - 19世紀後半	第137図	PL88
4	10-000250	施陶器碗	底径 4.5 残高 0.8	底部分。内面鉄輪施輪。とらふ跡残る	瀬戸美濃陶器, 18世紀後半 - 19世紀前半	第137図	PL88
5	10-000251	施陶器器蓋鉢	残 7.0×5.9 厚 1.1	体系破片。内面磨物痕残る	瀬戸美, 12世紀	第137図	PL88
6	20-000080	石版	残 7.2×6.2 厚 0.2	角部破片。裏面に線描き残る	近代	第137図	PL88

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
7	11-000877	土師器壺体部	4	19	奈良・平安時代中心
8	11-000878	土師器坏底部	2	8	奈良・平安時代中心
9	11-000838	須恵器破片一破部	1	4	平安時代
10	11-001181	陶器罎口縁部	3	139	
11	11-001182	陶器口一併一破部	2	39	産地不明、近代
12	11-001183	磁輪	1	101	
13	11-001184	軟質陶器罎口縁部	1	71	堺
14	11-001185	軟質陶器	3	44	在池。近代
15	11-001186	軟質陶器胎器底部	1	7	在池。近代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
16	11-001187	陶器壺体部	1	6	瀬戸美濃
17	11-001189	磁器碗口縁部	5	29	肥前
18	11-001191	磁器碗体部	2	5	産地不明、近代
19	11-001192	磁器碗口縁部	2	15	産地不明、近代
20	21-000009	硝石	1	14	
21	11-001190	瓦	2	245	
22	11-001198	陶器碗体部	1	2	瀬戸美濃
23	11-001199	磁器碗底部	1	15	肥前
24	11-001206	磁器碗口縁部	1	4	瀬戸美濃

## 3-1-49号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-001195	陶器碗体部	1	6	瀬戸美濃

## 3-1-1号型穴建物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	40-000017	銅製胸金具	径 2.4×1.9 厚 0.9	菊花をモチーフとする胸金具。反側を有する		第160図	PL93

## 3-1-2号型穴建物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-000252	内耳鍋	口径 38.8 残高 19.2	口径一腰部片。口径短く片側。腰部丸みを有する	在池。14世紀後半 - 15世紀前半	第162図	PL93
2	20-000081	スクレーパー	長さ 9.8 幅 6.1 厚 1.1	銅片を用いる。刃部は裏面から調整調整を施す	黒色頁岩	第162図	PL93

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-001196	軟質陶器胎器口縁部	1	4	近代。上段面から裏入部

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-001208	埴輪陶器壺体部	2	175	在池

## 3-1-8号土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-000253	施陶器器蓋鉢	残存 5.2×1.5 厚 0.6	体系破片。下縁輪縁位置で割断。内面下縁付近に紅磨物痕	瀬戸美, 12世紀	第165図	PL93

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-001209	埴輪陶器壺体部	2	82	知多

## 3-1-10号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000879	土師器坏口縁部	1	4	奈良・平安時代頃

## 3-1-29号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-001271	埴輪陶器壺体部	1	48	知多

## 3-1-30号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	41-000003	鏡南屏	一括		M19型またはM47型

## 3-1-27号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-001203	施陶器罎口縁部	1	80	

第43表 3区1面の出土遺物一覧(その9)

## 遺物一覧

### 3-1-1号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-00039	下駄	長 15.6 幅 8.4 厚 2.4	木製材使用。裏面に幅6.1、長さ5.6cmの方形の溝を浅く掘り込み、文字跡の残る。先端と後ろの上面と側面の柱2箇所には1-2cmの頂を穿つ	針葉樹	第170図	PL94

### 3-1-3号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-00034	青磁碗	径 7.1×3.0 厚 0.45	口縁部破片。外面施弁文、ややだれる	龍泉窯系、13世紀	第171図	PL94

### 3-1-4号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-00040	漆碗	残存 7.2×6.1	体部一高台片。高台部切り取れる。体部内外面と底面に黒漆塗布	ケヤキ	第172図	PL94

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-001370	焼締陶器蓋体部	2	62	知多、在地

### 3-1-6号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	40-00018	きせる蓋首	径 7.0 高さ 2.4 厚 1.1	溝出しの湾曲少ないが、火痕には張りが見られる	18世紀後半	第140図	PL88

### 3-1-9号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-00039	焼締陶器蓋	残存 7.2×5.7 厚 1.3	口縁部破片。外反し、端部に沈線施す	知多窯系、13世紀	第174図	PL94
2	10-00030	青磁碗	口径 16.0 残高 4.0	口縁一体部片。口縁外唇。外面施弁文、ややだれる	龍泉窯系、13世紀 中葉一後葉	第174図	PL94
3	10-00036	青磁碗	残存 7.2×5.7 厚 1.3	体部破片。外面施弁文、ややだれる	龍泉窯系、13世紀 中葉一後葉	第174図	PL94
4	10-00041	動物銅板	径 20.0 器高 4.5	厚さ8mm、端部狭くし、板皮で留める	ヒノキ	第174図	PL95

(他に、薬加工品・馬具等あり)

### 3-1-10号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-00025	焼締陶器蓋	残存 14.3×9.4 厚 1.2	体部破片。内面輪郭直線状で、外面叩き直残り痕状	深溝、12世紀	第176図	PL94
2	10-00082	礎石	径 22.5×19.5 厚 6.0	扁平な河原石使用。表面に径10.8×10.6cmの高柱の当たり痕残る	粗粒輝石安山岩	第176図	PL94
3	10-00042	動物皮板	径 12.9×16.3 厚 0.9	板目材使用。四方隅縁に径4mm以下の釘穴開き。底面に刀傷多発あり	ヒノキ	第176図	PL95
4	10-00043	動物銅板	径 22.0×15.0 器高 11.7以上	鋼板大板片。厚2.5mm以下、楕円形を呈する等と判明される。裏面黒漆面あり、それ以外板皮で留める	ヒノキ属	第177図	PL96
5	10-00044	竹	径 5.0×4.3 長 30.0	上下両端切断。節を抜く	龍泉窯地に伴うか	第177図	PL95
6	10-00045	動物皮板	残存 11.8×1.8 厚 0.7	破片。板目材使用	ブナ属か	第177図	PL94

### 3-1-11号井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-00046	動物銅板	径 8.7 厚 0.45	3/5。板目材使用。小型の動物の底板。	ブナ属	第178図	PL95

### 3-1-ビット群

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
2279号ビット							
1	10-00025	焼締陶器蓋	残存 14.0 残高 8.8	体一高台破片。高台欠損。施成良好。体部内面自然輪郭あり。体部下部一底面内面自然痕残る。体部外面側で、下部一痕状痕あり	知多窯、13世紀	第180図	PL95
2562号ビット							
2	10-00025	焼締陶器蓋	残存 5.8×4.4 厚 1.2	口縁破片。N字状口縁。端部上下にやや引かれる	知多窯系、13世紀	第180図	PL97
2318号ビット							
3	10-00029	土器	残存 7.7×6.4 残高 6.2	小片と破片。土器質に焼成。スズ入りの痕跡。表面に黒漆塗布痕残る	技法不明	第180図	PL95
2081号ビット							
4	10-00019	焼締陶器製工具	長 13.6 径 2.8 方眼幅 1.6	一側、ほぼ定形。ソケットに木柄が嵌り残る。刃部割く痕あり。先端ノミ状を呈す	大工道具か	第181図	PL96
1595号ビット							
5	10-00020	焼締陶器蓋	残存 12.6×8.9 厚 1.0	口縁部破片。内外面調整。内面下部に暗線痕残る	知多、13世紀	第181図	PL97
2161号ビット							
6	10-00021	かわらけ	残存 6.0 残高 1.0	底面破片。右回転輪軸彫形。底面回転軸切り痕残る	在地。江戸時代	第181図	PL95

第44表 3区1面の出土遺物一覧 (その10)

## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図録番号	図版番号
1614号ビット							
7	10-000282	青磁碗	残存 3.8×2.0 厚 1.0	体部破片。外面蓮弁文、ややだれる	瀬京系系、13世紀 中葉～後葉	第181図	PL96
920号ビット							
8	40-000003	銅鏡	残存 2.3×1.1 厚 0.14	破片。裏丸。模造化進行し、磨耗不能	磯崎銅鏡	第182図	PL96
948号ビット							
9	40-000021	鉄製幣	径 12.0×6.0 厚 0.4	裏面進行し、磨欠けがほぼ完全。片面凸。上・側縁を 残す。下縁部が磨損。縁沿所定しの線取り。磨耗枚段縁 の紋様で中心指括か		第182図	PL96
972号ビット							
10	10-000053	焼締陶器破鉢	残存 5.0×6.3 厚 1.0	体部破片。内面磨蝕痕残る	瀬京、12世紀	第182図	PL97
995号ビット							
11	10-000054	焼締陶器破鉢	残存 11.2×6.6 厚 1.0	体部破片。内外面微で調整	瀬京、12世紀	第182図	PL97
12	10-000055	焼締陶器破鉢	残存 6.0×4.2 厚 0.9	体部破片。内面に磨蝕痕残る	瀬京、12世紀	第182図	PL97
601号ビット							
13	10-000096	白磁皿	底径 5.2 残高 0.8	底部分。底面回転調整。内外面無釉	中国白磁皿、14世 紀	第183図	PL96
699号ビット							
14	10-000087	青磁碗	残存 5.1×2.8 厚 0.4	口縁部破片。黄緑色。外面蓮弁文。だれる	瀬京系系、13世紀 中葉～後葉	第183図	PL96
353号ビット							
15	10-000056	青磁碗四耳取	残存 4.6×5.8 厚 0.6	胴一貫部破片。内外面1mm厚程度の釉が掛かる	瀬京系系、13～14 世紀?	第184図	PL96
340号ビット							
16	10-000020	焼締陶器壺	残存 17.6×7.4 厚 1.2	口縁部破片。N字状口縁。胴部上方に引く	知多、13世紀前期 ～中葉	第185図	PL97
122号ビット							
17	40-000029	釘	残長 4.2 径 0.4×0.6	欠損品。横断面形状をなす		第191図	PL95
原教遺構内東部所在ビット (H2755号ビット)							
18	10-000075	焼締陶器壺	残存 10.9×11.7 厚 1.0	体部破片。外面押印文残り。内面輪縁痕残り指痕で	瀬京、12世紀	第192図	PL97
原教遺構内東部所在ビット (H2753号ビット)							
19	20-000053	礎石	径 17.4×16.2 厚 5.2	扁平な河床石使用。表面に径7.8×8.4cmの角柱の当たり痕 残る	瀬京系系、13～14 世紀?	第192図	PL99
3004号ビット							
20	20-000084	礎石	残存 16.3×10.7 厚 7.5	扁平な河床石使用。表面に径7.2m×6.0m以上の角柱の当 たり痕残る	瀬京系系、13～14 世紀?	第192図	PL99
原教遺構内東部所在ビット (H2756号ビット)							
21	20-000085	礎石	残存 13.1×11.6× 13.6	扁平な河床石使用。表面に径8.3m×8.7m以上の角柱の当 たり痕残る	瀬京系系、13～14 世紀?	第192図	PL99
原教遺構内東部所在ビット (H2793号ビット)							
22	20-000086	礎石	径 7.8×7.1 厚 4.9	楕円形形の河床石使用。表面に磨蝕痕残る	石瓦岡緑岩	第192図	PL96
原教遺構内東部所在ビット (H2897号ビット)							
23	20-000087	礎石	径 14.0×11.3 厚 3.7	扁平な河床石使用。表面に径9.0×9.7mの角柱の当たり痕 残る	石瓦岡緑岩	第192図	PL99
2978号ビット							
24	20-000088	礎石	径 17.8×14.1 厚 4.6	扁平な河床石使用。表面に径9.0×9.1mの角柱の当たり痕 残る	瀬京系系、13～14 世紀?	第192図	PL99

ビット出土資料で写真のみ掲載したもの

No.	資料番号	資料名称	備考	図録番号	図版番号
30・31・34	20-000095-96-99	礎石	周縁に酸化マンガン付着	-	PL97
25-29・32	20-000089-93-97	礎石	28・29は周縁に酸化マンガン付着	-	PL98
33	20-000098	礎石	欠損品	-	PL98

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
246号ビット											
25	31-000008	炭化物	少量		小片3点、破片2点以 上	582号ビット					
251号ビット											
26	31-000009	炭化物	少量		破片5点以上	400号ビット					
258号ビット											
27	31-000010	炭化物	少量		破片	609号ビット					
446号ビット											
28	31-000012	炭化物	少量		小片4点、破片2点以 上	31 11-0011376 須恵器輪縁部 1 4 平安時代					
615号ビット											
32	31-000014	炭化物	少量		小片2点、破片8点以 上	32 31-000014 炭化物 少量 小片2点、破片8点以 上					

第45表 3区1面の出土遺物一覧 (その11)

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		659号ビット			
33	11-001372	焼締陶器壺腹部	1	64	加多
		662号ビット			
34	11-000930	草土器残体部	1	10	平安時代
		666号ビット			
35	11-001373	焼締陶器壺腹部	2	144	加多
		785号ビット			
36	11-000880	土師器坏底部	1	6	奈良・平安朝中心
		924号ビット			
37	11-000915	炭化物	少量		小片7点、編片6点以上
		948号ビット			
38	41-000001	鉄	少量		小片3点、編片8点以上
		952号ビット			
39	11-000016	炭化物	少量		小片2点、編片3点以上
		972号ビット			
40	11-000940	須恵器織冠底部(糸切)	1	5	平安時代、糸切り痕あり
		975号ビット			
41	11-001374	焼締陶器壺腹部	1	23	加多
		980号ビット			
42	41-000001	スラグ	2		
		983号ビット			
43	11-001375	焼締陶器壺腹部	1	68	加多
		984号ビット			
44	11-000944	銅片	1	27	黑色頁岩か
		995号ビット			
45	11-000881	土師器坏底部	1	3	奈良・平安時代
46	11-000942	須恵器織冠体部	1	4	奈良・平安時代
47	11-001377	焼締陶器壺腹部	1	169	加多
		1243号ビット			
48	11-001195	軟質陶器壺腹部	1	38	在地近代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
		1286号ビット			
49	11-001194	須恵器壺腹部	1	51	奈良・平安時代
		1378号ビット			
50	31-000007	炭化物	少量		小片2点、編片5点以上
		2025号ビット			
51	31-000017	炭化物	少量		小片8点、編片5点以上
		2081号ビット			
52	41-000002	鉄	1		
		2237号ビット			
53	11-001378	焼締陶器壺口縁部	1	29	加多
		2295号ビット			
54	11-001379	焼締陶器壺腹部	2	107	加多
		255号ビット			
55	11-000882	土師器壺腹部	1	8	奈良・平安時代
56	11-000883	土師器坏底部	1	6	奈良・平安時代
		2470号ビット			
57	11-001380	焼締陶器壺腹部	1	94	加多
		2580号ビット			
58	31-000005	炭化物	少量		編片10点以上
		屋敷遺構内東部所在ビット(旧2716号ビット)			
59	31-000011	炭化物	少量		小片6点、編片2点以上
		屋敷遺構内東部所在ビット(旧2768号ビット)			
60	11-000884	土師器壺腹部	1	3	奈良・平安時代
		屋敷遺構内東部所在ビット(旧2970号ビット)			
61	11-001381	焼締陶器壺腹部	1	54	加多
		2128号			
62	11-001304	焼締陶器壺腹部	1	114	
		位置不詳定			
63	11-001178	青磁織冠体部	1	7	鎌倉期

3-1 遺構外の遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・彫形・調整等の特徴	備考	図面番号	図説番号
1	10-000271	青磁碗	残高 4.8×5.0 径 9.6	口縁一体部破片。外面磨弁文。だれる	龍泉窯系、13世紀 中葉～後葉		第195図 PL99
2	10-000272	青磁碗	残高 4.7×6.5 径 9.6	口縁一体部破片。外面磨弁文。だれる	龍泉窯系、13世紀 中葉～後葉		第195図 PL99
3	10-000273	青磁碗	残高 6.0×4.2 径 9.85	体部破片。外面磨弁文。濃緑色	龍泉窯系、13世紀 中葉～後葉		第195図 PL99
4	10-000274	青磁碗	残高 4.0×3.1 径 9.4	口縁一体部破片。外面磨弁文。だれる	龍泉窯系、13世紀 中葉～後葉		第195図 PL99
5	10-000275	陶器碗	残高 4.0×3.9 径 9.8	体部破片。軸若干磨かす。外面磨弁文か	龍泉窯系や青磁、13 世紀中葉～後葉		第195図 PL99
6	10-000276	青磁碗	底径 2.7 残高 1.3	底部一高台破片。高台端部を除き厚1mm以上の輪軸	龍泉窯系、13世紀		第195図 PL99
7	10-000277	青磁碗	残高 2.8×3.9 径 9.5	口縁一体部破片。外面磨弁文。ややだれる	龍泉窯系、13世紀 中葉～後葉		第195図 PL99
8	10-000278	青磁碗	残高 1.7×2.4 径 9.5	口縁破片。内面草花文か	龍泉窯系、平安朝 中葉～後葉		第195図 PL99
9	10-000279	陶器碗	口径 10.2 器高 5.1	1.2. 高台端部を除き輪軸。外面に染付けで草花文	肥前朝倉系(京瓦系)、 13世紀中葉～中葉		第197図 PL99
10	10-000280	陶器碗	残高 5.3×5.6 径 9.7	口縁一体部片。外面染付けで花鳥文	肥前朝倉系、周防染 付、13世紀		第197図 PL99
11	10-000281	輪軸陶器碗	残高 2.7×4.4 径 9.2	口縁一体部片。灰軸。平ば輪軸部	古瀬川、15世紀		第197図 PL99
12	10-000282	輪軸陶器碗	底径 6.4 残高 1.0	底部一高台破片。高台端部削られる。灰軸。	大塚、16世紀		第197図 PL99
13	10-000283	陶器碗	底径 6.3 残高 2.0	底部一高台破片。高台平穴状。焼成甘い。灰軸削り、内面に筋状で黒文	瀬川系(高瀬系)、17 世紀		第197図 PL100
14	10-000284	陶器碗	口径 7.5 器高 4.6	1/4. 花緑色。枝黒色で輪文。底部内面にベロ藍で小林酒 印	瀬川系(高瀬系)、町 田		第197図 PL99
15	10-000285	陶器蓋	径 1.9 器高 3.1	葉形。上面中央盛り上がり周囲に筋文。灰軸輪軸。	東海朝明、近・現 代		第197図 PL99
16	10-000286	焼締陶器壺	残高 5.4×6.7 径 9.4	口縁破片。V字状口縁。肩部上下に引かれ、濃緑釉。外 面に自然釉	加多、13世紀中葉 ～後葉		第197図 PL100
17	10-000287	焼締陶器鉢鉢	残高 6.1×8.1 径 1.1	底部一高台破片。底部下位磨削り。内面筋文を磨削痕残る	加多系、13世紀		第197図 PL100

第46表 3区1面の出土遺物一覧(その12)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図録番号
18	10-00038	焼酎陶器蓋	残存 4.6×5.5 厚 1.2	体部破片。外面より破れる	居多。12-13世紀	第197図	PL100
19	10-00039	軟質陶器鉢	残存 7.5×6.0 厚 1.4	口縁一体部破片。外面から。体部内面磨き残る	在地。15世紀	第197図	PL100
20	10-00050	軟質陶器鉢	口径 33.0 器高 11.4	1/3。内面自然剥かる。平底だが僅かに中央上がる。胴一体部内面磨き残る。底面丸れ。中央付近指掛残る	居多。厚 軟質黄褐色部 12世紀シテ、14世紀前半一少費	第198図	PL100
21	10-00021	土罐	径 4.1 径 1.3×1.1	完形。表面磨れる。外面丸。径3mmの孔縦位に穿たれる	土師質	第198図	PL100
22	10-00022	陶器蓋	径長 8.6 径 6.55	下段欠損。横断面正方形。緑白色磨削コーティングで。上段約1.5		第198図	PL99
23	40-00022	銅鏡	径 2.43×2.45 厚 0.19	磨食・褐色化済み態不詳。「□」穴貫	鏡鉢残か	第198図	PL100
24	40-00023	淳先式甕	径 2.4×2.3 厚 0.14	縁部一部欠損。若干褐色化見られる	鏡鉢残か	第198図	PL100
25	40-00024	鉄鎧玉	径 1.2×1.2×1.0	ほぼ完形。細。バリ残る	射撃痕無し	第198図	PL100
26	40-00025	キセル吸い口	径 7.2 厚 2.9×0.85	吸い口完形。横断面ワウ個方形。吸い口先端圓形	18世紀	第198図	PL100
27	40-00026	キセル吸い口	径 7.0 厚 0.85×0.85	吸い口完形。横断面円形。1束5本の細線4束一箇する	18世紀	第199図	PL100
28	40-00027	キセル吸い口	径 7.0 厚 0.8×0.77	圧平され。折れる。吸い口全体が残る。横断面円形	18世紀	第199図	PL100
29	20-00030	台石	径 12.3×11.2 厚 3.1	扁平な河床石使用。表面に研磨痕残る		第199図	PL100
30	20-00031	台石	径 11.4×11.0 厚 4.0	扁平な河床石使用。表面に研磨痕残る		第199図	PL92
31	90-00016	ビー玉	径 1.7×1.7×1.73	完形品。気泡入る淡緑色透明ガラス使用	昭和	第199図	PL100
32	90-00017	ビー玉	径 1.79 × 1.76 × 1.76	一部欠損。不透明の赤色・白色ガラス使用	昭和	第199図	PL100
33	90-00018	ビー玉	径 1.23 × 1.225 × 1.23	完形品。透明ガラスの串に不透明黄色ガラスで4弁の花ビュ形	昭和	第199図	PL100
34	40-	鉄鏝	径 1.1×4.9 厚 1.5			-	PL100

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
■ 戦平部					
34	51-00007	馬歯	少量		照片
35	51-00002	銅皮	7		
■ 3区全域					
36	51-00008	馬歯	少量		小片4点。破片3点以上
37	11-00051	土師器壺体部	1	11	古墳時代前・中期
38	11-00114	陶器瓶口縁部	11	64	瀬戸美濃
39	11-00115	陶器瓶底面	3	60	瀬戸美濃
40	11-00116	陶器片口縁口	1	25	瀬戸美濃
41	11-00117	陶器片口縁部	1	25	瀬戸美濃
42	11-00118	貫土器瓶体部	1	12	瀬戸美濃
43	11-00119	貫土器瓶口縁部	1	41	瀬戸美濃
44	11-00120	磁器碗底面	4	61	産地不明近代
45	11-00121	磁器碗口縁部	2	14	産地不明近代
46	11-00122	磁器碗体部	5	13	産地不明近代
47	11-00123	磁器碗底面	4	66	肥前
48	11-00124	陶器碗体部	1	18	肥前口江近代
49	11-00125	磁器瓶口縁部	6	37	産地不明近代
50	11-00126	青磁碗口縁部	1	4	中国龍泉窯系
51	11-00127	青磁碗体部	3	13	中国龍泉窯系
52	11-00128	口縁部?	1	11	産地不明
53	11-00129	磁器碗体部	1	2	産地不明
54	11-00130	陶器瓶体部	1	11	産地不明。近代
55	11-00131	マジヤンバイ	1	12	産地不明
56	11-00132	陶器カ	1	3	産地不明
57	11-00133	陶器鉢体部	1	25	産地不明
58	11-00134	陶器碗底面	1	17	産地不明
59	11-00135	陶器小鉢口縁部	1	9	産地不明
60	11-00136	陶器瓶口縁部	5	15	産地不明
61	11-00137	軟質陶器器口縁部	1	74	丹波

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
■ 3区全域					
62	11-00138	軟質陶器器口縁部	1	31	堺
63	11-00139	軟質陶器器体部	20	237	在地
64	11-00140	軟質陶器器口縁部	9	179	在地
65	11-00141	軟質陶器大鉢体部	1	13	在地
66	11-00142	かわかけ体部	13	88	中世
67	11-00143	かわかけ口縁部	2	17	中世
68	11-00144	かわかけ底面	7	68	中世
69	11-00145	須恵器坏体部	1	2	奈良・平安時代頃
70	11-00146	須恵器器口縁部	1	4	奈良・平安時代頃
71	11-00147	焼酎陶器壺体部	3	64	常滑
72	11-00148	土師器壺底面	1	24	奈良・平安時代頃
73	11-00149	軟質陶器器口縁部	4	39	在地
74	11-00150	土師器器口縁部	3	83	奈良・平安時代中心
75	11-00151	瓦	5	233	中世以降
76	11-00152	軟質陶器大鉢か?	1	133	中世。飯沢
77	11-00153	土師器高坏体部	1	36	古墳時代
78	11-00154	陶器碗体部	6	38	瀬戸美濃
79	11-00155	軟質陶器器口縁部	2	71	在地
80	11-00156	土管	1	21	近
81	11-00157	土師器壺体部	10	161	近現代
82	11-00158	土師器器口縁部	1	27	平安時代
83	11-00159	須恵器壺体部	10	173	奈良・平安時代中心
84	11-00160	軟質陶器鉢体部	11	345	在地
85	11-00161	軟質陶器鉢口縁部	1	32	在地
86	11-00162	軟質陶器大鉢口縁部	2	205	在地
87	11-00163	焼酎陶器壺体部	3	227	常滑
88	11-00164	軟質陶器器口縁部	5	93	在地
89	21-00001	糖	2		
90	21-00008	糖石	1	26	

第47表 3区1面の出土遺物一覧 (その13)

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3区全域					
91	11-001274	焼締陶器壺口縁	1	3	加多
92	11-001275	焼締陶器壺体部	45	1934	加多
93	11-001276	焼締陶器壺体部	1	153	加多
94	11-000885	土師器壺口縁部	14	96	奈良・平安時代中心
95	11-000886	土師器壺体部	132	291	奈良・平安時代中心
96	11-000887	土師器坏口縁部	19	56	奈良・平安時代中心
97	11-000888	土師器坏底部	2	4	奈良・平安時代中心
98	11-000889	土師器壺口縁部	1	36	平安時代
99	11-000890	土師器坏体一底部	97	258	奈良・平安時代中心
100	11-000943	須恵器壺口縁部	1	9	奈良・平安時代
101	11-000944	須恵器壺体部	27	156	奈良・平安時代中心
102	11-000945	須恵器壺口縁部	12	43	奈良・平安時代中心
103	11-000946	須恵器壺体部	28	163	奈良・平安時代中心
104	11-000947	須恵器高台付壺体部	27	83	奈良・平安時代中心
105	11-000948	須恵器高台付壺底部	25	198	奈良・平安時代中心
106	11-000949	須恵器ハツケ鉢部	1	13	古墳時代後期
107	11-000950	須恵器壺底部	3	48	平安時代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3区全域					
108	11-000951	須恵器蓋	1	6	奈良・平安時代中心
109	11-000952	灰釉陶器高台	1	4	平安時代
110	11-000953	新瓦陶器	5	23	中世
111	11-001200	磁器壺口縁部	1	3	近代
112	11-001201	磁器壺体一底部	4	13	瀬戸美濃
113	11-001111	磁器壺口縁部	4	31	肥前
114	11-001305	磁器壺口縁部	1	5	瀬戸美濃
115	11-001306	磁器壺底部	1	15	不明
116	11-001307	磁器壺口一底部	4	21	
117	11-001197	磁器壺口縁部	1	8	肥前
118	11-001198	陶器壺口縁部	1	4	近代
119	11-001199	磁器壺体一底部	5	13	近代
120	11-001308	陶器壺部	2	27	吉野川
121	11-001309	不明	1	6	
122	11-000004	破片	1	6	
123	11-000005	鏡さい	4	28	

3-2 3区2面の出土遺物

3-2面の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	図面番号	図版番号
1	20-00102	磁石	1	5.1 厚 3.5 厚 1.8	形状・彫形・調整等の特徴 上方及び下漏欠面。表に3縦、裏・左右側面に1面づつ の磁紋残る	第200図	PL100

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-000891	土師器壺口縁部	3	38	奈良・平安時代中心
3	11-000892	土師器壺体部	27	129	奈良・平安時代中心
4	11-000893	土師器坏口縁部	5	17	奈良・平安時代中心
5	11-000894	土師器坏底部	16	36	奈良・平安時代中心
6	11-000895	土師器高坏胴部	1	45	古墳時代
7	11-000896	土師器壺口縁部	1	35	平安時代
8	11-000954	須恵器壺体部	8	204	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
9	11-000955	須恵器壺口縁部	3	9	平安時代
10	11-000956	須恵器壺体部	15	50	平安時代
11	11-000957	須恵器高台付壺底部	2	57	平安時代
12	11-000958	須恵器壺口縁部	1	11	平安時代
13	11-000959	磁器	1	3	
14	11-001277	陶磁器	6	125	

3-3 3区3面の出土遺物

3-3-耕作溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000294	土師器壺体部	1		古墳時代前・中期
2	11-000850	土師器壺体部	2	17	古墳時代前・中期

3-3面の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	図面番号	図版番号
1	20-00103	石鏡	1	2.48 厚 0.14	形状・彫形・調整等の特徴 先週欠損。不規則長の有蓋鏡。裏面を以てする。表面より 細かい調整痕跡も見える	第201図	PL100

第48表 3区1面の出土遺物一覧(その14)  
3区2面の出土遺物一覧  
3区3面の出土遺物一覧



## 3-4 調査面に拘らない遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
試掘グリッド					
1	11-00087	土師器坏体部	5	9	奈良・平安時代中心
2	11-00088	土師器坏底部	3	6	奈良・平安時代中心
3	11-00089	縄文土器	1	9	時期不明
4	11-00090	須恵器織体部	2	8	平安時代

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3区全域					
5	51-00009	馬歯	少量		小片3点
6	11-00135	青磁織体部	1	4	龍泉窯系
7	11-00136	青磁織底部	2		龍泉窯系

## 3-1-23号遺

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・製形・調整等の特徴	備考	図面番号	図取番号
1	10-00281	青磁碗	残存 3.1×3.0 厚 0.45	口縁部破片。外面染付文。だれる			龍泉窯系、13世紀 千葉一後葉 第158図 PL53

第49表 3区の調査面に拘らない出土遺物

遺物一覧

4区の出土遺物

4-1 1区1面の出土遺物

4-1-2号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	11-000395	青磁碗	残存 2.8×5.2 厚 0.7	体一瓣形破片。凹輪縁整形が残る。濃緑色	龍泉窯系?	第205図	PL106

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00061	土師器坏底部	1	8	奈良・平安時代頃	5	11-001394	焼締陶器蓋	1	12	知多
3	11-00095	須恵器壺体部	2	104	奈良・平安時代中心	4-1面					
4	11-00096	須恵器壺底部	1	44	奈良・平安時代頃	1	11-001310	陶器	1	7	瀬戸美濃

4-1-3号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	29-000104	磁石	幅 2.1 残存 7.9×4.3	上方尖頭。裏面割線天頂。表面割線部分有り。上・左右両面に磁石痕と凹痕残る		第202図	PL106
2	90-000105	ガラス瓶	高さ 1.7 残存 2.6	口縁尖頭。乳白多い透明ガラス使用。表面に「萬葉堂」の透代		第202図	PL106

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-00063	土師器坏底部	2	6	奈良・平安時代頃	10	11-001307	陶器碗体部	3		瀬戸美濃
4	11-00064	土師器坏底部	1	6	奈良・平安時代頃	11	11-001308	陶器碗底面	1		瀬戸美濃
5	11-00065	土師器坏体一底部	1	3	奈良・平安時代頃	12	11-001309	陶器罐体部	1	84	埴
6	11-00087	須恵器碗口縁部	1	3	平安時代	13	11-001400	須恵器碗底面	5	72	肥前
7	11-00088	須恵器碗体一底部	1	3	平安時代	14	11-001401	須恵器碗体部	1		肥前
8	11-01185	須恵器碗口縁部	1	9	瀬戸美濃	15	11-001402	軟質陶器鉢口縁	1		在池、中庄
9	11-01186	須恵器碗口縁部	1	9	産地不明、透代	16	11-001403	軟質陶器鉢体部	6	131	在池、中庄

4-1-4号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00066	土師器壺体部	2	5	奈良・平安時代中心	1	11-00098	須恵器壺体部	1	12	奈良・平安時代頃

4-1-7号溝

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00098	須恵器壺体部	1	12	奈良・平安時代頃

4-1-5号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	10-000296	青磁碗	残存 3.3×2.9 厚 0.4	口縁破片。外面薄片文、だれる	龍泉窯系、13世紀中葉~後葉	第205図	PL106

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-01404	焼締陶器罐体部	1	15	知多

4-1-水田面

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00067	土師器壺体部	3	5	奈良・平安時代中心	2	11-00062	土師器壺底部	1	4	平安時代、7号溝東ピット

4-1-1号土坑

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-011291	焼締陶器壺体部	1	19	知多

4-1-1面遺構外の遺物

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-00068	土師器壺体部	10	19	奈良・平安時代中心	7	11-000974	土師器高坏肩部	1	6	古墳時代
2	11-00069	土師器碗口縁部	1	10	平安時代	8	11-000990	須恵器壺体部	1	36	奈良・平安時代中心
3	11-00070	土師器碗体一底部	2	37	平安時代	9	11-000991	須恵器碗口縁部	4	12	平安時代
4	11-00071	土師器碗口縁部	11	20	奈良・平安時代中心	10	11-000992	須恵器高台付碗	2	11	平安時代
5	11-00072	土師器坏体一底部	11	25	奈良・平安時代中心	11	11-000993	須恵器碗体部	4	39	平安時代
6	11-00073	土師器坏底部	3	4	奈良・平安時代中心	12	11-001406	陶器碗	2	21	瀬戸美濃

第50表の1 4区1面の出土遺物一覧(その1)

## 遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
13	11-001407	磁器碗	1	10	肥前
14	11-001408	桃繪陶器甕体部	1	29	在池
15	11-001409	磁器碗	1		産地不明、近代
16	11-001410	磁器碗	4		肥前
17	11-001411	磁器碗	1		肥前

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
18	11-001412	磁器碗	2	11	産地不明、近代
19	11-001413	桃繪陶器甕	4	200	知多
東部園地整備掘り込み					
20	11-000994	須恵器坏体一底部	1	4	奈良・平安時代頃
21	11-000995	磁器碗	1	5	産地不明

第50表の2 4区1面の出土遺物一覧(その2)

## 4-1 4区2・3面の出土遺物

## 4-2・3-1号トレンチ

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000975	土師器甕口縁部	4	25	奈良・平安時代中心
2	11-000978	土師器甕体部	7	19	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
3	11-000977	土師器坏底部	12	47	奈良・平安時代中心
4	11-000996	須恵器碗体一底部	4	29	平安時代

## 4-2・3-2号トレンチ

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000997	須恵器碗口縁部	1	5	平安時代
2	11-000998	須恵器高台付碗	3	65	平安時代
3	11-000978	土師器甕体部	4	8	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000979	土師器坏口縁部	2	8	奈良・平安時代中心
5	11-000980	土師器坏体一底部	3	9	奈良・平安時代中心

## 4-2・3-2号トレンチ

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
1	11-000999	須恵器碗口縁部	3	12	平安時代
2	11-001000	須恵器碗体一底部	2	5	平安時代
3	11-000981	土師器甕口縁部	2	16	奈良・平安時代中心

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
4	11-000982	土師器甕体部	17	26	奈良・平安時代中心
5	11-000983	土師器坏口縁部	4	16	奈良・平安時代中心
6	11-000984	土師器坏体一底部	8	8	奈良・平安時代中心

第51表 4区2～3面の出土遺物

## 遺物一覧

## 1～4区全域の出土遺物

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図面番号	図版番号
1	49-00028	キセル大皿	径 1.5×1.8 残高 1.9	水藍磁片	時期不詳	-	PL106

No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考	No.	資料番号	資料名称	数量	重量(g)	備考
2	11-00101	土師器壺体部	21	19	古墳時代以降	18	11-00107	土師器環底部	15	25	奈良・平安時代中心
3	11-00102	土師器瓶口縁部	1	4	古墳時代以降	19	11-00108	陶器壺体部	1	33	
4	11-00103	土師器碗体部	6	6	古墳時代以降	20	11-00109	須恵器瓶口縁部	4	8	平安時代
5	11-00104	土師器環底部	14	13	奈良・平安時代中心	21	11-00105	須恵器碗体部	5	12	平安時代
6	11-00105	灰輪陶器	1	4	平安時代	22	11-00101	須恵器高台付碗体一破片	3	7	平安時代
7	11-00106	陶器	2	5		23	11-00102	須恵器碗体部	3	18	平安時代
8	11-00107	古式土師器台環兼口縁部	1	8	古墳時代前期	24	11-00103	陶器	1	14	
9	11-00108	古式土師器壺体部	26	93	古墳時代前・中期	25	11-00104	磁器口縁一破部	1	6	
10	11-00109	古式土師器台付壺体部	22	67	古墳時代前期	26	11-00187	磁器瓶口縁部	1	11	産地不明
11	11-00110	古式土師器高台脚部	2	12	古墳時代前・中期	27	11-00188	陶器瓶口縁部	1		産地不明
12	11-00111	古式土師器壺体部	14	80	古墳時代前・中期	28	11-00189	陶器碗体一破部	5		産地不明
13	11-00112	土師器瓶口縁部	9	22	奈良・平安時代中心	29	11-00190	磁器瓶口縁部	1	13	肥前
14	11-00113	土師器壺体部	78	136	奈良・平安時代中心	30	11-00191	陶器碗体一破部	4	89	瀬戸美濃
15	11-00114	土師器壺底部	1	8	奈良・平安時代中心	31	11-00192	青磁体部	1		龍泉窯系
16	11-00115	土師器瓶口縁部	13	17	奈良・平安時代中心	32	11-00193	陶器碗底部	1		
17	11-00116	土師器環体部	34	38	奈良・平安時代中心	33	51-00015	骨片	少量		鱧片

第52表 1～4区全域の出土遺物

3区1面屋敷遺構内所在ピット一覧

No	柱 穴		形状	礎石	概略区域	No	柱 穴		形状	礎石	概略区域	No	柱 穴		形状	礎石	概略区域
	径W×径NS×深さ						径W×径NS×深さ						径W×径NS×深さ				
14	16	× 18	× 7	□	南西城	49	29	× 34	× 46	○	南西城	123	33	× 37	× 46	□	南西城
15	31	× (32)	× 23	□	南西城	70	32	× 29	× 47	□	南西城	124	30	× 27	× 6	□	南西城
16	28	× (32)	× 4	□	南西城	71	21	× 25	× 31	□	南西城	125	25	× 27	× 37	□	南西城
17	16	× 21	× 18	□	南西城	72	28	× 34	× 2	○	南西城	126	28	× 23	× 20	□	南西城
18	17	× 25	× 6	□	南西城	73	20	× 33	× 19	□	南西城	127	30	× 23	× 9	○	南西城
19	(16)	× 28	× 25	□	南西城	75A	20	× 24	× 16	○	南西城	128	23	× 25	× 32	○	南西城
20	(14)	× (26)	× 60	○	南西城	75B	14	× 23	× 15	○	南西城	129	22	× 26	× 34	○	南西城
21	34	× 28	× 8	□	南西城	76	(23)	× (26)	× 16	□	南西城	130	25	× 40	× 39	□	南西城
22	26	× 36	× 38	□	南西城	77	27	× (23)	× 18	□	南西城	131	19	× 20	× 32	□	南西城
23	30	× 39	× 60	□	南西城	78	20	× 25	× 13	□	南西城	132	25	× 28	× 39	○	南西城
24	27	× 23	× 7	○	南西城	79	10	× 13	× 14	○	南西城	133	22	× 25	× 36	□	南西城
25	22	× 23	× 30	□	南西城	80	24	× 31	× 9	□	南西城	134	30	× 30	× 48	□	南西城
26	26	× (21)	× 5	○	南西城	81	16	× 26	× 15	○	南西城	135	30	× 48	× 40	□	南西城
27	15	× 21	× 21	□	南西城	82	28	× 34	× 46	□	南西城	136	30	× 41	× 48	□	南西城
28	(23)	× 30	× 27	□	南西城	83	25	× 28	× 19	□	南西城	137	(17)	× 25	× 8	□	南西城
29	36	× 47	× 32	○	南西城	84	20	× 22	× 21	□	南西城	138	33	× 40	× 49	○	南西城
30	25	× 25	× 43	○	南西城	85	23	× 23	× 32	□	南西城	139	(25)	× 34	× 32	○	南西城
31	18	× 21	× 17	□	南西城	86	25	× 34	× 43	□	南西城	140	23	× 25	× 36	□	南西城
32	29	× 31	× 17	○	南西城	87	22	× 52	× 36	□	南西城	141	21	× 28	× 9	○	南西城
33	33	× 35	× 18	□	南西城	88	15	× 17	× 22	□	南西城	142	17	× 25	× 22	□	南西城
34	31	× 30	× 54	○	南西城	89	22	× 21	× 15	○	南西城	143	15	× 19	× 17	□	南西城
35	21	× 24	× 50	□	南西城	90	20	× (30)	× 48	□	南西城	144	28	× 30	× 34	○	南西城
36	34	× 35	× 60	□	南西城	91	26	× 34	× 56	○	南西城	145	24	× (30)	× 48	□	南西城
37	32	× 33	× 30	□	南西城	92	17	× 30	× 23	□	南西城	146	33	× 35	× 58	○	南西城
38	27	× 30	× 50	□	南西城	93	22	× (31)	× 14	□	南西城	147	26	× 27	× 22	□	南西城
39	23	× 32	× 28	□	南西城	94	25	× 33	× 44	□	南西城	148	(6)	× 16	× 10	□	南西城
40	30	× 31	× 36	□	南西城	95	36	× 48	× 39	○	南西城	149	34	× 35	× 43	○	南西城
41	14	× 18	× 15	□	南西城	96	36	× 44	× 38	□	南西城	150	(7)	× 31	× 17	□	南西城
42	24	× 34	× 35	□	南西城	97	(25)	× 31	× 28	○	南西城	151	18	× 21	× 19	□	南西城
43	30	× 37	× 41	□	南西城	98	31	× 41	× 31	○	南西城	152	19	× 25	× 35	○	南西城
44	30	× 23	× 35	□	南西城	99	23	× 28	× 7	○	南西城	153	30	× 41	× 18	○	南西城
45	13	× 15	× 14	□	南西城	100	28	× 35	× 35	○	南西城	154	29	× 29	× 41	□	南西城
46	27	× 30	× 41	○	南西城	101	30	× (51)	× 21	□	南西城	155	32	× (31)	× 9	□	南西城
47	30	× 28	× 30	□	南西城	102	30	× (46)	× 19	□	南西城	156	24	× 37	× 19	□	南西城
48	13	× 18	× 19	□	南西城	103	(16)	× 26	× 7	□	南西城	157	23	× 42	× 36	□	南西城
49	22	× 24	× 31	○	南西城	104	33	× 35	× 45	○	南西城	158	15	× 17	× 20	□	南西城
50	23	× 25	× 15	○	南西城	105	(32)	× 43	× 51	□	南西城	159	20	× 32	× 43	□	南西城
51	25	× 28	× 39	○	南西城	106	(27)	× 30	× 45	○	南西城	161	36	× 42	× 27	○	南西城
52	31	× 33	× 35	□	南西城	107	23	× 27	× 35	□	南西城	162	30	× 35	× 35	○	南西城
53	21	× 23	× 18	○	南西城	108	28	× 40	× 16	□	南西城	163	(32)	× 39	× 9	○	南西城
54	20	× 24	× 27	□	南西城	109	20	× (20)	× 10	□	南西城	164	16	× 19	× 4	○	南西城
55	63	× 54	× 32	○	南西城	110	16	× 15	× 18	□	南西城	165	16	× 20	× 12	○	南西城
56	21	× 21	× 15	□	南西城	111	22	× 27	× 51	□	南西城	166	34	× 34	× 13	○	南西城
57	18	× 20	× 33	□	南西城	112	24	× 23	× 45	□	南西城	167	34	× 46	× 20	○	南西城
58	18	× 19	× 25	□	南西城	113	17	× 20	× 26	□	南西城	168	15	× 23	× 9	□	南西城
59	24	× 22	× 20	○	南西城	114	26	× 33	× 33	○	南西城	169	20	× 25	× 59	□	南西城
60	24	× 22	× 37	□	南西城	115	33	× (43)	× 16	□	南西城	170	22	× 30	× 1	○	南西城
61	33	× (35)	× 55	□	南西城	116	22	× 27	× 21	○	南西城	171	24	× 30	× 9	□	南西城
62	36	× (37)	× 34	□	南西城	117	(10)	× 17	× 13	□	南西城	172	37	× 50	× 40	□	南西城
63	30	× 24	× 26	□	南西城	118	43	× 40	× 30	□	南西城	173	22	× 22	× 23	□	南西城
64	30	× 22	× 34	□	南西城	119A	20	× 22	× 32	□	南西城	174	17	× 24	× 14	○	南西城
65	21	× 23	× 41	□	南西城	119B	(15)	× 24	× 33	○	南西城	175	24	× 27	× 10	○	南西城
66	22	× 25	× 34	□	南西城	120	15	× 15	× 21	□	南西城	176	33	× 37	× 39	□	南西城
67	23	× 25	× 57	○	南西城	121	19	× 24	× 5	○	南西城	177	23	× 27	× 38	○	南西城
68	28	× 37	× 36	○	南西城	122	33	× 42	× 45	□	南西城	178	25	× 34	× 47	□	南西城

第53表 3区1面屋敷遺構内ピット一覧 (その1)

遺構一覧

No	柱 穴		形態	礎石	機軸区域	No	柱 穴		形態	礎石	機軸区域	No	柱 穴		形態	礎石	機軸区域
	柱W×柱NS×深さ	深さ					柱W×柱NS×深さ	深さ					柱W×柱NS×深さ	深さ			
179	25 × 33 × 33	□			南西城	237	18 × 17 × 6	□			南西城	285	10 × 15 × 3	□			南西城
180	20 × 19 × 8	□			南西城	238	22 × 24 × 36	○			南西城	286	21 × 24 × 20	○			南西城
181	23 × 25 × 30	□			南西城	239	19 × 44 × 36	□			南西城	287	17 × 36 × 5	○			南西城
182	30 × 40 × 51	○			南西城	240	15 × 15 × 34	○			南西城	288	27 × 27 × 12	○			南西城
183	24 × 27 × 10	□			南西城	241	21 × 28 × 1	○			南西城	289	16 × 21 × 13	○			南西城
184	160 × 49 × 40	○			南西城	242	13 × 17 × 24	○			南西城	290	17 × 16 × 4	□			南西城
185	125 × 125 × 2	□	○		南西城	243	13 × 16 × 17	□			南西城	291	18 × 14 × 13	○			南西城
186	18 × 20 × *	□			南西城	244	33 × 40 × 56	○			南西城	292	21 × 22 × *	○			南西城
187	14 × 18 × 40	○			南西城	245A	14 × 16 × 26	□			南西城	294	15 × 15 × 26	○			南西城
188	30 × 27 × 48	□			南西城	245B	24 × 50 × 63	○			南西城	295A	19 × 15 × 24	○			南西城
189	19 × 22 × 22	□			南西城	246A	25 × 30 × 40	○			南西城	295B	18 × 22 × 13	○			南西城
190	18 × 21 × 13	□			南西城	246B	26 × 23 × 16	□			南西城	296	22 × 25 × 16	○			南西城
191	28 × 43 × 14	□			南西城	247A	22 × 28 × 37	□			南西城	297	18 × 23 × 15	○			南西城
192	220 × 25 × *	□	○		南西城	247B	14 × 17 × 14	□			南西城	298	14 × 15 × 15	□			南西城
193	22 × 28 × 14	○			南西城	248A	25 × 25 × 20	□			南西城	299	27 × 20 × 5	○			南西城
194	21 × 27 × 8	○			南西城	248B	19 × 20 × 13	○			南西城	303	21 × 19 × 13	○			南東城南部
195	26 × 38 × 48	○			南西城	249A	23 × 33 × 36	□			南西城	304	30 × 32 × 22	○			南東城南部
196	29 × 30 × 30	○			南西城	249B	37 × 47 × 30	○			南西城	305	41 × 31 × 23	○			南東城南部
197	44 × 33 × 22	□			南西城	250A	21 × 25 × 24	○			南西城	307	28 × 22 × 1	○			南東城南部
198	25 × 31 × 38	□			南西城	250B	15 × 19 × 12	○			南西城	308	53 × 60 × 44	○			南東城南部
199	20 × 22 × 32	□			南西城	251A	27 × 27 × 36	○			南西城	309	15 × 9 × 16	○			南東城南部
200	19 × 20 × 16	□			南西城	251B	23 × 29 × 11	□			南西城	310	37 × 36 × 34	□			南東城南部
201	35 × 42 × 42	□			南西城	252A	11 × 16 × 4	○			南西城	311	16 × 24 × 4	○			南東城南部
202	20 × 37 × 40	□	○		南西城	252B	17 × 23 × 34	□			南西城	312	40 × 33 × 76	○			南東城南部
203	15 × 20 × 5	○			南西城	253A	13 × 16 × 16	○			南西城	313	47 × 17 × 52	○			南東城南部
204	16 × 20 × 9	□			南西城	253B	15 × 30 × 45	○			南西城	314	35 × 33 × 32	○			南東城南部
205	18 × 21 × 5	□			南西城	254	17 × 20 × 6	○			南西城	315	18 × 22 × 10	□			南東城南部
206	17 × 119 × 6	□			南西城	255	27 × 26 × 17	○			南西城	316	30 × 34 × 67	○			南東城南部
207	125 × 183 × 40	○			南西城	256B	27 × 26 × 17	○			南西城	317	67 × 50 × 46	□			南東城南部
208	127 × 136 × 42	□	○		南西城	256	33 × 44 × 39	○			南西城	318	15 × 18 × 27	□			南東城南部
209	27 × 119 × 41	○			南西城	257	35 × 26 × 42	□			南西城	319	20 × 19 × 10	○			南東城南部
210	35 × 36 × 46	□	○		南西城	258	38 × 40 × 49	○			南西城	320	54 × 19 × 3	○			南東城南部
211	18 × 22 × 21	□			南西城	259	30 × 45 × 73	□			南西城	321	20 × 23 × 20	○			南東城南部
212	14 × 18 × 12	□			南西城	260	30 × 35 × 30	○			南西城	322	26 × 26 × 18	□			南東城南部
213	22 × 21 × 28	□			南西城	261	19 × 28 × 8	○			南西城	323	35 × 32 × 24	○			南東城南部
214	36 × 41 × 40	□			南西城	262	31 × 26 × 29	□			南西城	324	320 × 337 × 8	○			南東城南部
215	18 × 19 × 42	□			南西城	263	27 × 30 × 43	□			南西城	325	27 × 30 × 34	○			南東城南部
216	49 × 45 × 52	□	○		南西城	264	25 × 27 × 36	□			南西城	326	26 × 28 × 21	□			南東城南部
217	17 × 18 × 19	□			南西城	265	25 × 21 × 13	□			南西城	328	28 × 20 × 20	□			南東城南部
218	14 × 17 × 9	□			南西城	266	25 × 33 × 29	□			南西城	329A	10 × 9 × 2	○			南東城南部
219	17 × 30 × 13	○			南西城	267	38 × 37 × 21	○			南西城	329B	25 × 23 × 4	□			南東城南部
220	220 × 41 × 25	□			南西城	268	28 × 37 × 24	□			南西城	330	14 × 11 × 4	○			南東城南部
221	53 × 53 × 54	○			南西城	269	17 × 26 × 2	□			南西城	331	11 × 16 × 3	□			南東城南部
222	30 × 29 × 11	○			南西城	270	15 × 17 × 19	○	○		南西城	332	18 × 25 × 32	□			南東城南部
223	12 × 14 × 2	○			南西城	271	31 × 35 × 15	□			南西城	333	33 × 35 × 28	○			南東城南部
224	31 × 27 × 32	□			南西城	272	16 × 18 × 32	□			南西城	334	26 × 18 × 14	○			南東城南部
225	28 × 33 × 50	□			南西城	273	22 × 27 × 32	□			南西城	335	25 × 16 × 2	○			南東城南部
226	27 × 25 × 21	○			南西城	274	17 × 15 × 13	○			南西城	336	20 × 25 × 10	○			南東城南部
227	15 × 17 × 6	□			南西城	275	37 × 42 × 29	○			南西城	337	21 × 21 × 4	○			南東城南部
228	52 × 41 × 12	□			南西城	276	45 × 30 × 23	○	○		南西城	338	23 × 41 × 2	○			南東城南部
229	23 × 29 × 22	□			南西城	277	15 × 17 × 27	○			南西城	339	20 × 19 × 13	○			南東城南部
230	40 × 38 × 65	○			南西城	278	23 × 33 × 11	○			南西城	340	26 × 32 × 15	○			南東城南部
231	33 × 41 × 71	□			南西城	279	26 × 131 × 44	□			南西城	341	14 × 22 × *	□			南東城南部
232	59 × 43 × 54	□			南西城	280	130 × 123 × 38	□			南西城	342	220 × 322 × 15	□			南東城南部
233	36 × 33 × 50	□			南西城	281	177 × 183 × 40	□			南西城	343	183 × 153 × *	□			南東城南部
234	24 × 26 × 45	○			南西城	282	12 × 18 × 13	○			南西城	344	18 × 23 × 8	□			南東城南部
235	28 × 28 × 40	□			南西城	283	33 × 34 × 9	○			南西城	345	26 × 26 × 29	○			南東城南部
236	15 × 111 × 10	□			南西城	284	220 × 116 × 12	□			南西城	346	45 × 30 × 45	○			南東城南部

第54表 3区1面屋敷遺構内ビット一覧(その2)

No	柱 穴		形跡	礎石	機軸区域	No	柱 穴		形跡	礎石	機軸区域	No	柱 穴		形跡	礎石	機軸区域	
	径W × 径S × 径B	径W × 径S × 径B					径W × 径S × 径B	径W × 径S × 径B					径W × 径S × 径B	径W × 径S × 径B				
347	35 × 33 × 6		○		南東城南端	406	19 × 19 × 20	□			南東城北端	464	20 × 23 × 47	□			南東城北端	
348	29 × 32 × 17		○		南東城南端	407	27 × 25 × 18	□			南東城北端	465	21 × 16 × 15	□			南東城北端	
349	32 × 34 × 18		○		南東城南端	408	36 × 27 × 33	□			南東城北端	466	23 × 18 × 51	□			南東城北端	
350	19 × 20 × 23		□		南東城北端	409	23 × 29 × 32	□			南東城北端	467	34 × 28 × 13	□			南東城北端	
351	23 × 24 × 25		□		南東城北端	410	(18) × 16 × 32	□			南東城北端	468	17 × 19 × 37	□			南東城北端	
352	11 × 14 × 6		□		南東城北端	411	34 × 40 × 16	○			南東城北端	469	15 × 18 × 12	□			南東城北端	
353	16 × 23 × 20		□		南東城北端	412	(16) × 13 × 15	□			南東城北端	470	39 × 28 × 2	□			南東城北端	
354	18 × 20 × 29		○		南東城北端	413	23 × 30 × 36	□			南東城北端	471	26 × 22 × 3	□			南東城北端	
355	23 × 20 × 21		□		南東城北端	414	33 × 35 × 29	□			南東城北端	472	20 × 27 × 5	□			南東城北端	
356	24 × 21 × 21		□		南東城北端	415	19 × 25 × 21	○			南東城北端	473	35 × 47 × 6	○			南東城北端	
357	(26) × 26 × 27		□		南東城北端	416	20 × 20 × 1	○			南東城北端	474	10 × 13 × 20	□			南東城北端	
358	42 × 32 × 21		○		南東城北端	417	18 × 18 × 32	○			南東城北端	475	18 × 17 × 24	□			南東城北端	
359	20 × 30 × 23		□		南東城北端	418	20 × 21 × 23	□			南東城北端	476	19 × 22 × 39	□			南東城北端	
360	20 × 15 × 3		□		南東城北端	419	30 × 33 × 32	□			南東城北端	477	19 × 16 × 38	□			南東城北端	
361	28 × 22 × 9		○		南東城北端	420	21 × 23 × 37	□			南東城北端	478	20 × 23 × 12	□			南東城北端	
362	31 × 37 × 14		○		南東城北端	421	37 × 36 × 33	□			南東城北端	479	35 × 28 × 6	□			南東城北端	
363	13 × 17 × 9		○		南東城北端	422	30 × 28 × 7	○			南東城北端	480	20 × 27 × 4	□			南東城北端	
364	21 × 31 × 30		□		南東城北端	423	23 × 32 × 6	○			南東城北端	481	14 × 16 × 1	□			南東城北端	
365	33 × 30 × 30		○		南東城北端	424	9 × 9 × 2	○			南東城北端	482	30 × 32 × 17	○			南東城北端	
366	33 × 35 × 38		○		南東城北端	425	22 × 30 × 22	□			南東城北端	483	17 × 25 × 7	○			南東城北端	
367	25 × 27 × 32		□		南東城北端	426	50 × 47 × 43	○			南東城北端	484	14 × 16 × 7	□			南東城北端	
368	21 × 30 × 24		○		南東城北端	427	32 × 32 × 43	□			南東城北端	485	22 × 24 × 7	○			南東城北端	
369	16 × 18 × 6		□		南東城北端	428	16 × 18 × 9	○			南東城北端	486	27 × 38 × 49	○			南東城北端	
370	18 × (25) × 23		□		南東城北端	429	20 × 27 × 20	○			南東城北端	487	29 × 25 × 33	□			南東城北端	
371	17 × (15) × 6		□		南東城北端	430	17 × 30 × 25	○			南東城北端	488	(25) × 30 × 41	□			南東城北端	
372	15 × 12 × 4		□		南東城北端	431	44 × 43 × 30	○			南東城北端	489	28 × 24 × 19	○			南東城北端	
373	16 × 13 × 13		□		南東城北端	432	20 × 25 × 30	○			南東城北端	490	17 × 16 × 21	□			中城中南端	
374	11 × 15 × 7		□		南東城北端	433	20 × 28 × 25	○			南東城北端	491	22 × 23 × 11	□			南東城北端	
375	22 × 17 × 6		□		南東城北端	434	20 × 20 × 31	□			南東城北端	492	22 × 24 × 23	□			中城中南端	
376	20 × 20 × 31		□		南東城北端	435	22 × 20 × 19	○			南東城北端	493	24 × 39 × 43	□			中城中南端	
377	(15) × 14 × 6		○		南東城北端	436	28 × 28 × 64	□			南東城北端	494	17 × 16 × 24	□			南東城北端	
378	23 × 27 × 45		□		南東城北端	437	36 × 43 × 34	○			南東城北端	495	7 × 9 × 23	○			南東城北端	
379	27 × 22 × 28		□		南東城北端	438	-11 × -17 × -	○			南東城北端	496	15 × 17 × 30	□			南東城北端	
380	15 × 22 × 6		□		南東城北端	439	(21) × 37 × 24	□			南東城北端	497	21 × 25 × 61	□			南東城北端	
381	28 × 32 × 49		○		南東城北端	440	18 × 26 × 17	□			南東城北端	498	20 × 17 × 42	○			南東城北端	
382	10 × 13 × 6		○		南東城北端	441	25 × 23 × 19	□			南東城北端	499	23 × 26 × 28	□			南東城北端	
383	17 × 20 × 5		□		南東城北端	442	29 × 20 × 5	○			南東城北端	500	21 × 17 × 4	□			中城中南端	
384	25 × 26 × 26		□		南東城北端	443	20 × 24 × 15	□			南東城北端	501	31 × 28 × 8	○			中城中南端	
385	27 × 31 × 18		□		南東城北端	444	25 × 41 × 22	○			南東城北端	502	32 × 37 × 11	□			中城中南端	
386	28 × 33 × 54		□		南東城北端	445	19 × (15) × 47	□			南東城北端	503	34 × 36 × 11	□			中城中南端	
387	25 × 22 × 33		□		南東城北端	446	36 × 50 × 47	○			南東城北端	504	19 × (16) × 4	□			南東城北端	
388	16 × 21 × 30		○		南東城北端	447	17 × (10) × 52	□			南東城北端	505	30 × 27 × 18	□			南東城北端	
389	25 × 23 × 35		□		南東城北端	448	43 × 35 × 35	□			南東城北端	506	23 × 21 × 22	□			中城中南端	
390	15 × 13 × 124		□		南東城北端	449	16 × 10 × 16	□			南東城北端	507	24 × 23 × 58	□			中城中南端	
391	30 × 31 × 11		□		南東城北端	450	23 × 27 × 60	□			南東城北端	508	32 × 24 × 19	□			南東城北端	
392	30 × 31 × 11		□		南東城北端	451	23 × 23 × 34	□			南東城北端	509	17 × 16 × 32	○			中城中南端	
393	19 × 25 × 14		○		南東城北端	452	28 × 26 × 13	□			南東城北端	510	20 × 24 × 18	○			南東城北端	
394	27 × 33 × 37		□		南東城北端	453	21 × 27 × 25	□			南東城北端	511	28 × 30 × 20	□			中城中南端	
395	23 × 27 × 47		□		南東城北端	454	(6) × 14 × 2	□			南東城北端	512	11 × 14 × 7	□			中城中南端	
396	9 × 11 × 13		□		南東城北端	455	17 × 20 × 8	□			南東城北端	513	16 × 17 × 12	□			中城中南端	
397	30 × 28 × 42		□		南東城北端	456	18 × 23 × 24	□			南東城北端	514	15 × 21 × 2	□			中城中南端	
398	19 × 20 × 9		□		南東城北端	457	26 × 17 × 7	○			南東城北端	515	15 × 16 × 2	□			中城中南端	
399	25 × 30 × 37		□		南東城北端	458	17 × 16 × 45	□			南東城北端	516	25 × 18 × 10	□			中城中南端	
400	26 × 30 × 31		□		南東城北端	459	23 × 24 × 17	□			南東城北端	517	33 × 32 × 6	○			中城中南端	
401	(10) × 15 × 31		□		南東城北端	460	16 × 27 × 52	□			南東城北端	518	48 × 35 × 11	□			中城中南端	
402	24 × 23 × 16		□		南東城北端	461	22 × 28 × 6	□			南東城北端	519	36 × 30 × 10	□			中城中南端	
403	13 × (16) × 20		□		南東城北端	462	31 × 22 × 31	○			南東城北端	520	40 × 28 × 19	○			中城中南端	
404	21 × 24 × 36		□		南東城北端	463	(8) × 17 × 15	□			南東城北端	521	23 × 18 × 12	○			中城中南端	
405	21 × 18 × 32		□		南東城北端													

第55表 3区1面屋敷遺構内ピット一覧(その3)

遺構一覧

No.	柱 穴		形跡	礎石	機軸区域	No.	柱 穴		形跡	礎石	機軸区域	No.	柱 穴		形跡	礎石	機軸区域
	柱W × 柱NS × 深さ	穴					柱W × 柱NS × 深さ	穴					柱W × 柱NS × 深さ	穴			
522	14 × 15 × 5	○			中城中部	582	31 × 31 × 50	□			中城中部	639	21 × 24 × 25	○			中城中部
523	119 × 24 × 14	□			中城中部	583	40 × 129 × 31	□			中城中部	640	12 × 12 × 19	○			中城中部
524	32 × 28 × 17	□			中城中部	584	30 × 25 × 54	□			中城中部	641	--- × --- × ---				中城中部
526	24 × 37 × 8	○			中城中部	585	25 × 31 × 17	○			中城中部	642	41 × 37 × 48	□	○		中城中部
527	24 × 28 × 47	□			中城中部	586	22 × 39 × 41	□			中城中部	643	22 × 17 × 7	□			中城中部
528	27 × 24 × 7	○			中城中部	587	32 × 44 × 46	○	○		中城中部	644	18 × 15 × 4	□			中城中部
529	16 × 17 × 6	○			中城中部	588	118 × 18 × 10	□			中城中部	645	17 × 30 × 10	□			中城中部
530	24 × 24 × 43	○			中城中部	589	29 × 29 × 20	□			中城中部	646	20 × 26 × 43	○			中城中部
531	36 × 49 × 7	○			中城中部	590	26 × 28 × 36	□			中城中部	647	36 × 35 × 51	□			中城中部
532	20 × 16 × 12	□			中城中部	591	27 × 31 × 31	○			中城中部	648	18 × 18 × 7	○			中城中部
533	16 × 15 × 7	□			中城中部	592	23 × 19 × 20	□			中城中部	649	15 × 13 × 43	○			中城中部
534	17 × 21 × 15	□			中城中部	593	31 × 28 × 36	○			中城中部	650	30 × 47 × 29	□			中城中部
535	45 × 23 × 19	□			中城中部	594	38 × 43 × 44	□			中城中部	651	42 × 45 × 55	□			中城中部
536	31 × 17 × 6	○			中城中部	595	32 × 120 × 28	○			中城中部	652	33 × 57 × 49	□			中城中部
537	28 × 32 × 12	○			中城中部	596	29 × 31 × 47	□			中城中部	653	29 × 38 × 36	□			中城中部
538	35 × 46 × 52	○			中城西部	597	18 × 18 × 11	○			中城西部	654	239 × 34 ×	□			中城西部
539	20 × 52 × 9	○			中城西部	598	25 × 18 × 19	□			中城西部	656	26 × 24 × 66	○	○		中城西部
540	23 × 20 × 26	□			中城西部	599	18 × 18 × 22	○			中城中部	657	45 × 63 × 44	□			中城中部
541	28 × 28 × 27	○			中城西部	600	50 × 38 × 33	○	○		中城西部	658	32 × 27 × 23	□			中城西部
542	20 × 25 × 31	□			中城西部	601	30 × 44 × 38	□			中城西部	659	24 × 26 × 50	□			中城西部
543	18 × 23 × 19	□			中城西部	602	53 × 67 × 30	○			中城西部	660	33 × 30 × 49	□			中城西部
544	26 × 20 × 25	○			中城西部	603	41 × 38 × 36	□			中城西部	661	17 × 14 × 27	□			中城西部
545	17 × 18 × 14	□			中城西部	604	40 × 118 × 31	○			中城西部	662	44 × 53 × 14	□			中城西部
546	22 × 23 × 27	□			中城西部	605	37 × 50 × 22	□			中城西部	663	18 × 23 × 25	○			中城西部
547	19 × 18 × 8	□			中城西部	606	28 × 41 × 21	□	○		中城中部	664	20 × 29 × 43	□			中城中部
548	22 × 17 × 26	□			中城西部	607	35 × 23 ×	○			中城西部	665	7 × 10 × 13	□			中城西部
549	25 × 26 × 22	○			中城西部	608	45 × 35 ×	○	○		中城西部	666	80 × 40 ×	○			中城西部
550	27 × 30 × 30	□			中城西部	609	23 × 32 × 34	□			中城西部	667	43 × --- ×	○			中城西部
551	30 × 33 × 44	□			中城西部	610	19 × 30 × 34	□			中城西部	668	20 × 24 × 30	○			中城西部
552	22 × 25 × 12	□			中城西部	611	39 × 36 × 18	○	○		中城西部	669	53 × 38 × 13	○			中城西部
553	20 × 19 × 13	○			中城西部	612	35 × 42 × 52	○			中城西部	670	38 × 42 × 21	○	○		中城西部
554	25 × 32 × 63	○			中城中部	613	18 × 23 × 10	□			中城中部	671	47 × 43 × 27	□			中城中部
555	20 × 29 × 57	□			中城中部	614	25 × 27 × 39	□			中城西部	672	21 × 17 × 21	□			中城西部
556	12 × 17 × 7	○			中城中部	615	37 × 49 × 47	□			中城中部	673	29 × 30 × 24	□			中城中部
557	30 × 44 × 35	□			中城中部	616	33 × 25 × 21	□			中城中部	674	28 × 34 × 19	○			中城中部
558	25 × 40 × 30	□			中城中部	617	30 × 30 × 63	□			中城中部	675	37 × 38 × 61	□	○		中城中部
559	51 × 32 × 47	□			中城中部	618	45 × 42 × 43	□			中城西部	677	24 × 30 × 27	□			中城西部
560	16 × 20 × 25	□	○		中城中部	619	27 × 21 × 46	□			中城中部	678	48 × 27 × 26	□			中城中部
561	220 × 141 × 19	○			中城中部	620	220 × 62 × 33	□			中城中部	679	11 × 13 × 4	□			中城中部
562	36 × 280 × 62	□			中城中部	621	180 × 18 × 10	□			中城西部	680	30 × 25 × 35	○			中城西部
563	25 × 33 × 16	□			中城中部	622	11 × 13 × 8	□			中城西部	681	31 × 25 × 23	□			中城西部
564	43 × 37 × 34	□			中城中部	623	19 × 130 × 13	□			中城西部	682	13 × 16 × 4	□			中城西部
565	29 × 33 × 15	□			中城中部	624	35 × 33 × 36	□			中城西部	683	8 × 7 × 11	□			中城西部
567	27 × 31 × 40	○			中城中部	625	141 × 17 × 11	□			中城西部	684	45 × 28 × 37	○			中城西部
568	28 × 31 × 33	○			中城中部	626	27 × 17 × 30	□			中城西部	685	30 × 29 × 48	□			中城西部
569	20 × 22 × 13	□			中城中部	627A	34 × 26 × 49	○			中城中部	686	21 × 24 × 45	□	○		中城中部
570	47 × 40 ×	□			中城中部	627B	36 × 28 × 44	○	○		中城西部	687	25 × 26 × 43	□			中城西部
571	130 × 31 × 26	○			中城中部	628	21 × 22 × 9	□			中城西部	688	30 × 30 × 35	□			中城西部
572	25 × 137 × 25	□			中城中部	629	13 × 12 × 5	□			中城西部	689	25 × 18 × 47	□			中城西部
573	20 × 21 × 19	□			中城中部	630	12 × 13 × 2	○			中城西部	690	43 × 50 × 34	□			中城西部
574	24 × 22 × 15	○			中城西部	631	37 × 35 × 39	□			中城西部	691	140 × 35 × 49	□			中城西部
575	23 × 26 × 46	□			中城西部	632	19 × 18 × 25	○			中城西部	692	41 × 30 × 24	□			中城西部
576	26 × 26 × 6	○			南東城北部	633	23 × 15 × 18	○			中城中部	693	38 × 31 × 33	□	○		中城中部
577	12 × 22 ×	□			中城中部	634	17 × 15 × 15	□			中城西部	694	33 × 40 × 49	□			中城西部
578	33 × 43 × 33	○			中城中部	635	17 × 25 × 37	□			中城西部	695	20 × 29 × 19	□			中城西部
579	20 × 19 × 10	□			中城中部	636	30 × 53 × 52	□			中城西部	696	38 × 26 × 32	□			中城西部
580	30 × 38 × 57	□			中城中部	637	20 × 24 × 30	□			中城西部	697	34 × 28 × 31	□			中城西部
581	12 × 18 × 20	□			中城中部	638	30 × 24 × 52	□			中城西部	698	41 × 37 × 46	□			中城西部

第56表 3区1面屋敷遺構内ピット一覧(その4)



No	柱 穴		形態	礎石	欄柵区域	No	柱 穴		形態	礎石	欄柵区域	No	柱 穴		形態	礎石	欄柵区域
	径W × 径S × 径B	径					径W × 径S × 径B	径					径W × 径S × 径B	径			
699	32 × 43 × 36	□			中城西南部	758	30 × (110) × 13	□			中城西部	818	17 × 17 × 11	□			中城西部
700	13 × 18 × 40	□			中城西南部	759	48 × (56) × 30	○			中城西部	819	11 × 35 × 3	□			中城西部
701	19 × 22 × 16	□			中城西南部	760	(19) × 20 × 39	○			中城西部	820	27 × 35 × 13	□	○		中城西部
702	(16) × 20 × 23	□			中城西南部	761	(20) × 26 × 39	□			中城西部	821	31 × 44 × 35	○			中城西部
703	26 × 42 × 33	□			中城西南部	762	20 × 27 × 29	○			中城西部	822	16 × 30 × 35	○			中城西部
704	20 × 16 × 12	□			中城西南部	763	36 × 60 × 11	□	○		中城西部	823	23 × 30 × 23	□			中城西部
705	18 × 22 × 17	□			中城西南部	764	21 × 17 × 46	□			中城西南部	824	25 × (40) × 19	□			中城西部
706	29 × 34 × 23	○			中城西南部	766	9 × 8 × 16	□			中城中央部	825	23 × 26 × 27	○			中城西部
707	20 × 30 × 26	□			中城西南部	767	20 × 20 × 7	□			中城中央部	826	25 × 31 × 7	□			中城西部
708	18 × 20 × 18	□	○		中城西南部	768	(16) × 15 × 29	○			中城中央部	827	20 × 20 × 6	○			中城西部
709	32 × (23) × 19	□	○		中城西南部	769	18 × 18 × 29	□			中城中央部	828	22 × 25 × 4	□			中城西部
710	31 × 31 × 25	□			中城西南部	770	21 × 21 × 29	□			中城中央部	829	(16) × 19 × 26	□			中城西部
711	39 × 56 × 50	○			中城西南部	771	16 × 15 × 16	○			中城中央部	830	29 × (30) × 25	□			中城西部
712	47 × 54 × 35	○			中城西南部	772	17 × 15 × 19	□			中城西南部	831	14 × (21) × 31	○			中城西部
713	13 × 23 × 17	□			中城西南部	773	22 × 35 × 41	□			中城西部	832	23 × 33 × 28	□			中城西部
714	(35) × 24 × 14	○			中城西南部	774	22 × 33 × 14	□			中城西南部	833	20 × 18 × 4	○			中城西部
715	24 × 52 × 9	○	○		中城西南部	775	35 × 42 × 44	□			中城西部	834	20 × 38 × 38	□			中城西部
716	47 × 45 × 36	□			中城西南部	776	23 × (20) × 10	□			中城西南部	835	18 × 34 × 16	□			中城西部
717	31 × 30 × 43	○			中城西南部	777	16 × 11 × 12	□			中城西南部	836	29 × 34 × 35	○			中城西部
718	31 × 30 × 66	□			中城西南部	778	12 × 17 × 10	□			中城中央部	838	35 × 35 × 29	○			中城西部
719	26 × 31 × 37	□			中城西南部	779	18 × 15 × 8	□			中城中央部	839	25 × 31 × 10	○			中城西部
720	23 × (25) × 9	□			中城西南部	780	19 × 21 × 27	□			中城中央部	840	(20) × (11) ×	○			中城西南部
721	43 × (45) × 8	□			中城西南部	781	31 × 22 × 10	□			中城中央部	841	34 × 43 × 36	□			中城西部
722	45 × 60 × 14	□			中城西南部	782	16 × (20) ×	□			中城中央部	842	26 × 28 × 16	□	○		中城西部
723	12 × (12) × 5	○			中城西南部	783	22 × 26 × 27	□			中城中央部	843	(35) × 27 × 24	○			中城西部
724	19 × (14) × 5	○			中城西南部	784	22 × 25 × 17	○			中城中央部	844	25 × 25 × 35	○			中城西部
726	(22) × 29 × 14	□			中城西南部	785	(38) × 26 × 25	□			中城西部	845	15 × 15 × 18	○			中城西部
727	36 × 33 × 24	□			中城西南部	786	(36) × 20 × 26	○			中城西南部	846	30 × 27 × 6	□			中城西部
728	42 × 35 × 50	□			中城西南部	787	(33) × 27 × 26	○			中城西部	847	31 × 36 × 40	○			中城西部
729	37 × 40 × 32	□			中城西南部	788	35 × 44 × 33	□			中城中央部	849	19 × 20 × 34	□			中城西部
730	(32) × 31 × 19	□			中城西南部	789	32 × 45 × 22	□			中城中央部	850	22 × 22 × 31	□			中城西部
731	30 × 25 × 27	○			中城西南部	790	20 × 23 × 28	□			中城中央部	851	(25) × 25 × 30	○			中城西部
732	27 × (25) × 21	□			中城西南部	791	16 × 15 × 13	□			中城西南部	852	34 × (35) × 31	○			中城西部
733	20 × 25 × 20	□			中城西南部	792	12 × 14 × 18	□			中城中央部	853	37 × (27) × 33	○	○		中城西部
734	33 × 22 × 18	□			中城西南部	793	26 × 28 × 24	○			中城中央部	854	33 × (46) × 25	□			中城西部
735	32 × (19) × 35	□			中城西南部	794	21 × 11 × 15	○			中城中央部	855	32 × 27 × 49	○			中城西部
736	40 × 37 × 52	□			中城西南部	795	33 × 26 × 19	□			中城中央部	856	20 × 23 × 20	○			中城西部
737	37 × (24) ×	□	○		中城西南部	796	29 × 19 × 30	□			中城中央部	857	26 × 25 × 26	○	○		中城西部
738	(60) × 43 × 39	□			中城西南部	797	38 × (23) × 31	□			中城中央部	858	23 × (31) × 35	○			中城西部
739	25 × 25 × 19	○	○		中城西部	798	(10) × 24 × 22	□			中城中央部	859	22 × 20 ×	□			中城西部
740	27 × 27 × 13	□			中城西部	799	36 × 13 × 25	□			中城中央部	860	(25) × (23) ×	□			中城西部
741	25 × 22 × 9	○			中城西部	800	30 × (17) × 36	□			中城中央部	861	40 × 44 × 21	○			中城西部
742	14 × 21 × 14	□			中城西部	801	30 × (15) × 36	□			中城中央部	863	18 × 17 × 29	○			中城西部
743	17 × (23) × 12	□			中城西部	802	24 × 14 × 14	□			中城中央部	864	17 × 45 × 17	□			中城西部
744	20 × 19 × 27	□			中城西部	803	30 × 26 × 29	□			中城西南部	865	21 × 36 × 14	□	○		中城西部
745	27 × 23 × 15	□			中城西部	804	26 × 42 × 8	○			中城西南部	866	17 × 19 × 23	○			中城西部
746	16 × 19 × 13	□			中城西部	805	38 × (23) × 35	□			中城中央部	867	22 × 25 × 22	○			中城西部
747	22 × 25 × 44	○			中城西部	806	(24) × (46) × 39	□			中城中央部	868	13 × 19 × 32	□			中城西部
748	(28) × (50) × 18	□			中城西部	807	(50) × 45 × 66	○			中城中央部	869	21 × 31 × 27	□			中城西部
749	32 × 31 × 40	○	○		中城西部	808	30 × 39 × 18	□			中城西部	870	(33) × 28 × 27	○			中城西部
750	(40) × (36) × 38	□			中城西部	810	22 × 23 × 36	○			中城西部	871	33 × 31 × 31	□			中城西部
751	22 × 24 × 20	□			中城西部	811	18 × 21 × 27	□			中城西部	872	25 × 37 × 36	□	○		中城西部
752	25 × 25 × 46	□			中城西部	812	35 × (36) × 35	○			中城西部	873	(23) × 22 × 32	□			中城西部
753	18 × 23 × 21	○			中城西部	813	23 × 33 × 11	□			中城西部	874	20 × 21 × 36	○			中城西部
754	(33) × 23 × 21	□			中城西部	814	22 × 35 × 29	○			中城西部	875	35 × 36 × 37	□			中城西部
755	21 × 22 × 40	□			中城西部	815	20 × 26 × 15	○			中城西部	876	32 × 24 × 37	□			中城西部
756	19 × (23) × 12	□			中城西部	816	(25) × 25 × 20	○			中城西部	877	32 × (30) × 15	□			中城西部
757	10 × 11 × 3	□			中城西部	817	(12) × 18 × 20	□			中城西部	878	23 × (11) × 10	□			中城西部

第57表 3区1面屋敷道構内ピット一覽 (その5)

遺構一覧

No.	柱 穴			形跡	礎石	欄越区域	No.	柱 穴			形跡	礎石	欄越区域	No.	柱 穴			形跡	礎石	欄越区域
	柱W × 柱NS × 柱S	柱W × 柱NS × 柱S	柱W × 柱NS × 柱S					柱W × 柱NS × 柱S	柱W × 柱NS × 柱S	柱W × 柱NS × 柱S					柱W × 柱NS × 柱S	柱W × 柱NS × 柱S	柱W × 柱NS × 柱S			
879	31 × 29 × 38			□		中城西部	937	(50) × 36 × 51	○	○	中城中央部	995	25 × 25 × 26	○		中城中央部				
880	15 × 17 × 5	○				中城西部	938	36 × 42 × 23	○	○	中城中央部	996	(35) × (20) × 12	□		中城中央部				
881	31 × 29 × 50	□				中城中央部	939	(39) × (31) × 30	□		中城中央部	997	36 × 52 × 60	○		中城中央部				
882	45 × 42 × 45	□				中城中央部	940	(22) × 38 × 31	□		中城中央部	998	(25) × (16) × 41	□		中城中央部				
883	28 × 30 × 69	□				中城中央部	941	54 × 28 × 21	□		中城中央部	999	(10) × 38 ×	□		中城中央部				
884	30 × 31 × 42	□	○			中城中央部	942	(26) × (14) × 4	□	○	中城中央部	1000	37 × 32 × 42	□		中城中央部				
885	24 × 24 × 32	□				中城中央部	943	31 × 28 × 38	□	○	中城中央部	1001	(23) × (18) × 1	○		中城中央部				
886	21 × 20 × 35	□				中城中央部	944	18 × 29 × 30	□	○	中城中央部	1002	15 × 7 × 6	□		中城中央部				
887	22 × 20 × 21	□				中城中央部	945	(34) × 38 × 32	□		中城中央部	1003	24 × 20 × 8	□		中城中央部				
888	53 × 43 × 25	□				中城中央部	946	15 × 24 × 19	□		中城中央部	1004	19 × 17 ×	○		中城中央部				
889	39 × 22 × 46	□	○			中城中央部	947	32 × 38 × 14	□		中城中央部	1005	41 × 33 × 38	□		中城中央部				
890	37 × 33 × 41	□				中城中央部	948	(28) × 46 × 16	□		中城中央部	1006	16 × 20 × 22	□		中城中央部				
891	41 × 37 × 41	□				中城中央部	949	39 × (35) × 32	□		中城中央部	1007	(15) × (23) × 24	□		中城中央部				
892	(28) × 28 × 24	□				中城中央部	950	(38) × 39 × 45	□		中城中央部	1008	51 × 50 × 17	□		中城中央部				
893	45 × 52 × 36	□	○			中城中央部	951	35 × 41 × 53	○		中城中央部	1009	19 × 38 × 12	□		中城中央部				
894	37 × 36 × 11	□				中城中央部	952	33 × 29 × 27	□		中城中央部	1010	29 × 34 × 38	○		中城中央部				
895	28 × (20) × 6	□				中城中央部	953	18 × 11 × 6	□		中城中央部	1011	16 × 18 × 21	○		中城中央部				
896	17 × 25 × 19	□				中城中央部	954	19 × 18 × 27	□		中城中央部	1012	(42) × (30) × 49	○		中城中央部				
897	(27) × 32 × 12	□				中城中央部	955	27 × 27 × 35	□		中城中央部	1013	34 × (25) × 14	□		中城中央部				
898	(22) × 34 × 37	□				中城中央部	956	23 × 27 × 22	□		中城中央部	1014	33 × 45 × 52	○		中城中央部				
899	33 × 35 × 34	□	○			中城中央部	957	29 × 44 × 44	□		中城中央部	1015	17 × (24) × 6	□		中城中央部				
900	29 × 33 × 18	□				中城中央部	958	(20) × (28) × 14	□		中城中央部	1016	16 × 19 × 10	□		中城中央部				
901	26 × 26 × 15	□				中城中央部	959	25 × (34) × 42	□		中城中央部	1017	(20) × 17 × 12	□		中城中央部				
902	20 × 23 × 26	□				中城中央部	960	50 × 68 × 61	□		中城中央部	1018	52 × 54 × 19	□		中城中央部				
903	(42) × (17) × 22	□				中城中央部	961	(12) × 29 × 28	□		中城中央部	1019	(18) × 23 × 6	□		中城中央部				
904	--- × --- × ---	□				中城中央部	962	(29) × 41 ×	□		中城中央部	1020	33 × 41 × 52	□		中城中央部				
905	(20) × --- × ---	□				中城中央部	963	34 × (41) × 19	□	○	中城中央部	1021	35 × 32 × 31	○		中城中央部				
906	41 × 45 × 37	□				中城中央部	964	(14) × 29 × 17	□		中城中央部	1022	13 × 13 × 22	□		中城中央部				
907	(20) × (32) × 56	□				中城中央部	965	(18) × (15) ×	□		中城中央部	1023	27 × 21 × 26	□		中城中央部				
908	(18) × 18 × 26	□				中城中央部	966	53 × 27 × 36	□		中城中央部	1024	33 × 36 × 37	□		中城中央部				
909	(20) × (22) × 13	□				中城中央部	967	(32) × (26) × 25	□		中城中央部	1025	(25) × (30) × 69	□		中城中央部				
910	23 × 33 × 11	□				中城中央部	968	44 × (50) × 28	□		中城中央部	1026	(34) × 35 × 34	□		中城中央部				
911	21 × (8) × 11	□				中城中央部	969	34 × 37 × 25	□	○	中城中央部	1027	(20) × 44 × 34	□		中城中央部				
912	25 × 24 × 36	□				中城中央部	970	(34) × (41) × 17	□		中城中央部	1028	(37) × (37) × 42	□		中城中央部				
913	(20) × 15 × 4	□				中城中央部	971	35 × 30 × 39	□		中城中央部	1029	(36) × (30) × 42	□		中城中央部				
914	26 × (16) × 62	□				中城中央部	972	25 × 27 × 41	□		中城中央部	1030	(12) × (22) ×	□		中城中央部				
915	36 × (14) × 57	□				中城中央部	973	48 × 69 × 35	□		中城中央部	1031	(25) × 25 × 58	□		中城中央部				
916	17 × 16 × 14	□				中城中央部	974	36 × 24 × 53	□		中城中央部	1032	(25) × (20) × 17	□		中城中央部				
917	14 × 18 × 13	□				中城中央部	975	21 × 18 × 33	□		中城中央部	1033	20 × (25) × 9	□		中城中央部				
918	28 × (30) × 14	□				中城中央部	976	(21) × 23 × 18	□		中城中央部	1034	20 × 11 × 10	□		中城中央部				
919	32 × 37 × 37	□				中城中央部	977	30 × 33 × 25	□		中城中央部	1035A	(35) × 35 × 14	□	○	中城中央部				
920	33 × 29 × 31	□				中城中央部	978	33 × 27 × 23	□		中城中央部	1035B	(40) × 33 × 36	□		中城中央部				
921	40 × (55) × 44	□	○			中城中央部	979	18 × 31 ×	□		中城中央部	1036	(36) × (47) × 36	□		中城中央部				
922	(13) × (15) × 10	□				中城中央部	980	41 × 45 × 38	□		中城中央部	1037	20 × 30 × 36	□		中城中央部				
923	(14) × (11) × 22	□				中城中央部	981	25 × 19 × 13	□		中城中央部	1038	(27) × (48) × 36	□		中城中央部				
924	28 × 28 × 38	□				中城中央部	982	17 × 29 × 25	□		中城中央部	1039	12 × 15 × 17	□		中城中央部				
925	18 × 15 × 10	□				中城中央部	983	33 × 20 × 16	□		中城中央部	1040	(12) × (32) × 5	□		中城中央部				
926	12 × 19 × 17	□				中城中央部	984	(38) × 44 × 38	□	○	中城中央部	1041	23 × (18) × 5	□		中城中央部				
927	25 × 29 × 10	□				中城中央部	985	43 × 33 × 57	□		中城中央部	1042	30 × 38 × 40	□		中城中央部				
928	36 × 32 × 41	□				中城中央部	986	(20) × (18) ×	□	○	中城中央部	1043	(34) × 65 × 15	□		中城中央部				
929	21 × 27 × 40	□				中城中央部	987	53 × 37 × 24	□	○	中城中央部	1044	(12) × (2) ×	□		中城中央部				
930	22 × 30 × 6	□				中城中央部	988	39 × 29 × 45	□		中城中央部	1045	37 × 37 × 45	□		中城中央部				
931	13 × 15 × 17	□				中城中央部	989	20 × 29 × 34	□		中城中央部	1046	38 × 45 × 45	□		中城中央部				
932	33 × 24 × 34	□				中城中央部	990	25 × 26 × 24	□		中城中央部	1047	17 × 27 × 6	□		中城中央部				
933	19 × 18 × 17	□				中城中央部	991	21 × 29 × 22	□		中城中央部	1048	12 × (38) × 19	□		中城中央部				
934	22 × 26 × 18	□				中城中央部	992	33 × 25 × 13	□		中城中央部	1049	23 × 26 × 12	□		中城中央部				
935	24 × (24) × 16	□				中城中央部	993	13 × 17 × 8	□		中城中央部	1050	25 × 22 × 7	□		中城中央部				
936	42 × (27) × 29	□	○			中城中央部	994	13 × 16 × 6	□		中城中央部	1051	19 × 25 ×	□		中城中央部				

第58表 3区1面屋敷遺構内ピット一覧 (その6)

No	柱 穴		形態	礎石	概略区域	No	柱 穴		形態	礎石	概略区域	No	柱 穴		形態	礎石	概略区域	
	径	深さ					径	深さ					径	深さ				径
1052	33	40	× 47	○	中城中央部	1111	33	25	× 31	○	中城中央部	1172	(11) × (17)	× 15	□	中城西部		
1053	18	30	× 14	□	中城中央部	1112	14	20	× 37	□	中城中央部	1173	(20) × (21)	× 18	○	中城西部		
1054	(20) × (45)	× 34	□	○	中城中央部	1113	(28) × (34)	× 29	□	○	中城中央部	1174	(25) × (19)	× 24	○	中城西部		
1055	(30) × 37	× 25	□	□	中城中央部	1114	(17) × (30)	× 34	□	□	中城中央部	1175	(31) × (20)	× 15	□	中城西部		
1056	43	33	× 56	□	中城中央部	1115	30	32	× 34	□	中城中央部	1176	(14) × (10)	× 26	□	中城西部		
1057	(13) × 37	× 26	□	□	中城中央部	1116	35	(24)	× 29	○	中城中央部	1177	(30) × (34)	× 28	□	中城西部		
1058	(20) × (40)	× 30	○	○	中城中央部	1117	21	21	× 40	□	中城中央部	1178	17	19	× 32	○	中城西部	
1059	17	25	× 24	○	中城中央部	1118	(26) × (14)	× 21	○	○	中城中央部	1179	18	19	× 20	□	中城西部	
1060	12	15	× 3	○	中城西部	1119	19	18	× 40	○	中城中央部	1180	19	17	× 34	○	中城西部	
1061	13	16	× 13	○	中城西部	1120	14	17	× 22	○	中城中央部	1181	15	14	× 19	○	中城西部	
1062	28	32	× 25	○	中城西部	1121	(8) × 18	× 8	○	○	中城中央部	1182	22	27	× 41	□	中城西部	
1063	17	16	× 21	□	中城西部	1122	(20) × 19	× 21	□	□	中城中央部	1183	20	23	× 14	○	中城西部	
1064	40	51	× 31	○	中城西部	1123	41	40	× 42	○	○	中城中央部	1184	23	21	× 59	□	中城西部
1065	24	27	× 10	○	中城西部	1125	28	22	× 28	□	□	中城中央部	1185	34	31	× 58	○	中城西部
1066	38	32	× 48	□	中城西部	1127	24	(22)	× 22	○	○	中城中央部	1186	31	27	× 74	○	中城西部
1067	33	40	× 27	□	中城西部	1129	14	17	× 23	○	中城中央部	1187	33	29	× 31	○	中城西部	
1068	32	42	× 38	□	中城西部	1130	11	14	× 23	○	中城中央部	1188	27	(15)	× 3	○	中城西部	
1069	(22) × 25	× 48	○	○	中城西部	1131	18	26	× 26	○	中城中央部	1189	34	(13)	× 19	○	中城西部	
1070	(16) × 26	× 34	○	○	中城西部	1132	(25) × (25)	× 15	□	□	中城西部	1190	38	23	× 48	○	中城西部	
1071	(20) × 26	× 27	○	○	中城西部	1133	21	21	× 23	□	□	中城西部	1191	25	24	× 36	○	中城西部
1072	38	44	× 51	□	中城西部	1134	48	32	× 14	□	□	中城西部	1192	25	(34)	× 15	□	中城西北部
1074	15	22	× 21	□	中城西部	1135	36	39	× 34	○	○	中城西部	1193	41	41	× 47	○	中城西北部
1075	21	22	× 22	□	中城西部	1136	15	19	× 28	○	中城西部	1194	38	48	× 24	○	中城西北部	
1076	26	29	× 22	□	中城西部	1137	33	35	× 33	○	○	中城西部	1195	(42) × (31)	× 15	○	中城西北部	
1077	25	(28)	× 17	□	中城西部	1138	30	38	× 50	□	□	中城西部	1196	14	22	× 34	○	中城西北部
1078	25	35	× 27	○	中城西部	1139	15	25	× 40	○	中城中央部	1197	33	(40)	× 10	□	中城西北部	
1079	(25) × 45	× 34	○	○	中城西部	1140	34	(36)	× 27	○	○	中城西部	1198	(33) × (30)	× 12	□	中城西北部	
1080	(11) × 22	× 21	□	□	中城西部	1141	(23) × 34	× 20	○	○	中城西部	1199	32	(33)	× 32	□	中城西北部	
1081	16	30	× 34	□	中城西部	1142	34	26	× 32	○	○	中城西部	1200	28	45	× 48	○	中城西北部
1082	17	22	× 32	□	中城西部	1143	28	20	× 21	○	中城西部	1201	25	(24)	× 25	○	中城西北部	
1083	29	30	× 34	○	中城西部	1144	24	18	× 14	○	中城西部	1202	30	(28)	× 26	□	中城西北部	
1084	(25) × 25	× 34	○	○	中城西部	1145	28	28	× 32	○	中城西部	1203	38	40	× 30	□	中城西北部	
1085	25	28	× 32	□	中城西部	1146	22	21	× 28	□	中城西部	1204	(60) × (35)	× 16	□	中城西北部		
1086	30	34	× 31	□	中城西部	1147	21	23	× 25	□	中城西部	1205	25	25	× 26	□	中城西北部	
1087	(25) × 31	× 41	○	○	中城西部	1148	34	29	× 47	○	中城西部	1206	(27) × (30)	× 34	□	中城西北部		
1088	25	25	× 45	○	中城西部	1149	15	25	× 9	○	中城西部	1207	(17) × (18)	× 33	□	中城西北部		
1089	33	34	× 15	○	中城西部	1150	32	34	× 35	□	中城西部	1208	(32) × (18)	× 27	□	中城西北部		
1090	14	19	× 15	□	中城西部	1151	(16) × 18	× 8	□	中城西部	1209	(20) × (22)	× 16	○	中城西北部			
1091	18	23	× 15	□	中城西部	1152	35	30	× 37	□	中城西部	1210	(33) × (34)	× 20	□	中城西北部		
1092	20	28	× 11	□	中城西部	1153	(26) × (35)	× 40	○	中城西部	1211	(25) × (31)	× 45	□	中城西北部			
1093	19	24	× 27	□	中城西部	1154	33	26	× 42	□	中城西部	1212	(15) × (23)	× 27	○	中城西北部		
1094	45	41	× 10	□	中城西部	1155	13	18	× 38	○	中城西部	1213	12	15	× 4	□	中城西北部	
1095	15	19	× 7	□	中城西部	1156	31	23	× 31	□	中城西部	1214	29	23	× 22	□	中城西北部	
1096	13	12	× 8	○	中城西部	1157	13	19	× 15	○	中城西部	1215	15	16	× 30	○	中城西北部	
1097	15	20	× 11	□	中城西部	1158	36	28	× 50	○	中城西部	1216	30	25	× 18	○	中城西北部	
1098	14	19	× 23	□	中城西部	1159	(31) × 57	× 28	□	中城西部	1217	18	25	× 33	○	中城西北部		
1099	18	17	× 31	□	中城西部	1160	23	28	× 43	○	中城西部	1218	(45) × 23	× 15	□	中城西北部		
1100	25	25	× 33	○	中城西部	1161	19	19	× 30	□	中城西部	1219	30	21	× 42	□	中城西北部	
1101	16	20	× 12	○	中城西部	1162	28	26	× 33	□	中城西部	1220	12	14	× 22	○	中城西北部	
1102	(19) × 16	× 17	□	□	中城西部	1163	(20) × 21	× 30	○	中城西部	1221	17	21	× 25	□	中城西北部		
1103	(17) × 19	× 17	□	□	中城西部	1164	19	21	× 42	□	中城西部	1222	27	29	× 34	□	中城西北部	
1104	23	24	× 17	○	中城西部	1165	21	21	× 14	○	中城西部	1223	22	22	× 17	○	中城西北部	
1105	16	18	× 24	○	中城西部	1166	24	(24)	× 31	○	中城西部	1224	(7) × (7)	× 36	○	中城西北部		
1106	37	34	× 47	○	中城西部	1167	18	18	× 25	○	中城西部	1225	31	35	× 22	○	中城西北部	
1107	30	18	× 20	□	中城西部	1168	16	15	× 33	□	中城西部	1226	(54) × (20)	× 30	□	中城西北部		
1108	19	25	× 36	○	中城西部	1169	28	35	× 35	□	中城西部	1227	25	27	× 34	□	中城西北部	
1109	(18) × 20	× 19	○	○	中城西部	1170	25	33	× 42	○	中城西部	1228	33	(25)	× 16	□	中城西北部	
1110	19	19	× 32	□	中城西部	1171	20	(26)	× 16	○	中城西部	1229	(27) × 27	× 30	□	中城西北部		

第59表 3区1面屋敷遺構内ピット一覧(その7)

遺構一覧

No	柱 穴		形跡	礎石	概略区域	No	柱 穴		形跡	礎石	概略区域	No	柱 穴		形跡	礎石	概略区域
	径W × 径S × 深さ						径W × 径S × 深さ						径W × 径S × 深さ				
1230	26 × 22 × 51	○			中城中部	1288	42 × (22) × 67	○			中城西部	1346	22 × (24) × 28	○			北城西部
1231	32 × 33 × 24	□			中城中部	1289	(43) × (22) × 67	○			中城西部	1347	30 × 39 × 16	○			北城西部
1232	29 × 31 × 31	□			中城中部	1290	29 × 35 × 61	○			中城西部	1348	17 × 18 × 24	○			北城西部
1233	29 × 18 × 31	□			中城中部	1291	13 × (15) × 16	○			北城西部	1349	19 × 20 × 13	□			北城西部
1234	(8) × (23) ×	□			中城中部	1292	9 × --- ×	○			中城西部	1350	20 × 29 × 3	○			北城西部
1235	28 × (18) × 26	□			中城中部	1293	(25) × 28 × 24	○			中城西部	1351	11 × 11 × 3	○			北城西部
1236	30 × 25 × 25	□	○		中城中部	1294	23 × 18 × 16	□			北城西部	1352	40 × 49 × 44	□			北城西部
1237	(35) × (20) × 28	○			中城中部	1295	16 × 14 × 31	○			中城西部	1353	29 × 35 × 52	○			北城西部
1238	(18) × (38) × 8	○			中城中部	1296	23 × 29 × 33	○			北城中部	1354	28 × (28) × 18	□			北城西部
1239	(26) × 22 × 17	○			中城中部	1297	42 × 48 × 23	○			中城西部	1355	26 × (25) × 37	□			北城西部
1240	22 × 32 × 39	□	○		中城中部	1298	17 × 30 × 4	□			中城西部	1357	(48) × (50) × 19	□			北城西部
1241	11 × 8 × 6	○			中城中部	1299	11 × 12 × 12	○			中城西部	1358	(23) × (38) × 9	○			北城西部
1242	17 × 12 × 15	□			中城中部	1301	45 × (43) × 37	□			中城西部	1359	43 × 35 × 32	○			北城西部
1243	31 × 32 × 7	□			中城中部	1302	36 × 34 × 57	□			中城西部	1360	24 × 23 × 27	□			北城西部
1244	16 × 22 × 15	○			中城中部	1303	(21) × (30) × 13	○			中城西部	1361	15 × (16) × 4	○			北城西部
1245	10 × 11 × 9	○			中城中部	1304	19 × 17 × 16	○			中城西部	1362	17 × 20 × 17	○			北城西部
1246	35 × 26 × 31	○			中城中部	1305	12 × 15 × 11	○			中城西部	1363	18 × 15 × 10	□			北城西部
1247	14 × 29 × 14	□			中城中央部	1306	17 × 16 × 16	□			中城西部	1364	19 × 19 × 19	□			北城西部
1248	30 × 55 × 38	○			中城中央部	1307	22 × 17 × 15	□			北城西部	1365	22 × (13) × 18	□	○		北城西部
1249	15 × (18) × 9	○			中城中央部	1308	19 × 23 × 25	○			北城西部	1366	23 × (13) × 59	□			北城西部
1250	13 × 17 × 8	□			中城中部	1309	21 × 26 × 18	○			北城西部	1367	25 × 21 × 9	○			北城西部
1251	17 × 22 × 14	○			中城中央部	1310	(6) × 11 × 7	○			北城西部	1368	14 × 21 × 11	□			北城西部
1252	22 × 24 × 20	○			中城中央部	1311	25 × 32 × 46	○			北城西部	1369	29 × 27 × 16	□			北城西部
1253	19 × (14) × 16	○			中城中央部	1312	25 × 23 × 48	○			北城西部	1370	(10) × (19) × 16	□			北城西部
1254	12 × 14 × 9	○			中城中央部	1313	18 × 23 × 19	○			北城西部	1371	(15) × (15) × 37	□			北城西部
1255	10 × 10 × 12	○			中城中央部	1314	(19) × 34 × 28	□			北城西部	1372	(15) × (16) × 32	□			北城西部
1256	28 × 22 × 22	□			中城中央部	1315	(23) × (27) × 27	□			北城西部	1373	(20) × (31) × 30	□			北城西部
1257	24 × 18 × 25	□			中城中央部	1316	38 × 40 × 49	□			北城西部	1374	26 × 25 × 40	□			北城西部
1258	21 × 22 × 22	□			中城中央部	1317	41 × (48) × 9	○			北城西部	1375	25 × (34) × 30	□			北城西部
1259	25 × 27 × 22	□			中城中央部	1318	20 × 20 × 29	○			北城西部	1376	25 × (36) × 32	□			北城中部
1260	37 × 23 × 28	○			中城中央部	1319	29 × 44 × 79	□			北城西部	1378	(11) × (14) ×	○			北城西部
1261	27 × 21 × 29	○			中城中央部	1320	(28) × (28) × 46	□			北城西部	1379	40 × 47 × 50	□	○		北城西部
1262	20 × 23 × 14	□			中城中央部	1321	15 × 16 × 4	○			北城西部	1380	27 × 21 × 18	□			北城西部
1263	23 × 26 × 51	○			中城中央部	1322	28 × 26 × 28	□			北城西部	1381	26 × 34 × 10	○			北城西部
1264	(23) × 23 × 47	○			中城中央部	1323	27 × (24) × 16	○			北城西部	1382	21 × 20 × 6	○			北城西部
1265	(39) × (32) × 39	○			中城中央部	1324	25 × 32 × 57	□			北城西部	1383	33 × 40 × 76	○			北城西部
1266	16 × 12 × 17	□			中城中央部	1325	15 × 19 × 15	□			北城中部	1384	19 × 38 × 10	○			北城西部
1267	(31) × 30 × 11	□			中城中央部	1326	30 × 32 × 52	○			北城西部	1385	14 × 16 × 6	○			北城西部
1268	(31) × 30 × 11	□			中城中央部	1327	25 × 25 × 17	□			北城西部	1386	28 × 37 × 60	○			北城西部
1269	27 × 25 × 35	□			中城中央部	1328A	33 × 29 × 32	□			北城西部	1387	13 × 13 × 23	○			北城西部
1270	16 × 21 × 27	□	○		中城中央部	1329B	32 × 34 × 61	□			北城西部	1388	13 × 13 × 17	○			北城西部
1271	64 × 56 × 39	○			中城中央部	1329	34 × 36 × 72	□			北城西部	1389	27 × 25 × 20	□			北城西部
1272	39 × 24 × 30	○	○		中城中央部	1330	25 × 29 × 34	○			北城西部	1390	(31) × (28) × 13	□			中城西部
1273	42 × (22) × 32	□			中城中央部	1331	28 × 28 × 26	○			北城西部	1391	51 × 37 × 59	○			中城西部
1274	(13) × 20 × 7	□			中城中央部	1332	22 × 23 × 24	○			北城西部	1392	23 × 19 × 8	○			中城西部
1275	(25) × 32 × 40	□	○		中城中央部	1333	26 × 31 × 36	○			北城西部	1393	30 × 25 × 29	□			中城西部
1276	23 × 18 × 57	○			中城中央部	1334	(24) × (12) ×	○			北城西部	1394	37 × (26) × 52	□			北城西部
1277	20 × 20 × 3	○			中城中央部	1335	33 × (27) × 46	○			北城西部	1395	40 × (26) × 34	□			北城西部
1278	32 × 45 × 27	□			中城中央部	1336	33 × (28) × 39	□			北城西部	1396	46 × 36 × 48	□			中城西部
1279	20 × 28 × 3	○			中城中央部	1337	(24) × (25) ×	□			中城中央部	1397	22 × 24 × 71	○			中城西部
1280	(19) × (56) ×	○	○		中城中央部	1338	44 × 32 × 51	○			北城西部	1398	39 × 40 × 24	□			北城西部
1281	29 × (18) × 8	○			中城西部	1339	22 × 18 × 32	□			北城西部	1399	14 × 13 × 3	○			北城西部
1282	30 × 43 × 51	○			中城西部	1340	20 × 18 × 11	□			北城西部	1400	15 × 22 × 22	□			北城西部
1283	(23) × 28 ×	□			中城西部	1341	21 × 22 × 12	□			北城西部	1401	31 × 24 × 34	□			北城西部
1284	28 × 32 × 75	○			中城西部	1342	44 × 43 × 17	□			北城中部	1402	23 × 25 × 61	□			北城西部
1285	37 × 31 × 54	□			中城西部	1343	(21) × 25 × 25	○			北城西部	1403	30 × 29 × 30	○			北城西部
1286	(23) × (26) × 21	□			中城西部	1344	17 × 19 × 19	□			北城西部	1404	(23) × (24) × 20	○			北城西部
1287	30 × 37 × 46	□			中城西部	1345	20 × (21) × 18	○			北城西部	1405	35 × 25 × 46	○			北城西部

第60表 3区1面屋敷遺構内ピット一覧(その8)

遺構一覧

No	柱 穴			形跡	礎石	概略区域	No	柱 穴			形跡	礎石	概略区域	No	柱 穴			形跡	礎石	概略区域	
	径W	径NS	径き					径W	径NS	径き					径W	径NS	径き				
1406	18	23	× 12	○		北城西部	1467	19	× 21	× 7	□		中城东北部	1539	23	× 22	× 47	□		北城西部	
1407	16	× 19	× 10	□		北城西部	1468	25	× 30	× 42	○		中城东北部	1540	15	× 25	× 19	□		北城中部	
1408	30	× 34	× 10	□		北城中部	1469	(34)	× 39	× 10	□	○		中城东北部	1541	27	× 34	× 24	○		北城西部
1410	48	× 42	× 28	○	○	北城西部	1470	17	× 21	× 18	○		中城东北部	1542	35	× 33	× 14	□		北城西部	
1411	18	× 18	× 28	○		北城西部	1471	18	× 28	× 25	□		中城东北部	1543	11	× 9	× 6	□		北城西部	
1412	14	× 13	× 34	□		北城西部	1465	(18)	× 16	× 11	□		中城东北部	1544	16	× 16	× 2	○		北城西部	
1413	18	× 19	× 40	○		北城西部	1466	22	× 28	× 36	□		中城东北部	1545	37	× 30	× 44	○		北城西部	
1414	21	× 34	× 52	○		北城西部	1467	19	× 21	× 7	□		中城东北部	1546	15	× 14	× 25	○		北城西部	
1415	(20)	× (24)	× 12	○		中城西部	1468	25	× 30	× 42	○		中城东北部	1547	19	× 22	× 7	○		北城西部	
1416	27	× 30	× 62	□		北城西部	1469	(34)	× 39	× 10	□	○		1548	22	× 27	× 17	○		北城西部	
1417	16	× 17	× 7	○		北城西部	1470	17	× 21	× 18	○		中城东北部	1549	40	× 50	× 7	□		北城西部	
1418	31	× 25	× 52	○	○	北城西部	1471	18	× 28	× 25	□		中城东北部	1550	19	× 13	× 12	○		北城中部	
1419	32	× 31	× 13	○		北城西部	1472	27	× 25	× 43	□		中城东北部	1551A	(12)	× 18	× 30	○		北城中部	
1420	33	× 28	× 55	□		北城西部	1473	23	× 29	× 67	○		中城东北部	1551B	19	× 13	× 14	□		中城东北部	
1421	24	× 27	× 6	○		北城西部	1474	20	× 31	× 39	□		中城东北部	1552A	26	× 37	× 16	□		北城中部	
1422	32	× 20	× 57	○		北城西部	1475	(27)	× 23	× 11	□		中城东北部	1552B	30	× (26)	× 18	○		中城东北部	
1423	21	× 21	× 4	□		北城西部	1476	12	× 20	× 18	□		中城东北部	1553	13	× 31	× 30	○		中城东北部	
1424	55	× 24	× 9	○		北城西部	1477	27	× 24	× 21	□	○		1554	(10)	× (16)	× 25	○		中城东北部	
1425	26	× 27	× 71	○		中城西部	1478	(13)	× 25	×	○	○		1555	10	× (10)	× 17	○		中城东北部	
1426	42	× 32	× 15	○		中城西部	1479	(37)	× 42	× 38	□		中城东北部	1556	22	× 22	× 25	□		中城东北部	
1427	20	× 15	× 22	○		中城西部	1480	28	× 28	× 38	○		中城东北部	1557	11	× 11	× 10	○		中城东北部	
1428	26	× 23	× 53	○		中城西部	1481	40	× 35	× 67	□		中城东北部	1558	34	× 36	× 40	○		中城东北部	
1429	28	× 18	× 28	○		中城西部	1482	-48	× -30	× 50	○		中城东北部	1559	(21)	× (20)	×	□		中城东北部	
1430	49	× 27	× 21	○		北城西部	1483	(15)	× (24)	× 42	○		中城东北部	1560	32	× 38	× 29	○		中城东北部	
1432	29	× 25	× 19	○		中城西部	1484	(33)	× (30)	× 38	□		中城东北部	1561	20	× 22	× 29	□		中城东北部	
1433	63	× 39	× 30	○		中城西部	1485	(27)	× (18)	× 32	○		中城东北部	1562	20	× 21	× 24	□		中城东北部	
1434	(56)	× (45)	× 11	□		中城西部	1486	(27)	× (22)	× 32	□		中城东北部	1563	30	× 33	× 47	□		中城东北部	
1436	18	× 19	× 23	○		中城东北部	1487	19	× 24	× 9	□		中城东北部	1564	40	× 30	× 26	□		中城东北部	
1437	30	× 18	× 32	○		中城东北部	1488	29	× 34	× 40	○	○		1565	18	× 31	× 16	□		中城东北部	
1438	25	× 26	× 40	○		中城东北部	1490	20	× 34	× 18	□		中城东北部	1566	10	× 8	× 9	○		中城东北部	
1440	(25)	× 31	× 30	□		中城东北部	1491	15	× 14	× 17	○		中城东北部	1567	24	× 21	× 9	○		中城东北部	
1443	28	× 34	× 29	□		中城东北部	1492	23	× 28	× 31	○		中城东北部	1580	21	× 22	× 10	□		中城东北部	
1444	37	× 30	× 22	○		北城西部	1500	23	× 30	× 54	○		北城中部	1581	22	× 16	× 16	○		中城东北部	
1445	25	× 30	× 54	□		北城中部	1503	(12)	× 18	× 25	○		北城中部	1582	8	× 10	× 8	○		中城东北部	
1446	15	× 17	× 22	○		北城中部	1504	12	× 14	× 29	○		中城东北部	1583	20	× 27	× 28	□		中城东北部	
1447A	12	× 11	× 12	○		中城东北部	1507	15	× 19	× 25	○		中城东北部	1584	(16)	× (16)	×	□		中城东北部	
1447B	18	× 18	× 10	□		中城东北部	1508	11	× 11	× 22	○		中城东北部	1585	17	× 15	× 13	□		中城东北部	
1448A	12	× 13	× 13	○		北城中部	1509	5	× 5	× 23	○		中城东北部	1586	(23)	× (22)	× 20	○		中城东北部	
1448B	18	× 23	× 36	○		中城东北部	1510	24	× 21	× 41	○		中城东北部	1587	23	× 24	× 45	□		中城东北部	
1449A	9	× 13	× 8	○		北城中部	1511	(13)	× (18)	× 33	○		中城东北部	1588	23	× (12)	× 27	○		中城东北部	
1449B	29	× 25	× 50	□		中城东北部	1513	9	× 8	× 20	○		中城东北部	1589	(13)	× (27)	× 17	○		中城东北部	
1450	27	× 19	× 26	□		中城东北部	1514	7	× 6	× 20	○		中城东北部	1590	24	× (22)	× 25	○		中城东北部	
1451	19	× 17	× 12	□		中城东北部	1516	30	× 28	× 38	○		中城东北部	1591	(11)	× 17	× 27	□		中城东北部	
1452	23	× 27	× 21	○		中城东北部	1517	34	× (27)	× 55	○		中城东北部	1592	13	× 14	× 12	○		中城东北部	
1453	(24)	× (28)	×	○		中城东北部	1518	32	× 19	× 34	○		中城东北部	1593	18	× 22	× 7	○		中城东北部	
1454	38	× (41)	× 32	□		中城东北部	1521	(22)	× 30	× 11	○		中城东北部	1594	(30)	× 28	× 24	□	○	中城东北部	
1455	18	× 21	× 12	○		中城东北部	1522	25	× 27	× 32	○		中城东北部	1595	(38)	× 44	× 27	○		中城东北部	
1456	11	× 42	× 49	○		中城东北部	1523	28	× 34	× 22	○		中城东北部	1596	34	× 37	× 50	○		中城东北部	
1457	(23)	× (42)	× 46	□		中城东北部	1524	(22)	× (28)	×	□		中城东北部	1597	(47)	× 73	× 20	○		中城东北部	
1458	(22)	× (28)	× 12	□		中城东北部	1525	(24)	× 26	× 14	□		中城东北部	1598	(27)	× 38	× 36	□		中城东北部	
1459	20	× 22	× 53	○		中城东北部	1526	24	× 26	× 14	□		中城东北部	1599	22	× 23	× 46	□		中城东北部	
1460	33	× 35	× 49	○		中城东北部	1532	28	× 25	× 30	□		北城西部	1600	20	× 30	× 25	□		中城东北部	
1461	22	× 28	× 28	○		中城东北部	1533	27	× 28	× 51	□		北城西部	1601	20	× 22	× 20	□		中城东北部	
1462	(34)	× (28)	× 18	□		中城东北部	1534	50	× 51	× 18	○	○	北城西部	1602	7	× 8	× 19	○		中城东北部	
1463	25	× 32	× 46	□		中城东北部	1535	(24)	× (31)	× 25	○		北城西部	1603	21	× 25	× 35	○		中城东北部	
1464	25	× 18	× 30	○		中城东北部	1536	31	× 31	× 52	○		北城西部	1604	27	× 33	× 54	□		中城东北部	
1465	(18)	× 16	× 11	□		中城东北部	1537	28	× 26	× 49	□		北城西部	1605	24	× 27	× 42	□		中城东北部	
1466	22	× 28	× 36	□		中城东北部	1538	23	× 18	× 19	□		北城中部	1607	14	× 32	× 31	○		中城东北部	

第61表 3区1面屋敷遺構内ピット一覧(その9)

遺構一覧

No.	柱 穴			形跡	礎石	構域区域	No.	柱 穴			形跡	礎石	構域区域	No.	柱 穴			形跡	礎石	構域区域			
	径W×径NS×深さ							径W×径NS×深さ							径W×径NS×深さ								
1608	24	×	22	×	21	□	中城中部	2010	20	×	28	×	15	○	中城中部	2072	181	×	183	×	47	□	北城中部
1609	229	×	111	×	46	○	中城中部	2012	14	×	32	×	37	○	中城中部	2073	41	×	30	×	47	○	北城中部
1610	31	×	47	×	8	□	中城中部	2013	16	×	20	×	15	□	中城中部	2074	19	×	16	×	12	○	北城中部
1611	11	×	11	×	12	○	中城中部	2014	24	×	25	×	26	○	北城中部	2075	41	×	31	×	41	○	北城中部
1612	15	×	11	×	10	○	中城中部	2015	259	×	34	×	47	○	中城中部	2076	17	×	25	×	12	□	北城中部
1613	22	×	21	×	23	○	中城中部	2016	160	×	33	×	41	○	中城中部	2077	25	×	27	×	23	□	北城中部
1614	38	×	30	×	55	○	中城中部	2017	18	×	20	×	25	□	北城中部	2080	15	×	19	×	11	○	北城中部
1615	27	×	22	×	31	□	中城中部	2018	12	×	7	×	□	中城中部	2081	27	×	19	×	40	□	北城中部	
1616	221	×	241	×	42	□	中城中部	2019	38	×	30	×	32	○	中城中部	2082	30	×	28	×	41	□	北城中部
1617	260	×	400	×	42	○	中城中部	2020	250	×	260	×	26	○	中城中部	2083	38	×	25	×	55	□	北城中部
1618	35	×	32	×	57	□	中城中部	2021	30	×	151	×	17	□	中城中部	2084	26	×	30	×	56	□	北城中部
1619	322	×	322	×	11	○	中城中部	2022	25	×	22	×	40	○	中城中部	2085	23	×	23	×	22	○	北城中部
1620	25	×	34	×	46	□	中城中部	2023	32	×	46	×	32	○	中城中部	2087	12	×	20	×	24	○	北城中部
1621	110	×	100	×	19	○	中城中部	2024	26	×	26	×	25	□	中城中部	2088A	20	×	21	×	17	□	北城中部
1622	225	×	211	×	19	□	中城中部	2025	30	×	177	×	41	□	中城中部	2088B	110	×	20	×	19	□	北城中部
1623	21	×	21	×	22	□	中城中部	2026	30	×	12	×	12	□	中城中部	2089	25	×	30	×	35	○	北城中部
1624	24	×	26	×	26	□	中城中部	2027	34	×	32	×	18	○	中城中部	2090	58	×	45	×	16	○	北城中部
1625	19	×	14	×	17	□	中城中部	2028	47	×	44	×	29	○	中城中部	2091A	20	×	32	×	9	□	北城中部
1626	110	×	114	×	40	○	中城中部	2029	17	×	18	×	22	○	中城中部	2091B	11	×	10	×	□	北城中部	
1627A	34	×	143	×	31	□	北城中部	2030	24	×	26	×	12	□	中城中部	2092	25	×	22	×	29	□	北城中部
1627B	35	×	26	×	30	□	中城中部	2031	17	×	19	×	27	□	中城中部	2093	13	×	10	×	8	○	北城中部
1628	56	×	110	×	34	□	中城中部	2032	12	×	29	×	26	○	中城中部	2094	28	×	12	×	8	○	北城中部
1629A	30	×	29	×	40	○	北城中部	2035	16	×	23	×	11	□	中城中部	2095	22	×	231	×	36	○	北城中部
1629B	22	×	32	×	16	○	中城中部	2036	17	×	15	×	18	○	中城中部	2096	123	×	211	×	36	○	北城中部
1631	25	×	26	×	26	□	中城中部	2037	27	×	27	×	44	○	中城中部	2097	91	×	243	×	18	○	北城中部
1632	113	×	31	×	53	○	中城中部	2038	24	×	181	×	□	中城中部	2099	15	×	14	×	20	○	北城中部	
1633	21	×	22	×	39	□	中城中部	2039	26	×	22	×	24	□	中城中部	2100	16	×	113	×	13	○	北城中部
1634	20	×	223	×	16	○	中城中部	2040	24	×	210	×	□	中城中部	2101	20	×	27	×	38	□	北城中部	
1635	221	×	183	×	23	□	中城中部	2041	34	×	32	×	18	○	中城中部	2102	38	×	31	×	52	□	北城中部
1636	24	×	31	×	□	中城中部	2042	113	×	32	×	21	○	中城中部	2103	26	×	22	×	32	□	北城中部	
1637	280	×	22	×	46	□	中城中部	2043	24	×	30	×	28	○	中城中部	2104	20	×	19	×	26	□	北城中部
1638	18	×	17	×	57	□	中城中部	2044	17	×	17	×	8	□	中城中部	2105	30	×	25	×	41	○	北城中部
1639	15	×	28	×	42	○	中城中部	2045	20	×	13	×	13	□	中城中部	2106	23	×	15	×	44	○	北城中部
1640	41	×	47	×	47	○	中城中部	2046	35	×	341	×	18	○	中城中部	2107	35	×	40	×	16	○	北城中部
1641	18	×	22	×	20	□	中城中部	2047	34	×	37	×	49	○	中城中部	2108	22	×	27	×	59	□	北城中部
1642	26	×	38	×	16	○	中城中部	2048	9	×	13	×	9	□	中城中部	2109	20	×	22	×	23	□	北城中部
1643	280	×	114	×	50	○	中城中部	2049	29	×	17	×	30	□	中城中部	2110	33	×	24	×	21	□	北城中部
1644	32	×	25	×	40	○	中城中部	2050	43	×	40	×	30	□	中城中部	2111	31	×	30	×	16	○	北城中部
1645	22	×	16	×	22	□	中城中部	2051	110	×	18	×	10	□	中城中部	2112	23	×	22	×	23	□	北城中部
1646	15	×	17	×	19	□	中城中部	2052	30	×	32	×	26	□	中城中部	2113	19	×	13	×	26	□	北城中部
1993	16	×	109	×	11	○	中城中部	2053	20	×	29	×	33	□	中城中部	2115	28	×	260	×	13	□	北城中部
1994	21	×	12	×	34	○	中城中部	2054	26	×	29	×	14	□	中城中部	2116	33	×	40	×	64	○	北城中部
1995	15	×	22	×	19	○	中城中部	2055	37	×	28	×	37	□	中城中部	2117	24	×	28	×	48	□	北城中部
1996	10	×	13	×	10	○	中城中部	2056	33	×	280	×	30	□	中城中部	2119	32	×	27	×	32	○	北城中部
1997	23	×	24	×	12	○	中城中部	2057	280	×	233	×	27	○	中城中部	2120	18	×	20	×	45	○	北城中部
1998	26	×	35	×	46	□	中城中部	2058	30	×	37	×	41	□	中城中部	2121	22	×	24	×	29	□	北城中部
1999	23	×	23	×	12	○	中城中部	2059	44	×	36	×	24	□	中城中部	2122	22	×	23	×	45	○	北城中部
2000	24	×	15	×	45	□	中城中部	2060	30	×	353	×	47	○	中城中部	2123	16	×	13	×	10	□	北城中部
2001	25	×	233	×	35	○	中城中部	2061	17	×	15	×	9	○	北城西部	2124	21	×	17	×	58	○	北城中部
2002	25	×	25	×	□	中城中部	2062	23	×	28	×	39	○	北城西部	2125	20	×	17	×	46	□	北城中部	
2003	23	×	16	×	20	□	中城中部	2063	30	×	19	×	33	□	北城西部	2126	20	×	27	×	42	□	北城中部
2004	11	×	171	×	10	□	中城中部	2064	29	×	20	×	62	□	北城西部	2127	25	×	35	×	55	□	北城中部
2005	25	×	233	×	37	○	中城中部	2065	37	×	38	×	55	○	北城中部	2128	22	×	18	×	9	○	北城中部
2006A	25	×	28	×	39	○	中城中部	2066	16	×	19	×	17	○	中城中部	2129	27	×	19	×	21	□	北城中部
2006B	28	×	143	×	1	○	中城中部	2067	22	×	24	×	36	□	北城中部	2130	171	×	111	×	7	○	北城中部
2007	30	×	28	×	26	□	中城中部	2068	25	×	24	×	35	□	北城中部	2131	25	×	20	×	24	□	北城中部
2008	35	×	41	×	68	○	中城中部	2069	21	×	21	×	34	□	北城中部	2132A	18	×	35	×	25	□	北城中部
2009	20	×	21	×	33	○	中城中部	2070	24	×	22	×	25	○	北城中部	2132B	14	×	9	×	32	○	北城中部

第62表 3区1面屋敷遺構内ビット一覧(その10)

No.	柱 穴		形	礎石	欄柵区域	No.	柱 穴		形	礎石	欄柵区域	No.	柱 穴		形	礎石	欄柵区域
	柱W × 柱S × 深さ	穴W × 穴S × 深さ					柱W × 柱S × 深さ	穴W × 穴S × 深さ					柱W × 柱S × 深さ	穴W × 穴S × 深さ			
2133	22 × 21 × 29	□			北城中中部	2193	17 × 22 × 5	○			中城北北部	2249	34 × 27 × 54	○			北城中中部
2134	22 × 20 × 13	□			北城中中部	2194	4 × 9 × 7	□			中城北北部	2250	22 × 25 × 47	□			北城中中部
2135	22 × 22 × 9	□			北城中中部	2195	10 × 10 × 24	□			中城北北部	2251	26 × 26 × 39	○			北城中中部
2136	22 × 24 × 29	□			北城中中部	2196	19 × 19 × 31	□			中城北北部	2252	22 × 26 × 14	○			北城中中部
2137	30 × 21 × 36	○			北城中中部	2197	30 × (23) × 22	○			北城中中部	2253	50 × 41 × 28	○			北城中中部
2138	22 × 19 × 16	□			北城中中部	2198A	28 × 30 × 34	□			北城中中部	2254	28 × 29 × 36	○			北城中中部
2139	110 × (11) × 2	○			北城中中部	2198B	13 × (13) × 25	○			北城中中部	2255	15 × 31 × 66	□			北城中中部
2140	29 × 21 × 44	□			北城中中部	2198C	35 × 28 × 55	□			北城中中部	2256	18 × 31 × 40	○			北城中中部
2141	18 × 20 × 19	□			北城中中部	2199A	33 × 24 × 57	□			北城中中部	2257	12 × 15 × 3	○			北城中中部
2142	28 × (24) ×	□			北城中中部	2199B	23 × 23 × 18	□			中城北北部	2258	23 × 21 × 56	□			北城中中部
2143	10 × 9 × 22	○			北城中中部	2200	16 × 16 × 20	○			中城北北部	2259	32 × 29 × 30	□			北城中中部
2144	17 × 18 × 12	□			北城中中部	2201	13 × 21 × 21	□			中城北北部	2260	(22) × (26) × 23	○			北城中中部
2145	20 × 22 × 26	□			北城中中部	2202	18 × 14 × 17	□			中城北北部	2261	23 × 21 × 13	□			北城中中部
2146	17 × 24 × 36	○			北城中中部	2203	26 × 18 × 20	○			中城北北部	2262	17 × 23 × 11	□			北城中中部
2147	23 × 20 × 42	□			北城中中部	2204	30 × 26 × 31	□			中城北北部	2263	25 × 20 × 13	□			北城中中部
2148	21 × 24 × 27	□			北城中中部	2205	19 × 16 × 1	□			中城北北部	2264	(13) × (18) × 5	□			北城中中部
2149	(12) × 18 × 55	□			北城中中部	2206	45 × 56 × 31	○			北城中中部	2265	29 × 29 × 25	□			北城中中部
2150	18 × 17 × 12	○			北城中中部	2207	27 × 38 ×	○			北城中中部	2266	23 × (25) × 21	□			北城中中部
2151	(21) × 27 × 21	□			北城中中部	2208	16 × 16 × 15	□			北城中中部	2267	23 × 28 × 25	○			北城中中部
2152	28 × 22 × 23	□			北城中中部	2209	14 × 21 × 35	□			北城中中部	2268	23 × 36 × 14	○			北城中中部
2153	(27) × (23) × 17	□			北城中中部	2210	18 × 20 × 19	□			中城北北部	2269	30 × 27 × 54	○			北城中中部
2154	(18) × 19 × 18	□			北城中中部	2211	34 × (36) × 15	□			北城中中部	2270	29 × 30 × 50	○			中城北中部
2155	(24) × (28) ×	○			北城中中部	2212	22 × 28 × 64	○			北城中中部	2271	31 × 37 × 30	○			中城北中部
2156	33 × (22) × 34	□			北城中中部	2213	24 × 27 × 29	○			北城中中部	2272	38 × 43 × 20	○			中城北中部
2157	26 × 25 × 39	□			北城中中部	2214	13 × 12 × 15	○			北城中中部	2273	40 × 47 × 39	○			北城中中部
2158	26 × 19 × 37	□			北城中中部	2215	22 × 21 × 12	□			北城中中部	2274	51 × 46 × 26	○			北城中中部
2159	(24) × 16 × 17	□			北城中中部	2216	(25) × 25 × 9	□			北城中中部	2275	37 × 32 × 36	□			北城中中部
2160	22 × 22 × 23	□			北城中中部	2217	(16) × 27 × 7	○			北城中中部	2276	27 × 21 × 15	□			北城中中部
2161	22 × (33) × 23	□			北城中中部	2218	25 × 21 × 30	□			北城中中部	2277	23 × 23 × 18	○			北城中中部
2162	25 × 21 × 44	□			北城中中部	2219	36 × 22 × 37	□			北城中中部	2278	15 × 22 × 17	□			北城中中部
2163	21 × 23 × 22	□			北城中中部	2220	23 × 29 × 11	□			中城北北部	2279	25 × 21 × 12	□			北城中中部
2164	(7) × (8) × 22	□			中城北北部	2221	14 × 13 × 11	□			中城北北部	2280	17 × 16 × 6	□			北城中中部
2165	18 × 21 × 14	□			中城北北部	2222	8 × 9 × 20	○			中城北北部	2281	25 × 33 × 35	○			北城中中部
2166	13 × 27 × 46	○			中城北北部	2223	39 × (18) ×	○			中城北北部	2282	22 × 19 × 20	□			北城中中部
2167	28 × 33 × 46	○			中城北北部	2224	32 × 42 × 59	□			中城北北部	2283	16 × 16 × 29	□			北城中中部
2168	21 × 24 × 44	○			中城北北部	2225	16 × 18 × 4	○			中城北北部	2284	25 × 30 × 16	□			北城中中部
2169	20 × 19 × 9	□			中城北北部	2227	23 × 27 × 28	□			北城東部	2285	(16) × (13) × 10	□			北城中中部
2170	26 × 26 × 51	□			中城北北部	2228	-17 × -17 × 7	□			北城東部	2286	32 × 36 × 11	○			北城中中部
2171	12 × 16 × 51	○			中城北北部	2229	26 × 30 × 66	○			北城東部	2287	24 × 25 × 19	○			北城中中部
2174	30 × 28 × 42	□			北城中中部	2230	27 × 22 × 24	□			北城東部	2288	30 × (20) × 18	○			北城中中部
2175	22 × 22 × 43	□			北城中中部	2231	9 × 10 × 34	□			北城東部	2289	33 × (18) × 38	○			北城中中部
2176	24 × 28 × 47	□			北城中中部	2232	21 × 18 × 17	□			北城東部	2290	34 × (38) × 22	○			北城中中部
2177	34 × 39 × 53	□			北城中中部	2233	19 × 18 × 7	□			北城東部	2291	27 × 28 × 16	○			北城中中部
2178	17 × 20 × 13	□			北城中中部	2234	-17 × -17 × 12	○			北城東部	2292	40 × 36 × 27	○			北城中中部
2179	(24) × (11) × 5	□			南城北北部	2235	18 × 13 × 16	○			北城東部	2293	(24) × (25) × 31	□			北城中中部
2180	17 × (16) × 6	□			北城中中部	2236	12 × 15 × 7	□			北城東部	2294	(18) × 24 × 1	○			北城中中部
2181	25 × 17 ×	○			北城中中部	2237	31 × 40 × 38	○			北城西部	2295	20 × 16 × 42	□			北城中中部
2182	25 × 33 × 8	□			北城中中部	2238	20 × 26 × 30	○			北城西部	2296	15 × 18 × 19	○			北城中中部
2183	29 × 29 × 9	□			北城中中部	2239	(23) × 37 × 38	□			北城西部	2297	16 × 15 × 13	○			北城中中部
2184	30 × 45 × 47	○			北城中中部	2240	(23) × 37 × 38	□			北城西部	2298	18 × 22 × 52	□			北城中中部
2185	30 × 18 × 59	□			北城中中部	2241	40 × 32 × 25	○			北城西部	2299	19 × 21 × 34	□			北城中中部
2186	23 × 27 × 23	□			北城中中部	2242A	25 × 28 × 35	○			北城西部	2300	28 × (28) × 43	○			北城中中部
2187	18 × 22 × 7	○			北城中中部	2242B	35 × 29 × 30	○			北城西部	2301	25 × (30) × 32	○			北城中中部
2188	(8) × 26 × 17	□			北城中中部	2243	25 × 17 × 16	□			北城西部	2302	(15) × 16 × 23	□			北城中中部
2189	20 × 26 × 25	○			北城中中部	2245	35 × 47 × 30	○			北城中中部	2303	(32) × (20) × 16	□			北城中中部
2190	(21) × (29) × 30	□			中城北北部	2246	17 × 25 × 44	□			北城西部	2304	24 × 21 × 30	□			北城中中部
2191	(18) × 33 × 34	□			中城北北部	2247	21 × 23 × 54	□			北城中中部	2305	40 × 68 × 23	○			北城中中部
2192	32 × 31 × 35	○			中城北北部	2248	27 × 29 × 36	○			北城西部	2306	(22) × (28) × 11	□			北城中中部

第63表 3区1面屋敷造構内ビット一覽 (その11)

遺構一覧

No	柱 穴		形跡	礎石	構造物区域	No	柱 穴		形跡	礎石	構造物区域	No	柱 穴		形跡	礎石	構造物区域
	柱径×柱径×深さ	穴径×穴径×深さ					柱径×柱径×深さ	穴径×穴径×深さ					柱径×柱径×深さ	穴径×穴径×深さ			
2307	50 × 77 × 59		□	○	北城中部	2363	31 × 33 × 23		○		北城中部	2451	22 × 22 × 40		□		北城中部
2308	6 × 8 × 6		○		北城東部	2364	25 × 27 × 32		○		北城中部	2452	263 × 29 × 35		○		北城中部
2309	19 × 15 × 22		□		北城中部	2365	16 × 24 × 62		□		北城中部	2453	44 × 383 × 30		○		北城中部
2310	15 × 24 × 18		□		北城中部	2366A	45 × 383 × 19		○		北城中部	2454	31 × 19 × 21		□		北城中部
2311	13 × 17 × 16		□		北城中部	2366B	25 × 35 × 33		□		北城中部	2455	18 × 21 × 19		□		北城西部
2312	15 × 10 × 5		○	○	北城東部	2367	20 × 20 × 38		□		北城中部	2426	123 × 30 × 54		○		北城西部
2313	28 × 20 × 25		□		北城中部	2368	22 × 24 × 40		□		北城中部	2427	34 × 30 × 40		□		北城西部
2314	34 × 31 × 15		□		北城中部	2370	20 × 28 × 46		□		北城中部	2428	29 × 39 × 30		□		北城西部
2315	26 × 37 × 59		□		北城中部	2371	20 × 24 × 41		□		北城中部	2429	223 × 27 × 41		○		北城西部
2316	18 × 53 × 7		□		北城中部	2372	20 × 31 × 21		○		北城中部	2430	153 × 24 × 1		○		北城西部
2317	28 × 30 × 8		□		北城中部	2373	24 × 24 × 47		□		北城中部	2431	34 × 28 × 61		□		北城西部
2318	16 × 18 × 17		□		北城中部	2374	21 × 24 × 23		○		北城中部	2432	34 × 36 × 50		□		北城西部
2319	48 × 79 × 25		○		北城中部	2375	1283 × 1283 × 53		○		北城中部	2433	32 × 34 × 45		□		北城西部
2320	22 × 18 × 4		○		北城中部	2376	30 × 28 × 13		○		北城中部	2434	259 × 255 × 32		□		北城西部
2321	32 × 24 × 7		□		北城中部	2377	11 × 15 × 19		□		北城中部	2435	42 × 255 × 46		□		北城西部
2322	16 × 15 × 8		○		北城中部	2378	183 × 222 × 5		○		北城中部	2436	283 × 333 × 33		□		北城西部
2323	20 × 27 × 8		□		北城中部	2379	56 × 69 × 61		○		北城中部	2437	42 × 31 × 66		○		北城西部
2324	25 × 30 × 31		□		北城中部	2380	62 × 59 × 64		○		北城中部	2438	16 × 11 × 2		○		北城西部
2325	17 × 17 × 17		□		北城中部	2381	29 × 32 × 31		○		北城中部	2439	26 × 29 × 32		○		北城西部
2326	41 × 57 × 40		□	○	北城中部	2382	18 × 31 × 25		○		北城中部	2440	29 × 309 × 15		□		北城西部
2327	141 × 34 × 14		□		北城中部	2383	33 × 36 × 11		○		北城中部	2441	24 × 209 × 15		□		北城西部
2328	28 × 45 × 60		○		北城中部	2384	22 × 27 × 9		□		北城中部	2442	181 × 227 × 16		□		北城西部
2329	17 × 22 × 33		□		北城中部	2385	24 × 25 × 52		○		北城中部	2443	363 × 383 × 33		□		北城西部
2330	141 × 120 × 35		○		北城中部	2386	23 × 131 × 23		○		北城中部	2444	29 × 265 × 38		□		北城西部
2331	223 × 30 × 29		□		北城中部	2388A	17 × 16 × 16		□		北城中部	2445	33 × 25 × 27		□		北城西部
2332	177 × 251 × 30		□		北城中部	2388B	22 × 23 × 22		□		北城中部	2446	28 × 27 × 47		○		北城西部
2333	18 × 22 × 25		○		北城中部	2389	25 × 26 × 17		○		北城中部	2447	28 × 309 × 42		○		北城西部
2334	22 × 19 × 11		□		北城中部	2390	30 × 28 × 49		□		北城中部	2448	259 × 255 × 8		○		北城西部
2335	22 × 26 × 39		○	○	北城中部	2391	26 × 28 × 26		□		北城中部	2449	31 × 31 × 50		□		北城西部
2336	18 × 25 × 23		○	○	北城中部	2392	38 × 32 × 63		○		北城中部	2450	37 × 33 × 11		○		北城西部
2337A	52 × 54 × 33		○	○	北城西部	2393	173 × 18 × 27		□		北城中部	2451	45 × 37 × 27		○		北城西部
2337B	43 × 26 × 63		○		北城中部	2394	29 × 29 × 33		○		北城中部	2452	12 × 23 × 9		□		北城西部
2338	25 × 24 × 61		○		北城中部	2395	15 × 16 × 19		○		北城中部	2453	11 × 23 × 32		○		北城西部
2339	18 × 20 × 4		□		北城中部	2396	21 × 21 × 35		□		北城中部	2455	12 × 15 × 6		○		北城西部
2340	22 × 24 × 39		□		北城中部	2397	-16 × 13 ×		□		北城中部	2456	20 × 21 × 3		○		北城西部
2341	27 × 40 × 8		○	○	北城中部	2398	36 × 49 ×		□		北城中部	2457	58 × 41 × 23		○		北城西部
2342	32 × 45 × 44		□		北城中部	2399	180 × 8 ×		○		北城中部	2458	22 × 20 × 49		○		北城西部
2343A	275 × 34 × 21		○		北城中部	2400	29 × 25 × 47		□		北城中部	2459	181 × 151 × 12		□		北城西部
2343B	38 × 27 × 28		□		北城中部	2401	20 × 22 × 59		□		北城中部	2460	303 × 323 × 13		□		北城西部
2344	26 × 28 × 28		□		北城中部	2402	33 × 43 × 58		○		北城中部	2461	25 × 23 × 47		○		北城西部
2345	42 × 38 × 56		□		北城中部	2403	15 × 18 × 29		○		北城中部	2462	30 × 303 × 27		□		北城西部
2346	27 × 22 × 24		□		北城中部	2404	29 × 27 × 26		○		北城東部	2463	18 × 23 ×		○		北城西部
2347	23 × 28 × 25		□		北城中部	2405	18 × 16 × 22		□		北城東部	2464	122 × 222 × 8		○		北城西部
2348	31 × 40 × 36		□		北城中部	2406	29 × 29 × 29		□		北城東部	2465	24 × 29 × 25		○		北城西部
2349	33 × 22 × 22		□		北城中部	2407	38 × 24 × 19		○		北城東部	2466	20 × 20 × 26		□		北城西部
2350	20 × 22 × 7		○		北城中部	2408	23 × 26 × 14		□		北城東部	2467	22 × 21 × 40		○		北城西部
2351	26 × 183 × 20		□		北城中部	2409	203 × 26 × 10		□		北城東部	2468	43 × 383 × 44		○		北城西部
2352	26 × 20 × 56		□		北城中部	2410	27 × 36 × 17		○		北城東部	2469	34 × 251 × 33		○		北城西部
2353	25 × 39 × 12		□		北城中部	2411	21 × 19 × 31		□		北城東部	2470	203 × 22 × 28		○		北城西部
2354	31 × 26 × 41		□		北城中部	2412	28 × 19 × 36		□		北城東部	2471	28 × 22 × 14		□		北城西部
2355	33 × 223 × 67		□		北城中部	2413	22 × 18 × 26		□		北城東部	2472	22 × 20 × 27		□		北城西部
2356	43 × 131 × 47		□		北城中部	2414	30 × 49 × 46		□		北城東部	2473	24 × 24 × 42		○		北城西部
2357	41 × 26 × 47		□		北城中部	2415	42 × 39 × 43		□		北城東部	2474	18 × 18 × 10		○		北城西部
2358	40 × 16 × 41		□		北城中部	2416	273 × 213 × 8		□		北城東部	2475	44 × 383 × 38		○		北城西部
2359	27 × 40 × 37		○		北城中部	2417	22 × 28 × 26		○		北城東部	2476	33 × 43 × 55		○		北城西部
2360	23 × 20 × 22		□		北城中部	2418	18 × 23 × 11		○		北城東部	2477	261 × 151 × 29		□		北城西部
2361	40 × 29 × 46		○		北城中部	2419	28 × 32 × 32		□		北城東部	2478	153 × 203 × 39		□		北城西部
2362	24 × 37 × 49		○		北城中部	2420	20 × 19 × 14		○		北城東部	2479	323 × 227 × 32		□		北城西部

第64表 3区1面屋敷遺構内ピット一覧 (その12)



No.	柱 穴		形跡	礎石	概略区域	No.	柱 穴		形跡	礎石	概略区域	No.	柱 穴		形跡	礎石	概略区域
	掘W×埋S×深h	掘W×埋S×深h					掘W×埋S×深h	掘W×埋S×深h					掘W×埋S×深h	掘W×埋S×深h			
2400A	34 × 46 × 44		□		北城西部	2538	32 × 36 × 18	□		北城西部	2600	25 × 24 × 49	○		中城南東區		
2400B	33 × 22 × 14		□		北城西部	2539	130 × 25 × 33	□		北城西部	2601	373 × 39 × 30	□		中城		
2481	1181 × 19 × 36		□		北城西部	2540	24 × 20 × 43	○		北城中部	2924	21 × 30 × 20	□		南東城北區		
2482	209 × 31 × 13		○		北城西部	2541	35 × 20 × 35	○	○	北城中部	2925	27 × 34 × 33	□		南東城北區		
2483	25 × 29 × 63		○	○	北城西部	2542	16 × 25 × 39	○		北城中部	2983	16 × 15 × 19	□		南東城南區		
2484	22 × 36 × 32		□		北城西部	2543	25 × 24 × 28	○		北城中部	2984	16 × 12 × 15	○		南東城南區		
2486	25 × 30 × 31		○		北城西部	2544	27 × 20 × 53	○		北城中部	2985	15 × 10 × 11	○		南東城南區		
2487A	21 × 171 × 9		□		北城西部	2545	60 × 65 × 44	□	○	北城中部	2986	15 × 10 × 11	○		南東城南區		
2487B	30 × 38 × 25		○		北城西部	2546	17 × 31 × 32	○		北城中部	2987	37 × 43 × 28	□		南東城南區		
2488A	22 × 31 × 18		○		北城西部	2547	45 × 25 × 14	□		北城中部	2988	37 × 30 × 35	○		南東城南區		
2488B	28 × 32 × 37		○		北城西部	2548	26 × 28 × 42	○		北城中部	2989	19 × 29 × 30	○		南東城南區		
2489	29 × 211 × 22		○		北城西部	2549	28 × 35 × 29	○		北城中部	2988	1181 × 31 × 34	○		南東城南區		
2491	13 × 15 × 48		○		北城西部	2550	31 × 40 × 13	□	○	北城中部	2986	43 × 34 × 14	□	○	南東城南區		
2492	25 × 54 × 18		□		北城西部	2551	25 × 24 × 23	□	○	北城中部	2987	15 × 15 × 14	□		南東城南區		
2493	30 × 34 × 15		□		北城西部	2552	41 × 41 × 41	○		北城中部	2988	21 × 17 × 18	□		南東城南區		
2494	20 × 35 × 42		□		北城西部	2553	24 × 35 × 20	○		北城中部	2989	33 × 23 × 23	□		南東城南區		
2495	21 × 18 × 7		□		北城西部	2554	33 × 40 × 50	○		北城中部	2990	22 × 20 × 23	○		南東城南區		
2496	15 × 19 × 19		○		北城西部	2555	24 × 38 × 34	○		北城中部	2991	22 × 21 × 31	□		南東城南區		
2497	61 × 181 × 21		○		北城西部	2556	33 × 27 × 37	○		北城中部	2992	35 × 38 × 37	○		南東城南區		
2498	24 × 18 × 9		○		北城西部	2557	36 × 40 × 63	○		北城中部	2993	35 × 35 × 41	○		南東城南區		
2499	23 × 21 × 38		○		北城西部	2558	38 × 44 × 45	○		北城中部	2994	26 × 28 × 32	○		南東城南區		
2500	15 × 16 × 5		□		北城西部	2559	27 × 1241 × 32	○		北城中部	2995	23 × 28 × 45	○		南東城南區		
2501	47 × 33 × 39		○		北城西部	2560	44 × 33 × 29	○	○	北城中部	3002	15 × 115 × 29	○		北城西部		
2502	28 × 41 × 61		○	○	北城西部	2561	117 × 30 × 10	□		北城中部	3003	20 × 19 × 11	○		北城西部		
2503	35 × 24 × 25		○		北城西部	2562	18 × 25 × 16	□		北城中部	3004	120 × 20 × 28	□		北城西部		
2504	13 × 231 × 24		○		北城西部	2563	31 × 25 × 16	□		北城中部	3005	1181 × 251 × 7	□		北城西部		
2505	51 × 43 × 39		○		北城西部	2564	10 × 110 × 9	○		北城中部	3006	20 × 111 × 16	□		北城西部		
2506	23 × 23 × 23		□		北城西部	2565	29 × 43 × 47	○		北城中部	3007	25 × 27 × 35	○		北城中部		
2507	31 × 38 × 58		○		北城西部	2566	285 × 37 × 11	○		北城中部	3008	30 × 25 × 23	○		北城中部		
2508	30 × 25 × 29		○	○	北城西部	2567	23 × 21 × 20	○		北城中部	3009	500 × 50 × 7	○		北城中部		
2509	220 × 21 × 17		○		北城西部	2568	13 × 18 × 14	○		北城中部	3010	452 × 30 × 18	○		北城中部		
2510	34 × 25 × 32		○		北城西部	2569	12 × 12 × 11	○		北城中部	3011	58 × 37 × 49	○		北城東部		
2511	28 × 30 × 6		□		北城西部	2570	20 × 131 × 16	○		北城中部	3012	61 × 43 × 12	○		北城東部		
2512	27 × 30 × 40		○		北城西部	2571	17 × 16 × 17	○		北城中部	3013	400 × 45 × 6	□		北城西部		
2513A	5 × 10 × 17		□		北城西部	2572	30 × 20 × 19	○		北城中部	3014	35 × 381 × 9	□		北城西部		
2513B	12 × 12 × 14		○		中城南南區	2574	12 × 13 × 24	□		北城中部	3015	31 × 35 × 7	□		北城西部		
2514	20 × 28 × 22		○		北城西部	2575	15 × 16 × 26	○		北城中部	3016	55 × 55 × 15	○		北城西部		
2515	13 × 13 × 28		□		北城西部	2576	22 × 25 × 14	□		北城中部	3017	151 × 18 × 13	○		北城中部		
2516	29 × 26 × 31		□	○	北城西部	2577	46 × 38 × 19	○	○	北城中部	3018	23 × 113 × 14	□		北城西部		
2517	21 × 20 × 15		□		北城西部	2578	36 × 115 × 17	○		北城中部	3019	30 × 32 × 52	□		北城西部		
2518	15 × 25 × 23		□		北城西部	2579	19 × 10 × 21	○		北城中部	3020	400 × 400 × 12	□		北城西部		
2519	21 × 24 × 29		□		北城西部	2580	37 × 34 × 41	○		北城中部	3021	32 × 23 × 7	○		北城中部		
2520	115 × 25 × 24		□		北城西部	2581	43 × 46 × 22	○		北城中部	3022	18 × 20 × 23	○		中城北北區		
2521	211 × 21 × 42		□		北城西部	2582	33 × 38 × 40	○		北城中部	3023	323 × 47 × 11	○	○	中城中央部		
2522	24 × 23 × 43		○		北城西部	2583	23 × 29 × 18	○		北城中部	3025	26 × 29 × 25	□		中城北北區		
2523	220 × 25 × 10		□		北城西部	2584	36 × 22 × 33	○		北城中部	3026	23 × 24 × 26	□		中城北北區		
2526	17 × 34 × 1		○		北城西部	2585	57 × 22 × 29	○		北城中部	3027	21 × 19 × 22	□		中城北北區		
2527	66 × 64 × 48		○		北城西部	2587	18 × 22 × 23	○		北城西部	3028	18 × 22 × 16	□		中城北北區		
2528	31 × 39 × 53		□		北城中部	2588	19 × 16 × 13	□		北城中部	3029	16 × 16 × 45	○		中城北北區		
2529	35 × 30 × 54		□		北城中部	2589	36 × 28 × 35	○		北城中部	3030	15 × 21 × 10	○		中城北北區		
2530	14 × 21 × 30		□		北城西部	2590	30 × 20 × 24	○		中城南南區	3031	21 × 26 × 9	○		中城中央部		
2531	19 × 15 × 27		○		北城西部	2591	8 × 7 × 11	□		中城南南區	3032	30 × 30 × 4	□		中城中央部		
2532	26 × 35 × 55		□		北城西部	2592	26 × 21 × 11	□		南西區	3033	32 × 31 × 32	○		中城西部		
2533A	15 × 12 × 14		○		北城西部	2594	26 × 18 × 13	○		南西區	3034	20 × 17 × 11	○	○	中城西部		
2533B	31 × 40 × 29		○	○	北城西部	2595	30 × 110 × 8	□		中城西部	3035	11 × 13 × 11	○		南西區		
2534	32 × 25 × 23		○		北城西部	2596	27 × 30 × 8	□		南西區	3036	16 × 141 × 15	□		中城南南區		
2535	25 × 115 × 18		○		北城西部	2598	35 × 33 × 33	○		北城東部	3037	11 × 131 × 11	□		中城南南區		
2536	21 × 23 × 28		□		北城西部	2599	38 × 16 × 58	○		中城	3038	401 × 281 × 8	□		中城南南區		

第65表 3区1面層敷遺構内ピット一覽 (その13)

遺構一覧

No.	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域	No.	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域	No.	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域			
	柱	穴	注					柱	穴	注					柱	穴	注						
3039	80	×	45	×	15	□	中城中部部	3103	16	×	34	×	15	□	北城東部	3160	18	×	18	×	25	□	中城中部部
3040	29	×	25	×	9	○	中城西部	3104	7	×	11	×	5	○	北城東部	3161	31	×	25	×	22	○	中城中部部
3041	38	×	33	×	8	○	中城中部部	3105	7	×	8	×	8	○	北城東部	3162	43	×	19	×	48	○	中城中部部
3043	11	×	12	×	9	○	中城中部部	3106	10	×	10	×	6	○	北城東部	3163	58	×	46	×	26	○	中城中部部
3044	19	×	22	×	21	□	南東城北部	3107	24	×	26	×	13	○	北城東部	3164	21	×	21	×	24	□	中城中部部
3045	25	×	33	×	8	○	南東城南部	3108	26	×	37	×	11	○	北城東部	3165	26	×	28	×	6	□	中城中部部
3046	12	×	16	×	19	□	南東城北部	3109A	13	×	11	×	7	○	北城東部	3166	42	×	46	×	27	○	中城中部部
3047	19	×	7	×	9	□	南東城北部	3109B	13	×	11	×	7	○	北城東部	3167	35	×	37	×	44	○	中城中部部
3048	27	×	27	×	19	□	南東城北部	3110	19	×	15	×	19	○	北城東部	3168	141	×	13	×	17	□	中城中部部
3049	20	×	36	×	3	□	南東城北部	3111	21	×	22	×	6	○	北城東部	3169	30	×	35	×	17	○	中城中部部
3051A	15	×	15	×	24	○	南西城	3112	18	×	11	×	24	○	北城東部	3170	146	×	35	×	34	○	中城中部部
3051B	10	×	14	×	11	○	南西城	3113	48	×	55	×	26	○	北城東部	3171	25	×	25	×	41	□	中城中部部
3052	11	×	11	×	5	○	南西城	3114	20	×	15	×	20	○	北城東部	3172	22	×	22	×	48	○	中城中部部
3054	16	×	22	×	9	○	南東城北部	3115	22	×	37	×	21	○	北城東部	3173	36	×	33	×	8	□	中城中部部
3056	18	×	15	×	5	○	南西城	3116	39	×	36	×	24	○	北城東部	3174	52	×	45	×	52	□	中城中部部
3057	44	×	44	×	16	○	南西城	3117	43	×	18	×	31	○	北城東部	3175	13	×	12	×	5	○	中城中部部
3059	15	×	11	×	8	○	北城東部	3118	20	×	20	×	30	○	北城東部	3176	22	×	14	×	6	○	中城中部部
3060	14	×	14	×	16	○	北城東部	3119	44	×	34	×	52	○	北城東部	3177	22	×	17	×	15	○	中城中部部
3061	29	×	23	×	16	○	北城東部	3120	50	×	28	×	13	□	北城東部	3178	44	×	52	×	45	○	中城中部部
3062	27	×	26	×	14	○	北城東部	3121	19	×	31	×	7	□	北城東部	3179	63	×	46	×	37	○	中城中部部
3063	18	×	19	×	18	○	北城東部	3122	20	×	16	×	6	○	北城東部	3180	23	×	25	×	29	○	中城中部部
3064	30	×	27	×	22	○	北城東部	3123	24	×	18	×	9	○	北城東部	3181	48	×	36	×	9	○	中城中部部
3065	15	×	16	×	11	□	北城東部	3124	37	×	31	×	28	○	北城東部	3182	27	×	29	×	3	○	中城中部部
3066	16	×	22	×	12	○	北城東部	3125	24	×	29	×	39	□	北城東部	3183	29	×	31	×	49	□	中城中部部
3067	12	×	9	×	7	○	北城東部	3126	20	×	26	×	11	○	北城東部	3184	25	×	23	×	7	□	中城中部部
3068	13	×	15	×	15	○	北城東部	3127	27	×	25	×	33	□	北城東部	3185	49	×	50	×	47	○	中城中部部
3069	20	×	13	×	11	○	北城東部	3128	19	×	33	×	9	○	北城東部	3186	48	×	49	×	37	○	中城中部部
3070	24	×	22	×	11	○	北城東部	3129	34	×	41	×	40	○	北城東部	3187	23	×	32	×	35	□	中城中部部
3071	25	×	28	×	16	□	北城東部	3130	18	×	24	×	41	○	北城東部	3188	24	×	46	×	12	□	中城中部部
3072	25	×	17	×	9	○	北城東部	3131	38	×	34	×	26	□	北城東部	3189	31	×	33	×	15	○	中城中部部
3073	44	×	45	×	11	○	北城東部	3132	23	×	36	×	13	○	北城東部	3190	17	×	17	×	19	○	中城中部部
3074	23	×	13	×	7	○	北城東部	3133	23	×	23	×	24	□	北城東部	3191	22	×	27	×	23	□	中城中部部
3075	14	×	12	×	5	○	北城東部	3134	23	×	21	×	28	○	北城東部	3192	25	×	33	×	43	○	中城中部部
3076	9	×	13	×	3	○	北城東部	3135	28	×	36	×	47	○	北城東部	3193	18	×	14	×	7	○	中城中部部
3077	10	×	9	×	2	○	北城東部	3136	32	×	24	×	18	○	北城東部	3194	40	×	53	×	16	○	中城中部部
3078	22	×	24	×	18	○	北城東部	3137	20	×	44	×	14	○	北城東部	3195	13	×	21	×	32	○	中城中部部
3079	15	×	26	×	26	○	北城東部	3138	23	×	32	×	19	○	北城東部	3196	22	×	34	×	10	○	中城中部部
3080	11	×	12	×	10	○	北城東部	3139	21	×	32	×	9	□	北城東部	3197	26	×	25	×	20	○	中城中部部
3081	134	×	138	×	9	○	北城東部	3140	29	×	31	×	15	○	北城東部	3198	133	×	29	×	9	○	中城中部部
3082	17	×	22	×	5	□	北城東部	3141	46	×	54	×	48	□	北城東部	3199	26	×	22	×	34	□	中城中部部
3084	12	×	13	×	9	○	北城東部	3142	30	×	39	×	13	○	北城東部	3200	20	×	22	×	17	○	中城中部部
3085	8	×	15	×	7	○	北城東部	3143	23	×	28	×	15	○	北城東部	3201	38	×	35	×	49	□	中城中部部
3086	21	×	25	×	8	○	北城東部	3144	30	×	26	×	15	□	中城北東部	3202	25	×	31	×	15	○	中城西部部
3087	26	×	27	×	13	□	北城東部	3145	16	×	15	×	22	□	中城北東部	3203	30	×	46	×	61	○	中城西部部
3088	14	×	14	×	18	○	北城東部	3146	50	×	45	×	59	□	中城北東部	3204	33	×	48	×	72	○	中城西部部
3089	14	×	19	×	13	○	北城東部	3147	50	×	38	×	17	○	中城北東部	3205	31	×	28	×	37	○	中城西部部
3090	30	×	25	×	14	○	北城東部	3148	17	×	20	×	9	○	中城北東部	3206	30	×	20	×	12	○	中城西部部
3091	24	×	30	×	14	○	北城東部	3149	33	×	33	×	37	□	中城北東部	3207	55	×	65	×	11	□	中城西部部
3092	39	×	40	×	4	○	北城東部	3150	21	×	17	×	27	○	中城北東部	3208	30	×	60	×	8	○	中城西部部
3093	16	×	13	×	9	○	北城東部	3151	30	×	27	×	29	○	中城北東部	3210	33	×	23	×	20	○	中城西部部
3094	11	×	13	×	4	○	北城東部	3152	29	×	26	×	15	○	中城北東部	3211	24	×	28	×	22	○	中城西部部
3095	26	×	18	×	33	□	中城北東部	3153	22	×	22	×	10	○	中城北東部	3212	20	×	26	×	17	○	中城西部部
3096	13	×	14	×	20	○	中城北東部	3154	16	×	17	×	62	○	中城中部部	3213	33	×	22	×	35	○	中城西部部
3097	49	×	30	×	40	□	中城北東部	3155	36	×	25	×	22	○	中城中部部	3214	51	×	44	×	49	○	中城西部部
3099	45	×	32	×	22	○	中城北東部	3156	25	×	22	×	12	○	中城中部部	3215	24	×	35	×	17	○	中城西部部
3099	23	×	23	×	18	○	中城北東部	3157	44	×	32	×	23	○	中城中部部	3216	22	×	24	×	26	○	中城西部部
3100	24	×	19	×	23	○	中城北東部	3158	42	×	32	×	18	○	中城中部部	3217	22	×	24	×	32	□	中城西部部
3101	12	×	15	×	14	○	中城北東部	3159	7	×	11	×	6	○	中城中部部	3218	40	×	36	×	64	○	中城西部部

第66表 3区1面層敷遺構内ピット一覧 (その14)

No	柱 穴		形態	礎石	機軸区域	No	柱 穴		形態	礎石	機軸区域	No	柱 穴		形態	礎石	機軸区域
	径W × 径NS × 深S						径W × 径NS × 深S						径W × 径NS × 深S				
3219	(22) × (30) × 11		□		中城南東部	3277	20 × 29 × 6	○			南東城北部	3335	23 × 27 × 37	□			南東城北部
3220	20 × 32 × 18	○			中城南東部	3278	11 × 9 × 19	○			南東城北部	3336	26 × 30 × 40	○			南東城北部
3221	16 × (20) × 5	○			中城南東部	3279	22 × 26 × 41	○			南東城北部	3337	(17) × 49 × 11	○			南東城北部
3222	37 × (22) × 54	○			中城南東部	3280	25 × 50 × 14	○			南東城北部	3338	24 × 30 × 29	○			南東城北部
3223	32 × (34) × 56	○			中城南東部	3281	30 × 35 × 61	○			南東城北部	3339	17 × 19 × 12	○			南東城北部
3224	(8) × 17 × 7	□			中城南東部	3282	17 × 20 × 26	○			南東城北部	3342	20 × 30 × 17	○			南東城北部
3225	23 × 20 × 53	○			中城南東部	3283	25 × 38 × *	○			南東城北部	3343	16 × 20 × 12	○			南東城北部
3226	(26) × (20) × 37	○			中城南東部	3284	12 × (12) × 17	○			南東城北部	3344	4 × 8 × 5	□			南東城北部
3227	37 × 44 × 41	□	○		中城南東部	3285	21 × 34 × 32	□			南東城北部	3345	17 × 25 × 6	○			南東城北部
3228	30 × 31 × 10	□			中城南東部	3286	30 × (15) × 46	○			南東城北部	3346	15 × 17 × 8	○			南東城北部
3229	24 × 36 × 18	○			中城南東部	3287	(32) × 26 × 46	□			南東城北部	3351	16 × 17 × 21	○			南東城北部
3230	22 × 28 × 43	○			中城南東部	3288	(35) × 35 × 50	○			南東城北部	3352	27 × 30 × 37	□			南東城北部
3231	28 × (30) × 23	○			中城南東部	3289	(29) × (20) × 7	○			南東城北部	3353	25 × 33 × 27	○			南東城北部
3232	13 × 17 × 12	○			中城南東部	3290	36 × 46 × 53	□	○		南東城北部	3354	12 × 24 × 18	○			南東城北部
3233	18 × 17 × 24	○			中城南東部	3291	19 × 23 × 38	□			南東城北部	3355	9 × 10 × 2	○			南東城北部
3234	26 × 20 × 32	○			中城南東部	3292	19 × 22 × 27	□			南東城北部	3356	8 × 12 × 6	○			南東城北部
3235	30 × 46 × 44	○			中城南東部	3293	21 × 21 × 41	□			南東城北部	3357	28 × 31 × 21	○			南東城北部
3236	38 × 22 × 6	○			中城南東部	3294	33 × (37) × 23	○	○		南東城北部	3358	8 × 10 × 6	○			南東城北部
3237	24 × 27 × 37	○			中城南東部	3295	15 × 18 × 54	□			南東城北部	3359	9 × 20 × 5	○			南東城北部
3238	43 × (31) × 33	○	○		中城南東部	3296	(26) × (13) × 14	○			南東城北部	3360	17 × 17 × 17	○			南東城北部
3239	13 × 19 × 8	○			中城南東部	3297	21 × 27 × 49	○			南東城北部	3361	11 × 20 × 9	○			南東城北部
3240	(16) × 32 × 10	○			中城南東部	3298	22 × (23) × 25	○			南東城北部	3363	25 × 25 × 34	○			南東城北部
3241	22 × 21 × 16	○			中城南東部	3299	13 × 15 × 20	○			南東城北部	3363	20 × (11) × 13	○			南東城北部
3242	28 × 26 × 36	□			中城南東部	3300	21 × 21 × 20	□			南東城北部	3364	(7) × (3) × 11	○			南東城北部
3243	(15) × (21) × 18	○			中城南東部	3301	29 × 30 × 75	○			南東城北部	3365	29 × 28 × 27	○	○		南東城北部
3244	27 × (25) × 18	○			中城南東部	3302	30 × 27 × 22	○			南東城北部	3366	20 × 26 × 18	○			南東城北部
3245	40 × (44) × 34	□	□		中城南東部	3303	38 × 34 × 63	○			南東城北部	3367	15 × 18 × 7	○			南東城北部
3246	37 × 37 × 51	○			中城南東部	3304	25 × 28 × 17	□			南東城北部	3368	11 × 11 × 2	○			南東城北部
3247	27 × 31 × 52	○			中城南東部	3305	16 × 10 × 11	○			南東城北部	3369	23 × 27 × 18	○			南東城北部
3248	25 × (30) × 5	□			中城南東部	3306	11 × 5 × 5	○			南東城北部	3370	17 × 25 × 7	○			南東城北部
3249	35 × 42 × 33	○			中城南東部	3307	17 × 12 × 16	○			南東城北部	3371	(30) × 20 × 41	○			南東城北部
3250	44 × 42 × 62	○			中城南東部	3308	23 × 18 × 14	○			南東城北部	3372	19 × (10) × 7	○			南東城北部
3251	21 × 29 × 7	○			中城南東部	3309	20 × 25 × 7	○			南東城北部	3373	30 × 26 × 18	□			南東城北部
3252	21 × 24 × 16	○			中城南東部	3310	16 × 8 × 8	○			南東城北部	3374	28 × 33 × 45	○			南東城北部
3253	21 × 21 × *	□			南東城北部	3311	22 × 23 × 21	□			南東城北部	3375	10 × 17 × 4	○			南東城北部
3254	33 × 29 × 43	○			中城南東部	3312	36 × 52 × 61	○			南東城北部	3376	23 × (25) × 4	○			南東城北部
3255	30 × 39 × 58	○			中城南東部	3313	30 × 20 × 19	□			南東城北部	3377	25 × (26) × 6	○	○		南東城北部
3256	12 × 20 × 4	○			中城南東部	3314	30 × 34 × 11	○			南東城北部	3378	25 × 35 × 38	○			南東城北部
3257	17 × (25) × 3	○			中城南東部	3315	26 × 33 × 10	○			南東城北部	3379	(25) × 21 × 27	□			南東城北部
3258	(4) × 8 × 2	○			中城南東部	3316	56 × 29 × 61	○			南東城北部	3380	22 × 22 × 30	○			南東城北部
3259	7 × 11 × 1	○			中城南東部	3317	(44) × 30 × 9	○			南東城北部	3381	26 × 34 × 34	○			南東城北部
3260	21 × 21 × 14	○			中城南東部	3318	17 × 18 × 14	□			南東城北部	3382	12 × 14 × 12	○			南東城北部
3261	24 × 23 × 29	○			中城南東部	3319	18 × 15 × 16	□			南東城北部	3383	7 × 10 × 10	○			南東城北部
3262	(22) × 29 × *	○			中城南東部	3320	33 × 43 × 60	□			南東城北部	3384	28 × 25 × 23	○			南東城北部
3263	(24) × 20 × 2	□			中城南東部	3321	19 × 18 × 10	○			南東城北部	3385	28 × 33 × 35	□			南東城北部
3264	42 × 57 × 5	○	○		中城南東部	3322	14 × 18 × 14	○			南東城北部	3386	18 × 23 × 24	○			南東城北部
3265	27 × 30 × 46	□			中城南東部	3323	15 × 22 × 8	○			南東城北部	3387	10 × (12) × 13	○			南東城北部
3266	26 × 36 × 4	○			中城南東部	3324	38 × 32 × 35	○			南東城北部	3388	30 × 30 × 27	○			南東城北部
3267	22 × 27 × 21	○			中城南東部	3325	13 × 15 × 8	○			南東城北部	3389	17 × 27 × 24	○			南東城北部
3268	14 × 18 × 12	○			中城南東部	3326	(15) × (13) × 16	○			南東城北部	3390	14 × 20 × 27	○			南東城北部
3269	29 × 29 × 23	○			中城南東部	3327	28 × 24 × 38	○			南東城北部	3391	25 × 37 × 10	○			南東城北部
3270	13 × 17 × 3	○			南東城北部	3328	25 × 25 × 54	○			南東城北部	3392	35 × 34 × 26	○			南東城北部
3271	30 × 35 × 12	○			南東城北部	3329	25 × 27 × 34	○			南東城北部	3393	25 × 25 × 35	□			南東城北部
3272	16 × 30 × 5	○			南東城北部	3330	10 × 11 × 5	○			南東城北部	3394	30 × 36 × 17	○			南東城北部
3273	20 × 18 × 46	□			南東城北部	3331	11 × 14 × 3	○			南東城北部	3395	20 × (31) × 18	○			南東城北部
3274	17 × (18) × 17	○			南東城北部	3332	17 × 23 × 21	○			南東城北部	3396	(27) × 28 × 4	○			南東城北部
3275	20 × 20 × *	○			南東城北部	3333	33 × 30 × 29	○			南東城北部	3397	25 × 22 × 50	○			南東城北部
3276	13 × 15 × 23	○			南東城北部	3334	28 × 30 × 43	○			南東城北部	3398	30 × 28 × 37	○			南東城北部

第67表 3区1面層敷遺構内ピット一覧(その15)

遺構一覧

No	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域	No	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域	No	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域
	径W × 径S × 深さ							径W × 径S × 深さ							径W × 径S × 深さ					
3099	33 × 31 × 37		□			南東城北部	3442	15 × 14 × 3		○			南東城南部	3484	38 × 42 × 28		□		南東城南部	
3400	27 × 35 × 23		○			南東城北部	3443	36 × 23 × 6		○			南東城南部	3485	20 × 20 × 36		○		南東城南部	
3401	40 × 27 × 33		○			南東城北部	3444	12 × 10 × 4		□			南東城南部	3486	19 × 11 × 4		○		南東城南部	
3402	27 × (13) × 9		○			南東城北部	3445	36 × 20 × 40		○			南東城南部	3487	21 × 16 × 5		○		南東城南部	
3403	75 × 35 × 25		○			南東城南部	3446	8 × 22 × 2		○			南東城南部	3488	30 × (5) × 10		○		南東城南部	
3404	25 × 24 × 7		○			南東城南部	3447	27 × 22 × 14		○			南東城南部	3489	33 × 27 × 27		○		南東城南部	
3405	13 × 13 × 8		□			南東城南部	3448	17 × 13 × 9		○			南東城南部	3491	34 × 26 × 27		○		南東城南部	
3406	13 × 18 × 5		○			南東城南部	3449	20 × (18) × 13		□			北城東部	3492	25 × 16 × 30		□		南東城南部	
3407	(12) × (7) × 5		○			南東城南部	3450	25 × 24 × 34		□			南東城南部	3494	12 × 12 × 42		□		南東城南部	
3408	60 × (9) × 6		○			南東城南部	3451	20 × 25 × 24		○			南東城南部	3495	37 × 31 × 41		□		南東城南部	
3409	(21) × (21) × 8		○			南東城南部	3452	10 × 12 × 7		○			南東城南部	3497	12 × 11 × 5		□		南東城南部	
3410	36 × 33 × 37		□			南東城南部	3453	(17) × 16 × 9		○			北城東部	3498	25 × 26 × 6		○		南東城南部	
3412	34 × 33 × 20		○			南東城南部	3454	(10) × 31 × 47		□			南東城南部	3499	18 × 12 × 4		□		南東城南部	
3413	21 × 12 × 4		○			南東城南部	3455	(8) × 31 × 40		□			南東城南部	3500	11 × 10 × 8		○		南東城南部	
3414	35 × 35 × 30		○			南東城南部	3456	(20) × 31 × 36		□			南東城南部	3501	33 × (32) × 22		○		北城東部	
3415	(8) × (7) × 21		○			南東城南部	3457	29 × 32 × 9		○			南東城南部	3502	37 × 50 × 34		□		南東城南部	
3416	25 × 42 × 42		□			南東城南部	3458	40 × 30 × 44		○			南東城南部	3503	32 × 33 × 25		□		南東城南部	
3417	18 × (29) × 11		○			南東城南部	3459	54 × (34) × 60		○			南東城南部	3504	32 × 30 × 28		□		南東城南部	
3418	12 × 11 × 16		○			南東城南部	3460	19 × (22) × 30		○			南東城南部	3505	(42) × 34 × 31		○		北城東部	
3419	20 × (14) × 13		□			南東城南部	3461	29 × 34 × 32		○			南東城南部	3506	(22) × (19) × 15		○		北城東部	
3420	16 × 14 × 24		○			南東城南部	3462	23 × 15 × 8		○			南東城南部	3507	27 × 24 × 21		○		北城東部	
3421	29 × 31 × 36		○			南東城南部	3463	25 × 24 × 11		○			南東城南部	3508	15 × 21 × 12		○		南東城南部	
3422	34 × 21 × 18		○			南東城南部	3464	33 × 30 × 1		○			南東城南部	3509	23 × (30) × 4		○		南東城南部	
3423	20 × 16 × 22		□			南東城南部	3465	33 × 17 × 4		○			南東城南部	3510	54 × (42) × 37		□		中城東部	
3424	29 × 30 × 28		○			南東城南部	3466	20 × 13 × 2		○			南東城南部	3511	(26) × (24) × 31		□		中城東部	
3425	21 × 23 × 15		□			北城東部	3467	25 × 11 × 4		○			南東城南部	3512	(39) × (38) × 20		○		中城東部	
3426	15 × 12 × 13		○			南東城南部	3468	34 × 27 × 3		□			南東城南部	3513	45 × 40 × 42		□		南東城南部	
3427	29 × 48 × 47		○			南東城南部	3469	22 × 24 × 29		□			南東城南部	3514	50 × 54 × 17		□		南東城南部	
3428	17 × 24 × 40		○			南東城南部	3470	9 × 9 × 10		□			南東城南部	3515	27 × 31 × 90		□		北城東部	
3429	32 × 34 × 8		○			南東城南部	3471	33 × (32) × 5		○			南東城南部	3516	10 × 10 × 6		○		南東城南部	
3430	(8) × (19) × 4		○			南東城南部	3472	15 × (7) × 2		□			南東城南部	3517	(60) × 33 × 27		○		南東城南部	
3431	(22) × (21) × 16		□			中城中央部	3473	40 × 38 × 5		□			南東城南部	3518	31 × 39 × 14		□		南西城	
3432	27 × 25 × 46		○			南東城南部	3474	19 × 19 × 4		○			南東城南部	3519	(9) × (24) × 17		○		北城中央部	
3433	14 × 13 × 9		○			南東城南部	3475	18 × 20 × 4		□			南東城南部	3520	(27) × 23 × 5		□		中城中央部	
3434	22 × 16 × 20		○			南東城南部	3476	41 × 42 × 32		□			南東城南部	3521	32 × (25) × 14		○		中城中央部	
3435	25 × 19 × 25		○			南東城南部	3477	35 × 18 × 29		□			南東城南部	1126	25 × (37) × 24		○		中城中央部	
3436	14 × 11 × 13		○			南東城南部	3478	34 × 31 × 29		□			南東城南部	3522	(20) × 22 × 30		○		北城中部	
3437	25 × 22 × 3		○			南東城南部	3479	18 × 25 × 23		○			南東城南部	3523	18 × 13 × 26		○		北城中部	
3438	(21) × 26 × 3		○			南東城南部	3480	16 × 24 × 11		○			南東城南部	3524	15 × 16 × 27		○		北城中部	
3439	10 × 16 × 5		○			南東城南部	3481	11 × 11 × 7		○			南東城南部	3525	17 × 26 × 10		○		北城中部	
3440	23 × 19 × 5		○			南東城南部	3482	10 × 22 × 7		□			南東城南部	3526	26 × 24 × 6		□		南東城南部	
3441	10 × 13 × 4		○			南東城南部	3483	14 × (3) × 12		○			南東城南部		×	×				

第68表 3区1面屋敷遺構内ビット一覧 (その16)

3区1面屋敷外南西部所在ビット一覧

No	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域	No	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域	No	柱 穴			形跡	礎石	機軸区域
	径W × 径S × 深さ							径W × 径S × 深さ							径W × 径S × 深さ					
1	24 × 27 × 35		□			3区南西部	6	22 × 22 × 22		○			3区南西部	11	13 × 17 × 6		□		3区南西部	
2	27 × 27 × 29		○			3区南西部	7	12 × 14 × 9		□			3区南西部	12	33 × 42 × 9		○		3区南西部	
3	30 × 41 × 15		○			3区南西部	8	16 × 16 × 10		□			3区南西部	13	12 × 14 × 13		□		3区南西部	
4	36 × 35 × 15		□			3区南西部	9	22 × 17 × 8		□			3区南西部		×	×				
5	20 × 28 × 23		○			3区南西部	10	43 × 50 × 15		○			3区南西部		×	×				

第69表 3区1面外所在ビット一覧

# 写 真 图 版





1区1面 (西より) 04-000401-03



1区2面 04-000403-04

PL 2



1-1-3号溝全景（北より）04-980182-02



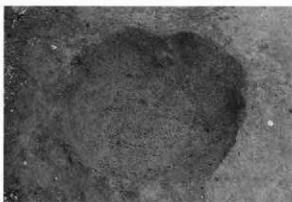
1-1-13号溝全景（北より）04-980212-09



1-1-13号溝全景（北より）04-980212-06



1-1-18号溝全景（南より）04-980193-09



1-1-15号土坑全景（南より）04-980171-07



1-1-16号土坑全景（南より）04-970171-10



1-1-17号土坑全景（南より）04-980172-04



1-1-18号土坑全景（南より）04-980193-04





1-1-19号土坑全景 (南より) 04-980187-09



1-1-20号土坑全景 (南より) 04-980184-03



1-1-21号土坑全景 (南より) 04-980182-05



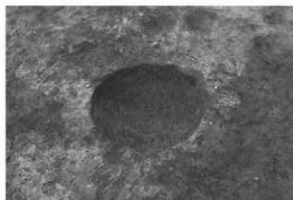
1-1-22号土坑全景 (南より) 04-980184-06



1-1-24号土坑全景 (南より) 04-980191-09



1-1-25号土坑全景 (南より) 04-980190-03



1-1-26号土坑全景 (南より) 04-980186-02



1-1-27号土坑全景 (南より) 04-980184-09

PL 4



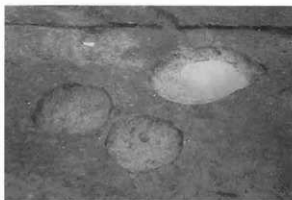
1-128号土坑全景 (南より) 04-980182-08



1-129号土坑全景 (南より) 04-980185-02



1-130号土坑全景 (南より) 04-980190-09



1-131~33号土坑全景 (南より) 04-980187-03



1-134号土坑全景 (南より) 04-980187-06



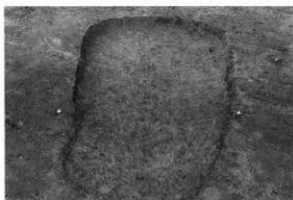
1-135号土坑全景 (北より) 04-980181-06



1-136号土坑全景 (南より) 04-980189-10



1-137号土坑全景 (南より) 04-980190-06



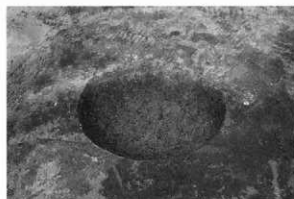
1-1-38号土坑全景 (南より) 04-980181-03



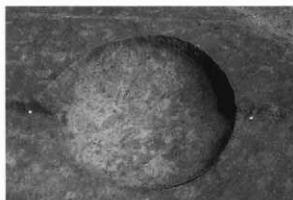
1-1-39号土坑全景 (南より) 04-980186-05



1-1-40号土坑全景 (南より) 04-980191-03



1-1-42号土坑全景 (南より) 04-980185-05



1-1-43号土坑全景 (南より) 04-980186-09



1-1-60-62号土坑全景 (東より) 04-980218-01



1-1-63号土坑全景 (西より) 04-980194-07



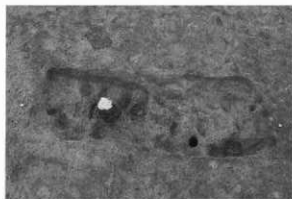
1-1-107号土坑全景 04-980211-03



1-1-108号土坑全景 04-980211-06



1-1-113号土坑全景 (南より) 04-980217-03



1-1-114号土坑全景 (南より) 04-980216-09



1-1-1号井戸全景 (南より) 04-980172-09



1-1-2号井戸全景 (南より) 04-980173-04



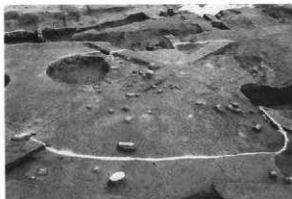
1-1-3号井戸全景 (南より) 04-980206-03



1-2-21号ビットセクション01-980238-33



1-2-22号ビットセクション01-980238-36



1-3-1号住居遺物出土状況（南より）04-980215-03



1-3-1号住居灰層確認状況（南より）04-980214-06



1-3-1号住居全景（西より）04-980221-06



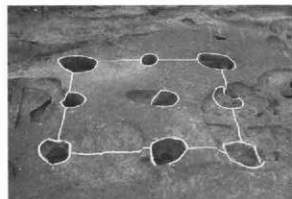
1-3-1号住居掘り方全景（西より）04-980231-10



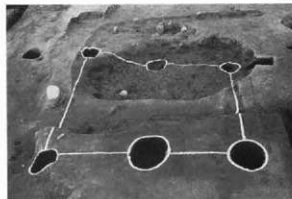
1-3-1号住居貯蔵穴遺物出土状況（西より）04-980220-09



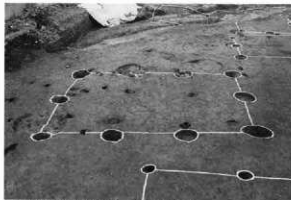
1-3-1号住居貯蔵穴全景（西より）04-980224-09



1-3-3号掘立柱建物全景（東より）04-980211-09



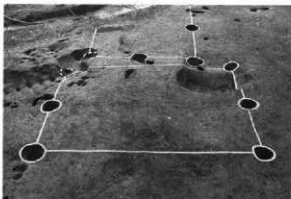
1-3-4号掘立柱建物全景（南より）04-980210-09



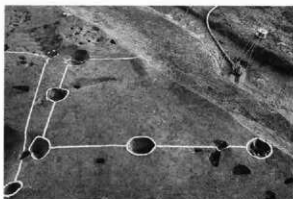
1-3-5号掘立柱建物全景 04-980224-03



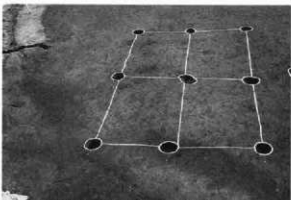
1-3-6号掘立柱建物全景 04-980222-10



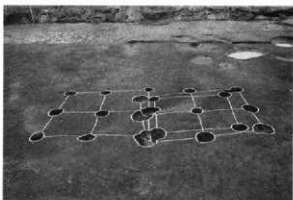
1-3-7号掘立柱建物全景 04-980223-10



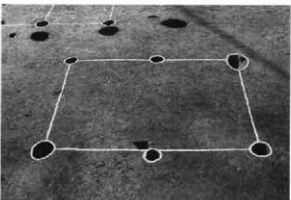
1-3-8号掘立柱建物全景（北より）04-980223-06



1-3-9号掘立柱建物全景（北より）04-980213-06



1-3-10～12号掘立柱建物全景（南より）04-980214-03



1-3-13号掘立柱建物全景 04-980221-10



1-3-3号柱穴列柱穴1セクション（南より）01-980223-02



1-3-3号柱穴列柱穴2セクション (南より) 01-980223-05



1-3-5号柱穴列柱穴1セクション 01-980224-22



1-3-5号柱穴列柱穴2セクション 01-980224-25



1-3-1号ビット全景 01-980231-03



1-3-2号ビット全景 01-980231-07



1-3-13号ビット全景 01-980231-35



1-3-14号ビット全景 01-980230-11



1-3-15号ビット全景 01-980230-15



1-3-16号ピット全景 01-980230-19



1-3-17・18号ピット全景 01-980230-23



1-3-18号ピットセクション (東より) 01-980236-15



1-3-19号ピット全景 04-980230-27



1-3-23号溝遺物出土状況 04-980199-09



1-3-23号溝全景 04-980199-06



1-3-24号溝遺物出土状況 04-980195-06



1-3-24号溝遺物出土状況 04-980197-06





1-3-24号溝遺物出土状況 04-980197-10



1-3-24号溝遺物出土状況 04-980197-04



1-3-25号溝遺物出土状況 04-980200-06



1-3-25号溝遺物出土状況 04-980196-06



1-3-25号溝遺物出土状況 04-980198-06



1-3-25号溝遺物出土状況 04-980198-09



1-3-35号溝遺物出土状況 04-980228-04



1-3-35号溝遺物出土状況 04-980227-10



1-3-35号溝遺物出土状況 (南より) 04-980210-06



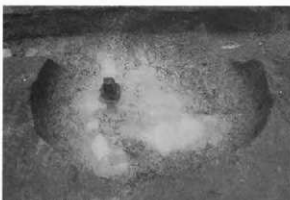
1-3-35号溝全景 (南より) 04-980209-03



1-3-36号溝全景 04-980226-10



1-3-31号土坑全景 (南より) 04-980219-02



1-3-52号土坑全景 (南より) 04-980219-06



1-3-66号土坑全景 (南より) 04-980219-08



1-3-73号土坑全景 04-980226-07



1-3-90号土坑遺物出土状況 04-980220-06



1-3-121号土坑遺物出土状況 (南より) 01-980222-17



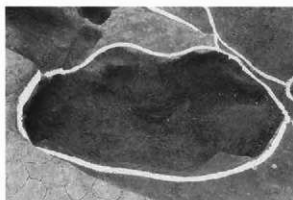
1-3-121号土坑全景 (南より) 01-980222-14



1-3-122号土坑遺物出土状況 (西より) 04-980225-07



1-3-122号土坑全景 01-980228-11



1-3-123号土坑全景 (東より) 01-980222-02



1-3-124号土坑灰出土状況 01-980227-23



1-3-124号土坑全景 01-980230-34



1-3-126号土坑全景 (西より) 01-980235-22

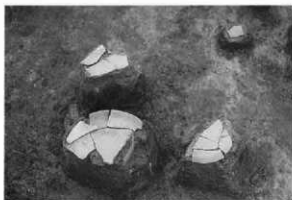
PL 14



1-3-126・127号土坑セクション 01-980227-15



1-3-127号土坑遺物出土状況 04-980239-03



1-3-127号土坑遺物出土状況 (東より) 04-980239-06



1-3-128号土坑遺物出土状況 04-980232-03



1-3-128号土坑セクション (北より) 01-980233-22



1-3-130号土坑遺物出土状況 01-980238-16



1-3-130号土坑遺物出土状況 01-980238-12



1-3-131号土坑全景 01-980243-34



1-3 遺物包含層遺物出土状況 01-980243-25



1-3 遺物包含層遺物出土状況 (西より) 04-980241-02



1-3 遺物包含層下面表出状況 (西より) 01-980257-02



1-3 旧河道全景 (北西より) 04-980229-02



1-3 旧河道全景 (北西より) 04-980229-04



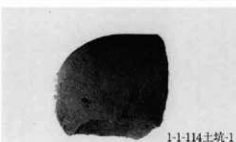
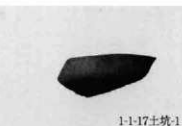
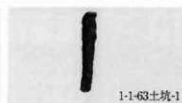
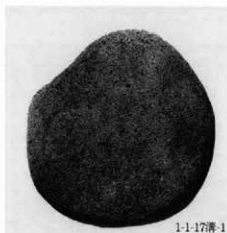
1-3 風倒木痕確認面 (西より) 04-980217-06

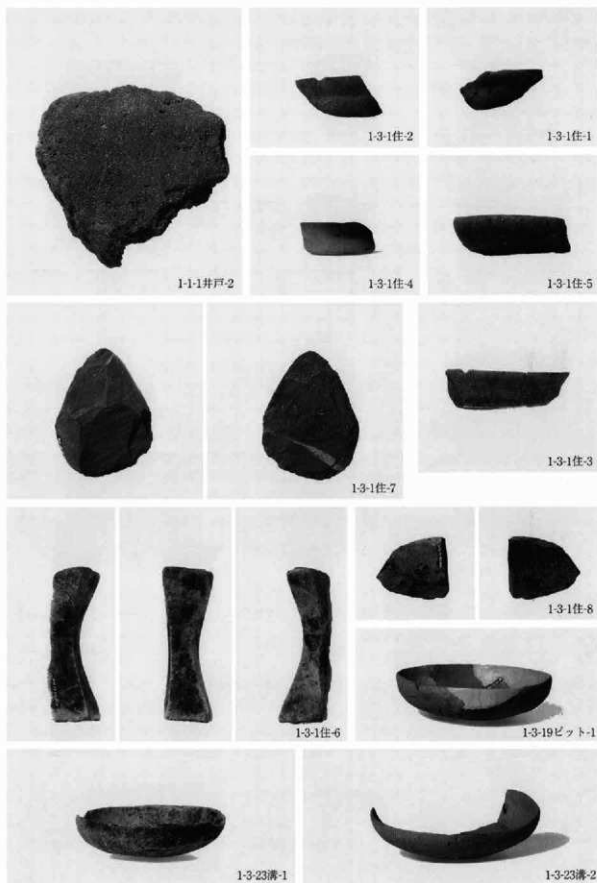


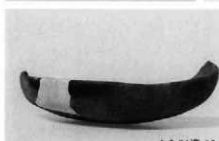
1区土層断面 (南壁) 01-980257-07



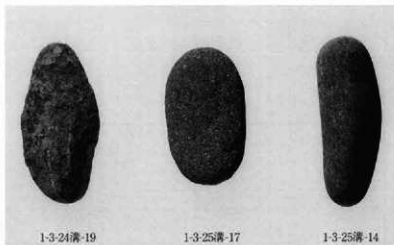
1区深掘トレンチ土層断面 01-980233-16

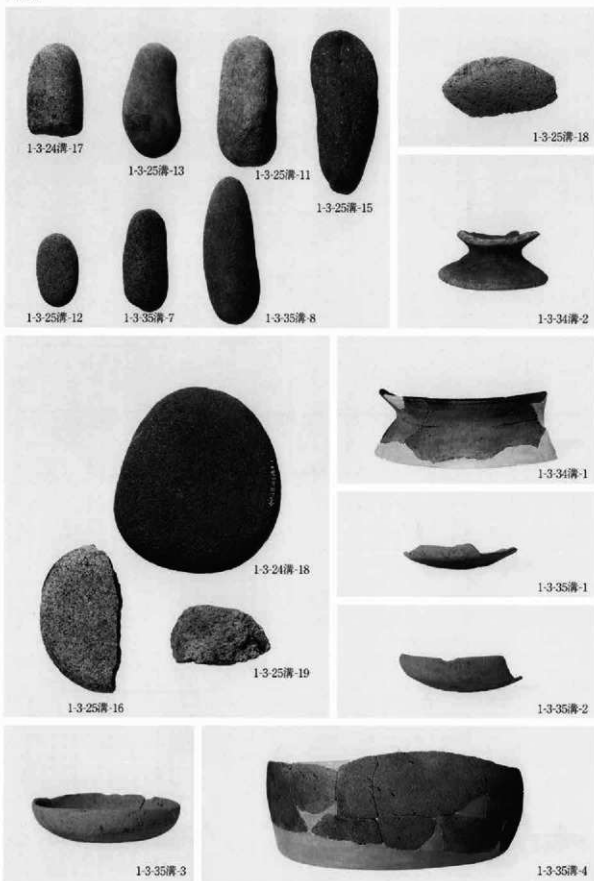














1-3-35溝-5



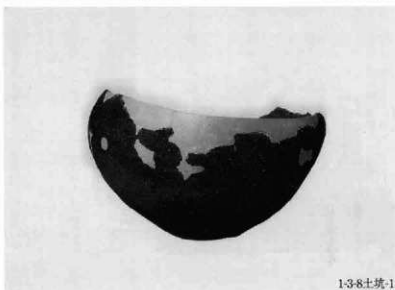
1-3-109土坑-2



1-3-109土坑-1



1-3-121土坑-1



1-3-8土坑-1



1-3-75土坑-2



1-3-69土坑-1



1-3-73土坑-2



1-3-73土坑-1



1-3-77土坑-1

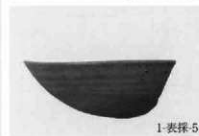
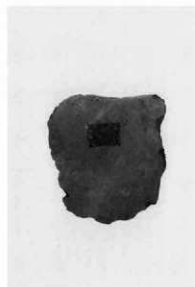


1-3-74土坑-1

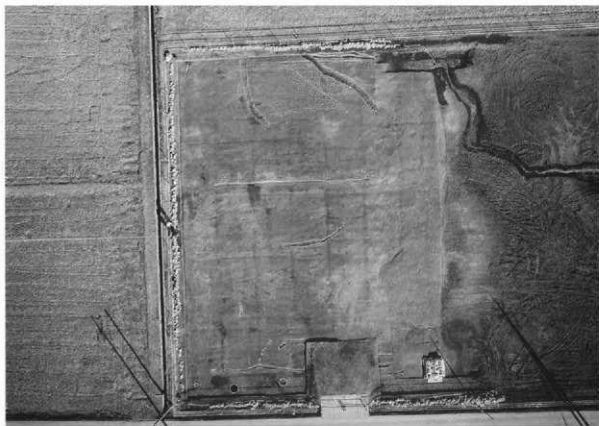


1-3-75土坑-1









2区1面 西部 04-000260-04



2区1面中・東部 04-000251-05



2-1-1号溝全景 (北より) 04-00036-08



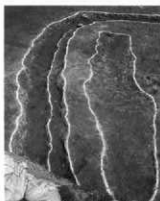
2-1-2号溝全景 (北より) 04-00031-01



2-1-3号溝全景 (東より) 01-00029-15



2-1-3号溝断面概観 01-00029-28



2-1-4号溝全景 04-00040-08



2-1-5~7号溝全景 (東より) 01-00044-03



2-1-6・7号溝全景 (西より) 01-00030-23



2-1-8・9号溝全景 (南東より) 04-00040-05

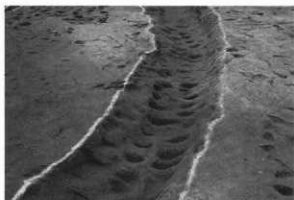




2-1-9・10号溝全景（西より）01-00044-08



2-1-10号溝全景 04-00029-04



2-1-10号溝全景（南東より）04-00119-04



2-1-10・17号溝全景（南東より）04-00034-09



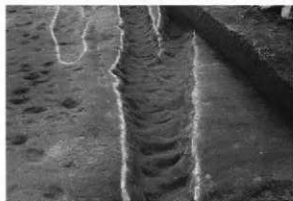
2-1-11号溝全景（西より）04-00024-01



2-1-12号溝全景 04-00043-02



2-1-15号溝全景（東より）04-00042-08



2-1-15号溝壘先縦（東より）04-00119-07



2-1-15・16号溝全景（西より）04-00029-01



2-1-17号溝全景（北東より）04-00034-03



2-1-17号溝全景（西より）04-00034-10



2-1-18・19号溝全景 04-00034-06



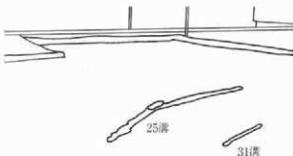
2-1-10・15・21号溝セクション（南西より）01-00112-14



2-1-22号溝全景（南東より）04-00121-07

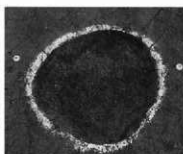
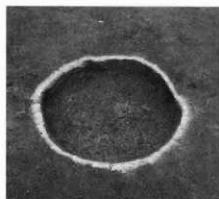
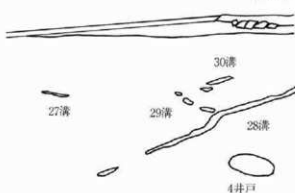


2-1-25・31号溝全景（北東より）04-00121-01





2-1-27~30号溝全景 (南西より) 04-00123-01

2-1-1号ピット全景 (南より)  
01-00051-262-1-2号ピット全景 (南より)  
01-00051-23

2-1-1号土坑全景 (南より) 04-00122-04



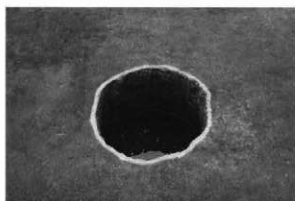
2-1-1・2号井戸全景 (南より) 04-00040-01



2-1-3号井戸全景 (東より) 04-00040-02



2-1-3号井戸全景 (南東より) 01-00059-02



2-1-4号井戸全景 (南より) 04-00122-07

PL 30



2-1-As-B下水田水田面東端部（北より）04-00048-06



2-1-As-B下水田水田面東部（北より）04-00048-07



2-1-As-B下水田水田面中部（北より）04-00048-08



2-1-As-B下水田水田面中部東（北より）04-00048-09



2-1-As-B下水田水田面中部西（北より）04-00048-10



2-1-As-B下水田水田面中西部（北より）04-00049-01



2-1-As-B下水田水田面西部（北より）04-00049-02



2-1-As-B下水田水田面西端部（北より）04-00049-03



2-1-As-B下水田水田面北端部 (南より) 04-00047-07



2-1-As-B下水田水田面北部 (南より) 04-00047-09



2-1-As-B下水田水田面中北部 (南より) 04-00047-08



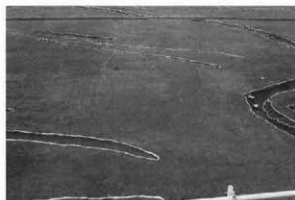
2-1-As-B下水田水田面中北部 (南より) 04-00047-10



2-1-As-B下水田水田面中部南 (南より) 04-00048-01



2-1-As-B下水田水田面中南部 (南より) 04-00048-02



2-1-As-B下水田水田面南部 (南より) 04-00048-03



2-1-As-B下水田水田面北東部 (北東より) 04-00033-10



2-1-As-B中東部東畦（東より）04-00026-03



2-1-As-B中東部東畦 04-00030-01



2-1-As-B中東部東畦（東より）04-00033-04



2-1-As-B中東部中央畦（西より）04-00026-01



2-1-As-B中東部中央畦（南より）04-00027-08



2-1-As-B中東部中央畦（南より）04-00026-09



2-1-As-B中東部中央畦（北より）04-00027-05



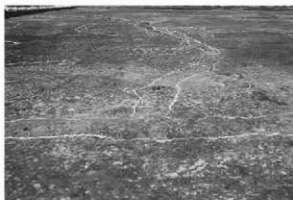
2-1-As-B中東部中央畦（南より）04-00032-04



2-1-As-B中東部畦(東より) 04-0003-01



2-1-As-B中東部南東畦(北より) 04-0005-04



2-1-As-B中東部中畦南畦(東より) 04-0003-09



2-1-As-B中東部北西畦(南東より) 04-00035-01



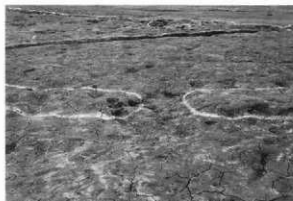
2-1-As-B中東部北西畦(南より) 04-00036-06



2-1-As-B中東部北西畦 04-00008-01



2-1-As-B中東部水口(南より) 04-00031-04



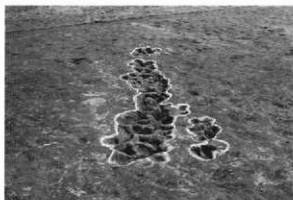
2-1-As-B中東部北西水口(北より) 04-00036-02



2-1-中東部中北跡先痕 04-00042-04



2-1-中東部中南跡先痕 04-00043-05



2-1-中東部中南跡先痕 04-00044-07



2-1-中東部中南跡先痕 04-00044-01



2区土層断面(北壁) 04-00101-01

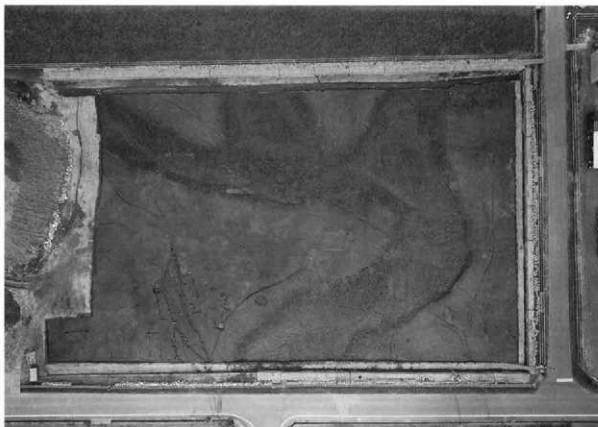


2区土層断面(南壁) 04-00100-08





2区2面 西部 04-000263-05



2区2面 中・東部 04-000252-05



2-2-南部全景 (西より) 01-00076-08



2-2-中部全景 (西より) 04-00069-08



2-2-北部全景 (西より) 04-00069-01



2-2-北西部全景 (東より) 04-00070-01



2-2-中部全景 (南より) 04-00067-03



2-2-Hr-FA水田全景 04-00128-09



2-2-西部全景 (南より) 04-00127-07



2-2-中西部全景 (南より) 04-00127-10



2-2-1号溝全景（南より）04-00070-05



2-2-2号溝全景（南東より）04-00070-04



2-2-3号溝全景（南より）04-00070-07



2-2-4号溝全景（北東より）01-00078-17



2-2-4号溝全景（南より）04-00070-09



2-2-5号溝全景（南より）01-00078-22



2-2-5号溝全景（北西より）04-00073-02



2-2-6号溝遺物出土状況 01-00073-01



2-2-6・7号溝全景 (北より) 01-00078-12



2-2-6・7号溝全景 (南より) 04-00071-01



2-2-6・7号溝セクション (南より) 01-00068-34



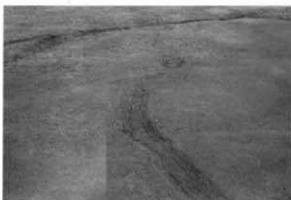
2-2-7号溝全景 (北西より) 04-00068-04



2-2-7・8号溝全景 (西より) 04-00068-07



2-2-8号溝全景 (西より) 01-00076-27



2-2-9号溝全景 (西より) 04-00068-01



2-2-10号溝全景 04-00071-04



2-2-11号溝全景 (西より) 01-00077-32



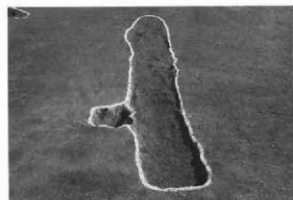
2-2-12号溝全景 (北より) 04-00129-02



2-2-12号溝全景 (南より) 04-00128-01



2-2-12～14号溝セクション (南より) 01-00118-13



2-2-15号溝全景 (西より) 04-00129-08



2-2-16～18号溝全景 (西より) 04-00129-05



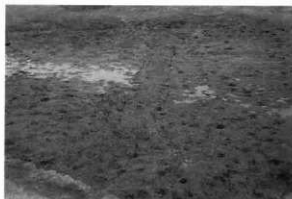
2-2-16～18号溝全景 (東より) 04-00128-06



2-2-19・20号溝全景 (東より) 04-00128-03



2-2-全景（西より）04-00069-10



2-2-中部畦全景（南より）04-00066-06



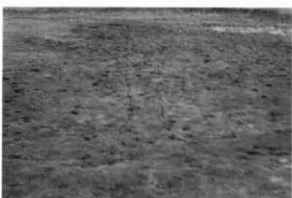
2-2-中西部畦全景（東より）04-00067-04



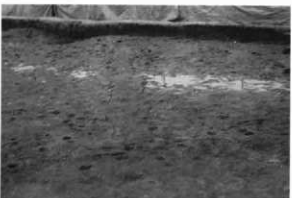
2-2-北東部畦全景（南より）04-00067-07



2-2-南西部畦全景（西より）04-00067-01



2-2-中西部畦全景（西より）04-00066-08



2-2-中東部畦全景（西より）04-00066-09



2-2-Hr-FA下水田全景（東より）04-00066-01



2-2-6号土坑セクション (南より) 01-00118-17



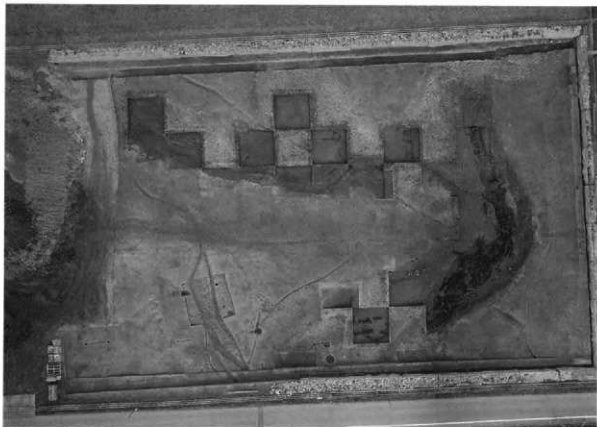
2-2-落ち込み遺物出土状況 (東より) 01-00070-06



2-2-調査風景01-00068-05



2-2-調査風景01-00068-06

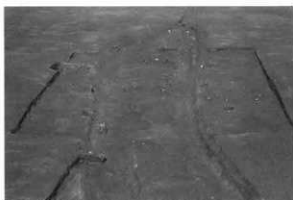


2区3画04-000254-09

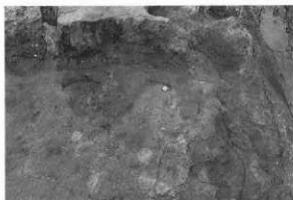


2区3画(東2号)04-000258-03





2-3-1号住居全景（南より）01-00072-04



2-3-1号住居灰出土状況（南より）01-00080-10



2-3-1号住居遺物出土状況01-00072-23



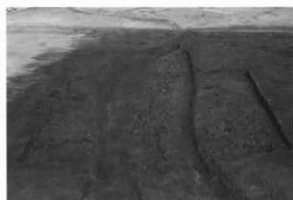
2-3-1号住居焼土出土状況（西より）01-00074-06



2-3-1号住居周溝西部（北より）04-00073-04



2-3-1号住居北東柱穴全景01-00065-04



2-3-1号住居掘り方全景（南より）01-00090-06



2-3-1号住居床下土坑全景（南より）01-00093-02



2-3-旧河道全景（西より）04-00092-07



2-3-旧河道東部セクション（南より）04-00092-01



2-3-旧河道西北部試掘グリッド（南東より）04-00086-09



2-3-旧河道南部試掘グリッド（東より）04-00084-08



2-3-旧河道東部（南より）04-00094-01



2-3-旧河道東部（南より）04-00093-01



2-3-旧河道東部（南西より）04-00095-04



2-3-旧河道東部遺物出土状況04-00095-10



2-3-C-03グリット遺物出土状況04-00080-02



2-3-C-03グリット遺物出土状況04-00080-05



2-3-D-02グリット遺物出土状況04-00081-01



2-3-H-03グリット遺物出土状況04-00078-09



2-3-H-03グリット遺物出土状況04-00084-12



2-3-H-12グリット遺物出土状況04-00075-10



2-3-旧河道東部 (南より) 04-00099-04



2-3-旧河道東部 (南より) 04-00099-01



2-1-4溝-1



2-1-1井戸-3



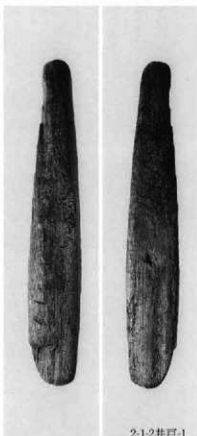
2-1-23溝-1



2-1-1井戸-1



2-1-1井戸-2



2-1-2井戸-1



2-1-3井戸-1



2-1-1



2-1-1



2-1-3



2-1-4



2-1-2



2-1-2



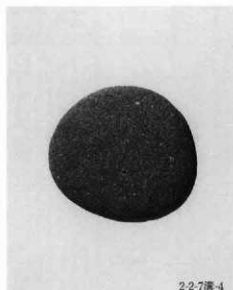
2-2-17溝-1



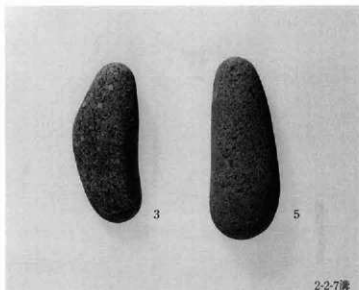
2-2-6溝-1



2-2-7溝-1



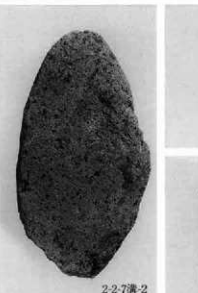
2-2-7溝-4



3

5

2-2-7溝



2-2-7溝-2



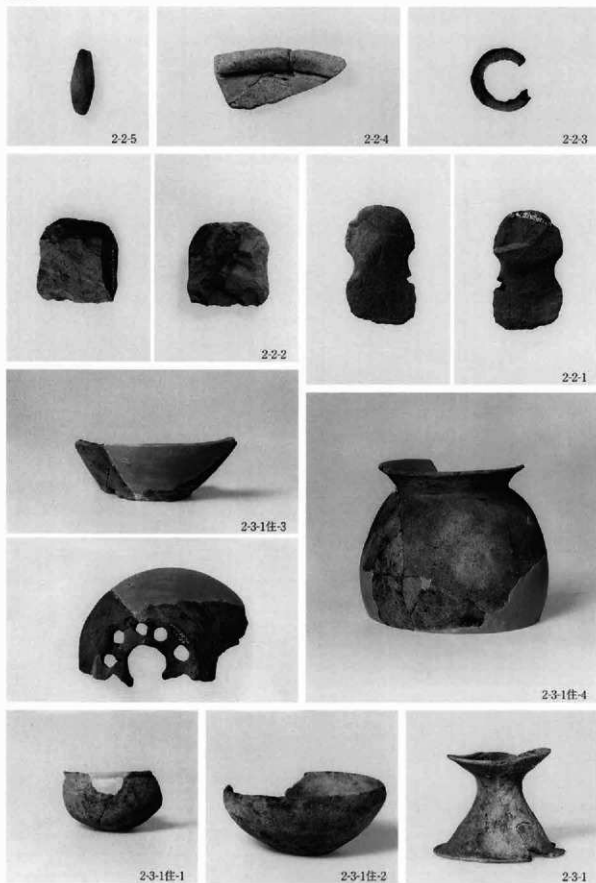
2-2-12溝-1



2-2-落ち込み-1



2-2-落ち込み-2











2-3-27



2-3-29



2-3-26



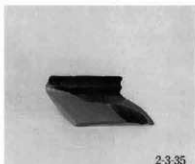
2-3-28



2-3-30



2-3-31



2-3-35



2-3-33



2-3-34



2-3-32





2-3-43



2-3-44



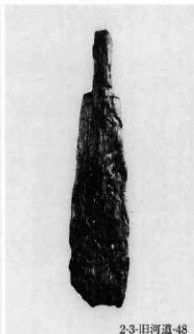
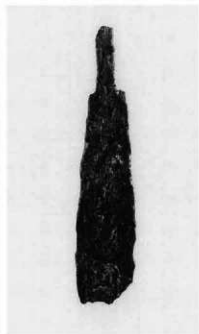
2-3-45



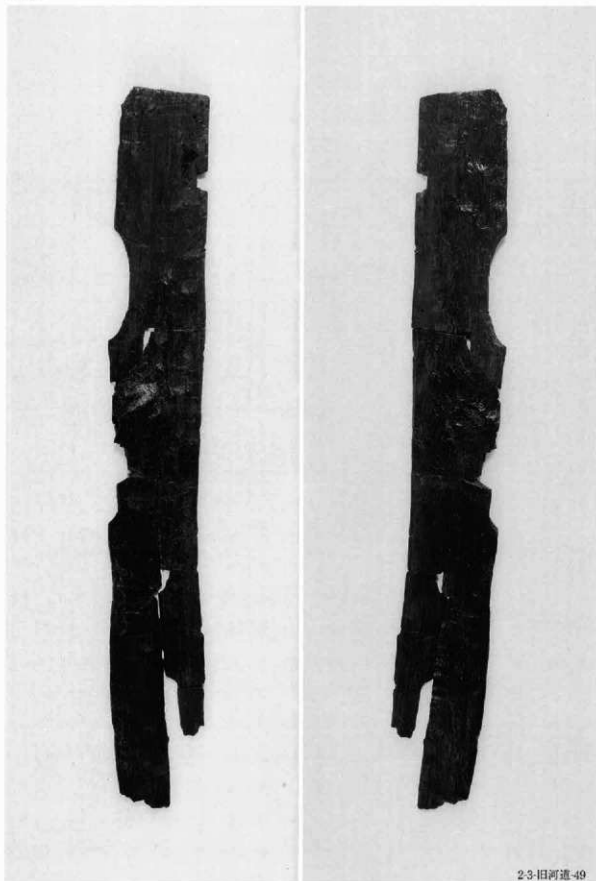
2-3-46

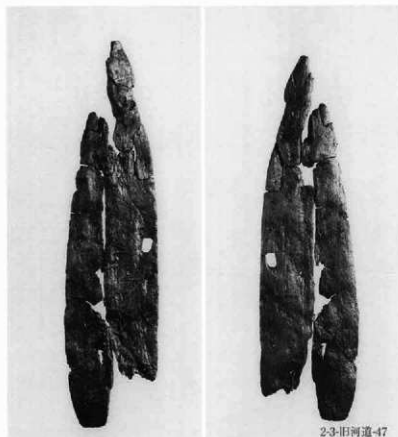


2-3-旧河道-50



2-3-旧河道-48

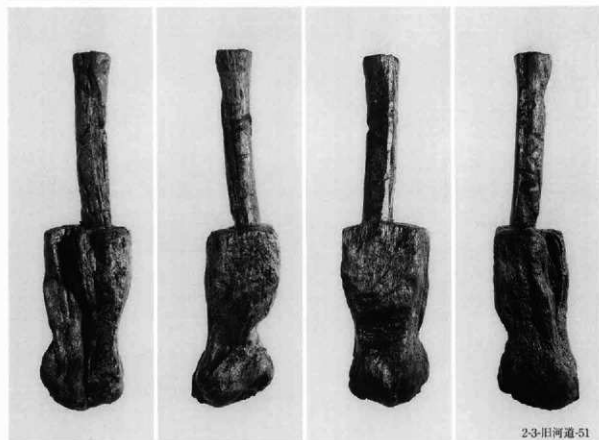




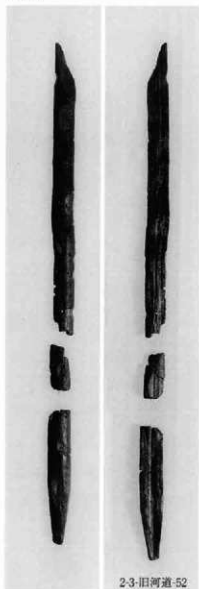
2-3-旧河道-47



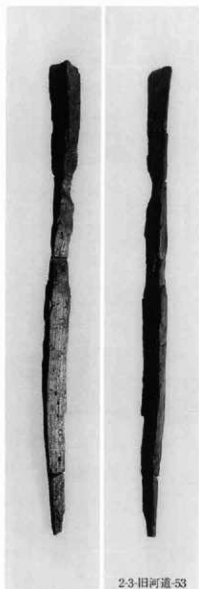
2-3-旧河道-61



2-3-旧河道-51



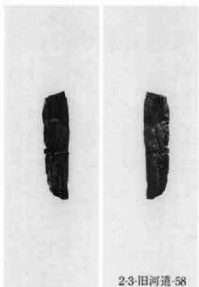
2-3-旧河道-52



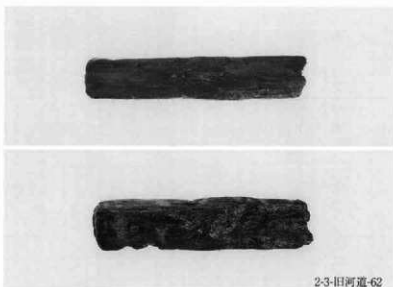
2-3-旧河道-53



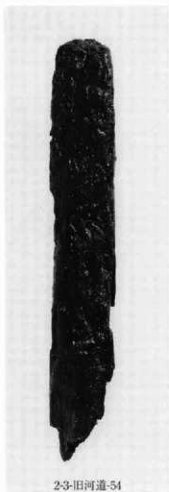
2-3-旧河道-56

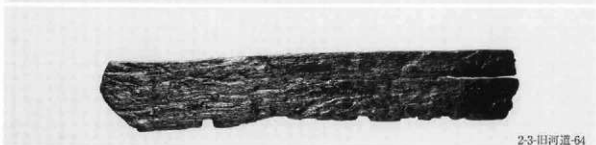


2-3-旧河道-58



2-3-旧河道-62





2-3-旧河道-64



2-3-旧河道-65



2-3-旧河道-66



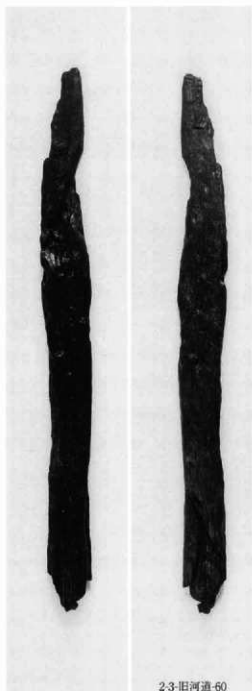
2-3-旧河道-65



2-3-旧河道-67



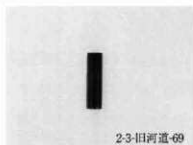




2-3-旧河道-60



2-3-旧河道-63



2-3-旧河道-69



2-3-73



2-3-グリッド-70



2-3-旧河道-68



2-3-旧河道-71

PL60

